令和７年度

教育課程



国東市立国東小学校

令和７年度教育課程　目次

－学校経営と教育課程の編成－　　ページ

Ⅰ　教育課程編成の基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
Ⅱ　校区の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
Ⅲ　学校教育計画
　１．基本方針　２．学校教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・　3
　３．学年目標　４．校内研究　・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　５．学級経営案　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　６．学校評価年間計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
Ⅳ　本校の特色ある学校づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
Ⅴ　教科・領域別指導における指導の重点・・・・・・・・・・・・・　16
Ⅵ　教育課程編成の構想・配慮事項・・・・・・・・・・・・・・・・　17
Ⅶ　指導計画作成上の留意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
Ⅷ　各教科・領域の指導目標　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
Ⅸ　年間授業時数計画
　１．生活時間表　２．週行事・月行事等・・・・・・・・・・・・・　24
　３．学校行事年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
　４．年間授業時数計画表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
　５．年間行事予定表と月別授業時数集計表・・・・・・・・・・・・　28
　６．日課表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29

－教科・領域等指導方針及び年間指導計画－
○　国語科・書写年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・　30
○　社会科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　106
○　算数科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　130
○　理科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　155
○　生活科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　183
○　音楽科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　221
○　図画工作科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　239
○　家庭科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　277
○　体育科年間指導計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　284
○　外国語活動及び外国語科年間指導計画・・・・・・・・・・・・・　315
○　道徳教育全体計画及び年間指導計画・・・・・・・・・・・・・・　324
○　総合的な学習の時間全体計画及び年間指導計画・・・・・・・・・　349
○　特別活動全体計画及び年間指導計画・・・・・・・・・・・・・・　355

－領域別指導方針および全体計画－
Ⅹ　人権教育指導方針及び年間指導計画・・・・・・・・・・・・・・　362
ⅩⅠ　生徒指導基本方針及び年間指導計画・・・・・・・・・・・・・　370
ⅩⅡ　キャリア教育基本方針及び全体計画・・・・・・・・・・・・・　372
ⅩⅢ　情報教育指導基本方針及び全体計画・・・・・・・・・・・・・　373
ⅩⅣ　環境教育指導基本方針及び全体計画・・・・・・・・・・・・・　375
ⅩⅤ　食に関する指導基本方針及び年間指導計画・・・・・・・・・・　376
ⅩⅥ　図書館教育指導基本方針及び年間指導計画・・・・・・・・・・　378
ⅩⅦ　特別支援教育全体指導方針及び年間指導計画・・・・・・・・・　379
ⅩⅧ　保健指導方針及び年間指導計画・・・・・・・・・・・・・・・　380
ⅩⅨ　学校安全基本方針及び年間指導計画・・・・・・・・・・・・・　382
ⅩⅩ　保健室運営案　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　383
ⅩⅩⅠ事務室経営案　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　384
ⅩⅩⅡ幼・保・小・中の連携指導方針及び全体計画・・・・・・・・・　385
　アプローチプログラム関連
ⅩⅩⅢ基礎基本の定着を図るＫタイム年間計画・・・・・・・・・・・　392
ⅩⅩⅣ男女共同参画教育指導方針及び年間指導計画　・・・・・・・　393

学校経営と教育課程の編成

Ⅰ　教育課程編成の基本方針

1　教育課程編成の原則

学校教育には、教育基本法にある教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。このため必要な教育の在り方を具体化するため、教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程の編成に努めなければならない。

2　学校における教育課程編成の意味

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

また、学校がその特色を生かして創意工夫を重ね、これまでの教育実践や校内研究の蓄積を生かしながら、児童や地域の現状や課題を捉え、家庭や地域社会と協力して、教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

3　教育課程編成の留意点

① 法令、新学習指導要領、県及び市の教育方針に則り、学校の教育目標の達成を目指す。

② 地域や学校の実態、児童の実態を考慮して、教育課程実施に当たっての重点事項を明確にする。

③ 教育課程の理念として「生きる力」を継承するとともに、言語活動と個別指導・グループ学習、繰り返し指導と補充的な学習の充実を図る。

④ 基礎的・基本的な内容の確実な定着と思考力・判断力・表現力を重視した指導の充実を図るとともに、教育課程の余剰時間については、重点教科に厚く配分し、指導内容の充実を図る。

⑤ 本校の教育目標「礼儀や節度を重んじ　やさしく　かしこく　たくましい飯塚っ子の育成」を実現するために、学校の全教育活動を通して、教職員と児童が一体となって努力する。

⑥ 全領域の調和を考慮しつつ、授業時数の確保を最優先とした教育課程の完全実施に努める。

⑦ 学校行事の精選に努め、視点を児童中心に据えてＰ・Ｄ・Ｃ・Ａの段階に生かす。

⑧ 人間尊重を基調とした人権・部落差別解消教育の視点を生かし、生徒指導が全教育活動に機能するように、教職員と児童相互の人間関係を深めるようにする。

Ⅱ　校区の概要

○　本校は、国東市の発足により、平成１８年３月３１日「国東市立国東小学校」となり、平成２１年度には上国崎小学校と、平成２４年度には豊崎小学校と、そして今年度より小原小学校・旭日小学校と統合し、新たな国東小学校としての歴史を刻みながら、創立１５３年を経過した。

○　校区は、国東市全域から見ればほぼ中央に位置している。両子山から放射状に広がる谷あいの沖積平野に裾長く続くなだらかな稜線に囲まれ、さらに広々とした紺碧の水をたたえる伊予灘に面し、光と緑の清新な大自然の中にある。

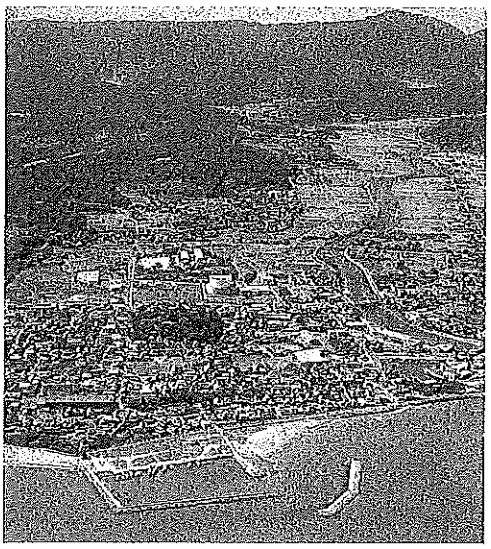
○　千数百年の歴史の重さを伝える古い「くにさき」の顔が、各地の史跡や岩陰に見られ、仏の里としての豊かな自然を保っている。企業誘致も行われてきたが、事業所の整理統廃合で若者が働く場は少なく、過疎化が進んでいる。

○　正平６年（１３５１年）に築城され、以後１０代２３０年にわたり田原氏の居城だった飯塚城の城址に建つ本校は、耕地面積２２，５９１㎡のゆったりとした面積を有し、東に桜八幡社、興導寺の台地、北は深く入り込んだ田深川をはさんで国東中学校を望み、南の台地には国東高校が隣接しており、静かな落ち着いたたたずまいの中にある。国東市の中心地として諸官庁も近在し恵まれた教育環境にある。

○　校区の保護者は、人情こまやかで伝統を重んじる「くにさきびと」と市の中心地として諸官庁や進出企業に勤務する転入者等が混在している。価値観の多様化がみられるが、互いに交流をもち、新しさを取り入れるとともに地域の人々の郷土を思いやる心と教育熱心さとが陰に陽に合流し、保護者会活動や社会教育活動等の自主的活動をとおして教育効果をあげている。

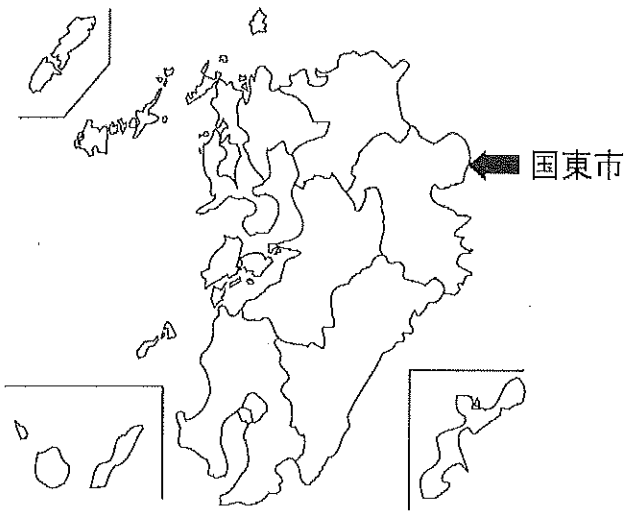
近年共働き家庭の増加にともない、保護者のニーズで放課後児童クラブを開設している。こども園との連携だけでなく、放課後児童クラブとも連携を深め、「飯塚っ子」の健全育成に当たっている。

＜校区の航空写真＞



（写真中央部が国東小学校）

＜国東市の位置＞



Ⅲ　学校教育計画　～学校運営全体構想～

1. 基本方針

教育関係諸法規並びに大分県・国東市教育委員会の方針に基づき、平和と人権尊重を基調とし、３地域の児童の実態と地域や保護者の願いを踏まえ、児童一人ひとりの可能性を最大限引き出し、全員が自己実現を図れるよう、思いやりのあるやさしい子ども（徳）、真実を見抜くかしこい子ども（知）、心身ともにたくましい子ども（体）の育成と、活力ある学校の創造をめざす。また、統合初年度にあたり、楽しく学び合う関係性を築き、お互いの児童にとって成長の機会となる統合をめざす。

2. 学校の教育目標

《児童の長所》
- 素直で優しい
- 人懐っこい
- 意欲的
- 学力が定着

学校の教育目標

地域を愛し、人を大事にし
自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

《児童の短所》
- 挨拶、礼儀、言葉遣い
- 人間関係
- 指示待ちの姿勢
- けじめや切り替え

めざす家庭像	めざす学校像	めざす児童像	めざす教職員像	めざす地域像
1. 会話のできる	1. 魅力ある学校	1. やさしい子	1. 向上心のある	1. あいさつのできる
2. 生活習慣の整った	2. 温かみのある学校	2. かしこい子	2. 協働を大切にする	2. 安全を見守る
3. 規範を教える	3. 信頼される学校	3. たくましい子	3. 児童理解に努める	3. 学校と協働する
⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
親が範を示せる 家庭	行きたくなる 学校	楽しく学び合う 児童	働きがいを感じる 教職員	学校を支える 地域

【家庭との連携・協働】
◇家庭学習の充実（宿題すませてすっきり登校）
◇生活習慣の育成（早寝・早起き・朝ごはん）
◇自力登校の徹底（たくましく歩いて自力登校）

本年度の重点

ICTの有効活用を図り、個別最適な学び・協働的な学びの推進

0　地域を愛する気持ちの醸成	
①地域の方々との触れ合い	■チャレンジタイム参加・学校ボランティア活用
②地域学習の充実	■地域の伝統文化（荒谷・七巻様等）継承
③地域行事への参加	■地域行事、公民館活動への積極的参加
1　豊かな《優しい》心の育成　（生活力向上プロジェクト）	
①挨拶運動の推進	■出会った人への挨拶の促進
②清掃活動の徹底	■時間いっぱい全力掃除
③いじめの未然防止	■助け合う絆づくり
④安全指導の徹底	■交通安全教室、情報モラル、通学路点検
2　確かな《真の》学力の向上　（学力向上プロジェクト）	
①授業の工夫・改善	■主体的・対話的で深い学び・教科担任制
②学習意欲の向上	■読書の推進及び図書館・地域人材の活用
③学習規律の徹底	■「くにさきっ子学習十カ条」の徹底
④家庭学習の徹底	■家庭学習重点週間の設定
3　健やかな《逞しい》体の育成（体力向上プロジェクト）	
①一校一実践の実施	■児童の課題に対応した一校一実践
②体育授業の充実	■基礎体力づくりタイムの導入と運動量の確保
③食育指導の推進	■食育授業の実施及び家庭との連携
④自力登校の推進	■保護者への啓発と児童への声かけ

■は具体的な方策

【地域との連携・協働】
◇学校運営協議会の活性化
◇地域教育力の活用（読み聞かせ・学びの教室・チャレンジタイム GT・学校支援ボランティア）
◇地域行事への積極的参加

3．学年目標

学　年	やさしい子	かしこい子	たくましい子
1　年	進んであいさつをして 人を大事にする子ども	学習規律を守り、自分の考えを 表現できる子ども	自分のからだを大切にして 運動する子ども
2　年	自分がされてうれしいこと を友だちにもできる子ども	自分の考えや友だちの考えを 大切にし　聞き合う子ども	元気に過ごす子ども
3年1組	他者との関りを大事にする 子ども	学習規律を身に付け 互いに学び合う子ども	学びを生活に活かす子ども
3年2組	自分のことも相手のことも 大切にできる子ども	自分で考え、最後まで粘り強く 取り組める子ども	楽しく運動に取り組める 子ども
4　年	自分と友だちを大切にする 子ども	学習規律を守り 意欲的に学ぶ子ども	学びを生活に活かす子ども
5　年	友だちを大切にする子ども	学習規律を守り、学び合う 子ども	学びを生活に活かす子ども
6　年	他者と自分を大事にする 子ども	学習規律を身に付け 互いに学び合う子ども	運動を楽しめる子ども
なかよし	学年をこえてあたたかい 言葉をかけあう子ども	自分でできる方法をみつけ 最後まで取り組む子ども	体を動かす楽しさを知り 心も体も健やかな子ども
えがお	周りの人にあたたかい言葉 をかける子ども	自分のよさや課題を受けとめ 最後まで取り組む子ども	運動の楽しさを知り、苦手なこ とにもチャレンジする子ども

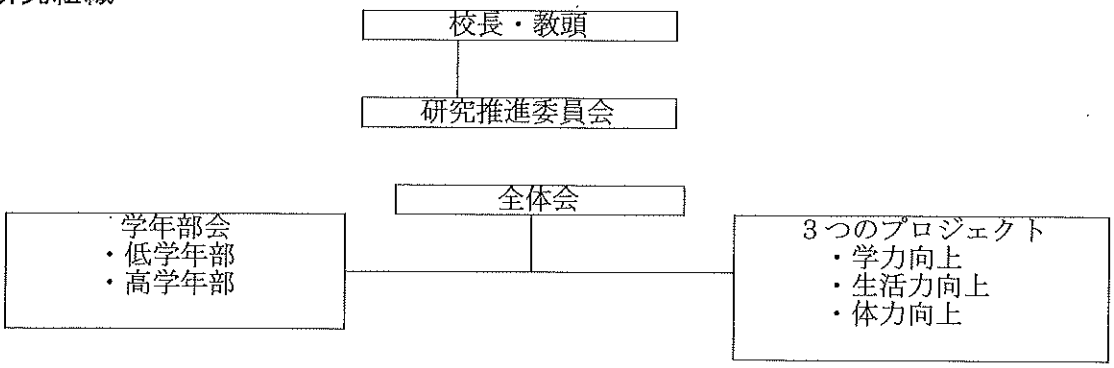
学級経営の充実；学校教育目標を達成するために、各学年・学級の目標や目標達成するための具体的な手だてを明らかにして計画的な学級経営に努める。

4．校内研究

（1）研究主題　　学びの自覚化を図る振り返りの充実
～全員参加の授業づくり～

（2）研究内容
・子どもの思考の流れに沿った必然性のある課題の設定
・学んだことを自覚するための「振り返り」を設定

（3）研究組織



（4）研究・研修計画

1学期	○昨年度の課題と今年度の方向性について　○子どもの実態の出し合い（見直し） ○研究主題・研究内容の設定　○授業アンケートの実施分析 ○実践をもとにした指導方法の工夫改善　○互見授業
2学期	○検証授業の指導案検討　○互見授業　○事後研究　○検証授業のまとめ ○成果と課題　○授業アンケートの実施分析　○学力調査の結果分析
3学期	○互見授業　○本年度の研究のまとめ ○授業アンケートの実施分析　○来年度に向けての方向性の確認

5．学級経営案

令和７年度 学級経営案 1年

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％（14／16）以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％（12／15）以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
・友だちや先生に元気にあいさつや返事ができる。 ・進んでありがとうを伝えることができる。 ・自分から進んであいさつをする児童は、少ない。 ・相手を大事に思うあいさつを学ぶ必要がある。	・学習や初めてのことに意欲的に取り組もうとする子どもが多い。 ・授業開始や終わりには、正しい姿勢であいさつができている。 ・時間を意識しての行動ができない。 ・友だちが話している時に、話を聞かず手遊びや自分のことをしている様子が見られる。 ・発表の仕方が身についていない。 ・読書をする児童が少ない。	・日頃から元気に勉強や遊びに参加する子どもが多い。 ・休み時間は、外で元気良く遊ぶ子どもが多い。 ・暑くなると、体を動かすことを嫌がる子どもがいる。 ・朝の登校が遅くなったり、昼を過ぎると、眠くなったりする児童がいる。 ・給食の残飯が多いことがある。

学級経営目標と取組指標

進んであいさつをして 人を大事にする子ども	学習規律を守り 自分の考えを表現できる子ども	自分のからだを大切にして 運動をする子ども
・あいさつの良さを授業で扱う。 ・挨拶についてのふり返りを帰りの会で行う。 ・配布物をもらう時、友だちから物を借りた時などに「ありがとう」を言うように指導する。担任がその手本になるようにする。 ・あいさつに加えて褒め言葉を１日の中で５人以上に伝える。	・発表の時は、「挙手をして、あてられたら返事をして立つ」を身につけさせる。 ・正しい姿勢や鉛筆の持ち方を保持できるように指導する。 ・丁寧にやり直しに取り組ませる。 ・ペアワークやグループワークで、多くの考えにふれさせる機会をつくり、話の話し方聞き方を定着させる。 ・読書を習慣化させる。	・レクリエーションで外での活動を行い、遊ぶ楽しさを学ばせる。 ・チャレンジタイムへの参加を促す。 ・家庭と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」を定着させる。 ・朝の会で、「ジャンプタイム」を毎朝実施する。 ・食育授業を積極的に行い、しっかりと食べることが、成長につながることを話していく。

令和７年度 学級経営案 2年

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％(14／16)以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％(12／15)以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
・「ありがとう」の一言を伝えることができる子が多い。 ・自分の意見を通そうとして、周りの友だちの話が聞けない子がいる。 ・仲の良い友だちと活動し、あまり関りがない子に積極的に関わろうとしない。 ・自分から進んであいさつができる子と、そうでない子の差がある。	・学習に意欲的で、発言する児童が多い。 ・話を最後まで聞いていない子が多い。	・外で遊ぶ子どもが多い一方で、運動が苦手で中遊びを好んでいる子もいる。 ・ルールを守らず、遊びが成立していないことがある。

学級経営目標と取組指標

・自分がされてうれしいことを友だちにもできる子ども	・自分の考えや友だちの考えを大切にし聞き合う子ども	・元気に過ごす子ども
・自分がされてうれしいあいさつ、声かけをしている子の良いところを共有する。 ・帰りの会の「ほかほかタイム」で、ペアの友だちのいいところを伝える時間を作る。 ・自分から進んであいさつをしている子を褒める。	・話を聞くときに、活動をやめて、話をしている人の方をしっかり見て聞くなど、聞き方を揃える。 ・授業では、「どうしてそうなったの？」と聞き返し、子どもたちの考えを大切する。 ・「うきうきタイム」で友だちの考えを聞くときには、うなずいたり、目を見て聞いたりすることの良さを伝える。 ・個に応じて声掛けをし、学力の定着を図る。	・外で元気よく活動する機会を増やし、積極的に一緒に遊ぶ。 ・遊びの誘い合いを推奨する。 ・子どもたちに、ルールやマナーを考えさせ、みんなが楽しい外遊びができるようにする。

令和７年度 学級経営案

3年1組

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％（14／16）以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％（12／15）以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
・友だちと仲良く関わることができる子どもが多い。一方で、自分の思いを言葉で伝えるよりも先に手が出たり、強い口調で伝えてしまったりする子どもがいる。 ・周りの様子をよく見ている子どもが多く、友だちの困りを察知して、助け合える雰囲気がある。 ・友だちの気持ちを考えずにちょっかいをかけたりふざけたりして、小さなトラブルが多い。	・学習に意欲的に取り組む子どもが多い。発表も意欲的にすることができる。 ・教師や友だちの話を静かに聞くことの集中力が続きにくく、つい話してしまったり、手遊びをしてしまったりする子どもがいる。 ・学力差が大きい。特に、「読むこと」「書くこと」に困りを抱えている子どもがいる。	・積極的に外遊びをする子どもが多い。 ・整理整頓や基本的生活習慣の定着について、個人差が見られる。

学級経営目標と取組指標

他者との関わりを大事にする子ども	学習規律を身に付け 互いに学び合う子ども	学びを生活に活かす子ども
・うきうきタイム（人間関係作りプログラム）の活動を通して、子ども同士が互いを認めたり、つながったりするきっかけづくりをし、自己肯定感の醸成を図る。 ・朝の会や帰りの会などを通して、具体的な子どもの姿を示しながら価値づけを行い、良さを広めるとともに、達成感や充実感を味わえるようにする。	・「目を見て　うなずき　最後まで」を合言葉に、話の聞き方の指導を徹底すると共に、友だちや教師の話を自分事として受け止めることの指導を継続的に行う。 ・ペアワークやグループワークを適宜取り入れ、自分の考えを述べたり、多様な考えに触れたりする機会を作る。 ・授業の終末において、学習内容や考えの変容、次の学びへの期待などの視点を示し、自己の学習を熟考できる「振り返り」の場を設定する。 ・授業中や宿題等で、子どもの学習の定着状況しっかり見取り、定着できてない部分は、個別指導を行う。	・学級通信や連絡帳・電話連絡を通して、基本的生活習慣の定着に向けた保護者の理解や協力を呼びかける。 ・学級会で外で遊ぶ日について話し合い、計画⇒実行⇒振り返りのサイクルを通して、みんなで楽しく遊ぶきっかけづくりとする。 ・朝の会での「ジャンプタイム」、体育の授業のはじめに「らんらんタイム」に取り組み、体力の向上に努める。

令和７年度 学級経営案

3年2組

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％(14／16) 以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％ (12／15) 以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
・優しい声かけができる児童が多く、困っている友だちを助けたり、頑張る友だちを応援したりする姿がみられる。 ・学級のための仕事を進んでする子どもと、してもらって当たり前と思っている子どもがいる。 ・命令口調や強い言い方になってしまうときがある。	・学習に対して意欲的に取り組む子どもが多い。発表も意欲的にすることができる。 ・人の話を聞くときに、手遊びをしたり、姿勢が崩れたりする子どもがいる。 ・考えをもっているが、まとめやふりかえりなどをかくときに、個別に支援しないと、文章に表現することがむずかしい子どもがいる。	・休み時間はほとんどの児童が元気に外で遊んでいるが、外に行かずに教室に残っている児童もいる。 ・体を動かす活動では、楽しみながら真剣に運動を楽しめる子どもが多い。

学級経営目標と取組指標

自分のことも相手のことも大切にできる子ども	自分で考え最後まで粘り強く取り組める子ども	楽しく運動に取り組める子ども
・毎日の帰りの会での「ほめほめタイム」で、友だちの頑張りやすてきな所を伝え合う場を設定し、認め合いの心を育てる。 ・気持ちのいいあいさつ「いつでも・どこでも・だれとでも」を合言葉に自分から進んでできるようにする。 ・学級の係のふりかえりの場を設定し、自分の仕事に責任をもつと共に、自分たちでよりよい学級づくりをしていく雰囲気づくりをする。	・人の話を大切に聴く（目を合わせて聴く、姿勢を整えて聴く、時にはうなずきながら聴く）ことを日々の生活の中で確認する。 ・授業では、「自己解決の場」と「ペア・グループでの伝え合いの場」を設定し、安心して自分の考えをもてるようにする。 ・	・学級会を活用して、みんな遊びの計画から実施、ふりかえりまでを子どもたちが主体となって進める場を設定し、外遊びに対して前向きな気持ちがもてるようにする。 ・朝の会ではジャンプタイム、体育の授業ではらんらんトレーニングを取り入れ、走力を高める。

令和７年度 学級経営案 4年

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％(14／16)以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％(12／15)以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
・自分の事だけでなく，困っている友だちを支えていこうとする子どもがいる。 ・友だちの頑張りを認め、素直に褒め合うことができる。 ・友だちとトラブルになった際に、「ごめんなさい」が言えない子どもがいる。	・学習に、意欲的に取り組もうとする子どもが多く、積極的に発表もできる。 ・授業中、良い姿勢が保てない子どもや発表者の話を最後まで聞けない子どもがいる。 ・集中して取り組むことができず、私語をしてしまう子どもがいる。	・休み時間に外で遊ぶ子どもが半数。 ・準備や行動に時間がかかり、時間を守れない子どもがいる。 ・自力登校ができている子どもが多い。 ・朝ごはんを食べていない子や、10時までに布団に入れていない子どもがいる。

学級経営目標と取組指標

自分と友だちを大切にする子ども	学習規律を守り、意欲的に学ぶ子ども	学びを生活に活かす子ども
・うきうきタイムでの人間関係作りプログラムや学級でのレクリエーションを通して、友だちの良さを認め合う雰囲気づくりを行う。 ・全員が「ありがとう，ごめんなさい」を自然と言えるように、教師がモデルになって生活する。 ・教師からの褒め言葉だけでなく、友だち同士でも褒め合ったり認め合ったりする機会を作る。	・けじめある行動や，メリハリのある取り組み方を継続できるようにする。 ・多様な考えや，いろいろな見方ができるように，ペアワークやグループワークでたくさんの考えに触れさせる機会をつくり、話の聞き方や話し方を定着させ，学びを深める。 ・話を聞くときのルールを作る。	・外遊びに教師も参加し、多くの子が外で元気いっぱいに体を動かすことができるようにする。 ・学級通信や連絡帳、電話連絡を通して、毎日朝食を採らせることや、２１時までに就寝させることを家庭に協力してもらう。

令和７年度 学級経営案

5年

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％(14／16)以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％(12／15)以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において、４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
・言葉で自分の気持ちを伝えることに課題を感じており、相手が傷つく言葉遣いをしてしまうことがある。 ・新しいクラスメイトに、進んで声をかけている子どもが多い。 ・自分の事だけでなく、困っている子どもを支えていこうとする子どもがいる。	・学習には、意欲的に取り組もうとする子どもが多く、積極的に発表もできる。 ・読書に集中できる子どもが多い。 ・授業中、良い姿勢が保てない子どもや発表者の話を最後まで聞けない子どもがいる。 ・集中して取り組むことに課題を感じる子どもがいる。	・係や日直の仕事を、責任をもって行う子どもが多く、周りの人のために動くことができる。 ・休み時間に外で遊ぶ子どもがたくさんいる。 ・準備や行動に時間がかかり、作業のとりかかりが遅い子どもがいる。 ・見通しを持ち計画的に取り組むことに課題を持つ子どもがいる。

学級経営目標と取組指標

友だちを大切にする子ども	学習規律を守り、学び合う子ども	学びを生活に活かす子ども
・うきうきタイムでの人間関係づくりプログラムや学級でのレクリエーションを通して、友だちの良さを認め合う雰囲気づくりを行う。 ・言われるとうれしい言葉を出し合い、１年間学級で使っていく言葉を共有し、意識させる。 ・「ありがとう、ごめんなさい」を含めたあいさつが自然とできるようにする。	・けじめある行動や、メリハリのある取り組み方を継続できるようにする。 ・ペアやグループでたくさんの考えに触れさせる機会をつくり、話の聞き方や話し方を定着させ、学びを深める。 ・集中が続くように、視覚支援を行い、活動を短いスパンで展開していく。	・学級通信や電話連絡を通して、基本的生活習慣の定着に向けた保護者の協力を呼びかける。 ・帰りの会で係などからお知らせを共有する時間を設定する。 ・朝の会で「ジャンプタイム」を設け、年間を通して体づくりを行う。 ・見通しが持てるように授業のはじめに流れを提示し確認する。

令和７年度 学級経営案

6年

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％(14／16)以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％(12／15)以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
・友だちと仲良く関わることができる子どもが多い。一方で、友だち関係の固定化が進み、多様な他者と関わろうとする意識が薄い。 ・「ありがとう・ごめんなさい」など、相手を大事に思う挨拶は自然とできるが、礼儀としての挨拶は自分からしようとする意識が薄い。 ・係や委員会の仕事を自主的に取り組もうとする姿が見られるが、集団の中で、どのように行動したらいいかを自分で考えて行動に移す姿には至っていない。	・学習には意欲的に取り組む子が多い。 ・自分の考えを持つことはでき、少人数の中では意見の交流をすることができるが、全体の場で自分の考えを発表することに抵抗感を持っている子どもがいる。 ・友だちや教師の話を落ち着いて聞くことや、相槌等の反応を示しながら聞いたり、自分事として捉えたりする姿には至っていない。	・積極的に体を動かす子どもと、そうでない子どもの差がみられる。 ・整理整頓や基本的生活習慣の定着について、個人差が見られる。

学級経営目標と取組指標

他者と自分を大事にする子ども	学習規律を身に付け 互いに学び合う子ども	運動を楽しめる子ども
・朝の会や帰りの会などを通して、具体的な子どもの姿を示しながら価値づけを行い、良さを広めるとともに、達成感や充実感を味わえるようにする。 ・うきうきタイム（人間関係作りプログラム）やありがとうの木などの活動を通して、子ども同士が互いを認めたり、つながったりするきっかけづくりをし、自己肯定感の醸成を図る。 ・毎日のさんきゅータイムで、友だちの輝いていた行動を褒める時間を作り、自己肯定感を高める。	・話をきく３段階（聞く・聴く・訊く）を示し，質問ができるような「訊く」ができるように，手を止めて話している人に意識を向けてきくことができるようにする。 ・すばやく書くことができるように，Ｋタイムなどで練習を繰り返す。 ・授業の中で必ず，ペアワークやグループワークを適宜取り入れ、自分の考えを述べたり、多様な考えに触れたりする機会を作る。 ・自分に合った学びのスタイルを見つけることができるように，自学ノートに取り組んだり，友達の自学の取り組み方を提示したりする。	・学級通信や連絡帳・電話連絡を通して、保護者との関係を築き，協力して子どもを育てていけるようにする。 ・天気の良い日や体調が悪くなければ外で遊ぶようにする。また，週１で学級レクの時間（水曜の昼）を中心に、みんなで体を動かす場を設定する。 ・体幹強化トレーニング（全校での取り組み）を朝の会に設定し、年間通して体づくりを行う。

令和７年度 学級経営案

なかよし学級

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％(14／16)以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％（12／15）以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
（２３５年） ・気持ちを言葉にするのに時間がかかる。挨拶は促すとできるものの、相手に伝わらないことがある。 ・相手の状況や気持ちに配慮するのは難しい。 （４６年） ・なかよし学級を利用する児童に対してあたたかく受け入れることができている。 ・なかよし学級で作業をするときには、互いを意識したり、声をかけて手を貸したりすることができている。	（２年①５年） ・国語は本人の実態に応じた内容を履修している。 （２年②３年４年） ・学習に意欲的だが、自信のなさを示すことがある。見通しが立たなかったり、わからないことがあったりするとぼーっとしたり（２年４年）、動きまわったり（３年）することがある。 （６年） ・学習に意欲的に取り組む。学んだことを活用したり、長期的に記憶したりすることには支援が必要。	（２年①５年） ・体を動かすことが好きで、休み時間も積極的に外で遊ぶ。 （２年②３年４年） ・身体意識が弱く、動きがぎこちない。目で見た情報を身体運動に変えて表すことが難しい。 ・体を動かすことがあまり好きではない（２年４年）。 （６年） ・協調運動障害があり、特に粗大運動が難しい。注意集中が弱く運動をすぐにやめてしまう。

学級経営目標と取組指標

学年をこえてあたたかい言葉をかけあう子ども	自分でできる方法をみつけ、最後まで取り組む子ども	体を動かす楽しさを知り、心も体も健やかな子ども
・定型の挨拶を使い、児童にも使わせる（毎日）。具体的な場面を設定し、とっさに声を出すことに慣れさせる。定型の気持ちを表現する文を使い、気持ちを表現する練習を生活単元学習の時間に行う（週に１回以上）。 ・国語科や読み聞かせ、ソーシャルスキルトレーニングを通して挨拶の必要性や大切さを考えさせる。挨拶に慣れてきたら、自身の生活を振り返らせる。 ・生活単元学習では、互いにコミュニケーションを取り合い、ペアでの話し合い活動や、よさを認め合う活動を取り入れる。	・学習の流れを視覚化し、自分で取り組ませる。計算問題や復習などを流れのなかに組み込み、長期記憶を図る（毎日、毎時間）。 ・個に応じた学習やトレーニングを作り，スモールステップで学習を組む（毎日）。 ・漢字は少量ずつ進め、ICT を活用しながら学習を自分で進められるようにする。ノート視写を宿題に取り入れ、定着を図る（毎日）。 ・お金の種類やおつりが出る／出ないように買う方法、時計の読み方、数の大小など、生活単元学習の時間を使って生活に必要な知識や技能を身に着けさせる。	・学習サーキットを通じて、身体感覚を養う活動（ビジョントレーニングや微細運動・粗大運動）を取り入れる（低・中学年／毎日）。 ・生活単元学習では、身体感覚を使う活動を取り入れる（週１回）。 ・生活単元学習（野菜育てなど）を通して、季節の変化に触れさせる。 ・保護者と連携し、一人ひとりの心身の健康管理（早寝早起き・朝ごはん）に取り組む。 ・体温調節の方法（水分補給や排泄，着衣など）を身に着けさせることができるような環境（着替えの準備など）を整える。

令和７年度 学級経営案

えがお学級

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動できる国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

めざす児童像と達成指標

やさしい子	かしこい子	たくましい子
＜達成指標＞ ① 児童アンケートにおいて「相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）をすすんでする」で「いつもできている」と回答する児童の割合を６２％以上にする。	＜達成指標＞ ① 単元テスト（国・算・理）において学年目標値を上回る学年別教科別の割合を８７．５％(14／16) 以上にする。 ② 国東市学力調査で全国の平均正答率を上回る割合を８０％ (12／15) 以上にする。	＜達成指標＞ ① 新体力テストの５０ｍ走において，４月より記録が伸びた児童の割合を６０％以上にする。

学級の実態

やさしい子	かしこい子	たくましい子
（３年） ・周りの友だちと一緒に楽しみながら作業や集団活動に参加しようとしている。 （４年） ・自分のしたいことや、自分の思いだけで一方的に話す傾向がある。 ・気持ちを言葉にして伝えることが苦手。	（３年） ・昨年度末から、あまり登校できていないため、学習が遅れている。 （４年） ・読書と学習の時間の切り替えができないときがある。 ・苦手意識があったり、興味がなかったりすると学習に参加しない。	（３年） ・早寝早起き朝ごはんについて、保護者と連携しながら、元気に登校できるよう支援が必要な場合がある。 （４年） ・姿勢の保持が難しい。 ・体を動かすことに苦手意識をもっている。

学級経営目標と取組指標

周りの人に あたたかい言葉をかける子ども	自分のよさや課題を受けとめ 最後まで取り組む子ども	運動の楽しさを知り 苦手なことにもチャレンジする子ども
① えがおタイムで、ソーシャルスキル等の協力して活動できる場を設定し、他者の気持ちを気づいたり折り合いをつけたりすることを学べるようにする。 ② 困っている人には、声をかけたり手を貸せるようにする。一緒にできることやしてあげたいことなど、それぞれの思いを尊重していく。	① １日の流れと、活動内容を確認し、見通しをもって安定して過ごせるようにする。 ② 個に応じたスモールステップで学習をすすめる。 ③ 得意なことを伸ばし、自信につなげる。	① 交流学級の担任や保護者と連携しながら、始業時間に間に合うように登校できるよう、規則正しい生活リズムを支援していく。 ② 遊びの機会を増やすことで、運動することの楽しさに気づくことができるようにする。

6．　学校評価年間計画

	学校・教職員	保護者・地域	児童	学校運営協議会委員
4月	○学校評価の4点セットの作成 ○重点目標・自己評価の項目等の設定 ○学校運営協議会の設置	○学年始め保護者会 「授業参観」		
5月	○授業改善計画、各種プラン作成 ○第1回学校運営協議会開催	○第 1 回学校運営協議会参加 ○運動会参加		○第1回学校運営協議会参加
6月		○保護者アンケート ○1学期末保護者会 「授業参観」	○児童 アンケート	
7月	○1学期自己評価実施 ○単元テストの分析・考察			
8月	○全国学力調査（6年）大分県学力調査（5年）の分析・考察 ○自己評価・保護者アンケート・児童アンケートの集約と分析 ○第2回学校運営協議会開催 ○学校評価書中間評価 ＊課題解決に向けて以降の改善策の検討	○第 2 回学校運営協議会参加		○第2回学校運営協議会参加
9月	○改善策を取り入れた取り組みの実施	○保護者アンケート結果公表		
10月				
11月		○保護者アンケート ○2学期保護者会 「授業参観」	○児童 アンケート	
12月	○2学期自己評価実施 ○第3回学校運営協議会開催 ○自己評価・保護者アンケート・児童アンケートの集約と分析 ○単元テストの分析・考察	○第 3 回学校運営協議会参加		○第3回学校運営協議会参加
1月	○自己評価の結果及び今後の改善策について			
2月	○改善策を取り入れた取り組みの実施 ○改善策に基づく次年度の重点目標及び具体的取り組みの検討及び準備	○保護者アンケート ○第 4 回学校運営協議会参加	○児童 アンケート	○第4回学校運営協議会参加
3月	○第4回学校運営協議会開催 ○学校評価書の講評　市教委への報告	○保護者アンケート公表 ○学校評価書公表		

Ⅳ　本校の特色ある学校づくり

１　３つのプロジェクトチームによる重点目標設定

本校では、喫緊の教育課題の解決に向けて「学力向上」「体力向上」「生活力向上」の３つのプロジェクトチームを校務分掌に位置づけ、全教職員が参加して、児童の課題解決に向けた重点目標及び具体策を提示して取り組んでいる。

（１）確かな学力の向上の取り組み　―　「学力向上推進」プロジェクトチーム

①授業改善５点セットの徹底

全教職員が、授業改善５点セット（学力向上プランに記載）の取組指標等を取り入れた授業実践を行い、自己の授業改善を図る。

②個に応じた指導時間の確保と充実を図り、活用力を高める取り組みを推進

子どもの実態を加味しながら、それぞれの子どもが力を伸ばしていけるよう、Kタイム（個別補充学習）を複数体制で指導する。

③学ぶ意欲を引き出す課題の設定

学級担任や教科担任は、既習事項から発展していく問いなど、子どもの学ぶ意欲を引き出す必然性のある課題を子どもたちの発言をもとに設定する。

（２）日常的な体力向上の取り組み　―　「体力向上推進」プロジェクトチーム

体育授業の充実と基礎体力づくり

全学年で、体育の授業の際に走力を向上させる運動を取り入れたトレーニングに取り組む。

一校一実践の推進

体育の授業以外で日常的に体力向上に向けた取り組みを継続して実施する。

（３）豊かな心の育成をめざす取り組み　―　「生活力向上推進」プロジェクトチーム

相手の気持ちを考えながら人と関わろうとする態度の育成

児童会や人権委員会を中心に相手を大事に思うあいさつ（ありがとう・ごめんなさいを含める）に関する取組を実施し、子どもの様子を見取り価値づける。

※家庭・地域との連携に向けた取り組み

①「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の習慣化

「家庭学習の手引き」を年度当初家庭に配付し、家庭と連携しながら、家庭学習の習慣化を図る取り組みを進める。今年度も、６月と１０月に重点期間を設けて、学年に応じた家庭学習の仕方を身につけるようにする。

②読み聞かせボランティア（隔週木曜日８時１５分から）との連携

保護者や地域の方々による「読み聞かせボランティア」が、各学年の教室に出向き、絵本の読み聞かせ活動を行っている。読書に対する興味関心の喚起や感性の醸成を目指すとともに、地域の方々との関わりの場の一つとなっている。

③多様な体験活動を実現するクラブ活動（年間４回　月曜日に６０分間で実施）

茶道、生け花、バドミントン、デザイン、昔の遊び、パソコン、軽スポーツ、百人一首・・・地域の達人がクラブを開設し、４，５，６学年の全児童が、いずれかのクラブで指導を受けている。

④学びの教室（毎週水曜日）との連携

学びの学習サポーターとの話し合いを通して、個々の学力の状況を共有し、個別の課題作り等に生かしてもらうよう連携を深める。

⑤保護者との連携

情報モラル（ゲーム・スマートフォンの使い方）の約束を親子で守る。

2　教科担任制を導入した授業

教科担任制を導入することにより、今年度は５・６年生において担任と担任以外の４人で、国語・算数・理科・社会・体育・家庭科・外国語を中心に担当し、教科の専門性に基づく、指導方法の工夫改善による学習指導の充実を図り、授業を行っていく。１つの学級を複数の教員で担当し、多面的・多角的な児童理解に基づく組織的、協力的な指導を行うことで生徒指導の充実も図る。

また、中学校への移行を見越し、学級担任間の交換授業を行うことにより、中学校への円滑な移行のためのアプローチプログラムの充実を図ること等を目的とする。

Ⅴ　教科・領域別指導における指導の重点

１　教科指導

わかる・できる授業の創造を目指し、基礎的・基本的な内容を重視し、子ども一人ひとりに生きる力としての学力を身につけさせ、個性を伸ばす教育活動を進める。

２　道徳教育

「特別の教科　道徳」の時間を「要」として、学校の教育活動全体を通じて行う。道徳教育推進教師を中心とした指導体制の確立、体験活動を生かす工夫、道徳的実践力の育成を図る。

３　特別活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

４　総合的な学習の時間

自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力や態度を育て、自己の生き方について考えることができるようにする。

５　外国語活動

３・４年生において、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験させる。また、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方を知るようにする。

６　生徒指導

いじめ等の問題行動については、小さなサインを見逃さず、全職員で対応する。子ども一人ひとりが自己存在感を味わえ、自己決定の喜びが保障された、楽しく規律ある学校生活が送れるように努める。

７　人権教育

人権教育の重要性について共通理解を図り、人権にかかわる差別や偏見に気づき、「しない」「させない」「許さない」態度を養う。

人権教育の視点を明確にしながら、学校生活のあらゆる場で実践する。

平和授業をとおして、平和な社会の形成者として、平和の尊さや生命の尊厳について理解し、実践力のある子どもを育てる。

８　特別支援教育

それぞれの子どもの発達における困難に応じて、個別の指導計画を作成し、家庭と連携しながら、支援を行う。どの子どもにも「生きる力」となる学力を保障するとともに、発達に大きな偏りがある子どもに対する理解を深め、自立と社会参加をめざす。

９　保健教育・学校安全教育

よりよい心身のあり方を学ばせ、自らの努力によって健康安全を保持促進し、健康で幸福な生活を切り開いていく実践力を身につける。男女の性や特性の違い、生命誕生のしくみについて理解し、生命やお互いの人権を尊重しあう子どもを育てる。

１０　統計教育

統計処理の大切さを実感し、基本的な知識・技能を学習することをとおして、各教科、領域、日常生活の中で積極的に活用しようとする姿勢を育てる。

１１　環境教育

環境に目を向け、公害を見抜き、自分たちの健康や生活・社会について考える子どもを育てる。

１２　視聴覚教育

一人ひとりがマルチメディアを主体的に選択し、活用する態度を育てるとともに、個々の能力に応じた調べ方・情報のまとめ方・発表や意見の仕方をとおして、自発的な課題解決能力を育てる。

１３　図書館教育

本に親しみ、豊かな心をもつ子どもを育てるとともに、自ら学び、主体的に解決する学習を進める際に図書館を有効に活用することができる。

１４　福祉・ボランティア教育

福祉やボランティアに関する諸活動の体験をとおして、身の回りや社会の中の課題に目を向け、人とのかかわりの中で自発的に行動していく姿勢を育てる。

１５　国際理解教育

交流体験学習や自国文化理解・異国文化理解等の学習をとおして、他者を受け入れる寛容な心がはぐくまれ、表現力は豊かで、地域や世界に物事を考えることができる。

１６　情報教育

情報手段を具体的に活用することによって、情報の収集・選択・発信といった情報活用能力を身につけ、情報モラルの必要性や情報に対する責任などについて考えることができるようにする。

１７　キャリア教育

様々な職業に関心を向け、働くことの大切さを知るとともに、進んで働こうとする意欲や態度を育てる。また、将来の夢や希望を持ちながら日々を計画的に生活しようとする意欲や態度を育てる。

１８　食育

準備や後かたづけ、楽しく食べる工夫をとおして、好ましい人間関係や食事のマナーを身につけるとともに、食に関する知識を習得させ、体づくり、体力づくりを図るとともに、食に関する関心を高める。

Ⅵ 教育課程編成の構想・配慮事項

１　授業時数及び単位時間

年間授業数については、３５週（第１学年については３４週）以上にわたって行う。また、１単位時間については４５分を常例とし、各教科等の年間授業時数を確保しつつ、児童の発達段階及び各教科等や学習活動の特質を考慮する。

なお、日課表は学期毎に見直し、授業時数の確保に努める。そのため、学校行事の精選や運用の改善に努める。

また、０校時を工夫して、うきうきタイム（人間関係づくりプログラム）、ブックタイム（読書）やＫタイム（補充学習）、読み聞かせ活動・集会活動を行う。今年度は毎週水曜日にぶくぶくタイム（フッ化物洗口）を設定し、歯と口の健康づくりに向けた取り組みを推進する。さらに、金曜日朝の時間を「Ｋタイム」として位置付け、担任を中心に、漢字や読解、計算指導などの基礎学力定着や補充学習を行う。

２　教科指導について

① 各教科での指導内容の基礎・基本的事項を明確にして、指導計画に記述する。

② 楽しくわかる・できる授業を創造し、個に応じた学習計画を工夫する。

３　道徳教育について

①「特別の教科　道徳」の時間を要として他の教科、学校行事、日常生活の中など学校の教育活動全体を通じて指導を行いながら、より実践的な道徳規範の育成を図る。

②道徳教育推進教師を推進役に学校全体で組織的に取り組み、深化するような授業を工夫する。また、心を育てる体験活動を活用する。

４「総合的な学習の時間」の実施について

①年間授業時数は７０時間とする。
②児童の興味関心にもとづく課題、地域や学校の特色に応じた課題が設定できるよう体験活動を工夫する。
③探求的な学習、協同的な学習などを計画的に指導する。

5　外国語活動について

３・４年生において実施し、外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標とする。

6　特別活動について

①各活動（児童会活動、クラブ活動、学級活動）、学校行事等をとおして、学校生活をよりよくするための自主的、実践的な力を育成する。
②各教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連を図りながら、より実践的な力を育成する。

7　授業改善について

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次の①から③までに掲げる事項の実現を図り、児童に生きる力を育むことを目指す。

①基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。
②道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める。
③学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。

①から③までに掲げる事項の実現を図り、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待させる児童に、生きる力を育むことを目指すにあたっては、学校教育全体並びに各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする。その際、児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにする。

（１）知識及び技能が習得されるようにすること。
（２）思考力、判断力、表現力等を育成すること。
（３）学びに向かう力、人間性等を涵養すること。

8　教育課程の編成・実施について

児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（カリキュラムマネジメント）に努める。

9　生徒指導について

日頃から学級経営の充実を図り、教師と児童の信頼関係及び児童相互の人間関係を育てるとともに児童理解を深め、生徒指導の充実を図る。

10　キャリア教育について

各教科等の指導にあたっては、児童が学習課題や活動を選択したり、自らの将来について考えたりする機会を設けるように工夫する。

11　個別最適な学びについて

各教科等の指導にあたっては、児童が学習内容を確実に身につけられるよう、学校や児童の実態に応じ、個別指導やグループ学習を取り入れるとともに、ＴＴや習熟度を加味したコース別学習など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図る。

12　特別支援教育について

特別支援が必要な児童については、児童の実態に応じ、指導方法や指導体制を工夫改善する。なかよし学級・えがお学級の指導にあたっては、教師間の連携に努め、効果的な指導を行う。

13　ＩＣＴの活用について

各教科の指導にあたっては、児童がタブレットやインターネットなどの情報通信手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動を充実させるとともに、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図る

14　図書館教育について

学校図書館、少人数教室等を計画的に利用し、その機能の活用を図るとともに、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させる。

15　検証・評価・改善について

児童のよい点や進歩の状況などを指導のプロセスを重視ながら評価するとともに、指導の改善を行い、学習意欲の向上に努める。

16　家庭・地域との連携について

地域とともにある学校づくりを進めるため、学校運営協議会を有効に活用するとともに、地域や学校の実情に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど、家庭や地域社会との連携を深める。また、近隣こども園、中学校などとの連携や交流を図るとともに、障がいのある児童や高齢者などとの交流の機会を設ける。

Ⅶ　指導計画作成上の留意事項

次の事項に配慮しながら、創意工夫を生かし、全体として調和のとれた具体的な指導計画を作成する。

1　各教科等の指導内容については、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、そのまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む効果的な指導ができるようにする。

2　各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにする。

3　学年の内容を２学年まとめて示した教科及び外国語活動については、当該学年間を見通して、児童や学校、地域の実態に応じ、児童の発達の段階を考慮しつつ、効果的、段階的に指導するようにする。

4　児童の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、児童の発達の段階や指導内容の関連性等を踏まえつつ、合科的・関連的な指導を進める。

5　実践の中での留意事項等をその都度記入し、今後に生かすようにする。

Ⅷ　各教科・領域の指導目標

1　国語科目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　日常生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2)　日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を養う。

(3)　言葉がもつよさを認識するとともに，言語感覚を養い，国語の大切さを自覚し，国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2　社会科目標

社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1)　地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに，様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2)　社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

(3)　社会的事象について，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

3　算数科目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに，日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

(2)　日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

(3)　数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き，学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度，算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

4　理科目標

自然に親しみ，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　自然の事物・現象についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるよう

にする。
(2) 観察，実験などを行い，問題解決の力を養う。
(3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

5 生活科目標

具体的な活動や体験を通して，身近な生活に関わる見方・考え方を生かし，自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 活動や体験の過程において，自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わり等に気付くとともに，生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
(2) 身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，自分自身や自分の生活について考え，表現することができるようにする。
(3) 身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

6 音楽科目標

表現及び鑑賞の活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに，表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 音楽表現を工夫することや，音楽を味わって聴くことができるようにする。
(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに，音楽に親しむ態度を養い，豊かな情操を培う。

7 図画工作科目標

表現及び鑑賞の活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに，材料や用具を使い，表し方などを工夫して，創造的につくったり表したりすることができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ，表したいこと，表し方などについて考え，創造的に発想や構想をしたり，作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い，豊かな情操を培う。

8 家庭科目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して，生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 家族や家庭，衣食住，消費や環境などについて，日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し，様々な解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなど，課題を解決する力を養う。
(3) 家庭生活を大切にする心情を育み，家族や地域の人々との関わりを考え，家族の一員として，生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

9　体育科目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を見付け，その解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに，基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

(2)　運動や健康についての自己の課題を見付け，その解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

(3)　運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，楽しく明るい生活を営む態度を養う。

10　外国語目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて，日本語と外国語との違いに気付き，これらの知識を理解するとともに，読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2)　コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり，語順を意識しながら書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

(3)　外国語の背景にある文化に対する理解を深め，他者に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

11　道徳目標

第１章総則の第１の２の(2)に示す道徳教育の目標に基づき，よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

12　外国語活動目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ，外国語による聞くこと，話すことの言語活動を通して，コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　外国語を通して，言語や文化について体験的に理解を深め，日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに，外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

(2)　身近で簡単な事柄について，外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

(3)　外国語を通して，言語やその背景にある文化に対する理解を深め，相手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

13　「総合的な学習の時間」目標

探究的な見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，よりよく課題を解決し，自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2)　実社会や実生活の中から問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

(3)　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

14　特別活動目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1)　多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。

(2)　集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。

(3)　自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，自己の生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

Ⅸ　年間授業時数計画

１．生活時間表

水・金曜日

始　　業	８：１５～
朝の活動	８：１５～　８：２５
朝　の　会	８：２５～　８：３５
１時間目	８：３５～　９：２０
２時間目	９：２５～１０：１０
中　休　み	１０：１０～１０：２５
３時間目	１０：２５～１１：１０
４時間目	１１：１５～１２：００
給　　食	１２：００～１２：４０
昼　休　み	１２：４０～１３：２０
そ　う　じ	１３：２５～１３：３５
５時間目	１３：４０～１４：２５
帰りの会	１４：２５～１４：３５
下　　校	１４：４０

月・火・木曜日

始　　業	８：１５～
朝の活動	８：１５～　８：２５
朝　の　会	８：２５～　８：３５
１時間目	８：３５～　９：２０
２時間目	９：２５～１０：１０
中　休　み	１０：１０～１０：２５
３時間目	１０：２５～１１：１０
４時間目	１１：１５～１２：００
給　　食	１２：００～１２：４０
昼　休　み	１２：４０～１３：２０
５時間目	１３：２５～１４：１０
６時間目	１４：１５～１５：００
帰りの会	１５：００～１５：１０
下　　校	１５：１５

２．週行事・月行事等

曜日	週　行　事	月　行　事
月	うきうきタイム（８：１５～８：２５） 職員暮会　（１６：００～）	委員会活動（第１週） クラブ活動
火	学級タイム　（８：１５～８：２５）	
水	ぶくぶくタイム（８：１５～８：２５） 研修・会議　（１５：００～１６：３０）	プロジェクト会議（第１週） 校内研修　（第２週） 職員会議　（第３週） 運営委員会　（第４週）
木	読み聞かせ　/　全校集会 （８：１５～８：２５）	
金	Ｋタイム　（８：１５～８：２５）	

＜定例月行事＞

○安全点検日２０日　○交通指導日（地区）１・２０日　○授業公開日　行事と兼ねる

＜学期単位の行事＞

○身体測定　○避難訓練　○服務規律研修

3. 令和7年度 国東小学校学校行事年間指導計画

目　的			全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団の所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。							
月	(1)儀式的行事	時数	(2)文化的行事	時数	(3)健康安全・体育的行事	時数	(4)旅行・集団宿泊的行事	時数	(5)勤労生産・奉仕的行事	時数
4	歓迎式始業式 入学式リハーサル 入学式 欠課1～6年(2)	2 1 2			身体測定視力検査 内科検診 聴力検査1235年1	1 1	歓迎遠足 (1年生を迎える会)	5	入学式掃除 入学式準備片付け 5，6年2 欠課2年(1)3・4年(2)	1
5					運動会(予行含) 心臓検診1年 1	8			校庭美化作業	
6	欠課(保護者会) 3年～6年(1)		芸術文化公演	2	避難訓練 歯科検診 交通安全教室(1，3年) 2 プール掃除(6年)1 (プール開き)	1 1				
7	終業式	1			(プール納め)		マリンスポーツ(4年)5		大掃除	1
8	始業式 欠課1～3年1，4～6年2	1			身体測定	1				
9							修学旅行(6年)12			
10							ふれあい遠足 宿泊訓練(5年)12	5		
11	欠課(保護者会) 3～6年(1)		芸術文化公演	2						
12	終業式	1			避難訓練	1			大掃除	1
1	始業式 欠課3～6年(1)	1			身体測定	1				
2					避難訓練	1			6年美化作業 2	
3	卒業式リハーサル 卒業式 修了式 欠課(卒業式準備・保護者会) 1，2年(2) 3・4・5年(3) 6年(4)	1 2 1					卒業生を送る会	1	卒業式掃除1～5年1 卒業式準備 5年 2	
合　計		13	合計	4	合計	16	合計	11	合計	3
総行事・欠課時数		1年(57) 2年(55) 3年(62) 4年(65) 5年(75) 6年(75)								
児童会・クラブ活動の時数(別枠 月曜日の6校時)		5，6年 委員会 月1回×11＝11		4年～6年 クラブ 年間4回 1×4＝4						
年間授業可能時数(40週)		1年 1015時間		2年 1071時間		3年 1115時間		4～5年 1151時間 6年 1140時間		
各教科の可能授業時数		1年1015－57＝958		2年1071-55＝1016		3年1115-62＝1053		4年1082 5年1062 6年1050		

(1) 儀式的行事	学校生活に有意義な折り目をつけ、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動、特に入学式や卒業式においては国旗を掲揚するとともに国歌を斉唱する
(2) 文化的行事	平素の学習活動の成果を生かし、その向上の意欲を一層高めるものであり、教育の中立性の観点から適切と認められる活動
(3) 健康安全・体育的行事	心身の健全な発達を理解し、安全で規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上に資する活動
(4) 旅行・集団宿泊的行事	平素と異なる生活環境で、見聞を広め、自然や文化に親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについて望ましい体験を積むことができる活動
(5) 勤労生産・奉仕的行事	勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職業や進路に関わる啓発的な体験が得られるとともに、社会奉仕の精神を養う体験が得られる活動

【指導計画の作成と内容の取扱いについて】

1 指導計画の作成について
- 学校の創意工夫を生かすとともに、学校の実態や児童の発達段階を考慮
- 児童会・クラブ活動を別枠で実施

2 内容の取り扱いについて
- 学校や地域、児童の実態に応じて、各行事の内容を重点化し、行事間の統合等を図り精選

4. 令和7年度 国東小学校年間授業時数計画表

学年	教科	科目	選択区分	授業形態	実施計画時数		標準時数	
1年	国語科（書写）		必修	クラス別	364	(書34)	306	(書34)
	算数科		必修	クラス別	186		136	
	生活科		必修	クラス別	102		102	
	音楽科		必修	クラス別	68		68	
	図画工作科		必修	クラス別	68		68	
	体育科		必修	クラス別	102		102	
	道徳		必修	クラス別	34		34	
	特別活動	学級活動	必修	クラス別	34		34	
				計	958	計	850	

学年	教科	科目	選択区分	授業形態	実施計画時数		標準時数	
2年	国語科（書写）		必修	クラス別	355	(書35)	315	(書35)
	算数科		必修	クラス別	200		175	
	生活科		必修	クラス別	105		105	
	音楽科		必修	クラス別	70		70	
	図画工作科		必修	クラス別	70		70	
	体育科		必修	クラス別	105		105	
	道徳		必修	クラス別	35		35	
	特別活動	学級活動	必修	クラス別	35		35	
				計	975	計	910	

学年	教科	科目	選択区分	授業形態	実施計画時数		標準時数	
3年	国語科（書写）		必修	クラス別	285	(書35)	245	(書35)
	社会科		必修	クラス別	70		70	
	算数科		必修	クラス別	208		175	
	理科		必修	クラス別	90		90	
	音楽科		必修	クラス別	60		60	
	図画工作科		必修	クラス別	60		60	
	保健体育科	保健体育	必修	クラス別	105		105	
	道徳		必修	クラス別	35		35	
	特別活動	学級活動	必修	クラス別	35		35	
	総合的な学習の時間		必修	クラス別	70		70	
	外国語活動		必修	クラス別	35		35	
				計	1053	計	980	

学年	教科	科目	選択区分	授業形態	実施計画時数		標準時数	
4年	国語科（書写）		必修	クラス別	279	(書35)	245	(書35)
	社会科		必修	クラス別	90		90	
	算数科		必修	クラス別	208		175	
	理科		必修	クラス別	105		105	
	音楽科		必修	クラス別	60		60	
	図画工作科		必修	クラス別	60		60	
	保健体育科	保健体育	必修	クラス別	105		105	
	道徳		必修	クラス別	35		35	
	特別活動	学級活動	必修	クラス別	35		35	
	総合的な学習の時間		必修	クラス別	70		70	
	外国語活動		必修	クラス別	35		35	
				計	1082	計	1015	

学年	教科	科目	選択区分	授業形態	実施計画時数		標準時数	
5年	国語科（書写）		必修	クラス別	195	(書32)	175	(書32)
	社会科		必修	クラス別	100		100	
	算数科		必修	クラス別	201		175	
	理科		必修	クラス別	105		105	
	音楽科		必修	クラス別	50		50	
	図画工作科		必修	クラス別	50		50	
	家庭科		必修	クラス別	60		60	
	保健体育科	保健体育	必修	クラス別	90		90	
	道徳		必修	クラス別	35		35	
	特別活動	学級活動	必修	クラス別	35		35	
	総合的な学習の時間		必修	クラス別	70		70	
	外国語		必修	クラス別	70		70	
				計	1061	計	1015	

学年	教科	科目	選択区分	授業形態	実施計画時数		標準時数	
6年	国語科（書写）		必修	クラス別	190	(書32)	175	(書32)
	社会科		必修	クラス別	105		105	
	算数科		必修	クラス別	195		175	
	理科		必修	クラス別	105		105	
	音楽科		必修	クラス別	50		50	
	図画工作科		必修	クラス別	50		50	
	家庭科		必修	クラス別	55		55	
	保健体育科	保健体育	必修	クラス別	90		90	
	道徳		必修	クラス別	35		35	
	特別活動	学級活動	必修	クラス別	35		35	
		6						
	総合的な学習の時間		必修	クラス別	70		70	
	外国語		必修	クラス別	70		70	
				計	1050	計	1015	

学年	年間総授業時数	行事数(児童会)	欠課数	標準時間数	余剰時間数		国+算
1	1015	52	5	850	108		58+50
2	1030	49	6	910	65		40+25
3	1115	51	11	980	73		40+33
4	1151	57	12	1015	67		34+33
5	1151	80	10	1015	46		20+26
6	1140	79	11	1015	35		15+20

＊　余剰時間数は、国語と算数に加算。国語と算数の加算時間
（年間総時間数－行事数－欠課数－標準時間数＝余剰時間数）

令和7年度(2025年度)　　年間行事予定表と月別授業時数集計表

日	曜	4月(16日)	曜	5月(20日)	曜	6月(21日)	曜	7月(14日)	曜	8月(5日)	曜	9月(20日)	曜	10月(22日)	曜	11月(18日)	曜	12月(18日)	曜	1月(16日)	曜	2月(18日)	曜	3月(18日)	日
1	火		木	家庭訪問	日		火		金		月		水		土		月		木	元日	日		日		1
2	水		金	家庭訪問	月		水		土		火		木		日		火		金		月		月		2
3	木		土	憲法記念日	火		木		日		水		金		月	文化の日	水	寒げいこ納め	土		火		火	学年末保護者会	3
4	金		日	みどりの日	水		金	5年マリンスポーツ	月		木		土		火		木		日		水		水		4
5	土		月	子どもの日	木		土		火		金		日		水		金		月		木		木		5
6	日		火	振替休日	金		日		水		土		月		木		土		火		金		金	中学校卒業式	6
7	月		水	家庭訪問	土		月		木		日		火		金		日		水		土		土		7
8	火	始業式	木		日		火		金		月	クラブ	水		土		月		木	始業式	日		日		8
9	水		金		月		水		土		火		木		日		火		金		月	クラブ	月		9
10	木	中学校入学式	土		火		木		日		水		金		月	クラブ	水		土		火		火		10
11	金	小学校入学式	日		水		金		月	山の日	木		土		火		木		日		水	建国記念の日	水		11
12	土		月		木		土		火		金		日		水		金		月	成人の日	木		木		12
13	日		火	学校運営協議会	金	プール開き	日		水		土		月	スポーツの日	木		土		火		金		金		13
14	月		水		土		月		木		日		火		金		日		水		土		土		14
15	火		木		日		火		金		月	敬老の日	水		土		月		木		日		日		15
16	水		金		月		水		土		火		木		日		火		金		月		月		16
17	木		土		火		木		日		水		金		月		水		土		火		火		17
18	金	お迎え遠足	日		水		金	終業式	月		木		土		火		木		日		水		水		18
19	土		月		木		土		火		金		日		水		金		月		木		木		19
20	日		火		金		日		水		土		月		木		土		火		金		金	春分の日	20
21	月		水	地区研	土		月	海の日	木		日		火		金		日		水		土		土		21
22	火		木		日		火		金		月		水		土		月		木		日		日		22
23	水		金		月	クラブ	水		土		火	秋分の日	木	遠足	日	勤労感謝の日	火		金		月	天皇誕生日	月		23
24	木		土		火		木		日		水		金		月	振替休日	水	終業式	土		火		火	小学校卒業式	24
25	金	保護者会	日		水		金		月	始業式	木	就学時健診	土		火		木		日		水		水		25
26	土		月		木	1学期末保護者会	土		火		金		日		水		金		月		木		木	修了式	26
27	日		火	運動会予行	金		日		水		土		月		木	2学期末保護者会	土		火		金		金		27
28	月	家庭訪問	水		土		月		木		日		火		金		日		水		土		土		28
29	火	昭和の日	木		日		火		金		月		水		土		月		木				日		29
30	水		金		月		水		土		火		木		日		火		金				月		30
31			土	大運動会			木		日				金				水		土				火		31

日別授業時数		4月	計	5月	計	6月	計	7月	計	8月		9月	計	10月	計	11月	計	12月	計	1月	計	2月	計	3月	計	各曜日数
	月	3日×5or6	18	3日×5or6	18	5日×5or6	30	2日×5or6	12	1日×5or6	6	4日×5or6	24	3日×5or6	18	2日×5or6	12	4日×5or6	24	2日×5or6	12	3日×5or6	18	4日×5or6	24	月曜36日
	火	3×5or6	18	3×5or6	18	4×5or6	24	3×5or6	18	1×5or6	6	4×5or6	24	4×5or6	24	4×5or6	24	3×5or6	18	4×5or6	24	4×5or6	24	4×5or6	24	火曜41日
	水	4×5	20	4×5	20	4×5	20	3×5	15	1×5	5	4×5	20	5×5	25	4×5	20	4×5	20	3×5	15	3×5	15	4×5	20	水曜43日
	木	3×5or6	18	5×5or6	24	4×5or6	24	3×5or6	18	1×5or6	6	4×5or6	24	5×5or6	30	4×5or6	24	3×5or6	18	4×5or6	24	4×5or6	24	4×5or6	24	木曜44日
	金	3×5or6	18	5×5or6	30	4×5or6	24	3×5or6	18	1×5or6	6	4×5or6	24	5×5or6	30	4×5or6	24	3×5or6	18	4×5or6	24	4×5or6	24	2×5or6	18	金曜42日
	計	16日	92	20日	110	21日	122	14日	81	5日	29	20日	116	22日	127	18日	104	18日	104	16日	93	18日	105	18日	110	年間206日

	月	火	水	木	金	週合計	標準時数
小1	5	5	5	5	5	25	25
小2	5	5	5	5	5	25	26
小3	5	6	5	6	5	27	28
小4	6	6	5	6	5	28	29
小5	6	6	5	6	5	28	29
小6	6	6	5	6	5	28	29
中1	6	6	5	6	5	29	29
中2	6	6	5	6	5	29	29
中3	6	6	5	6	5	29	29
年間日数	36	41	43	44	42	206	
小1	180	200	210	215	210	1015	
小2	180	205	215	220	210	1030	
小3	180	246	215	264	210	1115	
小4	216	246	215	264	210	1151	
小5	216	246	215	264	210	1151	
小6	216	246	210	258	210	1140	
中1	216	240	210	264	210	1140	
中2	216	246	215	264	210	1151	
中3	198	228	200	246	205	1077	

総授業日数	年間総授業時間数	行事・欠課数	標準時数	余剰時間数(仮)
小1 203日	1015	57	850	108
小2 206日	1030	55	910	65
小3 206日	1115	62	980	73
小4 206日	1151	69	1015	67
小5 206日	1151	90	1015	46
小6 204日	1140	90	1015	35
中1 204日	1140		1015	125
中2 206日	1151		1015	136
中3 194日	1077		1015	62

余剰時間数＝年間総授業時数－標準時数－行事・欠課数

6. 日課表

曜日	月						火						水						木						金					
校時	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1年	生	体	国	算	国		国	算	生	国	体		算	国	学	音	図		道	国	書写	音	体		国	算	図	(国)	生	
2年	国	生	算	国	音		国	体	算	(国)	図		算	書写	体	学	国		国	図	算	国	生		国	音	算	体	道	
3の1	社	理	音	国	算		体	書写	図	国	算	学	国	図25 理10	国	算	外		算	体	理	社	総	国	体	算	道	国	音25 理10	
3の2	社	国	理	算	図		体	国	書写	算	理	音25 理10	算	国	音	外	国		国	体	算	社	総	図25 理10	体	学	算	国	道	
4年	総	算	体	音25 社10	国	国 委	学	算	理	社	国	体	外	国	算	図25 社10	国		道	国	算	理	音	体	図	算	理	国	社	
5年	学	音25 家20	算	体	国	家 委	道	社	算	音	国	総	理	外	算	図	国		社	算	理	国	外	社30 家5	算	理	体	体20 図15	国	
6年	社	算	総	国	理	社 委	音	算	国	道	社	外	国	理	外	体	算		国	図	体	算	学	音15 家20	家	体20 図15	国	理	算	
なかよし2	国		算	国			国		算	国			算				生単		国		算	国			国		算			
なかよし3		国		算				国		算			算	国			生単		国		算						算	国		
なかよし4		算			国			算			国			国	算		生単			国	算					算		国		
なかよし5			算		国				算		国				算		生単			国		算			国				算	
なかよし6		算						算									生単					算							算	
えがお3		国		算				国		算			算	国					国		算		自立				算	国		
えがお4		(算)			(国)			(算)			(国)			(国)	(算)					(国)	(算)		自立			(算)		(国)		

教科・領域指導方針及び年間指導計画

第１学年　　国語科　　年間指導計画

	教材・単元 ■主な言語活動	時	指導目標 ◎主な学習場面 ○他の学習場面・学習形態として設定	評価規準 ◇知識技能 □思考判断表現 ○主体的な態度	図書館活用	他教科との関連
4	はるが　きた (話・聞②) ■絵を見てお話をしよう。	2	◎互いの話に関心をもつことができる。(思・判・表A(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	◇言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) □「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。(A(1)オ) ○進んで友達の話に関心をもち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。		☆学校生活（生活科）
4	さあ　はじめよう おはなし　ききたいな (読②) ■本となかよしになろう。	3	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) □「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。	読み聞かせ 「ねんせいになったら」「くりとくら」 「さくら」	
4	なんて　いおうかな (話・聞③) ■絵の場面にぴったり合うようにお話しよう。	4	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	◇丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ) □「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) □「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ○経験を基に積極的に言うことを考え、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。		☆先生や友達などの多くの人と親しみをもって関わって学校生活を楽しむことや、場に応じた挨拶に関わる題材（道徳）
4	かく　こと　たのしいな (知・技②) ■正しい姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて書こう。	3	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。(知・技(3)ウ)	◇平仮名を読み、書いている。((1)ウ) ◇姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。((3)ウ) ○正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気をつけたいことを見つけようとしている。		☆正しい姿勢と鉛筆の持ち方（書写）
4	どうぞ　よろしく (話・聞②、書④) ■自己紹介をしよう。	5	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ)	◇丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ) □「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) □「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとしている。		☆互いを知り、新しい仲間をつくる題材（生活科） ☆好きなものの絵を描く活動（図画工作）

4	こんな　もの　みつけたよ (話・聞②) ■見つけたものや思ったことを友達に知らせよう。	3	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ)	◇丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ) □「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ○紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしている。		☆学校探検（生活科）
4	うたに　あわせて　あいうえお (知・技③) ■「あいうえおのうた」を音読しよう。	4	◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)	◇姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ◇長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ) ○進んで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。		☆歌を通して正しい発声を身につける題材（音楽）
5	ことばの　たいそう こえに　だして　よもう (読②) ■声に出して読もう。	3	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。　(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。　(知・技(1)ク)	◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。		
5	よく　きいて、はなそう (話・聞③) ■友達の話を聞いて、分かったことや思ったことを知らせよう。	4	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) □「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) □「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ○興味をもって進んで友達の話を聞き、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。		
5	ことばを　さがそう (知・技②) ■言葉集めをしよう。	3	◎音節と文字との関係に気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇音節と文字との関係に気づいている。((1)イ) ◇身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○語句の音節と文字との関係を積極的に理解し、これまでの学習をいかして言葉を集めようとしている。		
5	はなの　みち (読⑧) ■想像をしながら物語を読もう。	9	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ)	◇・敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。		☆動植物や自然に親しむことに関わる題材（道徳） ☆植物の種をまき育てることに関わる題材（生活科）

5	としょかんへ　いこう (知・技②) ■学校図書館で好きな本を選ぼう。	3	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ)	◇読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) ○積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。	好きな本を見つけたり、司書の方にきいたりする活動 (「キャベツくん」「かいじゅうたちのいるところ」)	
5	かきと　かぎ (知・技③)	4	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇平仮名を読み、書いている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。		
5	ぶんを　つくろう (書④) ■だれが、どうしたに気を付けて文をつくろう。	5	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○句点の打ち方を理解して文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・句点の打ち方を理解して文の中で使っている。((1)ウ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) ○語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		
5	ねこと　ねっこ (書②) ■促音や濁音のある言葉を見つけて文を書こう。	3	◎促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) ○進んで促音や濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		
5	わけを　はなそう (話・聞③) ■好きなものをわけも付け加えて友達に伝えよう。	4	◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ○話す事柄の順序を進んで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。		☆わけを説明する題材（生活科・算数）
6	おばさんと　おばあさん (書②) ■長音のある言葉を使って文を書こう。	3	◎長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) ○進んで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		

6	あいうえおで　あそぼう (知・技③) ■言葉遊び歌を楽しもう。	4	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ)	◇・姿勢や口形、発声や発音に注意して話してい((1)イ) ・平仮名を読み、書いている。((1)ウ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ) ○進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。	関連読書（「あいうえおおかみ」「ひらがなだいぼうけん」「あいうえおばけだぞ」）	
6	つぼみ (知・技②、読⑦) ■文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合おう。	10	◎事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ)	◇・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ○積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。	図鑑でいろいろな花のつぼみを見つける活動	☆動植物や自然に親しむ題材（道徳）
6	おもちやと　おもちゃ (書②) ■拗音のある言葉を見文を書こう。	3	◎拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇拗音の表記、句点の打ち方を理解して、文の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ) ○進んで拗音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		
6	おおきく　なった (書④) ■観察したことを記録する文を書こう。	6	◎観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)	◇身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。((1)オ) □「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア) ○植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。		☆植物を観察する活動（生活科）
6	おおきな　かぶ (読⑧) ■物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりしよう。	10	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。	関連読書（「てぶくろ」「3びきのくま」「三びきのやぎのがらがらどん」）	☆人と　わりで協力したり親切にしたりする題材（道徳）
7	はをへを　つかおう 書③) ■「～は，～を，～へ」を使って文を書こう。	5	◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで助詞の使い方を確かめながら、学習課題に沿って文を作ろうとしている。		

7	すきな こと、なあに (話・聞③、書④) ■友達に「好きなこと」を紹介しよう。	9	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ)	◇・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) □・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。		☆好きなことを知らせる活動(生活科)
7	おむすび ころりん (読⑥) ■昔話を音読したり演じたりしよう。	7	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)	◇・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア) □「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。		
7	こんな ことが あったよ (書⑥) ■したことを思い出して，絵日記を書こう。	7	◎経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) □・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ○積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。		
7	としょかんと なかよし 2時間 (知・技②) ■好きな本を選んで読もう。	3	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ)	◇読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) ○積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。	好きな本を見つけたり、司書の方にきいたりする活動 関連読書「(もけら もけら」「ハンタイおばけ」)	

9	ことばの たいそう こえを あわせて よもう 2時間 (読②) ■詩を音読しよう。	2	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)	◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。	好きな詩を探して読む活動の継続	
9	みんなに しらせよう (話・聞③) ■知らせたい内容を聞き合おう。	3	◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ)	◇姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) □・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ○積極的に友達の話を聞き、これまでの学習をいかして質問や感想を述べようとしている。		
9	ことばを みつけよう (知・技②) ■みんなで言葉遊びをしよう。	3	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。		
9	おはなしを たのしもう やくそく (読⑨) ■お話を楽しんだり、想像をしたりしながら読もう。	10	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) □「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。		☆人との関わりや話し合い等に関わる題材 (道徳)
9	かたかなを みつけよう (知・技①、書②) ■片仮名で書く言葉を見つけて、読んだり書いたりしよう。	4	◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ) ○身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。		
9	よんで たしかめよう うみの かくれんぼ (読⑨) ■説明する文章を読み、分かったことを伝えよう。	10	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)	◇文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ◇事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) □「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ○粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。	他の生き物の隠れ方を図鑑等で調べる活動 関連読書(「もぐって かくれる」「いきもの かくれんぼ」)	☆自然に親しむ題材 (道徳)

9	かずと　かんじ (知・技②、書③) ■数え歌を書こう。	6	◎第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ) ○積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとしている。		
10	おもいうかべながらよもう くじらぐも (知・技①、読⑧) ■読んで想像したことを伝え合おう。	10	◎かぎ(「　」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)	◇かぎ(「　」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) ◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。		
10	まちがいを　なおそう (書③) ■まちがいをなおそう。	5	◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正すことができる。(思・判・表B(1)エ) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。(知・技(1)ウ)	◇助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正している。(B(1)エ) ○進んで文章を見直し、これまでの学習をいかして適切な表記に正そうとしている。		
10	くわしく　かこう しらせたいな、見せたいな (書⑩) ■見つけたことを記録して伝えよう。	11	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「　」)の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア ◇助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「　」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。(B(1)ウ) ○知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。		☆動植物の観察記録文を書く活動（生活科）
10	かん字の　はなし (知・技③、書③) ■漢字を漢字を使って文を書こう。	7	◎第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。		
11	ことばを　たのしもう (知・技③) ■詩や早口言葉を楽しもう。	3	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)	◇音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) ◇長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ) ○積極的に詩や早口言葉を楽しみ、これまでの学習や経験をいかして、発声や発音に気をつけながら声に出して読もうとしている。	動　他にもおもしろい発音の詩を探す活	

11	せつめいする 文しょうを よもう じどう車くらべ (読⑦) ■自動車の仕組で、分かったことをまとめよう。	8	◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ)	◇事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) □「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ○進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにいかしたいことを見つけようとしている。		
11	せつめいする 文しょうを かこう じどう車ずかんを つくろう (書⑥) ■「じどう車しょうかいカード」を書こう。	7	◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)	◇事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) ○分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。	自動車について書かれた図鑑等を選んで読む活動 関連読書(「はたらくくるま」など・単元末資料)	
11	かたかなを かこう (知・技①、書③) ■片仮名で書く言葉を見つけて文を書こう。	5	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○片仮名の表記のしかたに気をつけながら、これまでの学習をいかして文の中で片仮名を使おうとしている。		
11	ともだちと はなして、おはなしを かこう どんな おはなしが できるかな (話・聞②、書④) ■お話を作ろう。	7	◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ)	◇句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) ◇文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) □「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) □「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ) □「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ) ○物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。		
12	すきな ところを 見つけよう たぬきの 糸車 (読⑨) ■物語の好きなところを見つけて、そのわけを話し合おう。	10	◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) □「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。		

12	日づけと　よう日 (知・技②、書②) ■日づけとよう日を使って歌を作ろう。	5	◎第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇第１学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ◇身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。		
12	てがみを　かこう てがみで　しらせよう (書⑦) ■伝えたいことを手紙に書こう。	8	◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(B(1)ウ) □「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ) ○書いた文章を積極的に見直しながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。		☆お世話になった人に手紙を書く活動　(生活科)
12	本は　ともだち むかしばなしを　よもう おかゆの　おなべ (書④、読④) ■昔話を読み、感想を伝え合おう。	9	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ)	◇読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) □「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) ○積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。	いろいろな昔話を選んで読む活動 関連読書（「しらゆきひめ」「きたかぜとたいよう」「ジャックとまめの木」「ライオンとネズミ」）	
1	ことばのたいそう なりきって　よもう (読②)	2	◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)	◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。	お気に入りの詩を見つける活動 関連読書（「のはらうた」）	
1	くわしく　きこう (話・聞②) ■好きな本の紹介を聞こう。	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1) エ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ○積極的に友達の話を聞き、学習の見通しをもって、質問や感想を述べようとしている。	紹介したい本を選ぶ活動	

1	ことばで　あそぼう 2時間（知・技②）	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ）	◇・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（(1)オ） ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） ○積極的に身近なことを表す語句を使った言葉遊びを楽しみ、これまでの学習をいかして語彙を豊かにしようとしている。		
1	くらべて　よもう どうぶつの　赤ちゃん （読⑩） ■書かれていることを比べて読もう。	11	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ）	◇・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ） □・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ） ○文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。	他の動物の赤ちゃんについて書かれた本を読む活動 （「どうぶつの赤ちゃんペンダ」「キリン」「ペン	
1	ことばって、おもしろいな ものの　名まえ （知・技④、話・聞②） ■ものの名まえを集めてお店屋さんをひらこう。	6	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。（知・技(1)オ） ○互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。（思・判・表A(1)オ）	◇・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。（(1)オ） □「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（A(1)オ） ○積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。		
2	わらしべちょうじゃ （読②） ■昔話の読み聞かせを聞こう。	2	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。（知・技(3)ア） ○文章を読んで感じたことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ）	◇昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（(3)ア） □「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。（C(1)カ） ○積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、これまでの学習をいかして内容や感想を共有しようとしている。	いろいろな昔話を読む活動	☆我が国の文化や生活に親しみ愛着をもつ題材（道徳　書館活用）
2	かたかなの　かたち （知・技②、書②） ■片仮名の言葉を使って文を書こう。	6	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ）	◇片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ○進んで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。		
2	ことばあそびを　つくろう （知・技①、書⑥） ■ことばクイズをつくって、みんなでどきあおう。。	8	◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ）	◇・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ） □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ○身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。		

2	ふたりで かんがえよう これは、なんでしょう (話・聞④) ■ふたりで問題を考えてクイズ大会をしよう。	4	◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ) ○粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。		
2	よんで かんじた ことを はなそう ずうっと、ずっと、大すきだよ (読⑧) ■読んで感じたことを離そう。	8	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) ○友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。		☆生命を尊重する心を育てる題材 (道徳)
	にて いる かん字 (知・技③、書②) ■似ている漢字を使って文を書こう。	7	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している。(B(1)ウ) ○進んで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。		
3	おもい出して かこう いい こと いっぱい、一年生 (書⑩) ■これまでのことを思い出して「1年生の思い出」を書こう。	10	◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) □・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) ○事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。		☆生活を明るくする態度を育てる題材 (道徳)

年間授業時数　３３０　時間　　標準時数　２７２　時間

第１学年　書写　年間指導計画　　◇知識・技能□思考・判断・表現○主体的に学習に取り組む姿

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	①たのしくかこう ・もじをかくしせい ・かきやすいもちかた ・えんぴつでかいてみよう	2	●1年間の学習を見通す。 ●書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書く。	◇書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書いている。 ○学習の見通しを持って積極的に，書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方で書こうとしている。
5	②ひらがなのかきかた ・かきはじめとかきおわり（「とめ」「はらい」）	2	●平仮名の始筆と終筆（「止め」「払い」）の書き方を理解し，正しく書く。	◇平仮名の始筆と終筆（「止め」と「払い」）の書き方を理解している。 ◇平仮名の始筆・終筆に注意して書いている。 □さまざまな文字の始筆や終筆がどのようになっているか考えている。 ○書いた文字を見直し，始筆と終筆に気をつけて，進んで丁寧に書こうとしている。
5	②ひらがなのかきかた ・かくじゅんじょ	1	●筆順を理解し，筆順に従って書く。	◇文字には筆順があることを理解し，筆順に従って書いている。 □さまざまな文字について，どのような筆順なのか考えている。 ○書いた文字を見直し，筆順に従って，進んで書こうとしている。
6	②ひらがなのかきかた ・「まがり」	2	●平仮名の「曲がり」の書き方を理解し，正しく書く。	◇平仮名の「曲がり」の書き方を理解している。 ◇平仮名の「曲がり」を正しく書いている。 □平仮名の「曲がり」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「曲がり」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
6	②ひらがなのかきかた ・「おれ」	2	●平仮名の「折れ」の書き方を理解し，正しく書く。 ●濁点と半濁点の書き方を理解する。	◇平仮名の「折れ」の書き方を理解している。 ◇平仮名の「折れ」を正しく書いている。 ◇濁点と半濁点の書き方を理解している。 □平仮名の「折れ」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「折れ」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
7	②ひらがなのかきかた ・「むすび」	2	●平仮名の「結び」の書き方を理解し，正しく書く。	◇平仮名の「結び」の書き方を理解している。 ◇平仮名の「結び」を正しく書いている。 □平仮名の「結び」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「結び」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
9	②ひらがなのかきかた ・ひらがなのひょう	2	●平仮名を，既習事項を確認しながら，筆順に従って正しく書く。 ●濁点と半濁点のつく文字の書き方を理解する。 ●拗音や促音の文字の書き方を理解する。	◇平仮名を，正しい字形で筆順に従って書いている。 ◇濁点と半濁点のつく文字の書き方を理解している。 ◇拗音や促音の文字の書き方を理解している。 □これまでに学習した始筆・送筆・終筆の書き方をどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，字形に気をつけて，進んで書こうとしている。
9	○せいかつにひろげよう ・にっきをかこう	1	●既習の平仮名の書き方を理解し，日記を書く場面で生かす。 ●句読点やかぎの書き方を理解する。	◇既習の平仮名の書き方を理解して書いている。 ◇句読点やかぎの書き方を理解している。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで日記を書こうとしている。
9 ・ 10	③かたかなのかきかた ・「とめ」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」	2	●片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解し，正しく書く。	◇片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解している。 ◇片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」を正しく書いている。 □片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
10	③かたかなのかきかた ・かたかなのひょう	2	●片仮名を，既習事項を確認しながら，筆順に従って丁寧に書く。 ●濁点と半濁点のある文字の書き方を理解する。 ●促音と長音符号の書き方を理解する。	◇片仮名を，既習事項を確認しながら，筆順に従って書いている。 ◇濁点と半濁点の書き方を理解している。 ◇促音と長音符号の書き方を理解している。 □これまでに学習した始筆・送筆・終筆の書き方をどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，字形に気をつけて，進んで書こうとしている。
10	○せいかつにひろげよう ・なまえをかこう	1	●既習の平仮名と片仮名の書き方を理解し，名前を書く場面で生かす。 ●数字の書き方を理解する。	◇既習の平仮名と片仮名の書き方を理解している。 ◇数字の書き方を理解している。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして、進んで名前を書こうとしている。
10	◇もじのいずみ ・どうやって作るの　えんぴつ・けしゴム	—	●身近な鉛筆や消しゴムの作り方を知ることで，書写学習への興味を高める。	○身近な書写用具について知ることを楽しみ，意欲的に知ろうとしている。
11	④かん字のかきかた ・「とめ」「はね」「はらい」	2	●漢字の「止め」「はね」「払い」の書き方を理解し，正しく書く。	◇漢字の「止め」「はね」「払い」の書き方を理解している。 ◇漢字の「止め」「はね」「払い」を正しく書いている。 □漢字の「止め」「はね」「払い」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，漢字の「止め」「はね」「払い」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
11	④かん字のかきかた ・「おれ」「まがり」「そり」	2	●漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を理解し，正しく書く。	◇漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を理解している。 ◇漢字の「折れ」「曲がり」「反り」を正しく書いている。 □漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
12	◇もじのいずみ ・かきぞめをしよう	2	●既習の平仮名，片仮名，漢字の書き方を理解する。 ●既習事項を生かして，書き初めを丁寧に書く。	◇既習の平仮名，片仮名，漢字の書き方を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書き初めを書こうとしている。
12	◇もじのいずみ ・かん字のはなし	—	●漢字の成り立ちを知って，漢字を書くことへの興味を高める。	○漢字の成り立ちを知ることを楽しみ，意欲的に知ろうとしている。
12	◇もじのいずみ ・かいてあじわおう 〈「花さかじいさん」のうた〉	—	●既習事項を生かして，丁寧に書く。	◇既習の平仮名，片仮名，漢字の書き方を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。
1	④かん字のかきかた ・ひつじゅん	2	●筆順の原則を理解し，原則に従って正しく書く。	◇筆順の原則を理解している。 ◇筆順の原則に従って，正しく書いている。 ○筆順の原則を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，筆順に従って，進んで書こうとしている。
1・2	④かん字のかきかた ・文字のかたち	2	●外形の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇外形の整え方を理解している。 ◇外形を正しく整えて書いている。 □外形の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，外形に気をつけて，進んで書こうとしている。
2	④かん字のかきかた ・かくのながさとむき	2	●画の長さの違いに気をつけて書く。 ●画の方向の違いに気をつけて書く。	◇画の長さに注意することを理解している。 ◇画の長さに注意して，正しく書いている。 ◇画の方向に注意することを理解している。 ◇画の方向に注意して，正しく書いている。 □画の長さや方向の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，画の長さや方向に気をつけて，進んで書こうとしている。
2・3	○学びを生かそう ・一年生のまとめ	2	●既習事項を振り返り，それらを生かして正しく整えて書く。 ●自分のめあてを持って学習する。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○自分のめあてを持って，進んで丁寧に文字を書こうとしている。

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
3	○学びを生かそう ・できるようになったよ	1	●既習事項を理解し，文章を書く場面で生かす。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○今までの学習を生かして，進んで，一年間を振り返る文章を書こうとしている。

合計　　34時間

第２学年　　国語科　　年間指導計画

月	教材・単元 ■主な言語活動	時	指導目標 ◎主な学習場面 ○他の学習場面・学習経験として蓄積	評価規準 ◇知識技能 □思考判断表現 ○主体的な態度	図書館活用	他教科との関連
4	じゅんばんに　ならぼう (話・聞①) ■声をかけあって順番に並ぼう。	1	○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。(思・判・表A(1)エ)	◇言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) □「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。(A(1)エ) ○自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き取り、学習課題に沿って声をかけ合い、正しい順番で並ぼうとしている。		
4	絵を　見て　かこう つづけて　みよう (書①) ■絵に描かれている様子を文章に書こう。	2	○第１学年に配当されている漢字を文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第１学年に配当されている漢字を文章の中で使っている。((1)エ) □・「書くこと」において、想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ) ○絵の中から進んで書くことを見つけ、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。		
4	どんな　おはなしかを たしかめて、音読しよう ふきのとう (読⑪) ■友だちの音読を聞いて、思ったことをつたえよう。	13	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)	◇・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、場面の様子や登場人の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ○場面の様子を表す言葉を手がかりに粘り強く物語の内容を確かめ、これまでの学習をいかして音読を工夫し、感想を伝え合おうとしている。	関連読書（「はるがきた」「はるにあえたよ」「あ、はるだね」「はるをさがしに」）	☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科）
4	図書館たんけん (知・技①) ■本のならび方のきまりを見つけよう。	3	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ)	◇読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) ○積極的に図書館の配架や本の並べ方を学び、学習課題に沿って自分の読みたい本を探そうとしている。	図書館で読みたい本を探し、本の分類を学ぶ教材	
4	春が　いっぱい (書②) ■春を感じるものを見つけて、春のカードを作ろう。	3	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。		☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科）☆春らしい歌詞や、旋律な

4	思い出して 書こう 日記を 書こう (書⑤) ■一日のできごとを思い出して書こう。		◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	◇言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。		☆学校生活や家庭生活、身近な自然や季節の行事などに目を向けさせる題材 (特
5	だいじな ことを おとさないように 聞こう ともだちは どこかな 【コラム】声の 出し方に 気を つけよう (話・聞⑥) ■大事なことをメモしながら聞こう。	6	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	◇・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ) ○自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。		☆必要なことについて、身近な人と連絡し合う活動 (学校生活)
5	じゅんじょに 気を つけて 読もう たんぽぽの ちえ 【じょうほう】じゅんじょ (知・技①、読⑩) ■順序に気をつけて読み、感想を書こう。	14	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ)	◇・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ○粘り強く時間的な順序を考えて内容を捉え、学習の見通しをもって読んだ文章の感想を書こうとしている。	関連読書(「チューリップ」「スミレとアリ」「たねのずかん」)	☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材 (道徳、生活科)
6	ていねいに かんさつして、きろくしよう かんさつ名人に なろう (書⑫) ■観察したことを書こう。	14	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○書くために必要な事柄を進んで集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、これまでの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。		☆育てている動植物を観察し、分かったことなどを記録する活動 (生活科) ☆身近な動植物の変化や成長の様子への関心を育む題材 (道徳、生活科)

	いなばの　白うさぎ (知・技②) ■お話を聞いて、感想を伝え合おう。	2	◎神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア)	◇神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア) ○進んで神話の読み聞かせを聞き、これまでの学習をいかして感想を伝え合おうとしている。	昔話や神話の本を図書館で探して読む活動 関連図書(「カムイチカプ」「さるとびっき」「さんまいのおふだ」等)	☆郷土への愛着を養う題材(道徳)
6	同じ　ぶぶんを　もつ　かん字 (知・技②) 。	2	◎第２学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第２学年までに配当されている漢字を読み、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○積極的に第２学年までに配当されている漢字の読み書きに取り組み、学習課題に沿って、同じ部分をもつ漢字を見つけようとしている。		
6	お話を　読み、すきなところを　つたえよう スイミー (読⑪) ■お話をを読んで、好きな場面を紹介しよう。	13	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)	◇身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。	関連読書(「さかなはさかな」「コーネリアス」「じぶんだけのいろ」「ひとあし　ひとあし」等)	
6	かん字の　ひろば① (書②) ■絵を説明する分を書こう。	3	◎第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ) ○進んで第１学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。		
6	【じょうほう】メモをとる　とき (書④)	4	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	◇言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に必要な事柄を集め、これまでの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。		☆気づいたことや分かったことをメモする活動(生活
7	組み立てを　考えて　書き、知らせよう こんな　もの、見つけたよ 【コラム】丸、点、かぎ (書⑫) ■「いいな」と思うものを友達に伝えよう。	14	◎長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「　」)の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	◇長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「　」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) ○事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、読み手に分かりやすく伝える文章を書こうとしている。		☆身近な地域の特色や行事、施設などに目を向けさせる題材(生活科)

7	あいての考えを引き出す しつもんをしよう あったらいいな、こんなもの (話・聞⑨) ■質問をし合って詳しく考えよう。	9	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ○粘り強く話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようとしている。		
7	夏がいっぱい (書②) ■夏を感じるものを見つけて、夏のカードを作ろう。	3	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。		☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材 (道徳、生活科) ☆夏らしい歌詞や、旋律などを楽しむ活動 (音楽)
7	本はともだち お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし (読⑦) ■お気に入りの本を友達に紹介しよう。	7	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ)	◇読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) □「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) ○進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。	お気に入りの本を探す活動	
9	雨のうた (読②) ■音読して、詩を楽しもう。	2	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○詩を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ)	◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、詩を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) ○粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読し、これまでの学習をいかして詩を楽しんで読もうとしている。		
9	ことばでみちあんない (話・聞③) ■友達に道案内をしよう。	3	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ)	◇共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ) ○話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って相手を目的地に導く道案内をしようとしている。		☆町探検 (生活科)

9	みの回りのものを読もう (読②) ■生活の中にかくれた言葉や文を見つけよう。	3	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) □・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○積極的に身の回りのものから重要な情報を読み取り、学習課題に沿って、考えを交流しようとしている。		☆町探検(生活科)
9	書いたら、見直そう (書②) ■文章を声に出して、間違いがないか確かめよう。	3	◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)エ) ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)	◇長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ) ○進んで文章を読み返し、学習課題に沿って間違いなどを正そうとしている。		
9	かん字のひろば② (書②) ■絵の言葉を使って文を書こう。	3	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ) ○進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして日記を書こうとしている。		
9	読んで考えたことを話そう どうぶつ園のじゅうい (読⑫) ■本を読んで考えたことを話そう。	12	◎文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)	◇・文の中における主語と述語の関係に気づいている。((1)カ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習をいかして、文章を読んで考えたことを友達と話そうとしている。	関連読書(「動物園のひみつ」「めざせ!動物のお医者さん」「みんなわくわく水族館」)	☆働くことの価値や意味を理解する精神や、身近な動物に優しい心で接する態度を養う題
9	かたかなのひろば (書②) ■カタカナを使って文を作ろう。	4	◎片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで片仮名を使って書く語を見つけ、学習課題に沿って文を書こうとしている。		
9 10	ことばあそびをしよう (知・技②) ■言葉遊びを楽しもう。	2	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)	◇長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ) ○進んで、言葉の豊かさに気づき、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。		
	なかまのことばとかん字 (知・技②)	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ)	◇・第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○進んで、言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って仲間の言葉を集めようとしている。		

10	かん字のひろば③ (書②) ■意を説明する文を書こう。	2	◎第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文の中で使っている。((1)ウ) ・第１学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ) ○進んで第１学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文章を書こうとしている。		
10	自分とくらべて読み、とうじょうじんぶつに手紙を書こう お手紙 (読⑩) ■物語を読んで登場人物に手紙を書こう。	14	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) □・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。	同じシリーズの本を図書館で探して読む活動 (「ふたりは　ともだち」「ふたりは　いっしょ」「ふたりは　いつも」「ふたりは　きょうも」)	
10	主語と述語に気をつけよう (知・技③)	3	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ)	◇文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ○積極的に、主語と述語の関係に気づき、これまでの学習をいかして主語と述語に気をつけようとしている。		
10	かん字の読み方 (知・技②)	2	◎第２学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第２学年までに配当されている漢字を読んでいるとともに、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○進んで第２学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字の異なる読み方に気をつけて読もうとしている。		
10	秋がいっぱい (書②) ■秋を感じる言葉や詩を見つけて、秋のカードを作ろう。。	4	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。		☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆秋の風情が感じられる曲や歌を楽しんだり、景色を描いたりする活動（音楽・図工）
11	みんなで話をつなげよう そうだんにのってください (話・聞⑩) ■グループで相談しよう。	10	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ) ○積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。		☆互いの困りごとを解決するために協力する題材（学級活動、生活科）

11	せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう (書⑨、読⑦) ■おもちゃの作り方の説明書を書こう。	17	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)	◇・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(⑵ア) □・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ○進んで文章の中の語や文を選び出したり、事柄の順序に沿って分かりやすく伝える書き表し方を工夫したり、学習の見通しをもっておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。		☆おもちゃを作る活動(図工・生活科)
11	にたいみのことば、はんたいのいみのことば (知・技②)	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○進んで言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って、似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとしている。		
11	せかいーの話 (読①) ■昔話を楽しもう。	1	◎昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(⑶ア) □「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ) ○進んで昔話の読み聞かせを聞いて伝統的な言語文化に親しみ、これまでの学習をいかして、おもしろいと思うことを共有しようとしている。	関連読書(昔話)	
11	かん字のひろば④ (書②) ■数を表す言葉を使って、算数の問題をつくろう。	3	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ) ○進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。		☆足し算や引き算の問題作り(算数)
12	思いうかべたことをもとに、お話をしょうかいしよう みきのたからもの (読⑫) ■あらすじをまとめて、紹介する文章を書こう。	15	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)	◇・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ○登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとしている。	教科書で紹介されている本を参考に、楽しく読める本を図書館で探して読む活動	
12	組み立てを考えて、お話を書こう お話のさくしゃになろう (書⑫) ■絵から想像をして物語を書こう。	14	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	◇文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) □「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ) ○事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って、物語を書こうとしている。		

12	冬がいっぱい (書②) ■冬を感じる言葉や詩を見つけて、冬のカードを作ろう。	3	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。		☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材 (道徳) ☆冬の季節感が感じられる曲や歌を楽しむ活動 (音楽)
1	ねこのこ おとのはなびら はんたいことば (読②) ■お気に入りの詩を友達と交換しよう。	2	◎詩を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)	◇語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) □「読むこと」において、詩を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) ○詩を読んで感じたことを進んで共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。	友達に贈る詩を図書館で探す活動(「みみずのたいそう」「ぽぷぺぽっつん」など)	
1	かたかなで書くことば (書②) ■カタカナを使って、文を書こう。	3	◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使っている。((1)ウ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に、片仮名で書く語の種類を知り、これまでの学習をいかして、片仮名を使って文を書こうとしている。		
1	ことばを楽しもう 1時間 (知・技①) ■言葉遊びを楽しもう。	1	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)	◇長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ) ○積極的に、言葉の豊かさに気づき、学習課題に沿って言葉遊びを楽しもうとしている。		
1	だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう ロボット (読⑩) ■ロボットについて説明する文章を読んで、考えたことを伝え合おう。	14	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ◎文章を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ)	◇読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ) □・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) ○文章を読んで、感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとしている。	ロボットを紹介している本を、図書館で探して読む活動	
1	ことばについて考えよう ようすをあらわすことば (知・技①、書④) ■様子を表す言葉を使って文を書こう。	6	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで身近なことを表す語句の量を増やして語彙を豊かにし、学習課題に沿って、様子を表す言葉を使って文を書こうとしている。		

2	詩を作って、読み合おう 見たこと、かんじたこと (書⑦) ■詩を作って友達と読み合おう。	8	◎詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ) ○粘り強く身近なことを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。		
2	カンジーはかせの大はつめい (知・技②)	2	◎第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ)	◇第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ) ○積極的に第2学年までに配当されている漢字を読んだり書いたりし、これまでの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。		
2	思いをつたえる手紙を書こう すてきなところをつたえよう (書⑫) ■友達のすてきなところを手紙に書いて届けよう。	14	◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) □「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。		☆よりよい人間関係を築くのに資する題材(生活科・道徳)
2	読んで、かんじたことをつたえ合おう スーホの白い馬 (読⑩) ■物語を読んでいちばん心を動かわれたことを友達に紹介しよう。	17	◎文章を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習課題に沿って、最も心を動かされたことを伝え合おうとしている。	関連読書(「ラン　パン　パン」「チンパンジーとさかなとろぼう」「王さまと九人ののきょうだい」「とらとほしがき」)	☆世界の文化や風土などに親しむ題材(道徳)
3	かん字の広場⑤ (書②) ■絵の様子を説明する文を書こう。	4	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) □「書くこと」において、語と語の続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。		
3	組み立てを考えて、はっぴょうしよう 楽しかったよ、二年生 (話・聞⑨) ■心に残ったことを発表しよう。	9	◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	◇・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ) □・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ○行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を粘り強く考え、これまでの学習をいかして発表しようとしている。		☆1年間の生活を振り返り、心に残った経験などを紹介する活動(特別活動・生活科)

3	二年生をふりかえって (書②) ▩二年生の国語の学習を振り返ろう	3	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア) □「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで、経験したことなどから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりし、これまでの学習をいかして、1年間の振り返りを書こうとしている。		

年間授業時数　３２０　時間　　標準時数　２８０　時間

第2学年　書写　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時数	指導目標	評価規準
4	●あつめてつかおう,「しょしゃのかぎ」 ●しょしゃの学び方 ①楽しく書こう ・文字を書くしせい ・書きやすいもち方	2	●１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知る。 ●書きやすい姿勢や鉛筆の持ち方を理解して書く。	◇書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書いている。 □自分の姿勢や筆記具の持ち方を見直し，良い点や改善すべき点を考えている。 ○１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知って，積極的に学習に取り組もうとしている。
4・5	②かたかなの書き方 ・「止め」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」	2	●片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解し，正しく書く。	◇片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解している。 ◇片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」を正しく書いている。 □片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
5・6	②かたかなの書き方 ・文字くらべ	2	●字形の似ている片仮名と漢字や，片仮名と平仮名を比べて，違いに気づいて正しい字形で書く。	◇似ている文字の相違点を正しく理解している。 ◇似ている文字の違いに気をつけて，正しく書いている。 □既習事項を生かして，似ている文字の相違点を見つけている。 ○書いた文字を見直し，似ている文字の違いに気をつけて，進んで書こうとしている。
6	③かん字の書き方 ・点画の名前	2	●漢字の点画の書き方を理解し，正しく書く。	◇漢字の点画の書き方と名称を理解している。 ◇漢字の点画を正しく書いている。 □漢字の点画の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，それぞれの点画の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
6	○生活に広げよう ・れんらくちょうを書こう	1	●既習の平仮名・片仮名や漢字の書き方を理解し，連絡帳を書く場面で生かす。	◇既習の平仮名・片仮名や漢字の書き方を理解して書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで連絡帳を書こうとしている。

月	教材・単元	時数	指導目標	評価規準
7	③かん字の書き方 ・ひつじゅんのきまり	2	●筆順の原則を理解し，原則に従って正しく書く。	◇筆順の原則を理解している。 ◇筆順の原則に従って，正しく書いている。 □筆順の原則を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，筆順の原則を考えて，進んで書こうとしている。
9	③かん字の書き方 ・画の長さ	3	●「横画」の長さの整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇「横画」の長さの整え方を理解している。 ◇「横画」の長さの整え方に注意して，正しく書いている。 □「横画」の長さの整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「横画」の長さの整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
9 ・ 10	③かん字の書き方 ・「おれ」のむきと「はらい」のむき	3	●「折れ」の方向の違いを理解し，正しく整えて書く。 ●「払い」の方向の違いを理解し，正しく整えて書く。	◇「折れ」の方向の違いを理解している。 ◇「折れ」の方向に注意して，正しく書いている。 ◇「払い」の方向の違いを理解している。 ◇「払い」の方向に注意して，正しく書いている。 □画の方向の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「折れ」と「折れ」の方向に気をつけて，進んで書こうとしている。
10	○生活に広げよう ・かんさつしたことを書こう	1	●既習事項を理解して，観察カードを書く場面で生かす。	◇既習事項を理解している。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで観察カードを書こうとしている。
10 ・ 11	③かん字の書き方 ・画のつき方と交わり方	3	●画の接し方と交わり方の違いを理解し，正しく整えて書く。	◇画の接し方と交わり方の違いを理解している。 ◇画の接し方と交わり方の違いに注意して，正しく書いている。 □画の接し方と交わり方の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，画の接し方と交わり方に気をつけて，進んで書こうとしている。
11	③かん字の書き方 ・文字の形	2	●外形の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇外形の整え方を理解している。 ◇外形を正しく整えて書いている。 □外形の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，外形の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。

月	教材・単元	時数	指導目標	評価規準
12	◇文字のいずみ ・書きぞめをしよう	2	●既習事項を理解する。 ●既習事項を生かして，書き初めを丁寧に書く。	◇既習事項を理解して、丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書き初めを書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・かん字のなりたち	—	●漢字の成り立ちを知って，漢字を書くことへの興味を高める。	○漢字の成り立ちを知ることを楽しみ，意欲的に知ろうとしている。
	◇文字のいずみ ・書いてあじわおう 〈いろはうた〉	1	●既習事項を生かして，丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。
1	③かん字の書き方 ・文字の中心	3	●文字の中心の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇文字の中心の整え方を理解している。 ◇文字の中心を正しく整えて書いている。 □文字の中心の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，文字の中心の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
2	③かん字の書き方 ・画のむきと，画と画の間	3	●「横画」の方向の整え方を理解し，正しく整えて書く。 ●「横画」の間隔の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇「横画」の方向の整え方を理解している。 ◇「横画」の方向を正しく整えて書いている。 ◇「横画」の間隔の整え方を理解している。 ◇「横画」の間隔を正しく整えて書いている。 □「横画」の方向と間隔の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「横画」の方向と間隔の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
2・3	○学びを生かそう ・二年生のまとめ	2	●既習事項を振り返り，それらを生かして正しく整えて書く。 ●自分のめあてを持って学習する。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○自分のめあてを持って学習に取り組み，その評価を今後に生かそうとしている。
3	○学びを生かそう ・「ありがとう」をつたえよう	1	●既習事項を理解して，文章を書く場面で生かす。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○今までの学習を生かして，進んで，感謝を伝える文章を書こうとしている。
	合計	35 時間		

第３学年　　国語科　　年間指導計画

月	教材・単元 ■主な言語活動	時	指導目標 ◎主な学習領面 ○他の学習領面・学習経験として領	評価規準 ◇知識技能 □思考判断表現 ○主体的な態度	図書館活用	他教科との関連
4	よく聞いて、じこしょうかい (話・聞②) ■自己紹介をしよう。	2	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○話し手が伝えたいことの中心を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ)	◇相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の場や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) □「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの中心を捉えている。(A(1)エ) ○積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。		☆楽しい学級づくり（特別活動）
4	どきん (読①) ■詩を楽しんで音読しよう。	1	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)	◇文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) □「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。	関連読書「どきん」に掲載のその他の詩・谷川俊太郎の作品	
4	わたしのさいこうの一日 つづけてみよう (書②) ■日記を書こう。	3	○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。((1)オ) □・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。		
4	登場人物の気持ちをたしかめ、そうぞうしたことをつたえ合おう 春風をたどって (読⑧) ■読んで想像したことを伝え合おう。	10	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク)	◇・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) □「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ○進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。	関連読書（単元末資料）	☆自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にする心を育てる題材（道徳）
4	図書館たんていだん (知・技①) ■図書館の地図を作り、本を探そう。	3	◎読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	◇読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) ○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。	図書館の配架を知る活動	
4	国語辞典を使おう (知・技④)	5	◎辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	◇辞書の使い方を理解し使っている。((2)イ) ○進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。		☆考えをまとめる活動など 字の確かめ（総合的な学習など）

4	漢字の広場① (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。		
4	春のくらし (書②) ■春を感じたことについて、文章に書こう。	3	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。	関連読書(季節の暮らし)	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
5	知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう もっと知りたい、友だちのこと 【コラム】きちんとつたえるために (話・聞⑧) ■知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりしよう。	6	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) □・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ) ○粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。		☆友達の新たな一面やよさを知る活動(特別活動、道徳)
5	漢字の音と訓 (知・技②)	2	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	◇第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ) ○進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。		
5	漢字の広場② (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・接続する語句の役割について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。		
5	まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう 文様 こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心 (知・技①、読⑧) ■説明する文章を読み、感想を伝え合おう。。	9	◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ)	◇・段落の役割について理解している。((1)カ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ○進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。	関連読書(昔の遊び)	☆伝統や文化を知り、歴史を愛する題材(道徳)

6	相手に分かりやすいように、あんないの手紙を書こう 気持ちをこめて、「来てください」 (書⑥) ■行事を案内する手紙を書こう。	8	◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	◇・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。		☆時と場に応じた適切な手紙を書く活動(社会、総合的な学習の時間)
6	漢字の広場③ (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。		
6	登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう まいごのかぎ (読⑦) ■物語を読んで、好きな場面について話し合おう。	8	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ○登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。	関連読書(単元末資料・ふしぎなことがおこる物語)	
6	俳句を楽しもう (知・技②) ■俳句を音読しよう。	2	◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	◇易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。	五音と七音を組み合わせた詩などを探す活動	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
6	こそあど言葉を使いこなそう (知・技②)	2	◎指示する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇指示する語句の役割について理解している。((1)カ) ○積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。		
6	【じょうほう】引用するとき (知・技①、書②) ■本などから調べたことを書き留め、引用して文章を書こう。	4	◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。((2)イ) □書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。		☆調べたことを文章にまとめる活動(社会など)
7	つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう 仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など (書⑩) ■調べたことを報告する文章を書こう。	12	◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。(知・技(1)ウ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。((1)ウ) ・段落の役割について理解している。((1)カ) □・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。	調べる仕事についての本を探す活動	☆調べたいことを決めて、調査を行い、報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間)

7	夏のくらし (書②) ■夏を感じたことについて文章に書こう。	3	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。	関連読書(季節の暮らし)	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
7	本は友だち 本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話 (読⑥) ■図鑑や科学読み物を読んで、クイズを出し合おう。	6	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)	◇幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。	本を選んで読む活動	
9	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる (読②) ■詩を読んで、思ったことや感じたことを話し合おう。	2	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) □「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ○進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を読んで思ったことや感じたことを話し合おうとしている。	関連読書(金子みすゞ詩集)	
9	こんな係がクラスにほしい (話・聞④) ■グループで話し合い、考えを整理してまとめよう。	5	◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。(思・判・表A(1)ア)	◇考えとそれを支える理由や事例について理解している。((2)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ) ○進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。		☆係活動における話し合い(特別活動)
9	ポスターを読もう (読②) ■ポスターを読み比べて、考えたことを伝え合おう。	3	◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ)	◇比較や分類のしかたを理解し使っている。((2)イ) □・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。		

9	書くことを考えるときは (書②) ■夏休みの思い出を書こう。	3	◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇比較や分類のしかたを理解し使っている。((2)イ) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。		
9	漢字の組み立て (知・技③)	3	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	◇漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。((3)ウ) ○漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。		
9	ローマ字 (知・技⑥)	9	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ)	◇日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。((1)ウ) ○進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。		
10	場面をくらべながら読み、感想を書こう ちいちゃんのかげおくり (読⑩) ■物語を読み、感想をまとめよう。	11	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。	関連読書(戦争があったころの物語・単元末資料)	☆戦争や平和について考え、平和を願う心を養う題材(道徳)
10	修飾語を使って書こう (知・技②)	2	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ)	◇・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。((1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。((1)カ) ○粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。		
10	秋のくらし (書②) ■秋を感じたことについて文章に書こう。	3	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。	関連読書(季節の暮らし)	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)

10	進行にそって、はんで話し合おう おすすめの一さつを決めよう (話・聞⑧) ■グループで役割を決めて話し合い、考えをまとめよう。	8	◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇比較や分類のしかたを理解し使っている。((2)イ) □・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ) ○粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。	おすすめの本を選ぶ活動	☆インタビューによって調査する活動(社会、総合的な学習の時間)
11	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こうすがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます (書⑥、読⑥) ■筆者の説明の工夫を見つけ、食材について説明する文章を書こう。	13	◎比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	◇・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ○目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。	食べ物について書かれた本を探す活動 関連読書(すがたをかえる食べ物シリーズ)	☆食育に関わる題材(総合的な学習の時間)
11	ことわざ・故事成語 (知・技②、書②) ■ことわざの意味を調べ、ことわざ辞典を作ろう。	4	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ○目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。((3)イ) □「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的にことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。	関連読書(ことわざブック」シリーズ)	
11	漢字の意味 (知・技②)	2	◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)	◇漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) ○積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。		
11	短歌を楽しもう (知・技①)	1	◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	◇易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。		☆我が国の伝統と文化に対する愛情を養う題材(道徳)
11	漢字の広場④ (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。		

12	登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしようかいしよう 三年とうげ (読⑥) ■民話や昔話を紹介しよう。	8	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○引用のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇・引用のしかたを理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。	民話や昔話を探す活動	☆世界の文化に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材(道徳、総合的な学習の時間)
12	しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう わたしの町のよいところ (書⑩) ■町のよさを紹介する文章を書こう。	12	◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○考えとそれを支える理由について理解することができる。(知・技(2)ア)	◇考えとそれを支える理由について理解している。((2)ア) □「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ○積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。		☆身近な地域を観察・調査する題材(社会)
12	冬のくらし (書②) ■冬を感じたことについて文章に書こう。	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。((1)オ) □経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。	関連読書(季節の暮らし)	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
1	詩のくふうを楽しもう (書②、読②) ■詩を創作しよう。	4	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) □・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。	詩を探す活動 関連読書(季節の詩集・回文)	
1	四まいの絵を使って (書②)	3	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇段落の役割について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ○書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。		
1	カンジーはかせの音訓かるた (知・技③)	3	◎第３学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、第２学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第３学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第３学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第２学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第３学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○進んで第３学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿って漢字の音訓を使った文を書こうとしている。	関連読書(漢字のなりたちブック・百人一首に関する本)	

1	漢字の広場⑤ (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	2	◎第２学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第２学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○積極的に第２学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。		
1	読んで考えたことをつたえ合おう ありの行列 (読⑦) ■文章を読んで考えたことを伝え合おう。	8	◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ)	◇・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。((1)オ) ・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) □・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。	関連読書(昆虫図鑑・単元末資料・ものの不思議に関する本)	☆生き物の生態や不思議さに目を向けさせる題材(理科)
1	言葉について考えよう つたわる言葉で表そう (知・技②、書③) ■相手に伝わる文章を書こう。	5	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝わる文章を書こうとしている。		☆体験したことを報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間)
2	書き表し方をくふうして、物語を書こう たから島のぼうけん (書⑧) ■物語を創作しよう。	8	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。		
2	つたえたいことを、理由をあげて話そう お気に入りの場所、教えます (話・聞⑧) ■お気に入りの場所を発表しよう。	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	◇・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) ○進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。		

3	登場人物について考えたことを、つたえ合おうモチモチの木 (読⑫) ■登場人物について考えたことをまとめ、伝え合おう。	12	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) □・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。	関連読書(支援隊介の本・単元末資料・巻末資料)	☆他者への愛情をもち、勇気をもって実行する姿勢を育てる題材(道徳)
3	漢字の広場⑥ (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・修飾と被修飾との関係について理解している。((1)カ) □間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。		
3	三年生をふり返って (書①) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書こう。	2	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) □「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。		☆一人一人のキャリア形成と自己実現を育む題材(特別活動)

年間授業時数　２５０時間　　標準時数　２１０時間

第3学年　書写　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時数	指導目標	評価規準
4	●おかしな書きぞめ ●書写の学び方 ○毛筆を使って学習しよう	3	●１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を理解することができる。 ●毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解することができる。 ●毛筆の筆圧と毛筆の穂先の向きについて理解することができる。 ●基本点画の名称について理解することができる。	◇毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解している。 ◇毛筆の筆圧について理解している。 ◇基本点画の名称について理解している。 □硬筆での姿勢や持ち方と比べながら，毛筆での姿勢や持ち方を考えている。 ○１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知って，積極的に学習に取り組もうとしている。
5	○「横画」 〈一〉	3	●「横画」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	◇「横画」の書き方を理解している。 ◇「横画」を正しく書いている。 □「横画」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し，「横画」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
6	○「たて画」と「点」 〈下〉	3	●「縦画」と「点」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	◇「縦画」と「点」の書き方を理解している。 ◇「縦画」と「点」を正しく書いている。 □「縦画」と「点」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し，「縦画」と「点」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
6・7	○「おれ」 〈日〉	3	●「折れ」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	◇「折れ」の書き方を理解している。 ◇「折れ」を正しく書いている。 □「折れ」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し，「折れ」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
9	◇文字のいずみ ・どうやって作るの筆・和紙・すずり・すみ	—	●筆・和紙・すずり・墨の作り方を知ることで，書写学習への意欲を高めることができる。	○書写用具について知ることを楽しみ，意欲的に知ろうとしている。
9	○生活に広げよう ・原こう用紙に書こう	1	●既習事項の文字の整え方を理解し、原稿用紙に書く場面で生かすことができる。	◇既習事項を理解して，文字を正しく整えて書いている。 □目的に応じて、既習事項をどのように生かすかと考えている。 ○既習事項を生かして，進んで原稿用紙に書こうとしている。

月	教材・単元	時数	指導目標	評価規準
9	○文字の大きさと字間	1	●漢字と仮名の大きさの関係を理解し、正しく整えて書くことができる。 ●適切な字間をとって書くことを理解し、正しく整えて書くことができる。	◇漢字と仮名の大きさの関係を理解している。 ◇漢字と仮名の大きさを正しく書いている。 ◇適切な字間をとって書くことを理解している。 ◇字間を正しく整えて書いている。 □漢字と仮名の大きさの整え方を、どのように生かすか考えている。 □適切な字間の整え方を，どのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、漢字と仮名の大きさや字間に気をつけて、進んで書こうとしている。
9・10	○「左はらい」と「右はらい」 〈人〉	3	●「左払い」「右払い」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	◇「左払い」「右払い」の書き方を理解している。 ◇「左払い」「右払い」を正しく書いている。 □「左払い」「右払い」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し，「左払い」「右払い」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
10・11	⑦「曲がり」と「反り」	3	●「曲がり」「反り」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	◇「曲がり」「反り」の書き方を理解している。 ◇「曲がり」「反り」を正しく書いている。 □「曲がり」「反り」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し，「曲がり」「反り」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
11	○生活に広げよう ・実験したことを記録しよう	2	●読みやすい実験記録の書き方と既習の文字の整え方を理解し，実験記録を書く場面で生かすことができる。	◇読みやすい実験記録の書き方を理解している。 ◇文字や行の整え方を理解している。 ◇書き方を工夫して，読みやすく書いている。 □目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで実験記録を書こうとしている。
11・12	◇文字といっしょに ・名前を書こう（小筆） ・書きぞめをしよう 〈正月〉〈明るい心〉	4	●小筆の姿勢や持ち方使い方を理解し、既習事項に気をつけて，自分の名前を丁寧に書くことができる。 ●既習の文字の整え方を理解し、既習事項を生かして，書き初めを丁寧に書くことができる。	◇小筆の姿勢や持ち方、使い方を理解している。 ◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで，毛筆を使って名前や書き初めを書こうとしている。

月	教材・単元	時数	指導目標	評価規準
1	○ひらがな 〈つり〉	2	●平仮名の書き方を理解し、正しく書くことができる。	◇平仮名の書き方を理解している。 ◇平仮名の書き方に注意して，正しく書いている。 □平仮名の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し，平仮名の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。
1	○筆順のきまり	1	●筆順の原則を理解し、正しく書くことができる。	◇筆順の原則を理解している。 ◇筆順の原則に従って，正しく書いている。 □筆順の原則を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し，筆順の原則に気をつけて，進んで書こうとしている。
2	点画の長さ	1	○点画の長さの整え方を理解し、正しく書くことができる。	◇点画の長さの整え方を理解している。 ◇点画の長さを正しく整えて書いている。 □点画の長さの整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、点画の長さの整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。
2	◇文字といっしょに ・書いて味わおう(俳句)	—	●既習事項を生かして，丁寧に書くことができる。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。
2	○学びを生かそう ・三年生のまとめ 〈水〉	3	●自分のめあてを持ち、既習事項を生かして正しく整えて書くことができる。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○自分のめあてを持って学習に取り組み，その評価を今後に生かそうとしている。
3	○学びを生かそう ・はがきで伝えよう	2	●読みやすいはがきの書き方と、既習事項を理解し，はがきを書く場面で生かすことができる。	◇読みやすいはがきの書き方を理解している。 ◇既習事項を理解して，正しく整えて書いている。 □目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 ○今までの学習を生かして，進んではがきを書こうとしている。
	合計	35 時間		

第４学年　　国語科　　年間指導計画

月	教材・単元 ■主な言語活動	時	指導目標 ◎主な学習領域 ○他の学習領域・学習態度として観	評価規準 ◇知識技能 □思考判断表現 ○主体的な態度	図書館活用	他教科との関連
4	力を合わせてばらばらに (話・聞①) ■必要なことを聞いて情報を集める話し合いをしよう。	1	○様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ)	◇様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ) ○積極的に、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、情報を集める話し合いをしようとしている。		
4	春のうた (読①) ■想像しながら詩を音読しよう。	1	◎詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) □「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ○積極的に情景などを具体的に想像して読み、学習課題に沿って、想像しながら詩を音読しようとしている。	関連読書（詩集） 「おどる詩あそぶ詩きこえる詩」	☆自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にする心を育てる題材（道徳）
4	なりきって書こう つづけてみよう (書③) ■好きなものなどになりきって想像したことを書こう。	4	○修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ○書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇修飾と被修飾との関係について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ○進んで感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、なりきって想像したことを書こうとしている。		
4	ふしぎな出来事をとらえて読み、考えたことを話そう 白いぼうし (読⑨) ■不思議なところについて考えたことを話し合おう。	10	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク)	◇・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) □「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ○進んで登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、不思議なところについて考えたことを話し合おうとしている。	関連読書・読書記録（同じ人物が出てくる物語・単元末資料） 「春のお客さん」「星のタクシー」	
4	図書館の達人になろう (知・技①) ■本の探し方を考えながら学校図書館で本を探そう。	2	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	◇幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) ○進んで読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして、本の探し方を考えながら学校図書館で本を探そうとしている。	学校図書館を活用した調べ学習	
4	漢字辞典を使おう (知・技④)	4	◎漢字辞典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	◇漢字辞典の使い方を理解し使っている。((2)イ) ○進んで漢字辞典の使い方を理解し、学習課題に沿って、漢字辞典を使って調べようとしている。	漢字辞典	

4	春の楽しみ (書②) ■春の行事の様子を伝える手紙を書こう。	3	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に春の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、春の行事の様子を伝える手紙を書こうとしている。	関連読書(春の行事に関する本)	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
5	大事なことを落とさずに聞こう 聞き取りメモのくふう 【コラム】話し方や聞き方からつたわること (話・聞⑥) ■聞きたいことを聞き、その内容を伝えるためにメモを取ろう。	5	◎必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○相手を見て話したり聞いたりすることができる。(知・技(1)イ)	◇・相手を見て話したり聞いたりしている。((1)イ) ・必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。((2)イ) □「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ) ○粘り強く必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話の中心を捉え、学習の見通しをもって、聞いたことを伝えるためにメモを取ろうとしている。		
5	カンジーはかせの都道府県の旅1 (知・技②) ■都道府県名を使った文を作ろう。	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。		☆地域に目を向けさせる題材(社会)
5	漢字の広場① (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。 筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう	3	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) 2	◇第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。		
5	思いやりのデザイン アップとルーズで伝える 【じょうほう】考えと例 (知・技②、読⑦) ■筆者の考えに対してもった自分の考えを伝え合おう。	9	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇・接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。	関連読書(単元未資料) 「絵くんとことばくん」「伝える極意」「世界を変えるデザインの力」	☆情報の発信のしかたやその意図に目を向けて課題を解決する学習(総合的な学習の時間)
6	気持ちが伝わる手紙を書こう お礼の気持ちを伝えよう (書⑤) ■お礼の手紙を書こう。	5	◎相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ)	◇・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで相手や目的を意識して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって、お礼の手紙を書こうとしている		☆校外学習の見学先への礼状送付(社会、総合的な学習の時間)

6	漢字の広場② (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。		
6	場面をくらべて読み、心にのこったことを伝え合おう 一つの花 (読⑧) ■心に残ったことを伝え合おう。	8	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ○粘り強く、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、心に残ったところを伝え合おうとしている。	関連読書(単元末資料) 「せかいでいちばんつよい国」「オットー」「せかいのひとびと」	
6	つなぎ言葉のはたらきを知ろう (知・技②)	2	◎接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇接続する語句の役割について理解している。((1)カ) ○積極的に接続する語句の役割を理解し、これまでの学習をいかして、つなぎ言葉を使って文を書こうとしている。		
6	短歌・俳句に親しもう(一) (知・技①) ■短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しもう。	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	◇易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。	関連読書(短歌・俳句に関する本・巻末資料)	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
6	【じょうほう】要約するとき (読③) ■文章を要約しよう。	3	◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(思・判・表C(1)ウ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)	◇考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ) ○粘り強く目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、文章を要約しようとしている。		☆多くの情報を集め、目的を意識して内容を要約、発信(総合的な学習の時間)
	見せ方を工夫して書こう 新聞を作ろう 【コラム】アンケート調査のしかた (書⑪) ■新聞を作ろう。	12	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。((2)イ) □・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ○進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞を作ろうとしている。	調べ学習	☆調べたことの整理、表現(社会、総合的な学習)

7	カンジーはかせの都道府県の旅2 (知・技②) ■都道府県名を使った文を作ろう。	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、潮次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、潮次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、潮次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。		☆地域に目を向けさせる題材(社会)
7	夏の楽しみ (書②) ■夏の行事などを俳句にしよう。	3	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に夏の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、夏の行事の様子を俳句で表現しようとしている。	関連読書(夏の行事に関する本)	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
7	本は友達 本のポップや帯を作ろう 神様の階段 (読⑥) ■読んでほしい1冊をポップや帯で紹介しよう。	6	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)	◇幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって、本をポップや帯で紹介しようとしている。	読書生活の充実 関連読書(ドキュメンタリー、ルポルタージュ、伝記)	
9	忘れもの ぼくは川 (読②) ■詩から受けた印象を伝え合おう。	2	○詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 (知・技(1)ク) ○詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク) □「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○進んで二つの詩を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習課題に沿って、詩から受けた印象を伝え合おうとしている。	関連読書(詩・巻末資料) 「元気が出る詩」	
9	あなたなら、どう言う (話・聞③) ■グループで役割を決めて、それぞれの立場で話し合いをしよう。	4	◎考えとそれを支える理由との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	◇・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・考えとそれを支える理由との関係について理解している。((2)ア) □「話すこと・聞くこと」において、目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ) ○積極的に、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習課題に沿って、異なる立場に立って話し合いをしようとしている。		
9	パンフレットを読もう (読②) ■パンフレットの工夫について話し合おう。	2	◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	◇読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○積極的に目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、パンフレットの工夫について話し合おうとしている。	メディアの読み方	☆調べ学習における情報収集(社会、総合的な学習の時間)

9	どう直したらいいかな (書③) ■文章を推敲しよう。	4	◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ)	◇・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、学習の見通しをもって、文章を推敲しようとしている。		☆日常生活や学習場面での記述とその見直し(各教科等)
9	いろいろな意味をもつ言葉 (知・技②)	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○国語辞典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	◇・様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・国語辞典の使い方を理解し使っている。((2)イ) ○進んで様子や行動を表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、言葉遊びの詩を作ろうとしている。		
9	ローマ字を使いこなそう (知・技④)	6	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ) ☆パソコンのキーボード入力など、必要な場面におけるローマ字の活用(ＩＣＴ活用)	◇日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。((1)ウ) ○積極的にローマ字の表記を考え、これまでの学習をいかして、ローマ字を書こうとしている。		☆ローマ字表記と英語の違いの確認(外国語活動)
9	漢字の広場③ (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第３学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇・第３学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・接続する語句の役割について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで第３学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。		
9	気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう ごんぎつね 【コラム】言葉を分類しよう (知・技①、読⑪) ■物語の結末についての感想を書こう。	13	◎言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) □・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ○進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習の見通しをもって、物語の結末についての感想を書こうとしている。	関連読書(新美南吉の本・単元末資料)	
１０	漢字を正しく使おう (知・技②) ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。 (知・技(1)ウ)	2	○第４学年までに配当されている漢字を読み、第３学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第４学年に配当されている漢字を漸次書くことができる。(知・技(1)エ)	◇・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第４学年までに配当されている漢字を読み、第３学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第４学年に配当されている漢字を漸次書いている。((1)エ) ○進んで同音異義語や送り仮名の付け方などについて理解し、学習課題に沿って、漢字を文や文章の中で使おうとしている。		

１０	秋の楽しみ (書②) ▩秋の行事の楽しさを伝える手紙を書こう。	3	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に秋の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、秋の行事の様子を伝える手紙を書こうとしている。	関連読書（秋の行事に関する本）	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）
１０	役わりをいしきしながら話し合おう クラスみんなで決めるには (話・聞⑧) ▩役割を意識しながらクラス全体で話し合って考えをまとめよう。	9	◎比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	◇比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。((2)イ) □・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ) ○積極的に役割を果たしながら話し合い、学習課題に沿って、考えをまとめようとしている。		☆役割を意識して話し合う姿勢を育てる題材（特別活動）
１１	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう 未来につなぐ工芸品 工芸品のみりょくを伝えよう (書⑦、読⑥) ▩調べて分かったことなどをまとめて書こう。	14	◎事典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(思・判・表C(1)ウ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	◇・事典の使い方を理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ) ○積極的に、中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって、調べて分かったことをまとめて書こうとしている。	図書室を活用した調べ学習	☆我が国の伝統と文化を大切にする心を育てる題材（道徳）
１１	慣用句 (知・技①、書①) ▩慣用句の意味を調べて文を作ろう。	3	◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使っている。((3)イ) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで慣用句の意味を知り、学習の見通しをもって、慣用句を使った文を書こうとしている。	関連読書（慣用句について書かれた本・巻末資料）	
１１	短歌・俳句に親しもう(二) (知・技①) ▩短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しもう。	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	◇易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。	関連読書（短歌・俳句の本・巻末資料）	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）
１１	漢字の広場④ (書②) ▩絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第３学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第３学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで第３学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。		

１２	つながりを見つけながら読み、おもしろいと思ったことを話し合おう 友情のかべ新聞 (読⑧) ■おもしろいと思ったところを伝え合おう。	9	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	◇幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ○積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったところを伝え合おうとしている。	関連図書の読書	
１２	理由や例を挙げて、考えを書こう もしものときにそなえよう (書⑩) ■調べて考えたことを文章に書こう。	12	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にし、学習の見通しをもって、調べて考えたことを文章に書こうとしている。	図書館を活用した調べ学習	☆自然災害に備えた防災学習（社会、理科）
１２	冬の楽しみ (書②) ■冬の行事の楽しさを伝えるかるたを作ろう。	3	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に冬の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、冬の行事の楽しさを知らせるかるたを作ろうとしている。	関連読書（冬の行事に関する本）	☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）
１	自分だけの詩集を作ろう (書③、読③) ■詩や詩集を読み、自分だけの詩集を作ろう。	8	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)	◇幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○進んで目的を意識して詩を選び、学習の見通しをもって、自分だけの詩集を作ろうとしている。	テーマに合った詩の収集	
１	言葉から連想を広げて (書③) ■連想したことを基にひと言で詩を書こう。	4	◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	◇必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。((2)イ) □「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで連想を広げ、書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、ひと言で詩を書こうとしている。		
１	熟語の意味 (知・技②)	2	◎第４学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	◇第４学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ) ○進んで第４学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、漢字や熟語を正しく読んだり書いたりしようとしている。		

1	漢字の広場⑤ (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	3	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。		
1	きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう 風船でうちゅうへ (読⑩) ■興味をもったところを中心に要約して紹介する文章を書こう。	10	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇・様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書こうとしている。	関連読書(単元末資料)	☆調査・結果・考察など、記録・報告における事実と考えの整理(理科、総合的な学習の時間)
2	言葉について考えよう つながりに気をつけよう (知・技①、書③) ■つながりに気をつけて文章を書こう。	4	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気をつけて文章を書こうとしている。		
2	言葉を選んで詩を書き、友達と読み合おう 心が動いたことを言葉に (書⑧) ■心が動いたことを詩に書いて友達と読み合おう。	10	◎書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ○進んで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして、心が動いたことを言葉にして書いた詩を読み合っている。		

3	調べて分かったことを話そう 調べて話そう、生活調査隊 (話・聞⑧) ■調査の報告をしよう。	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ	◇・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) ○進んで、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようとしている。	調べ学習	☆目的を意識して調査結果を整理、発表(社会、理科、総合的な学習の時間)
3	読んで考えたことを、友達と伝え合おう スワンレイクのほとりで (読⑦) ■物語を読んで考えたことを伝え合おう。	7	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) □・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) ○進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	関連読書(単元末資料・巻末資料)	
3	漢字の広場⑥ (書②) ■絵を見て想像したことを基に文を書こう。	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	◇第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ○進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。		
3	四年生をふり返って (書①) ■1年間の国語科での学びを振り返り、書こう。	2	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) □「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで経験したことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。		

年間授業時数　２４４時間　　標準時数　２１０時間

第4学年　書写　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　●主体的に取り組む態度

月	単元名	時	指導目標	評価規準
4	●集めて使おう,「書写のかぎ」 ●書写の学び方 ①学習のじゅんびをしよう ・毛筆で書いてみよう	2	●１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知る。 ●毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方を確認する。 ●既習の点画の書き方について確認する。	◇毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方を理解している。 ◇既習の点画の書き方について理解している。 □硬筆での姿勢や持ち方と比べながら，毛筆での姿勢や持ち方を見直している。 ○１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知って，積極的に学習に取り組もうとしている。
4・5	②画の長さと間かく 〈羊〉	3	●「横画」の長さの整え方を理解し，正しく整えて書く。 ●「横画」の間隔の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇「横画」の長さの整え方を理解している。 ◇「横画」の長さを正しく整えて書いている。 ◇「横画」の間隔の整え方を理解している。 ◇「横画」の間隔を正しく整えて書いている。 □「横画」の長さと間隔の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「横画」の長さと間隔の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
5・6	③画の方向(左はらい) 〈麦〉	3	●「左払い」が二つあるときの方向の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇「左払い」が二つあるときの方向の整え方を理解している。 ◇「左払い」が二つあるときの方向を正しく整えて書いている。 □「左払い」が二つあるときの方向の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「左払い」が二つあるときの方向の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
6・7	④筆順と字形 〈左右〉	4	●筆順と画の長さの関係を理解し，正しく整えて書く。	◇筆順と画の長さの関係を理解している。 ◇筆順と画の長さの関係を正しく整えて書いている。 □筆順と画の長さの関係を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，筆順と画の長さの関係に気をつけて，進んで書こうとしている。
9	⑤組み立て方(左右の部分) 〈土地〉	4	●左右の部分の組み立て方を理解し，正しく整えて書く。	◇左右の部分の組み立て方を理解している。 ◇左右の部分の組み立て方を正しく整えて書いている。 □左右の部分の組み立て方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，左右の部分の組み立て方に気をつけて，進んで書こうとしている。
10	○生活に広げよう ・ノートを書こう	1	●箇条書きの書き方を理解する。 ●既習の文字の整え方を理解し，ノートを書く場面で生かす。	◇箇条書きの書き方を理解している。 ◇既習事項を理解して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んでノートを書こうとしている。

月	単元名	時	指導目標	評価規準
	◇文字のいずみ ・手書き文字と活字	—	●手書き文字と活字の特徴を知る。	○手書き文字と活字に興味をもって，特徴を知ろうとしている。
10	⑥組み立て方（上下の部分） 〈竹笛〉	3	●上下の部分の組み立て方の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇上下の部分の組み立て方を理解している。 ◇上下の部分の組み立て方を正しく整えて書いている。 [思考・判断・表現] ○上下の部分の組み立て方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，上下の部分の組み立て方に気をつけて，進んで書こうとしている。
11	⑦いろいろな組み立て方	1	●いろいろな組み立て方の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇左右の部分，上下の部分，「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を理解している。 ◇左右の部分，上下の部分，「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を正しく整えて書いている。 □左右の部分，上下の部分，「たれ」「にょう」「かまえ」の組み立て方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，組み立て方に気をつけて，進んで書こうとしている。
11	○生活に広げよう ・調べたことを伝える新聞を作ろう	2	●新聞の書き方を理解する。 ●既習の文字の整え方を理解し，新聞を書く場面で生かす。	◇新聞の書き方を理解している。 ◇既習事項を理解して，読みやすく書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで新聞を書こうとしている。
11・12	◇文字のいずみ ・年賀状を書こう(小筆) p.26 ・書きぞめをしよう 〈平和〉〈美しい空〉	3	●小筆の姿勢や執筆法を理解する。 ●既習事項に気をつけて，小筆で年賀状を丁寧に書く。 ●既習の文字の整え方を理解する。 ●既習事項を生かして，書き初めを丁寧に書く。	◇小筆の姿勢や執筆法を理解している。 ◇○既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで，年賀状や書き初めを書こうとしている。
1	⑧ひらがな(折れ・折り返し) 〈わざ〉	3	●平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を理解し，正しく書く。	◇平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を理解している。 ◇平仮名の「折れ・折り返し」を正しく書いている。 □平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，平仮名の「折れ・折り返し」の書き方に気をつけて，進んで書こうとしている。

月	単元名	時	指導目標	評価規準
2	⑨行の中心と行間	1	●行の中心の整え方を理解し，正しく整えて書く。 ●適切な行間を理解し，正しく整えて書く。	◇行の中心の整え方を理解している。 ◇行の中心を正しく書いている。 ◇適切な行間をとって書くことを理解している。 ◇行間を正しく整えて書いている。 □行の中心の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 □行間の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，行の中心と行間に気をつけて，進んで書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・書いてあじわおう(百人一首)	—	●既習事項を生かして，丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。
2	○学びを生かそう ・四年生のまとめ 〈手話〉	3	●既習事項を振り返り，それらを生かして正しく整えて書く。 ●自分のめあてを持って学習する。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○自分のめあてを持って学習に取り組み，その評価を今後に生かそうとしている。
3	○学びを生かそう ・お礼の気持ちを手紙で伝えよう	2	●手紙の書き方を理解する。 ●既習事項を理解し，手紙を書く場面で生かす。	◇手紙の書き方を理解している。 ◇既習事項を理解して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○今までの学習を生かして，進んで，手紙を書こうとしている。
	合計	35時間		

第５学年　　国語科　　年間指導計画

月	教材・単元 ■主な言語活動	時	指導目標 ◎主な学習課題 ○他の学習課題・学習課題として蓄積	評価規準 ◇知識技能 □思考判断表現 ○主体的な態度	図書館活用	他教科との関連
4	ひみつの言葉を引き出そう (話・聞①) ■友達から「ひみつの言葉」を引き出そう。	1	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ)	◇言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) □・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。(A(1)エ) ○進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。		
4	かんがえるのっておもしろい (読①) ■音読して、想像したことを伝え合おう。	1	◎詩を音読することができる。(知・技(1)ク) ○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	◇詩を音読している。((1)ク) □「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○進んで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。	関連読書（詩）	
4	名前を使って、自己しょうかい 続けてみよう (書①) ■自分を紹介する文章を書こう。	2	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ)	◇・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。((1)カ) □・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ) ○積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとしている。		
4	人物の心情や人物どうしの関わりをとらえ、印象に残ったことを伝え合おう 銀色の裏地 (読⑤) ■印象に残ったことを伝え合おう。	6	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	◇・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) □「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ○粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。	関連読書（単元未資料）	☆友情、信頼や相互理解、寛容に関わる題材（道徳）
4	図書館を使いこなそう (知・技①) ■本を探して、記録カードを書こう。	1	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	◇日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) ○進んで読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。	図書館で本を探す活動	

4 4	漢字の成り立ち (知・技②)	2	◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	◇漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ) ○進んで漢字の由来、特質などに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。		
	春の空 (書①) ■春らしいものや様子を文章に書こう。	2	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。		☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材 (道徳)
5	話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう きいて、きいて、きいてみよう (話・聞⑥) ■インタビューをし、報告しよう。	6	◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)	◇・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) □・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ○粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。		☆インタビューを行い、報告する活動 (社会、総合的な学習の時間)
5 6	文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう 見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果 (知・技①、読⑥) ■考えたことを伝え合おう。	7	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)	◇・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ○粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	関連読書(言語・文化の特徴について書かれた本・単元末資料)	☆外国語や異文化への興味をもち、理解する態度を養う題材 (外国語、道徳、総合的な学習の時間)
6	敬語 2時間 (知・技②)	2	◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	◇・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) ○進んで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。		☆礼儀や言葉遣いが、円滑な人とのつながりをつくることについて考える題材 (道徳)

6 6	表現を工夫して、俳句を作ろう 日常を十七音で (書③) ■俳句を作ろう。	4	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ○俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けることができる。(知・技(1)ウ) ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けている。((1)ウ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) □・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している(B(1)ウ) ・「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。(B(1)オ) ○粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。		
	漢字の広場① (書①) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書こう。	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		
6	古典の世界 (一) (知・技②) ■古文を音読しよう。	3	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ)	◇・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。	関連読書 (単元末資料)	☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材 (道徳)
6	【情報】目的に応じて引用するとき (書②) ■引用カードを書こう。	2	◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ) ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	◇情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。((2)イ) □「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ○進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。		☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用をする態度を養う題材 (国語、理科、社会、総合的な学習の時間)
6 7	伝えたいことを整理して、報告しよう みんなが使いやすいデザイン (書⑧) ■報告する文章を書こう。	9	◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	◇情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。((2)イ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。	調べ学習 (単元末資料)	☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材 (道徳、総合的な学習の時間)
7	同じ読み方の漢字 (知・技②)	2	◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。		
7	夏の夜 (書①) ■夏らしいものや様子を文章に書こう。	1	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。		☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材 (道徳)

7 9	本は友達 作家で広げるわたしたちの読書 モモ (読⑤) ■本の魅力を伝え合おう。	6	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	◇日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) □「読む・こと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。	家を意識して選んだ本を読む活動	
9	かぼちゃのつるがわれは草なり (読②) ■考えたことを伝え合おう。	2	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ)	◇比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) □「読む・こと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ○進んで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。		
9	どちらを選びますか (話・聞②) ■立場に分かれて話し合おう。	2	◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)	◇思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) □「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) ○積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。		☆適切な資料を用意し、相手が納得する説明をする活動(特別活動)
9	新聞を読もう (読②) ■新聞記事を読もう。	3	◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)	◇文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □・「読む・こと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読む・こと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) ○進んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。		☆新聞記事等による情報収集(社会、総合的な学習の時間)
9	文章に説得力をもたせるには (書②) ■考えたことを伝え合おう。	3	◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ○積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。		
9	漢字の広場② (書①) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書こう。	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		

9 10	物語の全体像を想像し、考えたことを伝え合おう たずねびと (読⑥) ■考えたことを伝え合おう。	8	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)	◇比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(知・技(1)ク) □「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ○粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	紹介された本を選んで読む活動	☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材
10	漢字の広場③ (書①) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書こう。	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		
10	方言と共通語 (知・技②)	2	◎共通語と方言との違いを理解することができる。(知・技(3)ウ)	◇共通語と方言との違いを理解している。((3)ウ) ○進んで方言と共通語の違いに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。		
10	秋の夕 (書①) ■秋らしいものや様子を文章に書く。	1	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。		☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)
10	たがいの立場を明確にして、話し合おう よりよい学校生活のために 【コラム】意見が対立したときには (話・聞⑥) ■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合おう。	8	◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)	◇・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) □・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) ○粘り強く互いの立場や意図を明確にしながら、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。		☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習(特別活動、社会、総合的な学習の時間)
11	浦島太郎――「御伽草子」より 知・技①) ■古典の文章を読み、知っている話と比べて思ったことを話そう。	1	◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) ○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○時間の経過による言葉の変化に気づくことができる。(知・技(3)ウ)	◇・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ・時間の経過による言葉の変化に気づいている。((3)ウ) ○進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。		

11	和語・漢語・外来語 (知・技②)	2	◎語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づくことができる。(知・技(3)ウ) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づいている。((3)ウ) ○進んで和語・漢語・外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。		
11	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 固有種が教えてくれること 自然環境を守るために 【コラム】統計資料の読み方 (書⑥、読⑤) ■筆者の説明のしかたの工夫について、考えをまとめて話し合ったり、統計資料を根拠にして意見文を書いたりしよう。	11	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ) ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)	◇・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) ○粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。	統計資料がある本を読む活動 関連読書(年鑑・統計資料・単元末資料)	☆図表・グラフ等と文章を関連させながら、説明されていることを読み取る活動(社会、算数、理科)
11	カンジー博士の暗号解読 (知・技②)	2	◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○進んで漢字の読み方に関心をもち、これまでの学習をいかして漸次書こうとしている。		
12	古典の世界(二) (知・技①) ■漢文を音読しよう。	1	◎親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ)	◇・親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。	関連読書	☆国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
12	漢字の広場④ (書①) ■示された言葉を使って、それぞれの県についての文を書こう。	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		

12	伝記を読み、自分の生き方について考えよう やなせたかし――アンパンマンの勇気 (読⑥) ■伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流しよう。	7	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)	◇日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ○積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。	伝記の選書	☆自分の郷土に目を向けさせる題材(総合的な学習の時間)
12	意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう あなたは、どう考える (書⑦) ■意見文を書こう。	8	◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □・「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ) ○積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。		☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間)
12	冬の朝 (書①) ■冬らしいものや様子を文章に書こう。	1	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。		☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)
1	好きな詩のよさを伝えよう (書①、読①) ■詩を紹介する文章を書こう。	2	○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	◇比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) □・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。	詩集を読む活動	
1	言葉でスケッチ (書②) ■情景が伝わるように書こう。	2	◎目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)	◇比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) □ 「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○ 粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。		
1	熟語の読み方 (知・技②)	2	◎第5学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	◇第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ) ○進んで熟語の読み方に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。		

1	漢字の広場⑤ (書①) ■示された言葉やつなぎ言葉を使って、道順を案内する文を書こう。	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		
1	事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう 想像力のスイッチを入れよう (読⑥) ■メディアとの関わりについて考えを伝え合おう。	6	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	◇文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。	関連読書 (メディアとの関わりについて書かれた本・単元末資料)	☆メディアとの関わり方について理解し、考えをもつ題材(総合的な学習の時間、日常生
1	複合語 (知・技②)	2	◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	◇語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ○進んで複合語の構成や変化について関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。		
2	言葉について考えよう 言葉を使い分けよう (知・技①、書②) ■手紙を書こう。	3	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。		
2	読む人を意識して構成を考え、物語を書こう もう一つの物語 (書⑥) ■別の物語に書き換えよう。	7	◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)	◇話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ○粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。	読書活動	
2 3	事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう 「子ども未来科」で何をする (話・聞⑥) ■提案するスピーチを行おう。	6	◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	◇ ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ○ 粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。		☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間)

3	登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみりょくを伝え合おう 大造じいさんとガン(読⑥) ■物語の魅力を伝える文章を書こう。 ■物語の魅力が表れているところを朗読しよう。	6	◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○文章を音読したり朗読したりすることができる。(知・技(1)ケ) ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ)	◇　・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・文章を音読したり朗読したりしている。((1)ケ) □・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○　積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとしている。	関連読書 (動物と人との交流について書かれた本・単元末資料)	
3	漢字の広場⑥ (書①) ■示された言葉を使って、出来事を報道する文を書く。	1	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。		
3	五年生をふり返って (書①) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書こう。	2	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)	◇言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) ○進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。		

年間授業時数　１６３時間　　標準時数　１４３時間

第5学年　書写　年間指導計画　　◇知識・技能 □思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	●集めて使おう，「書写のかぎ」 ●書写の学び方 ①学習の準備をしよう ・用具の準備とあつかい方 ・書きやすい姿勢と，筆記具の持ち方 ・毛筆で書いてみよう	2	●１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知る。 ●毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方を確認する。 ●既習の点画の書き方について確認する。	◇毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方を理解している。 ◇既習の点画の書き方について理解している。 □硬筆での姿勢や持ち方と比べながら，毛筆での姿勢や持ち方を見直している。 ○１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知って，積極的に学習に取り組もうとしている。
4・5	②組み立て方（にょう） 〈道〉	3	●「にょう」の組み立て方の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇「にょう」の組み立て方を理解している。 ◇「にょう」の組み立て方を正しく整えて書いている。 □「にょう」の組み立て方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，「にょう」の組み立て方に気をつけて，進んで書こうとしている。
5・6	③漢字どうしの大きさ 〈白馬〉	4	●漢字相互の大きさの関係を理解し，正しく整えて書く。 ●漢字と仮名の大きさを正しく整えて書く。	◇漢字相互の大きさの関係を理解している。 ◇漢字相互の大きさを正しく書いている。 ◇漢字と仮名の大きさを正しく書いている。 □漢字相互の大きさの関係を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，漢字相互の大きさの関係に気をつけて，進んで書こうとしている。
7	○生活に広げよう ・ノートを書こう	1	●横書きの行の整え方（二通り）を理解する。 ●既習の文字の整え方を理解し，ノートを書く場面で生かす。	◇横書きの行の整え方（二通り）を理解して，正しく整えて書いている。 ◇既習事項を理解している。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んでノートを書こうとしている。
7	④目的に合った筆記具	1	●目的や場面に合わせて筆記具を使い分けることを理解して書く。	◇目的や場面に合わせて筆記具を使い分けることを理解して書いている。 □筆記具の使い分けについて，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，筆記具の使い分けに気をつけて，進んで書こうとしている。

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
9	⑤ひらがな（点画のつながり）〈きずな〉	4	●平仮名の点画のつながりを理解し，つながりに注意して書く。	◇平仮名の点画のつながりを理解している。 ◇平仮名の点画のつながりを意識して書こうとしている。 □平仮名の点画のつながり方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，平仮名の点画のつながりに気をつけて，進んで書こうとしている。
10	⑥点画のつながりと接し方〈成長〉	3	●点画のつながりと接し方の関係を理解し，正しく整えて書く。	◇点画のつながりと接し方の関係を理解している。 ◇点画のつながりに注意し，点画の接し方を正しく整えて書いている。 □点画のつながりと接し方の関係を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，点画のつながりと接し方の関係に気をつけて，進んで書こうとしている。
10	⑦分かりやすく効果的に伝える書き方	1	●情報を分かりやすく伝える書き方を理解する。 ●伝えたい情報を分かりやすく書く。	◇情報を分かりやすく伝える書き方を理解している。 ◇伝えたい情報を分かりやすく書いている。 □情報を分かりやすく伝える書き方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，情報を分かりやすく伝えているか確かめながら，進んで書こうとしている。
11	○生活に広げよう ・委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう	2	●適切な筆記具や書き方を選択する。 ●既習の文字の整え方を理解し，リーフレットを書く場面で生かす。	◇適切な筆記具や書き方を選択している。 ◇既習事項を理解し，伝わりやすさを考えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んでリーフレットを書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・書いて味わおう （竹取物語・おくのほそ道）	—	●既習事項を生かして，丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。
11 ・ 12	◇文字のいずみ ・書きぞめをしよう 〈出発〉〈強い決意〉	3	●既習の文字の整え方を理解する。 ●既習事項を生かして，書き初めを丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書き初めを書こうとしている。

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
1	⑧行の中心（小筆） （俳句）〈「雪とけて～」〉	3	●行の中心の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇行の中心の整え方を理解している。 ◇行の中心を正しく書いている。 □行の中心の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，行の中心の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・書いて味わおう （枕草子）	—	●既習事項を生かして，丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。
2	○学びを生かそう ・五年生のまとめ 〈星ふる町〉	3	●既習事項を振り返り，それらを生かして正しく整えて書く。 ●自分のめあてを持って学習する。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○自分のめあてを持って学習に取り組み，その評価を今後に生かそうとしている。
3	○学びを生かそう ・六年生におくる言葉を書こう	2	●既習事項を理解し，カードや寄せ書きを書く場面で生かす。	◇適切な筆記具や書き方を選択している。 ◇既習事項を理解して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○今までの学習を生かして，進んで，カードや寄せ書きを書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・世界の文字いろいろ	—	●世界にはさまざまな文字があることを理解し，文字文化への関心を高める。	○世界各国で使われているいろいろな文字に興味をもって，文字文化への関心を高めようとしている。

合計　　32時間

第６学年　　国語科　　年間指導計画

月	教材・単元 ■主な言語活動	時	指導目標 ◎主な学習活動　○他の学習活動・学習形態として記載	評価規準 ◇知識技能　□思考判断表現　○主体的な態度	図書館活用	他教科との関連
4	つないで、つないで、一つのお話 （話・聞①） ■文をつないでお話を作ろう。	1	◎自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)エ） ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア）	◇言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア） □「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめている。（A(1)エ） ○進んで話の内容を捉えながら相手の話を聞き、これまでの学習をいかしてお話作りに取り組もうとしている。		☆よりよい人間関係の形成に関する題材（特別活動）
4	準備 （読①） ■春の景色を思いうかべて音読しよう。	1	◎詩を音読することができる。（知・技(1)ケ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（思・判・表C(1)エ）	◇・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） ・詩を音読している。（(1)ケ） □「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。（C(1)エ） ○進んで詩を音読し、学習課題に沿って感じたことを伝え合おうとしている。	関連読書（おーいぽぷんた）	☆希望と勇気、努力と強い意志に関する題材（道徳）
4	伝わるかな、好きな食べ物 続けてみよう （書①） ■文章を読んで、紹介されている食べ物を当てよう。	1	○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)カ）	◇比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） □「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)カ） ○積極的に表現を工夫し、これまでの学習をいかして互いの文章を読み合おうとしている。		☆食生活への関心を高める題材（家庭科）
4	視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合おう 帰り道 （読⑤） ■物語を読み，感想を書いて伝え合おう。	6	◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク）	◇・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） □「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。（C(1)イ） ○進んで登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことについて考えを伝え合おうとしている。	関連読書　読書記録（視点や構成を効果的に用いた物語・単元末資料）	☆友情や信頼、相互理解や寛容に関する題材（道徳）
4	公共図書館を活用しよう （知・技①）	1	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ）	◇日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。（(3)オ） ○進んで公共図書館の役割や特徴について知り、学習課題に沿って利用してみたいものや本の記録のしかたについて考えようとしている。	公共図書館の資料やサービスの利用	
4	漢字の形と音・意味 （知・技②）	2	◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。（知・技(3)ウ） ○第６学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	◇・第６学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） ・漢字の由来、特質などについて理解している。（(3)ウ） ○進んで漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして漢字を文や文章の中で使おうとしている。		

4	春のいぶき (書①) ■身の回りで感じる「春」を俳句や短歌で表そう。	1	◎語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして俳句や短歌を作ろうとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と☆よりよい学校生活、集団生活の充実に関する題材 関心を深め、尊重する態度を養う☆礼儀や敬語が円滑な人とのつながりをつくることを実感する活動(道徳) 題材(社会、道徳)☆インタビューを通して必要な情報を集め、自分の考えを深める教材(社会、総合的な学習の時間)
5	インタビューをして、自分の考えと比べながら聞こう 聞いて、考えを深めよう (話・聞⑥) ■自分の考えと比べて、インタビューをしよう。	7	◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) □「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ○進んで話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習課題に沿ってインタビューをしようとしている。	図書館での情報収集	
5	漢字の広場① (書①) ■絵の中の出来事を記事に書こう。	1	◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして記事を書こうとしている。		
5～6	主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 【情報】主張と事例 (知・技①、読⑥) ■筆者の意図をとらえて自分の考えを発表しよう。	8	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)	◇・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ○進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	関連読書(「時間の大研究」「元気な脳が君たちの未来をひらく」「時間ってなに?流れるのは時?それともわたしたち?」)	☆物事を科学的に考えるよさに目を向ける題材(理科)
6	文の組み立て (知・技②)	2	◎文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇文の中での語句の係り方や語順について理解している。((1)カ) ○進んで文の中での語句の係り方や語順について理解し、これまでの学習をいかして設問に取り組もうとしている。		

6	表現を工夫して短歌を作り、読み合おう たのしみは (書③) ■わたしのたのしみを短歌で表そう。	4	◎短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけている。(B(1)カ) ○学習の見通しをもって短歌を作り、積極的に短歌に対する感想や意見を伝え合おうとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)
6	天地の文 (知・技①) ■声に出して楽しもう。	1	◎近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ)	◇・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ○進んで言葉の響きやリズムに親しみ、これまでの学習をいかして音読しようとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)
6	【情報】情報と情報をつなげて伝えるとき (書②) ■条件に応じて,報告書を書き直そう。	2	◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで情報と情報との関係づけのしかたについて理解を深め、学習課題に沿って報告書を書き直そうとしている。		☆調べた情報を整理して伝える方法を学ぶ教材(理科、社会、総合的な学習の時間)
6～ 7	構成を考えて、提案する文章を書こう デジタル機器と私たち (書⑧) ■考えたことや伝えたいことをもとに提案する文章を書こう。	9	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ○積極的に文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書こうとしている。	図書館での情報収集	☆インタビューによる情報収集(社会、総合的な学習の時間) ☆調べたことを基に、提案する文章を書く活動(社会、総合的な学習の時間)
7	夏のさかり (書①) ■友達やお世話になった人に夏の便りを送ろう。	1	◎語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)

7	本は友達 私と本 星空を届けたい (読⑤) ■テーマで本を読み広げ,ブックトークをしよう。	5	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	◇日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○進んで読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかしてブックトークをしようとしている。	ブックトークに向けた読書 関連図書(福祉・共生社会・平和・自然)	☆共生社会に目を向ける題材(道徳)
9	せんねん　まんねん 名づけられた葉 (読②) ■表現の工夫を伝え合おう。	2	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)	◇比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) □「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ○積極的に表現の工夫に気づき、これまでの学習をいかして考えたことを伝え合おうとしている。	関連図書「まど・みちお」	☆個性の尊重、努力と強い意志に関する題材(道徳)
9	いちばん大事なものは (話・聞②) ■友だちの考えを聞いて自分の考えにいかそう。	2	◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)	◇原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) □「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) ○積極的に考えを広げ、学習課題に沿って考えを尋ね合おうとしている。	図書館利用案内	☆よりよい人間関係の形成に関する題材(特別活動) ☆相互理解、寛容に関する題材(道徳)
9	インターネットでニュースを読もう (読③) ■ニュースサイトと新聞を比較して読もう。	3	◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)	◇文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ○進んでニュースサイトの特徴を理解し、これまでの学習をいかしてニュースサイトと新聞を比較して読もうとしている。	メディアの読み方(利用案内)	
9	文章を推敲しよう (書②) ■文章を読んで、よりよく推敲しよう。	3	◎文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○進んで文章全体の構成や書き表し方などに着目し、学習課題に沿って文章を推敲しようとしている。		☆持続可能な社会に関する題材(社会)
9	漢字の広場② (書①) ■絵の中の人々の行動を説明する文章を書こう。	1	◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。		

9～10	作品の世界を想像しながら読み、考えたことを伝え合おう やまなし 【資料】イーハトーヴの夢 (読⑨) ■作品の世界を伝えよう。	10	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) □「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ○粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。	関連読書(宮沢賢治の作品など・単元末資料)	☆生命や自然との関わりに関する題材(道徳) ☆キャリア形成と自己実現に目を向ける題材(特別活動)
10	漢字の広場③ (書①) ■絵をもとに、冒険物語を書こう。	1	◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして物語を書こうとしている。		
10	熟語の成り立ち (知・技②)	2	◎語句の構成や変化について理解することができる。(知・技(1)オ) ○第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・語句の構成や変化について理解している。((1)オ) ○進んで熟語の構成についての理解を深め、学習課題に沿って熟語を探したり組み合わせを考えたりしようとしている。		
10	秋の深まり (書①) ■自分の地域で見つけた「秋」を俳句や短歌で表そう。	1	◎語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして俳句や短歌を作ろうとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)
10	目的や条件に応じて話し合おう みんなで楽しく過ごすために 【コラム】伝えにくいことを伝える (話・聞⑥) ■たてわり班で楽しく遊ぶために話し合おう。	7	◎思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)	◇・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っている。((1)オ) □・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) ○粘り強く考えを広げたりまとめたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	図書館での情報収集(調べ学習)	☆学校における多様な集団の生活の向上に関する題材(特別活動)☆親切や思いやり、相互理解や寛容に関する題材(道徳) ☆探究的な課題の解決に関する活動(総合的な学習の時間)
10	話し言葉と書き言葉 (知・技①)	1	◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ)	◇話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ○進んで話し言葉と書き言葉との違いに気づき、これまでの学習をいかして設問に取り組もうとしている。		
11	古典芸能の世界 狂言「柿山伏」を楽しもう (知・技②) ■古典芸能について,友達と話そう。	2	◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) ○親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	◇・親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。((3)イ) ○進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、これまでの学習をいかして「柿山伏」を音読したり演じたりしようとしている。	関連読書(単元末資料)	☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)

11	筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりょく (書⑥、読⑤) ■日本文化のよさをパンフレットで伝えよう。	12	◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)	◇・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) ○粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって日本文化のよさを伝える文章を書こうとしている。	日本文化についての関連読書(	☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)☆我が国の美術作品の造形的なよさや美しさなどを鑑賞する活動(図画工作)
11～12	カンジー博士の漢字学習の秘伝 (知・技②)	2	◎文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。(知・技(1)ウ) ○第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。((1)ウ) ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○工夫して漢字学習を行うことに進んで取り組み、これまでの学習をいかして漢字を正しく書こうとしている。		
12	漢字の広場④ (書①) ■絵の中の出来事を説明する文章を書こう。	1	◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。		
12	物語を読んで考えたことを、伝え合おう ぼくのブック・ウーマン (読④) ■物語を読んで考えたことを、語り合おう。	5	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	◇日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) □・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ○進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	本の役割や読書の意義に目を向ける題材 翻訳作品についての関連読書	

12	相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう おすすめパンフレットを作ろう (書⑥) ■推薦したいものを、パンフレットにまとめて伝えよう。	7	◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	◇・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ○進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。	図書館での情報収集	
12	冬のおとずれ (書①) ■友達やお世話になった人に冬の便りを送ろう。	1	◎語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている((1)オ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)
1	詩を朗読してしょうかいしよう (読②) ■お気に入りの詩を朗読して紹介しよう。	2	◎詩を朗読することができる。(知・技(1)ケ) ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	◇・詩を朗読している。((1)ケ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。((3)オ) □「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○進んで詩を朗読し、これまでの学習をいかしてお気に入りの詩を紹介しようとしている。	詩集からお気に入りの詩を選ぶ活動	
1	知ってほしい、この名言 (書②) ■お気に入りの名言を紹介しよう。	3	◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	◇情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○進んで集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習課題に沿って名言を紹介しようとしている。	本やことわざ辞典、名言集などによる情報収集	
1	日本の文字文化 【コラム】仮名づかい (知・技②)	2	◎文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。(知・技(1)ウ) ◎語句の由来などに関心をもち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	◇・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。((1)ウ) ・語句の由来などに関心をもち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ) ○進んで仮名及び漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして適切な表記を考えようとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳)
1	漢字の広場⑤ (書①) ■絵の中の様子を説明する文章を書こう。	1	◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。		

1	筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合おう 「考える」とは (読⑥) ■複数の文章を読んで、考えたことを伝え合おう。	7	◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)	◇・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) □・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	関連読書(未来の社会・生き方・単元末資料)	☆一人一人のキャリア形成と自己実現に関する題材(特別活動) ☆真理の探究に関する題材(道徳)
1	使える言葉にするために (知・技①)	1	◎第6学年までに配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	◇第6学年までに配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ○進んで第6学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、読み方や意味が分からない言葉を辞書で調べようとしている。		☆各教科の学習の中で使われる言葉(社会、算数、理科)
1～2	言葉について考えよう 日本語の特徴 (知・技①、書②) ■日本語の特徴を紹介しよう。	3	○語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・文の中での語句の係り方や語順について理解している。((1)カ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○進んで日本語の特徴について理解を深め、学習課題に沿って日本語の特徴を紹介する文章を書こうとしている。		☆我が国の文化や伝統への理解と関心を深め、尊重する態度を養う題材(社会、道徳) ☆日本語と外国語の違いに気づき、その背景にある文化に対する理解を深める題材(外国語)
2	書き表し方を工夫して、経験と考えを伝えよう 大切にしたい言葉 (書⑥) ■大切にしたい言葉を伝え合おう。	6	◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	◇語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) □「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ○積極的に自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって大切にしたい言葉に対する思いを書こうとしている。	関連図書(伝記・自叙伝・名言集)	☆キャリア形成と自己実現に関する題材(特別活動)
2	資料を使って、みりょく的なスピーチをしよう 今、私は、ぼくは (話・聞⑥) ■自分の思いを伝えるスピーチをしよう。	6	◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ)	◇・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) □・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ○積極的に資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の思いや考えを伝えるスピーチをしようとしている。		☆キャリア形成と自己実現に関する題材(特別活動) ☆希望と勇気、努力と強い意志に関する題材(道徳)

3	登場人物の生き方について、考えたことを話し合おう 海の命 (読⑥) ■登場人物の生き方をポップで紹介しよう。	6	◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ)	◇比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) □・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○積極的に文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習の見通しをもってそれぞれの人物の生き方に対する考えを話し合おうとしている。	関連読書(人物の生き方、考え方・単元末資料)	☆よりよく生きる喜びや生命の尊さに目を向ける題材(道徳)
3	漢字の広場⑥ (書①) ■絵の中の様子を想像して、文章を書こう。	1	◎第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	◇第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) □「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) ○積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。		
3	卒業するみなさんへ 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか (書①、読③) ■詩と文章を読んで、感じたことを伝え合おう。	4	○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○詩を朗読することができる。(知・技(1)ケ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ○詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	◇・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・詩を朗読している。((1)ケ) □・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) ○積極的に6年間の国語学習を振り返り、これまでの学習をいかして、詩を読んで感じたことを伝え合ったり、文章に対する自分の考えをまとめたりしようとしている。		☆相互理解や寛容、公平や社会正義、よりよく生きる喜びに目を向ける題材(道徳) ☆探究的な見方・考え方を働かせ、自己の生き方を考えていく題材(総合的な学習の時間)

年間授業時数　１５８時間　　標準時数　１４３時間

第6学年　書写　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元名	時	指導目標	評価規準
4	●集めて使おう,「書写のかぎ」 ●書写の学び方 ①学習の準備をしよう	2	●１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知る。 ●毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方を確認する。 ●既習の点画の書き方について確認する。	◇毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方を理解している。 ◇既習の点画の書き方について理解している。 □硬筆での姿勢や持ち方と比べながら，毛筆での姿勢や持ち方を見直している。 ○１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を知って，積極的に学習に取り組もうとしている。
4・5	②組み立て方（三つの部分） 〈湖〉	3	●三つの部分の組み立て方の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇三つの部分の組み立て方を理解している。 ◇三つの部分の組み立て方を正しく整えて書いている。 □三つの部分の組み立て方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，三つの部分の組み立て方に気をつけて，進んで書こうとしている。
5・6	③点画のつながり 〈旅行〉	4	●点画のつながりを理解し，つながりに注意して書く。	◇点画のつながり方を理解している。 ◇点画のつながりを意識して書いている。 □点画のつながり方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，点画のつながりに気をつけて，進んで書こうとしている。
7	④書く速さ	1	●目的や場面に合わせて書く速さを使い分けることを理解し，書く速さを使い分けて書く。	◇目的や場面に合わせて書く速さを使い分けることを理解している。 ◇目的や場面に応じて，書く速さを使い分けて書いている。 □書く速さの使い分け方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字や書くときの動作を見直し，書く速さに気をつけて，進んで書こうとしている。
7	○生活に広げよう ・インタビューのメモを取ろう	1	●文字を速く書くための工夫を理解する。 ●既習の文字の整え方を理解し，メモを取る場面で生かす。	◇文字を速く書くための工夫を理解している。 ◇既習事項を理解して，適切な速さで書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んでメモを取ろうとしている。

月	教材・単元名	時	指導目標	評価規準
	◇文字のいずみ ・手書き文字のいろいろな書き方	—	●手書きで漢字を書く場合に許容される形があることを理解する。	◇手書きで漢字を書く場合に許容される形があることを理解している。 ○手書きで書く場合のさまざまな字形に興味をもって，知ろうとしている。
9	⑤用紙に合った文字の大きさ 〈中秋の名月〉	3	●配列（用紙に合った文字の大きさ）の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇配列（用紙に合った文字の大きさ）の整え方を理解している。 ◇配列（用紙に合った文字の大きさ）に気をつけて正しく整えて書いている。 □配列（用紙に合った文字の大きさ）の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，配列（用紙に合った文字の大きさ）の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
10	⑥ひらがな（文字と文字のつながり） 〈あられ〉	3	●平仮名の文字相互のつながりを理解し，つながりに注意して書く。	◇平仮名の文字相互のつながり方を理解している。 ◇平仮名の文字相互のつながりを意識して書いている。 □平仮名の文字相互のつながり方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，平仮名の文字相互のつながりに気をつけて，進んで書こうとしている。
10	⑦字形の整え方	1	●点画の長さ，点画の間隔，点画の方向の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇点画の長さ，点画の間隔，点画の方向の整え方を理解している。 ◇点画の長さ，点画の間隔，点画の方向を正しく整えて書いている。 □点画の長さ，点画の間隔，点画の方向の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，点画の長さ，点画の間隔，点画の方向の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
11	○生活に広げよう ・発表のためのポスターを書こう	3	●適切な筆記具や書き方を選択する。 ●既習の文字の整え方を理解し，ポスターを書く場面で生かす。	◇適切な筆記具や書き方を選択している。 ◇既習事項を理解して，読む人に伝わりやすいように書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んでポスターを書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・書いて味わおう （漢詩「春暁」）	—	●既習事項を生かして，丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。

月	教材・単元名	時	指導目標	評価規準
11・12	◇文字のいずみ ・書き初めをしよう 〈希望〉〈伝統を守る〉	3	●既習の文字の整え方を理解する。 ●既習事項を生かして，書き初めを丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書き初めを書こうとしている。
1	⑥文字の大きさと配列(小筆) 〈「海のいのち」より〉	3	●配列(文字の大きさ，字間・行間）の整え方を理解し，正しく整えて書く。	◇配列（文字の大きさ，字間・行間）の整え方を理解している。 ◇配列（文字の大きさ，字間・行間）を正しく書いている。 □配列（文字の大きさ，字間・行間）の整え方を，ほかの文字にどのように生かすか考えている。 ○書いた文字を見直し，配列（文字の大きさ，字間・行間）の整え方に気をつけて，進んで書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・書いて味わおう （漢文「論語」）	—	●既習事項を生かして，丁寧に書く。	◇既習事項を理解して，丁寧に書いている。 [思考・判断・表現] □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○既習事項を生かして，進んで書こうとしている。
2	○学びを生かそう ・六年生のまとめ 〈新たな世界〉	3	●既習事項を振り返り，それらを生かして正しく整えて書く。 ●自分のめあてを持って学習する。	◇既習事項を理解している。 ◇既習事項に注意して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○自分のめあてを持って学習に取り組み，その評価を今後に生かそうとしている。
3	○学びを生かそう ・書写展覧会を開こう	2	●六年間に書写で学習してきたことを生かして，作品を書く。	◇適切な筆記具や書き方を選択している。 ◇既習事項を理解して，正しく整えて書いている。 □既習事項をどのように生かすか考えている。 ○今までの学習を生かして，進んで，書写の学習を生かした作品を書こうとしている。
	◇文字のいずみ ・日本の文字の歴史	—	●我が国で使われている文字の歴史を理解し，文字文化への関心を高める。	○我が国で使われている文字の歴史に興味をもって，文字文化への関心を高めようとしている。

合計　　32時間

第３学年　社会科　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4月	1 わたしたちのまち みんなのまち ＊オリエンテーション ○学校のまわり	 1 5	身近な地域の様子について、地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで学校のまわりの様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、身近な地域の様子を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。	○イラストからまちの建物の様子、道路や駅の様子、人々の様子などを読み取って、まちの様子に気づき、自分たちのまちへの関心を高めている。 ◇身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、身近な地域の様子を大まかに理解している。 □身近な地域の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見出し、身近な地域の様子について考え、表現している。 □身近な地域の様子の場所による違いを考え、適切に表現している。 ○身近な地域の様子について、予想したり主体的に調べようとしたりしている。
5月	①市の様子	10	市の様子について、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料を使ったりして調べ、まとめることで市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。	◇都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、市の様子を理解している。 □都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見いだし、市の様子について考え、表現している。 □市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などを比較・関連づけ、総合などして市の場所による違いを考え、適切に表現している。 ○市の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

6月	2 はたらく人とわたしたちのくらし		地域にみられる農家の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料を調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、農家の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。	□市で働く人たちの様子に着目して、問いを見出している
	＊オリエンテーション	1		◇農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。
	①農家の仕事 〈選択〉	10		◇調べたことを宣伝シールや文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接なかかわりをもって行われていることを理解している。 □農家の仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見いだし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。 □生産の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。 ○地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	①工場の仕事 〈選択〉	(10)	地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。	◇工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ◇調べたことを宣伝シールや文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接なかかわりをもって行われていることを理解している。 □工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見いだし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。 □工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。 ○地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
7月 8月 9月	②店ではたらく人	14	地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査をしたり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解	◇消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。 □消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国と

			決しようとする態度を養う。	の関わりなどに着目して、問いを見いだし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。 □地域に見られる販売の仕事と他地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。 ○地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
10月

12月	②事故や事件からくらしを守る	6	事故や事件から地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることで関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故の防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。	◇施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。 ◇調べたことを地図や文などにまとめ、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。 □施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。 □連携・協力している関係機関の働きを比較・分類、または結び付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考え、選択・判断したりして、表現している。 ○地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしている。
1月

第４学年　　社会科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4月	1 わたしたちの県 ＊オリエンテーション ①県の広がり	1 2	都道府県の様子について、我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現することを通して、自分たちの県の地理的環境の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○47都道府県の名称や位置、それぞれの名所や特産品などに注目して、都道府県の様子に関心を高めている ◇我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などについて地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、県の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの県の地理的環境の概要を理解している。 □我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、問いを見いだし、県の様子について考え表現している。 □県の位置や県全体の地形、主な産業、交通網や主な都市の位置などの情報を比較・関連、総合して県の地理的環境の特色を考え、適切に表現している。 ○県の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
5月	2 住みよいくらしをつくる ＊オリエンテーション ① 水はどこから	1 11	飲料水を供給する事業について、供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に自分たちに協力できることを考えようとする態度を養う。	○人々の健康や住みよいくらしを支えている仕組みや人々の働きなどに着目して、学習の見通しをもっている ◇供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための事業の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 □供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見いだし、飲料水の供給のための事業の様子について考え表現している。 □飲料水の供給のための事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付け、飲料水の供給のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。 ○飲料水を供給する事業について、予想や学

				習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことを基に、節水や水を汚さないために自分たちが協力できることを考えようとしている。
6月 7月	②ごみのしょりと利用	13	廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基にごみの減量のために自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。	◇処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 □処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。 □廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。 ○廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことを基にごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしている。
8月 9月	3 自然災害からくらしを守る ＊オリエンテーション ①風水害からくらしを守る	1 10	自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。	○県内で過去に起こった様々な自然災害を概観し、自然災害から人々を守る活動について関心を高めている。 ◇自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 □過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、問いを見出し、災害から人々を守る活動について考え、表現している。 □地域の関係機関や人々の働きを関連付け、

				災害から人々を守る活動について考えたり、地域で起こり得る災害を想定し、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして表現している。 ○自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことを基に地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。
10月	4　きょう土の伝統・文化と先人たち *オリエンテーション ①残したいもの　伝えたいもの	1 10	県内の伝統や文化について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受けついできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。	○古くから残るものを想起し、学習の見通しをもっている ◇歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、県内の文化財や年中行事の様子を理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、県内の文化財や年中行事には地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している □歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、問いを見いだし、県内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。 □文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことをもとに地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。 ○県内の文化財や伝統行事について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えようとしている。
	②谷に囲まれた大地に水を引く ※地域教材「平六の池」	12	先人の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 □当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見いだし、地域の発展に尽

				くした先人の具体的事例について考え表現している。 □先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、適切に表現している。 ○県内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
12月	5 特色あるちいきと人々のくらし ＊オリエンテーション ①こけしをつくるまち・蔵王町	1 7	県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○県内には様々な特色ある地域があることに気づき、そうした地域での人々のくらしの様子に関心を高めている ◇特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 □特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 □特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。 ○県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
1月 2月	②国際交流に取り組むまち・仙台市	13	県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 □特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 □特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。 ○県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返った

				りして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
3月	③美しい景観を生かすまち・松島町 〈選択〉	7	県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 □特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 □特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。 ○県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	③古いまちなみを生かすまち・登米市登米町 〈選択〉	(7)	県内の特色ある地域の様子について、特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、特色ある地域の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 □特色ある地域の位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見いだし、県内の特色ある地域の様子について考え表現している。 □特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして県内の地域の特色を考え、適切に表現している。 ○県内の特色ある地域の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

年間授業時数　90時間　　標準時数（９０時間）

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4月	1.わたしたちの国土 ＊オリエンテーション 1 ①　世界の中の国土 4		我が国の国土の様子について、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現することを通して、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○日本が地球のどこにあるかや、国土の様子について関心を高めている ◇世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、我が国の国土の様子を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。 □世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、問いを見いだし、我が国の国土の様子について考え表現している。 ○我が国の国土の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	②国土の地形の特色 3		我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国土の地形の様子を捉え、国土の地形の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇国土の地形について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の地形の様子を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、国土の地形の概要を理解している。 □国土の地形に着目して、問いを見いだし、国土の地形の様子について考え表現している。 ○我が国の国土の地形の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
5月	③低い土地のくらし 〈選択〉 5		我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで低い土地の自然などの様子や低い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇国土の地形などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、低い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。 □国土の地形などに着目して、問いを見いだし、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活について考え表現している。 □我が国の位置や地形の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。 ○低い土地のくらしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	③高い土地のくらし 〈選択〉 (5)		我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで高い土地の自然などの様子や高い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要や、人々は自然環境に適	◇国土の地形などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や高い土地の人々の生活を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、低い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。 □国土の地形などに着目して、問いを見いだし、国土の自然などの様子や高い土地の人々の生活について考え表現している。 □我が国の位置や地形の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、高い土地の自然条件と人々の生活

			応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。 ○高い土地のくらしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	④国土の気候の特色	3	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国土の気候の様子を捉え、国土の気候の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇国土の気候について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の気候の様子を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の国土の気候の概要を理解している。 □国土の気候に着目して、問いを見いだし、国土の気候の様子について考え表現している。 ○我が国の国土の気候の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている
	⑤あたたかい土地のくらし〈選択〉	4	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることであたたかい土地の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇国土の気候などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、あたたかい土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。 □国土の気候などに着目して、問いを見いだし、国土の自然などの様子やあたたかい土地の人々の生活について考え表現している。 □我が国の位置や気候の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、あたたかい土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。 ○あたたかい土地のくらしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	⑤寒い土地のくらし〈選択〉	(4)	我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで寒い土地の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇国土の気候などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、寒い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。 □国土の気候などに着目して、問いを見いだし、国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活について考え表現している。 □我が国の位置や気候の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、寒い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。 ○寒い土地のくらしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

6月	2. わたしたちの生活と食料生産 ＊オリエンテーション ①くらしを支える食料生産	1 3	我が国の農業や水産業における食料生産について、生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○わたしたちが食べているものから、食料生産について関心を高めている ◇生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の概要を理解している。 ◇調べたことを白地図や文など　にまとめ、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。 □身近な食料品の産地に着目して問いを見いだし、我が国の食料生産の概要について考え表現している。 □生産物の種類や分布、生産量の変化、自然条件との関わりなどを総合して、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、適切に表現している。 ○我が国の食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	②米づくりのさかんな地域	8	我が国の米の生産について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や各種の資料などで調べ、まとめることで、米づくりに関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、我が国の米づくりに関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、米づくりに関わる人々の工夫や努力を理解している。 ◇調べたことを新聞にまとめ、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。 □米の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見いだし、米づくりに関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 □米づくりの仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて米づくりに関わる人々の働きを多角的に考え、適切に表現している。 ○我が国の米の生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
7月	③水産業のさかんな地域	7	我が国の水産業について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図や各種の資料で調べ、まとめることで、水産業に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、我が国の水産業に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、我が国の水産業に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。 □水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見いだし、水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 □水産業の仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて水産業に関わる人々の働きを考えたり、我が国の水産業の現状をふまえて、水産業の抱える課題を見いだしたりするとともに、これからの水産業の発展に

				おいて大切なことについて、自らの考えを適切に表現している。 ○我が国の水産業の様子について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
8月 9月	④これからの食料生産とわたしたち	5	我が国の農業や水産業における食料生産について、食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安心・安全への取り組みなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の課題を捉え、食の安心・安全の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基にこれからの農業などの発展について考えようとする態度を養う。	◇食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安心・安全への取り組みなどについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、食の安心・安全の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。 □食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安心・安全への取り組みなどに着目して、問いを見いだし、食料生産の課題について考え表現している。 □食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。 ○これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことを基に、これからの農業や水産業などの発展について考えようとしている。
	3 わたしたちの生活と工業生産 ＊オリエンテーション ①くらしを支える工業生産	1 4	我が国の工業生産について、工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国ではさまざまな工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○身のまわりの工業製品から、工業生産について関心を高めている ◇工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、我が国ではさまざまな工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。 □工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、問いを見いだし、工業生産の概要について考え表現している。 ○工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

	②自動車をつくる工業	10	我が国の自動車生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。 □自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見いだし、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。 □自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。 ○自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
11	③工業生産を支える運輸と貿易	5	我が国の工業生産について、輸送網(交通網)の広がり、外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現することを通して、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇輸送網の広がり、外国との関わりなどについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解している。 ◇調べたことを白地図や文などにまとめ、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。 □輸送網の広がり、外国との関わりなどに着目して、問いを見出し、貿易や運輸の様子について考え表現している。 □工業生産と貿易や運輸の働きを関連付けて貿易や運輸が工業生産に果たす役割を考え、適切に表現している。 ○工業生産における貿易や運輸について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	④これからの工業生産とわたしたち	4	我が国の工業生産について、伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の課題を捉え、工業生産の発展と国民生活との関連を考え、表現することを通して、燃料や原材料の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにこれからの工業の発展について考えようとする態度を養う。	◇伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の課題を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、燃料や原材料の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解している。 □伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、問いを見出し、技術を生かし発展する工業生産の課題について考え表現している □工業生産について学習してきたことを総合して工業生産の課題について考え、学習したことをもとに、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について考え表現している。 ○これからの工業生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに、これからの工業の発展について考えようとしている。

12月	4 情報化した社会と産業の発展 ＊オリエンテーション ①情報産業とわたしたちのくらし	1 6	放送などの情報産業で働く人々について、情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、まとめることで放送などの情報産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、放送などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基にして、情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとする態度を養う。	○わたしたちの生活の中の情報の役割について関心を高めている ◇放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力などについて聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、放送などの情報産業の様子について理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、放送などの情報産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。 □放送などの情報産業で働く人々の情報を集め発信するまでの工夫や努力に着目して、問いを見いだし、放送などの情報産業の様子について考え表現している。 □放送局などから発信される情報と自分たちの生活を関連付けて、放送などの産業が国民生活に果たす役割を考えたり、学習したことを基に情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えたりして表現している。 ○放送などの産業と情報との関わりについて予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに、情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとしている。
12月	②情報を生かす産業	5	我が国の産業と情報との関わりについて、情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、まとめることで産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、さまざまな産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとする態度を養う。	◇情報の種類、情報の活用のしかたなどについて、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、産業における情報活用の現状を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、さまざまな産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。 □情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、問いを見出し、産業における情報活用の現状について考え表現している。 □情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、学習したことをもとに産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考え表現している。 ○大量の情報や情報通信技術の活用について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

1月	③情報を生かすわたしたち	2	情報活用のあり方について、情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、各種の資料で調べ、まとめることで情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたを捉え、情報が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇情報の種類、情報の活用のしかたなどについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたを理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、情報化の進展により国民生活の利便性が向上する一方、適切に情報を見極める必要があることを理解している。 □情報の使い方や情報活用に関連して起きている問題などに着目して、問いを見いだし、情報化の進展が国民生活に果たす役割や情報の適切な活用のしかたについて考え表現している。 □学習してきたことを総合して、情報活用のあり方について考え、表現している。 ○情報活用のあり方について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに、情報化の進展に伴う国民生活におけるよさや課題について考えようとしている。
1月	5 わたしたちの生活と環境 ＊オリエンテーション ①自然災害を防ぐ	1 6	我が国の国土の自然条件と国民生活について災害の種類や発生の位置や時間、防災対策などに着目して、地図や各種資料で調べ、まとめることで国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することを通して、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などがさまざまな対策や事業を進めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○わたしたちの生活と自然環境とのかかわりについて関心を高めている ◇災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然災害の状況を理解している。 ◇調べたことを表や文にまとめ、自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などがさまざまな対策や事業を進めていることを理解している。 □災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、問いを見出し、国土の自然災害の状況について考え、表現している。 □我が国で発生するさまざまな自然災害と国土の自然条件を関連付けて、国や県などの防災・減災に向けた対策や事業の役割を考え、表現している。 ○我が国の自然災害の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふりかえったりして、主体的に学習問題を追究、解決しようとしている。
2月	②わたしたちの生活と森林	6	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、森林資源の分布や働きなどに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現することを通して、森林は、その育成や保護に従事している人々のさまざまな工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、国土の	◇森林資源の分布や働きなどについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の環境を理解している。 ◇調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、森林は、その育成や保護に従事している人々のさまざまな工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解している。 □森林資源の分布や働きなどに着目して、問いを見いだし、国土の環境について考え表現している。 □我が国の国土における森林の分布と国民の生活舞台である国土の保全を関連付けて、森林資源が果たす役割を考えたり、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。 ○森林資源の働きについて、予想や学習計画を立てたり、

			環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。	学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。
3月	3 環境を守るわたしたち	5	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで公害防止の取り組みをとらえ、その働きを考え、表現することを通して、関係機関や地域の人々のさまざまな努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとする態度を養う。	◇公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、公害防止の取り組みを理解している。 ◇調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、関係機関や地域の人々のさまざまな努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことや、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解している。 □公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、問いを見いだし、国土の環境について考え表現している。 □公害防止の取り組みと環境改善や人々の健康な生活を関連付けて、公害防止の取り組みの働きを考えたり、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりして、表現している。 ○公害防止の取り組みについて、予想や学習計画を立て、学習をふり返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。

年間授業時数　100時間

標準時数（　100時間）

第６学年　社会科　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
４月	１ わたしたちの生活と政治 *オリエンテーション	1	我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料などで調べたりしてまとめることで、　我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○わたしたちのくらしと政治の関連について関心を高めている。 ◇日本国憲法の基本的な考え方について、見学・調査したり各種の資料などで調べたりして、必要な情報を読み取り、我が国の民主政治を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解している。 □日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見いだし、我が国の民主政治について考え、適切に表現している。 □日本国憲法の基本的な考え方と国民生活を関連付けて、日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え、適切に表現している。 ○日本国憲法の基本的な考え方について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	①わたしたちのくらしと日本国憲法	7		
５月	②国の政治のしくみ選挙	5	我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料などで調べたりしてまとめることで、我が国の民主政治を捉え、国会、内閣、裁判所と国民生活との関わりを考え、表現することを通して、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇日本国憲法の基本的な考え方について、見学・調査したり各種の資料などで調べたりして、必要な情報を読み取り、我が国の民主政治を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。 □日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見いだし、我が国の民主政治について考え、適切に表現している。 □国会、内閣、裁判所と国民生活との関わりを考えたり、学習したことを基に政治への関わり方について多角的に考えたりして、適切に表現している。 ○日本国憲法の基本的な考え方について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。
	③子育て支援の願いを実現する政治 〈選択〉	5	我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりしてまとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え	◇政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な

			方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	働きをしていることを理解している。 □政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見いだし、国や地方公共団体の政治の取組について考え、適切に表現している。 □国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え、適切に表現している。 ○我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	③震災復興の願いを実現する政治 〈選択〉	（5）	我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりしてまとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考えの下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 □政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見いだし、国や地方公共団体の政治の取組について考え、適切に表現している。 □国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え、適切に表現している。 ○我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
6月	2　日本の歴史 ＊オリエンテーション	2	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や地図、年表などの資料で調べ、世の中の変化の様子を考え、表現することを通して、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	○歴史学習で学んでいくことについて見通しをもっている。
	①縄文のむらから古墳のくにへ	7		◇世の中の様子、代表的な文化遺産などについて、遺跡や地図、年表などの資料で調べ、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、むらからくにへと変化したことを理解している。
	②天皇中心の国づくり	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。 □世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について考え、適切に表現している。

				□大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 ○大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
7月	③貴族のくらし	3	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や年表、その他の資料で調べ、この頃の文化の特色を考え、表現することを通して、貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。	◇貴族の生活や文化などについて、文化財や年表、その他の資料で調べ、日本風の文化が生まれたことを理解している。 ◇ ○世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、貴族のくらしやこの頃の文化の特色を考え、適切に表現している。 ○主体的に学習問題を追究・解決し、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。
	④武士の世の中	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きなどに着目して、地図や年表などの資料で調べ、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇世の中の様子、人物の働きなどについて、地図や年表などの資料で調べ、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。 □世の中の様子、人物の働きなどに着目して、問いを見いだし、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて考え、適切に表現している。 □源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 ○源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	⑤今に伝わる室町文化	3	我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化や地図、年表などの資料で調べ、この頃の文化の特色を考え、表現することを通して、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自	◇京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について、文化財や地図、年表などの資料で調べ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。 □人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画や、この頃の文化の特色を考え、適切に表現している。 ○主体的に学習問題を追究・解決しようとし、

			分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。	学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。
8月 9月	⑥戦国の世の天下統一へ	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表、その他の資料で調べ、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現することを通して、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、地図や年表、その他の資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、戦国の世が統一されたことを理解している。 □世の中の様子、人物の働きや文化遺産などに着目して、問いを見いだし、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え、適切に表現している。 □キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現している。 ○キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
10月	⑦江戸幕府と政治の安定	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現することを通して、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。 □世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え、適切に表現している。 □江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。 ○江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	⑧町人の文化と新しい学問	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や年表、その他の資料で調べ、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え、表現することを通して、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこ	◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や年表、その他の資料で調べ、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。 □世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺

			ったことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。	産などに着目して、問いを見いだし、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え、適切に表現している。 ○歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
11月	⑨明治の国づくりを進めた人々	7	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、表現することを通して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。 □世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え適切に表現している。 □黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。 ○黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	⑩世界に歩み出した日本	6	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	◇世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、地図や年表などの資料で調べ、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。 □世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて考え、適切に表現している。 □日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。 ○日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し解決しようとしている。
12月	⑪長く続いた戦争と人々のくらし	7	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表などの資料で調べたり聞き取り調査をしたり	◇世の中の様子、代表的な文化遺産などについて、地図や年表などの資料で調べたり聞き取り調査をしたりして、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを理解して

			して、年表やノートなどにまとめ、我が国の政治や国民生活大きく変わったことを考え、表現することを通して、日中戦争や我が国における第二次世界大戦などを手掛かりに、我が国と中国との戦いが全面化したことや、連合国との戦いによる敗戦、広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	いる。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、我が国と中国との戦いが全面化したことや、連合国との戦いによる敗戦、広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解している。 □世の中の様子、代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて考え、適切に表現している。 □日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを関連付けたり総合したりして、我が国の政治や国民の生活が大きく変わったことを考えたり、学習してきたことを基に、歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。 ○日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
1月	⑫新しい日本、平和な日本へ	8	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子などに着目して、地図や年表などの資料で調べ、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会において果たしてきた役割を考え、表現することを通して、日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、歴史の学習を未来に生かそうとする態度を養う。	◇世の中の様子などについて、地図や年表などの資料で調べ、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 ◇調べたことを年表や文などにまとめ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。 □世の中の様子などに着目して、問いを見いだし、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて考え、適切に表現している。 □日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを関連付けたり総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会において果たしてきた役割について考えたり、学習してきたことを基に歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。 ○日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことを基に、我が国の課題やそのよりよい解決方法について考えようとしている。また、歴史の学習を未来に生かそうとしている。
	3　世界の中の日本		グローバル化する世界の日本の役割について、外国の人々の生活の様子などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役	○国際社会について関心を高めている ◇外国の人々の生活の様子などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣
	*オリエンテーション	1		
2月	①　日本とつながりの深	8		

	い国々		割を考え、表現することを通して、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとする態度を養う。	との違いを理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国々の人々の生活は、多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 □外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見いだし、日本の文化や習慣との違いについて考え、適切に表現している。 □世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、国際交流の果たす役割を考えたり、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えたり選択・判断したりして、適切に表現している。 ○外国の人々の生活の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとしている。
3月	②世界の未来と日本の役割	5	グローバル化する世界と日本の役割について、地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとする態度を養う。	◇地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。 ◇調べたことを図表や文などにまとめ、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。 □地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、問いを見いだし、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について考え、適切に表現している。 □地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子を関連付けて、国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり、学習したことを基に今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたりして、適切に表現している。 ○国際社会において我が国が果たしている役割について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。

年間授業時数　105時間　　標準時数（105時間）

第１学年　算数科　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	わくわく　すたあと	4	●通学路や学校生活の場面で、ものの集まりに着目しながら個数を比べる活動を通して、親しみながら算数を学ぶ態度を養うとともに、これからスタートする学校生活にスムーズに順応できるようにする。	◇観点を決めたものの集まりのつくり方や、１対１対応による数の多少の判断の仕方を理解し、観点を決めてものの集まりをつくったり、２つの集まりの要素を１対１に対応づけたりすることができる。 □ものの集まり(集合)、仲間づくり(分類)、および１対１対応の見方・考え方を身につけている。 ○これまでの体験をもとに、ものの集まりや数に親しみを持って関わり、ものとブロックを対応させるよさや学ぶ楽しさを感じている。
4 5	1、かずと　すうじ	9	●10までの数について、よみ方、かき方、数の系列、大小を理解し、具体物と数図ブロックを対応させる活動を通して、ものの個数を数で表すよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇10までの数の数観念、よみ方、かき方、数系列、大小を理解している。 □ものの集まりをとらえ、数を数え、数を表す考え方を身につけている。 ○身のまわりの10までの数に親しみを持って関わり、個数を数で表すよさや学ぶ楽しさを感じている。
5	2、なんばんめ	4	●順序数について、数が順序を表す場合に用いられることを理解し、方向や位置を表すことばでものの順番や位置を表す活動を通して、順序数を用いるよさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇数が順序を表す場合に用いられることを理解し、「前後」「左右」「上下」などの方向や位置を表すことばを正しく用いて、ものの順番や位置を数で表すことができる。 □「前後」「左右」「上下」などの方向や位置を表すことばに着目し、数を用いてものの順番や位置を表すことを考えている。 ○これまでの体験をもとに、順番や位置に親しみを持って関わり、順序や位置を数で表すことのよさや学ぶ楽しさを感じている。
5	3、いくつと　いくつ	12	●10までの数について、ゲームをしたり数図ブロックを操作したりしながら数の合成・分解を考える活動を通して、10の補数関係を理解したり、0について知ったりするとともに、楽しみながら学ぶ態度を養う。	◇10までの数の合成・分解と、10の補数関係を理解している。 ◇0について理解し、「1つもない」ことを0と表現できる。 □1つの数をほかの数と関係づけて見ている。 ○これまでの体験をもとに、10までの数の合成・分解に親しみを持って関わり、数構成の仕組みのよさや学ぶ楽しさを感じている。
6	4、いろいろな　かたち	5	●立体について、箱や缶を用いて立体を組み立てる活動や、立体の面に着目して写し取った形をいかして絵をかく活動などを通して、ものの形を認めたり、形の特徴を考えたりするとともに、形に親しみながら学ぶ態度を養う。	◇身のまわりにある立体の観察を通して、形の特徴をとらえたり、なかま分けしたりすることができる。 □身のまわりのものを、色や大きさ、材質に関係なく、形としてとらえている。 ○これまでの体験をもとに、身のまわりにある立体図形に親しみを持って関わり、形の特徴に目をつけるよさや学ぶ楽しさを感じている。
6	さんすう　みつけた！	1	●既習事項をふりかえり、身のまわりの数や形を見つける。	○身のまわりから算数を見つける活動を楽しんだり、これまでに学んだことのよさをふりかえったりしている。
6	5、ふえたり　へったり	2	●変化する数量について、増減を数図ブロックや「ふえた」「へった」ということばで表現することを通して、数の増減の意味を理解し、たし算やひき算の学習の素地を培うとともに、楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇数量の増減に着目し、「ふえた」「へった」ということばで話をしたり、数図ブロックを操作したりして、増減の意味を理解している。 □増減の意味を具体的な事象や操作と関連づけて考えている。 ○数量が「ふえたり」「へったり」する事象に親しみを持って関わり、ブロックを使って数量を表すよさや学ぶ楽しさを感じている。
6	6、たしざん（1）	11	●たし算について、式のよみ方、かき方を知り、数図ブロックや計算カードを用いた活動を通して、(1位数)+(1位数)=(10以下の数)の計算ができるようにするとともに、よさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇たし算が用いられる場面やたし算の記号と式について知り、合併や増加の場面をたし算の式に表し、(1位数)+(1位数)=(10以下の数)の計算をすることができる。 □合併や増加の場面を、同じたし算と考えている。 ○たし算が用いられる場面に親しみを持って関わり、たし算の式に表すよさや学ぶ楽しさを感じている。
6	ふくしゅう	2	●既習事項の確認と持続	
6 7	7、ひきざん（1）	15	●ひき算について、式のよみ方、かき方を知り、数図ブロックや計算カードを用いた活動を通して、(10以下の数)−(1位数)の計算ができるようにするとともに、よさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇ひき算の記号や式のよみ方、かき方、計算の仕方を理解し、求残、求部分、求差の場面を数図ブロックで操作し、ひき算の式に表して答えを求めることができる。 □求残、求部分、求差の場面を同じひき算と考えている。 ○ひき算が用いられる場面に親しみを持って関わり、ひき算の式に表すよさや学ぶ楽しさを感じている。
7	8、かずしらべ	1	●ものの個数について、簡単な絵や図に表したり、読み取ったりする活動を通して、身のまわりの事柄の特徴をとらえることができるようにすると	◇ものの個数について、簡単な絵や図に表したり、それらを読み取ったりできる。 □ものの個数に着目し、身のまわりの事柄の特徴をとらえている。

・			ともに、数量を整理するよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う	○ものの個数の整理の仕方に親しみを持って関わり、絵グラフに表すよさや学ぶ楽しさを感じている。
	ふくしゅう	1	●既習事項の確認と持続	
8 9	9、10より おおきい かず	11	●20までの数について、よみ方、かき方、数の系列、大小を理解し、「10といくつ」という数構成の考え方にもとづいて加減計算をしたり数を表したりするとともに、数に親しみながら学ぶ態度を養う。	◇20までの数について、数の構成や系列、大小関係を理解するとともに、よんだり、かいたりすることができる。 ◇数構成にもとづく加減計算ができる。 □10をこえる数を「10といくつ」ととらえたり、数構成にもとづいて加減計算の仕方を考えたりしている。 ○身のまわりの20までの数に親しみを持って関わり、「10といくつ」で表したり工夫して数えたりするよさや学ぶ楽しさを感じている。
	ふくしゅう	2	●既習事項の確認と持続	
	10、なんじ なんじはん	2	●時計や時刻について、長針、短針のさす目盛りに着目して時刻を考えることを通して、何時・何時半をよんだり文字盤で表したりできるようにするとともに、そのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇何時・何時半の時刻のよみ方を理解し、時刻をよんだり文字盤で表したりすることができる。 □時計の長針・短針のさす目盛りに着目して、時刻を考えている。 ○生活場面の時刻に親しみを持って関わり、時計の針の位置に目をつけることのよさや学ぶ楽しさを感じている。
10	11、おおきさくらべ(1)	6	●ものの長さ・かさについて、直接比較や間接比較を用いて長さやかさを調べる活動を通して、長さ・かさの概念を理解するとともに親しみながら学ぶ態度を養う。	◇長さ・かさの概念を理解し、具体物の長さ・かさの比較ができる。 □長さ・かさの比較を通して、測定の基礎となる考え方を身につけている。 ○身のまわりものの長さやかさに親しみを持って関わり、いろいろな比べ方のよさや学ぶ楽しさを感じている。
	12、3つにかずのけいさん	5	●3つの数の計算について、増えたり減ったりする場面を1つの式に表して計算することができるようにするとともに、式に表すよさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇3つの数をたしたり、ひいたりする計算の意味を知り、1つの式に表して計算することができる。 □3つの数をたしたり、ひいたりする計算を1つの式に表して考えている。 ○3つの数が用いられる場面に親しみを持って関わり、1つの式に表すよさや学ぶ楽しさを感じている。
	ふくしゅう・じゅんび	2	●既習事項の確認と持続 ●次の単元の準備	
	13、たしざん(2)	13	●(1位数)+(1位数)について、繰り上がりのある場合の計算の仕方を考えることを通して、計算が確実にできるようにするとともに、よさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇繰り上がりのある計算の仕方について理解し、(1位数)+(1位数)の繰り上がりのある計算ができる。 □10の補数に着目して、繰り上がりのあるたし算の仕方を考えている。 ○たし算が用いられる場面に親しみを持って関わり、10をつくって計算するよさや学ぶ楽しさを感じている。
11	14、かたちづくり	6	●形づくりについて、色板や棒などを使って様々な形を作る活動を通して、図形を構成する力と観察する力を身に付けるとともに、形に親しみながら学ぶ態度を養う。	◇色板や棒などを使っていろいろな形が構成されていることを理解し、いろいろな形をつくることができる。 □図形を構成したり観察したりするときの基本的な見方・考え方を身につけている。 ○色板や棒などを使っていろいろな形をつくることに親しみを持って関わり、形の特徴に目をつけるよさや学ぶ楽しさを感じている。
	ふくしゅう・じゅんび	1	●既習事項の確認と持続 ●次の単元の準備	
	15、ひきざん(2)	16	●(十何)−(1位数)について、繰り下がりのある場合の計算の仕方を考えることを通して、計算が確実にできるようにするとともに、よさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇繰り下がりのある計算の仕方について理解し、(十何)−(1位数)の繰り下がりのある計算ができる。 □10といくつにわけて、繰り下がりのあるひき算の仕方を考えている。 ○ひき算が用いられる場面に親しみを持って関わり、10といくつという数の見方で計算するよさや学ぶ楽しさを感じている。
12	16、0のたしざんとひきざん	3	●0を含むたし算、ひき算について、0の扱いを考えることを通して、計算の理解を深め、0を含む計算が確実にできるようにするとともに、日常生活にいかしながら学ぶ態度を養う。	◇0を含むたし算・ひき算の式やその計算の仕方を理解し、0を含む計算をすることができる。 □0を含む場合のたし算・ひき算の式やその計算の仕方を考えている。 ○0のたし算やひき算が用いられる場面に親しみを持って関わり、0があるときにも式に表して計算できることのよさや学ぶ楽しさを感じている。
	17、ものと ひとのかず	4	●ある数量を他の数量に置き換える問題や順序数に関する問題について、絵や図を用いて考える	◇数量の対応や順序を絵や図に表したり、式にかいて解決したりすることができる。

			ことを通して、それらの問題を解くことができるようにするとともに、そのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	□絵や図を活用して、ある数量を他の数量に置き換えて考えたり、並んでいる数からその順番を考えたりしている。 ○順序数や集合数の用いられる場面に親しみを持って関わり、絵や図を使って考えることのよさや学ぶ楽しさを感じている。
	わくわく　ぷろぐらみんぐ	1	●ロボットを動かすプログラムをつくる活動を通して、平面上の位置の表し方や簡単なプログラミングの考え方を理解する。	◇ものの位置の表し方や簡単なプログラミングの考え方を理解している。 ○位置はいろいろな表し方があることに気づき、工夫して伝えたり、プログラミングしたりしようとしている。
	ふくしゅう	2	●既習事項の確認と持続	
1	１８、大きい　かず	17	●100までの数や100を少しこえる数について、ものの個数や順番を正しく数える活動を通して、数の系列を理解し、大小判断をできるようにするとともに、数に親しみながら学ぶ態度を養う。	◇100までの数や100を少しこえる数について、数の構成や系列、大小関係を理解するとともに、よんだり、かいたりすることができる。 □「10がいくつと、1がいくつ」や「100と何十何」という見方を働かせて、100までの数や100を少しこえる数について考えている。 ○身のまわりの100までの数や100を少しこえる数に親しみを持って関わり、10ずつまとめて数えたり数字や数直線で数を表したりするよさや学ぶ楽しさを感じている。
2	１９、なんじなんぷん	3	●時計や時刻について、長針、短針のさす目盛りに着目して時刻を考えることを通して、時計を使って何時何分かをよんだり表したりできるようにするとともに、そのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇時計の文字盤の仕組みについて知り、何時何分の時刻のよみ方を理解している。 ◇何時何分の時刻をよんだり、文字盤で表したりすることができる。 □時計の長針・短針のさす目盛りに着目して、何時何分かを考えている。 ○生活場面の時刻に親しみを持って関わり、時計の針の位置や目盛りに目をつけることのよさや学ぶ楽しさを感じている。
	２０、おなじ　かずずつ	2	●同じ数ずつに分ける場面について、ブロックを使って等分したりまとめて数えたりする活動や、図や式にかいて確かめる活動を通して、乗法や除法の素地を培うとともに、よさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇数図ブロックの操作を通して、乗法や除法の素地となる「同じ数ずつ」の意味を理解している。 ◇乗法や除法の素地となるブロック操作ができ、それを図や式にかいて確かめることができる。 □等分したりまとめて数えたりして、乗法や除法の素地的な見方で数を考えている。 ○同じ数ずつにわける場面に親しみを持って関わり、具体物を用いて実際に分けてみるよさや学ぶ楽しさを感じている。
	たすのかな　ひくのかな	2	●たし算やひき算の場面に即して、適切にたし算やひき算の演算決定をすることができる。	□演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。
	ふくしゅう	2	●既習事項の確認と持続	
	２１、１００までのかずのけいさん	8	●100までの数について、数構成に基づくたし算、ひき算の計算の仕方を考えることを通して、計算ができるようにするとともに、そのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇数構成にもとづくたし算・ひき算の計算の仕方を理解し、100までの数のたし算・ひき算ができる。 □数構成にもとづいて、たし算・ひき算の計算の仕方を考えている。 ○100までの数のたし算・ひき算の場面に親しみを持って関わり、数構成にもとづいて計算できることのよさや学ぶ楽しさを感じている。
3	２２、おおいほう　すくないほう	3	●求大・求小の場面の問題について、絵や数図ブロック、式を用いて考えることを通して、多少の関係をとらえて問題を解くことができるようにするとともに、そのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇多少の関係のとらえ方を理解し、求大・求小の問題を解くことができる。 □絵や数図ブロックを用いて多少の関係を表し、どんな式になるかを考えている。 ○生活場面の数の多少に親しみを持って関わり、絵や数図ブロックなどを用いて考えることのよさや学ぶ楽しさを感じている。
	２３、大きさくらべ（2）	1	●広さについて、広さを直接比べたり、任意単位を用いて比べたりする活動を通して、身のまわりのものの広さを比較し、広さの概念を養うとともに、そのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	◇広さの概念を理解し、広さを直接比べたり任意単位を用いて比べたりすることができる。 □場面に応じて広さの比べ方を考えている。 ○身のまわりものの広さに親しみを持って関わり、いろいろな比べ方のよさや学ぶ楽しさを感じている。
	かえますか？　かえませんか？	1	●1つが50円で買えるか買えないかを判断し説明することができる。（見積もりの素地）	□1つのものが50円で買えるかどうかを判断し、それを根拠に2つのものが50円玉2枚で買えるかどうかを考えたり説明したりしている。
	もうすぐ2年生	6	●1年生の学習内容の確認と持続	

年間授業時数（合計１８６時間）　　標準時数１３６時間

第２学年　　算数科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	わくわく算数	1	●(何十何)±(何十)の暗算について、図、式、ことばなどを関連づけて考えたり筋道立てて説明しあったりすることを通して２位数の加減計算についての理解を深めるとともに、学びを深めあう算数学習の進め方のよさに気づき今後の学習にいかそうとする態度を養う。	◇算数の学習を進める手順を知り、図、式、ことばなどを用いて考えたり、説明したり、話しあったりすることのよさを理解している。 □図，式，ことばなどを関連づけて考えたり，わかりやすく筋道立てて説明したりしている。 ○自らが主体となる学習の進め方に関心をもち、話し合い活動や発表に進んで取り組んでいる。 ○学習を進める手順や話し合いの仕方などをふり返り、これからの学習にいかそうとしている。
	1．ひょうとグラフ	5	●身のまわりの数量について、表やグラフを用いた分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考えたり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する素地を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇身のまわりの事柄について、簡単な分類・整理の仕方を理解し、表やグラフに表したり、それをよんだりすることができる。 □身のまわりの事柄について、表やグラフを用いてその特徴を考えている。 ○身のまわりの事柄を調べることに進んで関わり、ふり返りを通して表やグラフに整理することで特徴がとらえやすくなるよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	2．たし算とひき算	7	●2位数の加減計算について、(2位数)±(1位数)の暗算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、簡単な加減計算を暗算でできるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇(2位数)±(1位数)の暗算の仕方を理解し、その計算を暗算ですることができる。 □既習の１位数の基本的なたし算やひき算をもとに、簡単なたし算とひき算の計算の仕方を考え、説明している。 ○簡単なたし算とひき算の計算に進んで関わり、ふり返りを通して何十のまとまりに目をつけると暗算で処理できるよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	3．時こくと時間	9	●時刻や時間について、その意味の違いを理解し、時計を操作する活動を通して時間を求めたり午前・午後を用いて適切に時刻を表現したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇時刻と時間の違い、午前と午後の区別や正午の意味、日・時・分の関係がわかり、時計の針の動きをもとに、時刻や時間を求めることができる。 □日常生活と関連づけて、時刻や時間について調べたり、午前や午後といった用語を適切に用いて表現したりしている。 ○1 日の生活の中にある時刻と時間に進んで関わり、ふり返りを通して時刻や時間を適切にとらえたり、表現したりすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
5	4．長さ	１２	●ものの長さについて、その比べ方や普遍単位の必要性を理解し、測定する活動を通してものさしで長さをはかることや単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに、量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇ものさしの仕組みや使い方、長さの単位「cm」「mm」のよみ方やかき方、単位の関係を理解し、長さを「cm」「mm」の単位を用いて表すことができる。また、ものさしを使って、長さを測定したり直線をかいたりすることができる。 □長さの普遍単位の必要性に気づいている。また、量感をもとに長さを予想したり適切な単位を判断したりしている。 ○長さの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通して長さにあわせて適切な普遍単位を使うことや長さの量感を身につけておくことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	5．たし算とひき算のひっ算（1）	１４	●2位数の加減計算について、(2位数)±(2位数)の筆算の仕方や答えの確かめ方を考えたり説明したりすることを通して、計算の理解を深め、繰り上がりや繰り下がりのある筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇筆算の仕方を理解し、(2位数)±(2位数)の筆算を、一の位から順に、繰り上がりや繰り下がりに気をつけて、手際よく計算することができる。 ◇加法及び減法に関して成り立つ性質を理解することができる。 □十進位取り記数法の仕組みをもとに、(2位数)±(2位数)の筆算の仕方を考え、説明している。 □加法及び減法に関して成り立つ性質を使って、計算結果を確かめている。

				○(2位数)±(2位数)の筆算に進んで関わり、ふり返りを通して筆算の仕方のよさや計算に関して成り立つ性質、答えの見当づけや確かめの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
6				
	*ふくしゅう	1	●既習事項の確認と持続	
	ほうかご　何する？	8	●加法や減法の文章題の解決を通して、数量の関係をテープ図に表して未知数の求め方を考えることができるようにし、また、加法や減法の場面や計算の関係についての理解を深めるとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇加法や減法が用いられる場面について理解し、数量の関係を線分図(テープ図)に表すことができる。 □逆思考を必要とする問題について、数量の関係を線分図(テープ図)に表して考えている。 ○加法や減法が用いられる場面の問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して問題場面を線分図(テープ図)に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	6．１００をこえる数	１４	●100 をこえる数について、そのよみ方やかき方を理解し、10 や 100 を単位として数をとらえたり順序や大小、加減計算の仕方を考えたりすることを通して、十進法の理解や数の見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇1000 までの数の表し方や仕組みを理解し、十進位取り記数法の仕組みをもとにして、1000 までの数を表したりよんだりすることができる。また、等号や不等号の使い方を理解することができる。 □1000 までの数について、100 までの数と同じように、10 や 100 などを単位としてそのいくつ分とみて表現したり、加減計算の仕方を考えたりしている。また、等号や不等号を用いて大小関係を式に表している。 ○1000 までの数と大小の表し方に進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法や等号・不等号を用いることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
7				
	7．かさ	9	●もののかさについて，その比べ方や普遍単位の必要性を理解し，測定する活動を通してますでかさをはかることや単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに，量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇ますの使い方や、かさの単位「L」、「dL」、「mL」のよみ方・かき方・相互関係を理解している。また、かさの加減計算でできる。 □かさの普遍単位の必要性に気づき、量感をもとにかさを予想したり適切な単位を判断したりしている。 ○かさの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通してかさにあわせて適切な普遍単位を使うことやかさの量感を身につけておくことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	買えますか？　買えませんか？	1	●1つが 100 円で買えるか買えないかの判断をもとに、いくつかの品物が何百円で買えるか買えないかを判断し説明することができる。	□98 円のもの５つを 500 円で買えるかどうかを判断し、その根拠を考えたり説明したりしている。 ○どのように考えれば買えるかどうかを判断できるのかをふり返り、生活や学習にいかそうとしている。
	算数のじゆうけんきゅう	1	●「線路づくり」などの自由研究に取り組み、見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。	□見通しをもちながら、線路の構成を考えている。 ○線路づくりに意欲的に取り組み、いろいろな線路をつくろうとしている。
8	*ふくしゅう	1	●既習事項の確認と持続	
9	8．たし算とひき算のひっ算（2）	１３	●3位数の加減計算について、(3位数)±(2位数)の筆算を考えたり説明したりすることを通して、計算や十進位取り記数法の理解を深め、繰り上がりや繰り下がりのある筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇繰り上がりや繰り下がりに気をつけて、正しく筆算で計算することができる。また、繰り上がりや繰り下がりの操作を通して、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。 □既習の２位数の筆算をもとにして、百の位に繰り上がるたし算とその逆のひき算や、簡単な場合の(3位数)±(2位数)の筆算の仕方を考えている。 ○(2位数、3位数)±(2位数)の筆算に進んで関わり、ふり返りを通して筆算の仕方のよさ、答えの見当づけや確かめの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	こんにちは　さようなら	4	●数量が増減する文章題の解決を通して、問題場面を図	◇増減する数量に着目し、「まとめて考える」という考え方を

			に表して数量の増減に着目して求め方を考えることができるようにし、また、式と計算についての理解を深めるとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	理解することができる。。 □増減する数量に着目し，数図ブロックを操作したり，図に表したりして，まとめて考えることができる。 ○数量が増減する場面の問題解決に進んで関わり、ふり返りを通してまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
１０	９．しきと計算	４	●式について，（ ）の意味を理解し，（ ）を使って１つの式に表したり等号や不等号で大小関係を式に表したりすることができるようにするとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇加法の結合法則や（ ）を使った式の計算順序を理解し、（ ）を使った式の計算ができる。 □増減する数量のまとまりに着目し、（ ）を用いて１つの式に表している。 ○（ ）を使った式に進んで関わり、ふり返りを通して（ ）を使うと考え方や数量の関係を簡潔に１つの式に表せることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	＊ふくしゅう	１	●既習事項の確認と持続	
	１０．かけ算（1）	１８	●かけ算九九について，その意味や式について理解し，ブロックを操作する活動を通してかけ算になる場面をとらえて式にかいたり，かける数が１増えたときの積の増え方に着目して2～5の段の九九を構成したりすることができるようにするとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う	◇乗法の意味やその計算の仕方を理解し、２から５の段までの九九を暗唱したり、乗法の適用場面を式に表して答えを求めたりすることができる。 □ブロック操作をもとに１つ分の大きさや積の増え方のきまりに着目し、九九を構成している。 ○かけ算九九の構成に進んで関わり、ふり返りを通して累加の簡潔な表現としてかけ算の式にかくことや九九のよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
１１	１１．かけ算（2）	１６	●かけ算九九についての理解を深め、アレイ図を使った活動を通して６から９の段や１の段の九九を構成したり、かけ算を使って問題を解決したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇九九とその構成の仕方を深く理解し、６から９の段や１の段の九九を暗唱したり、乗法の適用場面を式に表して答えを求めたりすることができる。 □かける数が１増えると積はかけられる数だけ増えることに着目し、九九を構成することができる。 ○かけ算九九の構成に進んで関わり、ふり返りを通して累加の簡潔な表現としてかけ算の式にかくことや九九のよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
１２	１２．三角形と四角形	11	●三角形や四角形について、観察を通してその分類や意味を理解し、構成要素を調べたり図形を構成したりすることを通して平面図形の性質やその見方・考え方をとらえさせるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇三角形や四角形、及び、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解し、それらを弁別したり、点を直線でつないだり紙を折ったり方眼紙を使ったりして構成することができる。 □直線の数や辺の長さや直角に着目して、三角形や四角形の特徴や性質をとらえたり、敷き詰め方を考えたりしている。 ○三角形や四角形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して直線の数や辺の長さや直角に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	かっても　まけても！	２	●文章題において、問題場面を図に表して数量の違いに着目して解法を考えることを通して、違いに着目した考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇数量の違いが示された場面について理解し、テープ図を２段に並べて数量の違いを表すことができる。 □逆思考を必要する問題について、数量の違いを線分図(テープ図)に表して、一方の数量が多いということはその分だけ他方の数量が少ないというように考えている。 ○2 つの数量の違いが示された場面の問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の違いを線分図(テープ図)に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	どんな計算になるのかな	１	●根拠にもとづいて、かけ算の演算決定をすることができる。	□演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。
	何番目	１	●いろいろな順序数の問題を、図にかいて考えることができる。	□位置や順序に関する問題場面を簡潔な図に表し、前後にいくつあるかや何番目かを考えたり説明したりしている。
１	＊ふくしゅう	１	●既習事項の確認と持続	
	１３．かけ算のきまり	９	●かけ算九九について、九九の表の考察や九九の範囲を	◇九九の表の見方や乗法に関して成り立つ性質を理解し、簡

			こえる乗法の計算の仕方を考えることを通して、乗法に関して成り立つ性質や九九の表のきまりを見いだしてかけ算の理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	単な２位数と１位数のかけ算の答えを求めることができる。 □九九の表からいろいろなきまりを見いだしたり、簡単な２位数と１位数のかけ算の仕方を考えたりすることができる。 ○九九の表の考察に進んで関わり、ふり返りを通してかけ算九九のきまりのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
2	１４．100㎝をこえる長さ	8	●100cmをこえる長さについて、新たな普遍単位の必要性を理解し、測定する活動を通して1m以上の長さのものを測ることや単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに、量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇長さの単位「m」について理解し、1mものさしを使って手際よく長さを測ったり、長さを「m」の単位を用いて表したりすることができる。 □大きな長さの単位の必要性に気づき、量感をもとに長さを予想したり適切な単位を判断したりしている。 ○長さの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通して長さにあわせて適切な普遍単位を使うことや長さの量感を身につけておくことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	＊ふくしゅう	1	●既習事項の確認と持続	
	１５．1000をこえる数	8	●1000をこえる数について、そのよみ方やかき方を理解し、100や1000を単位として数をとらえたり順序や大小について考えたりすることを通して、十進法の理解や数の見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇10000までの数の表し方や仕組みを理解し、十進位取り記数法の仕組みをもとにして、10000までの数を表したりよんだりすることができる。 □10000までの数について、1000までの数と同じように、100や1000などを単位としてそのいくつ分とみて表現している。 ○10000までの数に進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	１６．はこの形	6	●箱の形について、観察を通して構成要素を調べたり、図形を構成したりすることを通して立体図形の性質やその見方・考え方をとらえさせるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇箱の形とその構成要素について理解し、工作用紙やひご、粘土玉を使って、箱の形やさいころの形をつくることができる。 □箱の形の構成要素に着目して特徴をとらえたり、面、辺、頂点の位置やつながり方に着目して箱の形つくり方を考えたりしている。 ○箱の形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して面、辺、頂点の数や位置に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
3	１７．分数	6	●分数について、半分をつくる活動を通して1/2の意味を理解し、1/2の半分やさらにその半分の大きさを調べたり、もとの大きさと分数で表された大きさの関係を考えたりすることを通して、簡単な場合の分数の意味を理解することができるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇具体的な操作を通して1/2や1/4、1/3の大きさを理解し、その大きさをつくったり分数で表したりすることができる。 □もとの大きさを基準として、その半分の大きさのつくり方を考えたり、つくった大きさを分数で表したりしている。 ○1/2や1/4、1/3の大きさに進んで関わり、ふり返りを通して何等分かした大きさを分数で表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	わくわくプログラミング	1	●ロケットを目的地まで動かすプログラムをつくる活動を通して、向きの概念や簡単なプログラミングの考え方を理解する。	□ロケットの向きに気をつけながら、目的地まで動かすプログラムを考えている。
	よみとる算数	1	●日記から必要な情報をよみ取り，いろいろな問題を解決する。	□情報をよみとって、ある事柄が正しいかどうかを判断して説明している。 ◇問題を解くのに必要な情報を文章の中から選択することができる。
	もうすぐ3年生	5	●2年生の学習内容の確認と持続	

年間授業時数　２００　時間　　標準時数（　１７５　時間　）

第３学年　　算数科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	算数のとびら	1	●100を単位とする数の加法・減法について、図、式、ことばなどを関連づけて考えたり筋道立てて説明しあったりすることを通して相対的な見方にもとづく加法・減法についての理解を深めるとともに、学びを深めあう算数学習の進め方のよさに気づき今後の学習にいかそうとする態度を養う。	◇算数の学習を進める手順を知り、図、式、ことばなどを用いて考えたり、説明したり、話しあったりすることのよさを理解している。 □図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりしている。 ○自らが主体となる学習の進め方に関心をもち、話しあい活動や発表に進んで取り組んでいる。 ○学習を進める手順や話しあいの仕方などをふり返り、これからの学習にいかそうとしている。
	1. 九九の表とかけ算	5	●10や0のかけ算について、その意味や計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、かけ算の理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇10のかけ算、0のかけ算の意味を理解でき、その計算ができる。 □かけ算のきまりを用いて、かけ算の仕組み10や0のかけ算の仕方を考えている。 ○かけ算のきまりを見つけたり計算にいかしたりすることに進んで関わり、ふり返りを通してかけ算のきまりのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
5	2．わり算	12	●わり算について、その計算の意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して、わり算の意味やよさを理解するとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇等分除や包含除の意味を理解し、除法の適用場面を式に表して、九九を用いて答えを求めることができる。答えが九九にないわり算の答えを求めることができる。 □わり算の場面を既習のかけ算と関連づけて、わり算の計算の仕方を考えたり、説明したりしている。 ○わり算に進んで関わり、ふり返りを通してわり算の式にかくことやその計算の仕方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	あれ？たくさんいたのに	3	●3要素2段階の文章題の解決を通して、数量関係を線分図に表して未知数の求め方を考えることができるようにし、また、加法や減法の場面や計算の関係について理解を深めるとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇3要素2段階の文章題を読み、数量の関係を線分図に表すことができる。 □数量の関係を線分図に表し、未知数の求め方を考えたり説明したりしている。 ○3要素2段階の文章題に進んで関わり、ふり返りを通して図に書いて考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	3．たし算とひき算の筆算	12	●(3位数)±(3位数)、簡単な(4位数)±(4位数)の筆算について、その仕方を考えたり説明したりすることを通して、繰り上がりや繰り下がりに気をつけて正しく筆算で計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇繰り上がりや繰り下がりの処理を通して、十進位取り記数法の理解を深め、(3位数)±(3位数)や簡単な(4位数)±(4位数)の筆算を、繰り上がりや繰り下がりに気をつけて正しく筆算で計算することができる。 □既習の2位数の計算の仕方をもとに、(3、4位数)±(3、4位数)の筆算の仕方を考えている。 ○(3、4位数)±(3、4位数)の筆算に進んで関わり、ふり返りを通して筆算の仕方のよさ、答えの見当づけや確かめの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	ふく習	2	●既習事項の確認と持続	
	4．時こくと時間	7	●時刻と時間について、秒の意味を理解し、いろいろな時間や時刻の求め方を考えたり説明したりすることを通して、時刻と時間についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇時刻や時間の求め方や秒について理解し、必要な時刻や時間を計算によって求めたり、秒の単位を用いて測定したりすることができる。 □ちょうど何時の時刻の区別に着目し、時刻や時間の求め方を考えている。 ○身のまわりの時刻や時間に進んで関わり、ふり返りを通して時刻や時間の求め方のよさや秒という単位の必要性に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
6	5．一万をこえる数	13	●一万をこえる数について、既習の数の表し方にもとづいてその仕組みを考えたり説明したりすることを通して、数の大きさや十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇一億までの数の表し方や仕組みを理解し、一億までの数を表したり読んだりすることができる。 □位の仕組みや数の相対的な大きさに着目し、加減計算の仕方や10倍、100倍、1000倍した数や10でわった数の求め方を考えている。 ○一億までの数とその仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法や数の相対的な見方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	6．表とグラフ	10	●身のまわりの事象について、表や棒グラフを用いたデータの分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する素地を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇身の回りの事象について、表やグラフを用いて分類・整理する仕方を理解し、表やグラフを読んだり作ったりすることができる。 □目的に応じて、表の項目や棒グラフの目盛りのつけ方を適切に判断したり、表や棒グラフから事象の特徴を読み取ったりしている。 ○身の回りの事象を分類・整理することに進んで関わり、ふり返りを通して、表や棒グラフを目的にあわせて工夫することの必要性やよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
7	7．たし算とひき算	6	●(2位数)±(2位数)の計算について、繰り上がりや繰り下がりに着目して計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、暗算で計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇(2位数)±(2位数)や100−(2位数)の暗算の仕方が理解でき、その計算の答えを暗算で求めることができる。 □暗算の仕方を考えたり、説明したりすることができる。 ○暗算のよさがわかり、日常生活の中で進んで暗算を活用しようとする。
	どんな計算になるのかな	1	●根拠にもとづいて、かけ算やわり算の演算決定をすることができる。	□演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。

	算数の自由研究	1	●「迷路づくり」といった自由研究に取り組み、見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。	□見通しをもちながら、迷路の構成を考えている。 ○迷路づくりに意欲的に取り組み、いろいろな迷路をつくろうとしている。
8	ふく習	2	●既習事項の確認と持続	
9	8．長さ	5	●長さについて、巻尺の使い方やkmの単位を理解し、測定する活動を通して長さの測定や計算、単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに、量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇巻尺の使い方や長さの単位「km」について理解している。 □長さの単位に着目して長さの計算を考えたり、長さの量感をもとに適切な単位を判断したりしている。 ○長さの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通して長さにあわせて適切な計器や普遍単位を使うことや長さの量感を身に付けておくことのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	9．あまりのあるわり算	11	●余りのあるわり算について、余りの意味やその計算の仕方を理解し、わる数と余りの大きさの関係をとらえたり、場面に応じて余りを処理したりできるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇余りのあるわり算の計算の仕方を理解し、余りのあるわり算の答えを求めたり、確かめたりすることができる。 □わり算の意味にもとづいて余りの大きさを判断したり、目的にあわせて余りの処理の仕方を考えたりしている。 ○余りのあるわり算の問題に進んで関わり、ふり返りを通して余りのあるわり算の答えの求め方や目的にあわせて余りを処理することのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
10	10．重さ	10	●ものの重さについて、その比べ方や普遍単位の必要性を理解し、測定する活動を通して秤で重さをはかることや単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに、量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇秤の使い方や、重さの単位「g」、「kg」、「t」のよみ方・かき方・相互関係を理解している。また、重さの加減計算ができる。 □重さの普遍単位の必要性に気づき、量感をもとにかさを予想したり適切な単位を判断したりしている。 □単位の関係を統合的に考察している。 ○重さの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通して重さにあわせて適切な計器や普遍単位を使うことや重さの量感を身につけておくことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	ふく習	2	●既習事項の確認と持続	
	11．円と球	10	●円や球について、コンパスを使って円を作図する活動や観察によって球を分類する活動を通して、円や球について理解するとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇円や球の形とそれらの中心、半径、直径について理解し、コンパスを使って円をかくことができる。 □回転した点の軌跡として円の形をとらえ、円や球には中心となる点があることに気づき、作図の仕方を考えたり、半径や直径について調べたりしている。 ○円や球の形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して「まるい形」を数学的にとらえるための見方やコンパスの機能のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
11	12．何倍でしょう	7	●数量の倍関係について、図を使って何倍になるかを整理して考えたり、オペレータ（変量）に着目して何倍になるかを考えたりすることを通して、乗除の適用場面や数量の関係について理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇数量の倍関係を図に表し、乗法や除法を適切に用いてわからない数を求めることができる。 ◇a倍のb倍が（a×b）倍になることを理解している。 □日常の事象における数量の倍関係に着目し、「何の何倍が何か」を正しく判断して図に表したり、図をもとにわからない数の求め方を考えたりしている。 ○数量の倍関係の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の倍関係を図に表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	13．計算のじゅんじょ	3	●乗法の式や計算について、（ ）を使って1つの式に表したりその計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、結合法則について理解するとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇乗法の結合法則について理解し、3要素2段階の問題を1つの式に表したり、（ ）を使った式の計算をしたりすることができる。 □オペレータに着目し、3要素2段階の問題を1つの式に表している。 ○乗法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して（ ）を使うと考え方や数量の関係を簡潔に1つの式に表せることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	14．1けたをかけるかけ算の筆算	15	●1けたをかけるかけ算の筆算について、その仕方を考えたり説明したりすることを通して、（2、3位数）×（1位数）の計算の筆算や簡単な（2位数）×（1位数）の計算の暗算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇（2、3位数）×（1位数）の計算の仕方を理解し、（2、3位数）×（1位数）の計算をすることができる。 □10や100を単位として（何十・何百）×（1位数）の計算の仕方を考え、その仕方や計算のきまりをもとに（2、3位数）×（1位数）の筆算の仕方を考えている。 ○1位数をかけるかけ算に進んで関わり、ふり返りを通してかけ算の筆算の仕方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	15．式と計算	3	●加減と乗法の混じった式について、その計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、分配法則について理解するとともに生活や学習に活用し	◇分配法則について理解し、（ ）を使って1つの式に表したり、その計算をしたりすることができる。 □別々に求める考え方と1組にまとめる考え方を、（ ）を使って1つの

			ようとする態度を養う。	式に表したり、その計算の仕方を考えたりしている。 ○加法と乗法の混じった式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して（ ）を使うと考え方や数量の関係を簡潔に1つの式に表せることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
12	16．分数	13	●分数について、その意味や表し方を理解し、分数の大きさを表数直線に表したりし、分数のたし算やひき算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、分数についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇分数を使った数量の表し方を理解し、分数の大小比較や、同分母分数の加減計算をすることができる。 □単位分数の何個分かに着目し、分数の大きさや同分母分数の加減計算の仕方を考えている。 ○分数に進んで関わり、ふり返りを通して単位分数の何個分かに着目することのよさや分数で表すことの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	間の数	3	●1列に並んだものの数と順序との関係を、図を使って考えることができる。 ●1列に並んだものの数とその間隔との関係を、図を使って考えることができる。	□並んだものの数を簡潔な図に表し、順序や間の数について考えたり説明したりしている。 ○並んだものの数を簡潔な図に表すよさに気づき、間の数や間隔について考えようとしてい
	わくわくプログラミング	1	●レーシングカーを動かすプログラムをつくる活動を通して、基本的なプログラミングの考え方を理解する。	□同じ進み方があることに気づき、目的地まで動かすプログラムを考えたり工夫したりしている。
1	ふく習	1	●既習事項の確認と持続	
	17．三角形	9	●二等辺三角形や正三角形について、辺に着目して二等辺三角形や三角形の意味を理解し、作図の仕方や角の大きさを考えたり調べたりすることを通して、三角形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇二等辺三角形、正三角形の定義や性質を理解し、コンパスを使って、二等辺三角形、正三角形をかくことができる。 □辺の長さに着目して、二等辺三角形や正三角形を弁別したり、作図の仕方を考えたりしている。 ○三角形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して辺の長さや角の大きさに着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
2	18．小数	13	●小数について、その意味や表し方を理解し、小数の大きさを数直線に表したり、小数のたし算やひき算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、小数についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇小数を使った数量の表し方や小数の仕組みを理解し、小数の大小比較や加減計算をすることができる。 □単位小数の何個分かに着目し、小数の大きさや同分母分数の加減計算の仕方を考えている。 ○小数に進んで関わり、ふり返りを通して単位小数の何個分に着目することのよさや小数も整数と同じ仕組みで表されることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	ふく習	2	●既習事項の確認と持続	
	19．2けたをかけるかけ算の筆算	10	●2けたをかけるかけ算の筆算について、1けたをかける場合の筆算をもとにその仕方を考えたり説明したりすることを通して、(2、3位数)×(2位数)の計算の筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇(2、3位数)×(2位数)の筆算の仕方を理解し、(2、3位数)×(2位数)の計算をすることがでできる。 □1位数をかける筆算の仕方や計算のきまりをもとに、(2、3位数)×(2位数)の筆算の仕方を考えている。 ○2位数をかけるかけ算に進んで関わり、ふり返りを通してかけ算の筆算の仕方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
3	20．□を使った式	6	●数量を□として式に表すことについて、わからない数を□とすれば数量やその関係を式に表せることを理解し、□にあてはまる数の求め方を考えたり説明したりすることを通して、数量の関係や計算の相互関係について理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇わからない数を□として式に表したり、□にあてはまる数を求めたりすることができる。 □問題場面の数量やその関係に着目し、□を使って図や式に表している。 ○□を使った式に進んで関わり、ふり返りを通して□を使うことのよさや文と図と式を関連づけることの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	そろばん	2	●そろばんについて、そろばんを用いた数の表し方を理解し、簡単な加減の計算を通して、そろばんの構造やよさに気づくとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇そろばんによる数の表し方や加法及び減法の計算の仕方を知り、そろばんを用いて簡単な計算ができる。 □そろばんによる数の表し方をもとに、簡単な加法および減法の計算の仕方を考えている。 ○そろばんの学習に進んで関わり、ふり返りを通してそろばんと十進数の仕組みが関連していることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	買えますか？買えませんか？	1	●1つ100円玉何枚で買えるか買えないかの判断をもとに、いくつかの品物が何百円で買えるか買えないかを判断し説明することができる。	□品物1つが100円玉何枚で買えるかを判断し、それを根拠に複数のものが何百円で買えるかどうかを考えたり説明したりしている。 ○どのように考えれば買えるかどうかを判断できるのかをふり返り、生活や学習にいかそうとしている。

	わくわくSDGs 「食べものをたいせつにしようプロジェクト」	1	●食品ロスについて話し合い、与えられたデータから１人あたりの食品ロスを求めることができる。 ●調べた結果から、これから自分たちにもできることを話し合う	◇与えられたデータから１人あたりの食品ロスの量を計算で求めることができる。 ○調べたことをもとに、自分たちにもできることを考えようとしている
	もうすぐ4年生	5	●3年生の既習事項の確認と持続	

年間授業時数　２０８時間　　標準時数（　１７５時間）

第４学年　　算数科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	算数のとびら	1	●10や100を単位とする数の除法について、図、式、ことばなどを関連づけて考えたり筋道立てて説明しあったりすることを通して相対的な見方にもとづく除法についての理解を深めるとともに、学びを深めあう算数学習の進め方のよさに気づき今後の学習にいかそうとする態度を養う。	◇算数の学習を進める手順を知り、図、式、ことばなどを用いて考えたり、説明したり、話しあったりすることのよさを理解している。 □図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりしている。 ○自らが主体となる学習の進め方に関心をもち、話しあい活動や発表に進んで取り組んでいる。 学習を進める手順や話し合いの仕方などをふり返り、これからの学習にいかそうとしている。
	1．一億をこえる数	11	●億や兆で表される大きな数について、既習の数の表し方にもとづいてその仕組みを考えたり説明したりすることを通して、数の大きさや十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について深く理解することができる。 □位の仕組みや数の相対的な大きさに着目し、整数の表し方、10倍や100倍、10や100でわったときの仕組みなどを統合的に捉えたり、大きな数の加減計算や乗法の筆算の仕方を考えたりしている。 ○億や兆で表される大きな数とその仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法や数の相対的な見方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	2．折れ線グラフ	8	●身のまわりの事象について、折れ線グラフを用いたデータの整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇身のまわりの事象について、データの変化を表すには折れ線グラフを用いるとよいことを理解し、折れ線グラフをよんだりつくったりすることができる。 □目的に応じて、折れ線グラフの目盛りのつけ方を適切に判断したり、折れ線グラフから事象の特徴をよみとったりしている。 ○身のまわりの事象の変化を折れ線グラフに表すことに進んで関わり、ふり返りを通してグラフを目的にあわせて選択したり工夫したりすることの必要性やそのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
5	3．1けたでわるわり算の筆算	13	●1桁でわるわり算の筆算について、その仕方を考えたり説明したりすることを通して、(2、3位数)÷(1位数)の筆算や簡単な(2位数)÷(1位数)の暗算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇(2、3位数)÷(1位数)の筆算の仕方や(わられる数)＝(わる数)×(商)＋(余り)の関係を理解し、計算したり答えを確かめたりすることができる。 □既習のわり算の計算の仕方をもとに、(2、3位数)÷(1位数)の計算の仕方を考えている。 ○1位数でわるわり算に進んで関わり、ふり返りを通してわり算の筆算の仕方のよさや答えを確かめることの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	ふく習	2	●既習事項の確認と持続	
	4．角とその大きさ	10	●角について、分度器を用いてその大きさを測ったり、ある大きさの角をかいたりする方法を理解し、いろいろな角の大きさやその和や差について考えたり説明したりすることを通して、角の理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇角の大きさを回転の大きさとしてとらえ、分度器の使い方や角の大きさの単位（度（°））について知り、角の大きさを測定したり、加減計算をしたりすることができる。 □角の大きさに着目して図形を考察したり、180°や360°を基準として角の大きさのはかり方やかき方を考えたりしている。 ○角の大きさの測定や作図に進んで関わり、ふり返りを通して角の大きさにあわせて分度器を工夫して使うことや角の大きさも加減計算ができることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
6	5．垂直・平行と四角形	16	●2直線の位置関係について、その交わり方に着目して垂直・平行の意味を理解し、四角形を平行な辺の組の数で分類してその特徴を調べることを通して、四角形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇直線の垂直や平行の関係について理解し、ある直線と垂直や平行な直線を見つけたり作図したりすることができる。 ◇平行四辺形、ひし形、台形について理解し、弁別したり性質を調べたりすることができる。 □直線の位置関係や図形の構成要素に着目し、図形の性質について考えたり、その性質をもとに図形をとらえ直したりしている。 ○直線の位置関係や四角形の考察に進んで関わり、ふり返りを通して垂直や平行な直線に着目することのよさに気づき、生活や学習にい

				かそうとしている。
7	6．小数	11	●小数について、十進位取り記数法にもとづいて1/1000の位までの小数の表し方について理解し、大小を比べたり、たし算ひき算の仕方を考えたりすることを通してその理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇1/1000 の位までの小数の表し方や仕組みを理解し、小数の大小比較や加減計算をすることができる。 □小数が整数と同じ仕組みで表されていることに気づき、既習の整数の場合をもとに小数の加減計算の仕方を考えている。 ○1/1000の位までの小数とその仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して0.01や0.1を基準とした数の相対的な見方のよさや小数と整数は同じ仕組みであることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	公園をきれいに！	1	●100 や 1000 などのまとまりをつくって結果を見積もり、判断することができる。	□100 や 1000 のまとまりに着目して、見積もり方を考えたり説明したりしている。 ○どのように考えればおよその合計を簡単に見積もれるのかをふり返り、生活や学習にいかそうとしている。
	算数の自由研究	1	●「ふしぎな輪」といった自由研究に取り組み、見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。	□見通しをもちながら、輪のつなぎ方を考えている。 ○不思議な輪づくりに意欲的に取り組み、いろいろな場合を調べようとしている。
	ふく習	3	●既習事項の確認と持続	
8 9	7．2 けたでわるわり算の筆算	14	●2 桁でわるわり算の筆算について、1 桁でわるわり算をもとにその計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、わり算の筆算の仕方やわり算の性質についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇2位数でわるわり算の筆算の仕方や除法に関して成り立つ性質を理解し、2位数でわる計算をしたり工夫してわり算の計算をしたりすることができる。 □既習のわり算の計算の仕方をもとに 2 桁でわるわり算の計算の仕方を考えたり、商の大きさや商を立てる位が正しいかどうかを判断しながら商を見当づけたりしている。 □数のまとまりに着目し、除法に関して成り立つ性質について考えたり、 それを用いて計算の工夫の仕方を考えたりしている。 ○2位数でわるわり算に進んで関わり、ふり返りを通してわり算の筆算の仕方やわり算の性質のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
10	8．式と計算の順じょ	11	●( )のある式や四則の混じった式について、計算の順序を理解し、いろいろな式の意味や計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、式と計算のきまりについての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇四則の混合した式や( )を用いた式について理解し、正しく計算したり、四則に関して成り立つ性質を使って工夫して計算したりすることができる。 □交換法則、結合法則、分配法則を用いて計算の工夫の仕方を考えたり、式から具体的な場面や思考の筋道をよみとったりしている。 ○( )を使った式とその計算に進んで関わり、ふり返りを通して場面や考え方を式に表せることや四則に関して成り立つ性質のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	9．割合	9	●2 つの数量の関係について、整数の場合で何倍になるかという割合を用いて比較したり割合から数量を求めたりすることを通して、割合の意味とそれを用いる場面について理解するとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇複数の事象の数量の関係を比べるときに割合を用いるとよい場合があることを理解している。 ◇割合、比べる量、もとにする量を求めることができる。 □日常の事象における数量の関係に着目し、割合を用いて比べたり、割合、比べる量、もとにする量の求め方を考えたりしている。 ○割合の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を割合で表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	そろばん	1	●そろばんについて、そろばんを用いた小数や大きな数の表し方を理解し、その加減の計算を通して、そろばんの構造やよさに気づくとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇そろばんによる小数や大きな数の表し方、加法および減法の計算の仕方を知り、そろばんを用いて小数や大きな数の簡単な計算ができる。 □整数の加法及び減法をもとに、そろばんを使っての小数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。 ○そろばんの学習に進んで関わり、ふり返りを通してそろばんと十進数の仕組みが関連していることに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	ふく習	2	●既習事項の確認と持続	

	１０．面積	１３	●長方形や正方形の面積について、その比べ方や表し方を理解し、求め方や公式を考えたり単位を適切に用いて表現したりすることを通して、面積の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇面積の単位についてや長方形や正方形の面積の公式について理解し、長方形や正方形の面積を求めることができる。 □図形を構成する要素に着目して正方形および長方形の面積の求め方を考えたり、長さの単位をもとに面積の単位の関係を調べたりしている。 ○長方形や正方形の面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
１１	１１．がい数とその計算	１１	●身のまわりの数量の表し方について、目的に応じて概数で表されることがあることを理解し、その表し方を考えたり、概数で計算する仕方を説明したりすることを通して、概数の意味やよさに気づくとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇概数が用いられる場合や四捨五入について理解し、身のまわりの数量を概数で表したり、概数を使って四則計算の結果を見積もったりすることができる。 □目的に応じて、概数の表し方を考えたり、概算の仕方を工夫したりしている。 ○概数や概算に進んで関わり、ふり返りを通して概数に表したり概算したりすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	わすれてもだいじょうぶ	２	●文章題において、問題場面を図に表して解法を考えることを通して、順にもどす考え方を使って３要素２段階の逆思考の問題を解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇3要素2段階の問題を図に整理することができる。 □図をもとに考え、順にもどして３要素２段階の逆思考の問題を解決している。 ○3要素2段階の問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して問題場面を図に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	１２．小数のかけ算とわり算	１９	●小数と整数のかけ算やわり算について、整数の計算をもとにしてその計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、(小数)×(整数)、(小数)÷(整数)の計算や筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇(小数)×(整数) や (小数)÷(整数) の計算の意味やその仕方を理解し、(小数)×(整数) や (小数)÷(整数) の計算ができる。 □(小数)×(整数) や (小数)÷(整数) の計算の意味やその仕方について、整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりなどをもとにしたりして考えている。 ○(小数)×(整数) や (小数)÷(整数) の計算に進んで関わり、ふり返りを通して整数の場合や小数の仕組みをもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
１２	明石海峡大橋のひみつ	１	●根拠にもとづいて、整数の四則計算の演算決定をすることができる。	□演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。
	だれでしょう	１	●示された条件を表に整理し、順序よく推論して問題を解くことができる。	□表をもとに、あてはまる場合を考えたり説明したりしている。 ○条件を表に整理し、順序立てて考えていこうとしている。
	ふく習	２	●既習事項の確認と持続	
１	１３．調べ方と整理のしかた	６	●身のまわりの事象について、二次元の表を用いたデータの分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともに、その方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇身のまわりの事象について、二次元の表を用いて分類・整理する仕方を理解し、表をよんだりつくったりすることができる。 □目的に応じて、表の項目を適切に判断したり、表から事象の特徴をよみとったりしている。 ○身のまわりの事象を分類・整理することに進んで関わり、ふり返りを通して目的にあわせて表をつくることの必要性やそのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	どれにしようかな	１	●文章題において、情報を二次元の表に分類・整理して解法を考えることを通して、２つの観点の組み合わせを考えて問題を解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇2 つの観点からの情報を二次元の表で整理できることを知っている。 □2 つの観点からの情報を二次元の表に整理している。 ○いろいろな情報を、二次元の表などに整理して、考えようとしている。
	１４．分数	９	●分数について、仮分数や帯分数について理解し、	◇仮分数や帯分数の意味を理解し、仮分数を帯分数に直したり帯分数

2			分数の大きさを数直線に表したり、分数のたし算やひき算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、分数についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	仮分数に直したりすることができる。また、それらの大小比較や加減計算をすることができる。 □単位分数の何個分かに着目し、分数の表し方や同分母分数の加減計算の仕方を考えている。 ○分数に進んで関わり、ふり返りを通して単位分数の何個分かに着目することのよさや分数で表すことの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	ふく習	2	●既習事項の確認と持続	
	１５．変わり方	8	●伴って変わる２つの数量について、その変化の様子や関係について調べたり考えたりすることを通して、表やグラフ、式を用いた関数的な見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇伴って変わる２つの数量の関係を、表やグラフに整理したり、○や△の式に表したりすることができる。 □伴って変わる２つの数量の関係を表に整理して、変化や関係の特徴を考えている。 ○伴って変わる２つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して表やグラフに数量の関係を整理したり式に表したりすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
3	１６．直方体と立方体	１２	●直方体と立方体について、観察を通してその分類や意味を理解し、その構成要素に着目して性質を調べたり展開図や見取図のかき方を考えたりすることを通して、立体図形の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇直方体や立方体の意味やその特徴について理解し、展開図・見取図をかいたり、直線や平面の平行・垂直の関係を調べたりすることができる。また、平面や空間における位置の表し方についても理解している。 □直方体や立方体の構成要素やそれらの位置関係に着目し、直方体や立方体の特徴や展開図・見取図のかき方を考えている。 ○直方体や立方体の考察、位置の表し方に進んで関わり、ふり返りを通して立体図形の構成要素やその位置関係に着目することや位置を数値で表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	わくわくプログラミング	1	●忍者を動かすプログラムをつくる活動を通して、簡単なプログラミングの仕方を理解する。	□増え方のきまりをプログラムするために、命令の組み合わせ方を考えたり説明したりしている。 ○2ずつ増えるときと2倍ずつ増えるときで、増え方が大きく違うことに気づいている。
	わくわくSDGs「ごみを減らそうプロジェクト」	1	●ごみ問題について話し合い、与えられたデータから1人あたりのごみの量を求めることができる。 ●調べた結果から、ごみを減らすためにできることを話し合う。	◇必要な情報を選択し、1人あたりのごみの量を計算で求めることができる。 ○友だちと相談しながら、ごみの量を減らすためにできることを考えようとしている。
	もうすぐ5年生	5	●4年生の学習内容の確認と持続	

年間授業時数２０８時間　　標準時数（１７５時間）

第５学年算数科　年間指導計画　　◇知識・技能□思考・判断・表現○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	算数のとびら	1	●小数点以下の桁数の違う小数の加減計算について、図、式、ことばなどを関連づけて考えたり筋道立てて説明しあったりすることを通して小数の加減計算についての理解を深めるとともに、学びを深めあう算数学習の進め方のよさに気づき今後の学習にいかそうとする態度を養う	◇算数の学習を進める手順を知り、図、式、ことばなどを用いて考えたり、説明したり、話しあったりすることのよさを理解している。 □図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりしている。 ○自らが主体となる学習の進め方に関心をもち、話し合い活動や発表に進んで取り組んでいる。学習を進める手順や話し合いの仕方などをふり返り、これからの学習にいかそうとしている。
	１．整数と小数	4	●整数や小数について，10 倍や1/10にしたときの小数点の移動の仕方を考えることを通して，十進数の仕組みや表し方の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇小数も整数と同じ十進位取り記数法をもとにしていることを理解し，整数や小数を10倍，100倍，1000倍した数や，1/10，1/100，1/1000にした数を求めることができる。 □十進数の仕組みや表し方に着目して，整数や小数を10倍，100倍，1000倍したり，1/10，1/100，1/1000にしたりしたときの小数点の移動の仕方を考えている。 ○小数と整数の仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	２．体積	１０	●直方体や立方体の体積について，その比べ方や表し方を理解し，求め方や公式を考えたり単位を適切に用いて表現したりすることを通して，体積の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇体積や容積の意味がわかり，単位「cm^3」「m^3」を知り，直方体や立方体の体積を求めることができる。 □長方形や正方形の面積の求め方や公式をもとにして，直方体や立方体の体積の求め方や公式を考えたり，これを活用して簡単な複合図形の体積の求め方を工夫したりしている。 ○直方体や立方体の体積の表し方や求め方に進んで関わり、ふり返りを通して適切な普遍単位を用いて大きさを数値化することのよさや公式を導き活用する意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
5	３．比例	3	●伴って変わる２つの数量について，その変化の様子や関係について調べたり考えたりすることを通して比例の意味を理解するとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇比例の意味を知り，簡単な場合についての比例の関係を理解することができる。 □簡単な場合について，比例しているかどうかを判断している。 ○伴って変わる２つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して比例という数量関係の特徴を見いだすことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	４．小数のかけ算	１２	●小数をかける計算について，その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して小数のかけ算になる場面をとら	◇小数の乗法の意味やその仕方を理解し，小数の乗法の計算ができる。また，小数の計算においても交換法則や結合法則，分配法則が成り立つことを知る。

			えて計算できるようにするとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	□小数の乗法の意味やその仕方について，既習の整数の場合をもとにしたり，小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えている。 ○小数の乗法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の乗法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	復習	2	●既習事項の確認と持続	
6	5．小数のわり算	１６	●小数でわる計算について，その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して小数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇小数の除法の意味やその仕方を理解し，小数の除法の計算ができる。 □小数の除法の意味やその仕方について，既習の整数の場合をもとにしたり，小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えている。 ○小数の除法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の除法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	6．割合（1）	5	割合や数量が小数で表された場面で、図や式を使って２つの数量の割合について調べたり考えたりすることを通して、小数倍の意味を理解するとともに、小数倍を使った計算を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇小数倍で表される数量の関係について理解し、問題を解決することができる。 □図や式を使って小数倍で表される数量の関係について考えている。 ○割合や数量が小数で表された問題に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を小数倍で表して解決することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
7	7．合同な図形	１２	●合同な図形や多角形の角の大きさについて，図形を重ね合わせる活動を通して合同の意味を理解し，合同な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の角の大きさを調べたりすることを通して，平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇合同の意味や性質を理解し，頂点，辺，角の対応をみつけて合同な図形を作図することができる。また，三角形や四角形の内角の和についても理解している。 □合同の観点から既習の基本図形の性質を考えたり，合同な図形の作図の仕方や多角形の内角の和を考えたり説明したりしている。 ○平面図形の形や大きさに進んで関わり、ふり返りを通して構成要素に着目することのよさや三角形や四角形の場合をもとに多角形について考えていけばよいことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	もう１回、もう1回	2	文章題において、数量の関係を表に整理してその増え方に着目して解法を考えることを通して、数の少ない場合から順に調べる考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活	◇伴って変わる 2 つの数量の関係を表に整理することができる。 □図や表をもとに考え、２つの数量の間のきまりを見いだしている。また、「数の少ない場合から順に調べる」ことのよさに気づき、これを活用して問題を解いている。 ○伴って変わる 2 つの数量に関する問題解決に進んで関

			や学習に活用しようとする態度を養う。	わり、ふり返りを通して数量の関係を表に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	金閣の金箔の量	1	●根拠にもとづいて、小数のかけ算やわり算の演算決定をすることができる。	○演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。
	算数自由研究	1	●「しきつめもよう」といった自由研究に取り組み，見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。	□見通しをもちながら，敷き詰めの仕方を考えている。 ○多角形の敷き詰めに意欲的に取り組み，敷き詰められるときの図形の特徴を見つけようとしている。
8	復習	1	●既習事項の確認と持続	
9	8. 整数	１５	●整数の性質について，偶数・奇数や倍数・約数の意味を理解し，倍数や約数の求め方を考えたりそれらを使って問題解決したりすることを通して整数の見方・考え方を深めるとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇偶数・奇数の意味や倍数・約数などの意味を理解し，整数の性質についての理解を深め，整数を偶数と奇数に類別したり，倍数・約数などを求めたりすることができる。 □整数を偶数・奇数という観点から類別したり，倍数・約数という観点から考察したりしている。 ○偶数・奇数、及び、倍数・約数に進んで関わり、ふり返りを通して整数の性質に着目して多面的にとらえることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	9. 分数	１５	●異分母分数の加減計算や商としての分数を考えたり説明したりすることを通して、分数についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇分数の約分や通分の仕方を理解し，異分母分数の加減計算ができるようにする。 □単位分数に着目して異分母分数の加法や減法の計算の仕方を考えている。 □わり算の商や小数や整数、何倍かを表す数を分数で表す方法について考え、分数の意味を多面的にとらえている。 ○分数の相当や加減計算、分数を用いる場面に進んで関わり、ふり返りを通して通分や約分の仕方や分数の意味を多面的にとらえることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
10	復習	2	●既習事項の確認と持続	
	１０．面積	１７	●三角形や四角形の面積について，その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して，面積を求めることができるようにしたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇底辺と高さの意味や公式について理解し，三角形や四角形の面積を求めることができる。 □既習の面積公式をもとに三角形や平行四辺形などの面積の求め方を工夫して考えたり、求積方法を振り返って、公式を導いたりしている。 ○三角形や平行四辺形などの面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
11	１１．平均とそ	7	●平均について，その意味や求め方を理	◇平均の意味や求め方を理解し、平均を求めたり、平均を

	の利用		解し，いろいろな場面で平均を調べたり平均を使って考えたりすることを通して，その理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	用いておよその数量を見積もったりすることができる。 □部分の平均を用いて、全体の量を見積もる方法や全体の平均を求める方法を考えている。 ○数量の平均に進んで関わり、ふり返りを通して平均とそれを利用することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	１２．単位量あたりの大きさ	8	●混みぐあいなどについて，その比べ方や表し方を考えたり説明したりすることを通して単位量あたりの大きさを求めて比べることができるようにするとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇単位量あたりの大きさの意味や求め方を理解し、単位量あたりの大きさを求めたり、それを使って混みぐあいなどを比べたりすることができる。 □2つの数量が関係していることに着目し、混みぐあいなどの比べ方を考え、単位量あたりの大きさを使って程度の大小を表したり、判断したりしている。 ○単位量あたりの大きさに進んで関わり、ふり返りを通して一方の量を単位として混みぐあいなどを判断することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	遊園地へゴー！	2	文章題において、問題場面を図に表して同じものに着目して解法を考えることを通して、相殺や置換の考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇相殺や置換の考え方を理解し、それを用いて問題を解決することができる。 □2つの場面を図に整理して数量の大きさとして等しくなる部分を見いだし、それに着目して問題を解決する方法を考えている。 ○未知の数量が組み合わさった場面に関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して相殺や置換のよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
12	１３．割合（2）	１３	●割合について、その意味や百分率などの表し方を理解し、割合を使った問題や割合が増減する問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う	◇割合の意味や百分率などを用いた表し方を理解し、数量の関係を正しくとらえて割合、比べる量、もとにする量を求めることができる。 □数量の関係に着目し、割合を用いて複数の事象の数量の関係を比較したり、割合の和や差、積を考えたりしている。 ○割合の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を割合で表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	人文字	2	●文字の形になるように一定の間隔で並んだ人の数と間の数の関係を図に着目して、問題を解く	○人が並んだ形を、人数や間隔が変わらないように変形して単純化して考えている。《観察・ノート》
	見積もりを使って	1	●ある数量以上の部分とそれ以下の部分を差し引いて結果を見	□1000 や 500 との差を相殺して結果を見積もり、判断の基準とした数量をこえるかどうかを考え

			積もり、判断することができる。 ●切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。	たり説明したりしている。《ノート・発言》 ○どのように考えれば簡単に見積もれるのかをふり返り、生活や学習にいかそうとしている。。
	復習	1	既習事項の確認と持続	
1	１４．円と正多角形	9	●円と正多角形について，正多角形の構成や作図などの活動や円周の求め方を考えるといったことを通して，平面図形の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇正多角形の意味や性質について理解し、作図することができる ◇円周率の意味を理解し、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりすることができる。 □円や正多角形の性質に着目し、正多角形の作図の仕方を考えている。 □円周と直径の関係に着目し、帰納的に考えて円周率を見いだしたり、円周や直径の求め方を考えたりしている。 ○正多角形や円の考察に進んで関わり、ふり返りを通して正多角形の作図の仕方や円周率のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
2	１５．割合のグラフ	8	●身のまわりの事象について、帯グラフや円グラフを用いた分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇身のまわりの事象について、データの割合を表すには帯グラフや円グラフを用いるとよいことを理解し、帯グラフや円グラフをよんだりつくったりすることができる。また、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 □目的にあわせて、データの収集・整理の仕方を考えたり、帯グラフや円グラフを適切に用いてデータの特徴を判断したりしている。また、得られた結果を多面的にとらえて結論について考察している。 ○データの割合について進んで関わり、帯グラフや円グラフを使ってデータを整理することや結果を多面的にとらえることのよさに気づき、統計的な問題解決を生活や学習にいかそうとしている。
	復習	1	●既習事項の確認と持続	
	１６．角柱と円柱	7	●角柱や円柱について，観察を通してその分類や意味を理解し，その構成要素に着目して性質を調べたり見取り図や展開図のかき方を考えたりすることを通して，立体図形の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇角柱や円柱の意味やその特徴について理解し、角柱や円柱の見取図・展開図をかくことができる。 □立体図形の構成要素に着目し、角柱や円柱の特徴や見取図・展開図のかき方を考えている。 ○柱の考察に進んで関わり、ふり返りを通して立体図形の構成要素や展開図を組み立てたときに重なる点や辺に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	１７．速さ	8	●速さについて，その比べ方や表し方を考えたり，いろいろな速さに関する問題を解決したり	◇速さの意味や求め方を理解し、速さを時速、分速、秒速などの単位を用いて表したり比べたりすることができる。 □単位量あたりの考え方をもとに道のりと時間の

			することを通して，速さ・道のり・時間の関係の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	関係に着目し、速さの表し方を考えたり、道のりや時間の求め方を考えたりしている。 ○速さに進んで関わり、ふり返りを通して単位時間に進んだ道のりを速さとすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
3	１８．変わり方	4	●伴って変わる２つの数量について，その関係を○や△を使って式に表したり表に整理して変わり方を調べたりすることを通して，変化の特徴をとらえたり比例するかどうかを判断したりすることができるようにするとともに，生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇伴って変わる２つの数量の関係を、○や△を使って式に表したり、表にかいて変わり方を調べたりすることができる。 □伴って変わる２つの数量を見いだして、その関係を式や表を用いて考えたり、比例するかどうかを判断したりしている。 ○伴って変わる２つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して○や△を使ってその関係を式に表すことや表を用いて考察することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている
	いつ会える？	2	●速さの文章題において、時間と道のりの関係を表に整理して道のりの和や差の変化に着目して解法を考えることを通して、変わり方のきまりを見つけて解くことができるようにするとともに、用いた見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇時間と道のりの関係や道のりの和や差の変化を表に整理することができる □絵や表をもとに考え、道のりの和や差の変化のきまりに着目し、これを活用して問題を解決している ○速さに関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係や変化を表に整理して考えることや表からきまりを見いだすことのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	わくわくプログラミング	2	●直進と回転の命令を組み合わせて、正多角形を作図するプログラムをつくることができる。	□正多角形の外角に着目すればよいことに気づき、回転角の大きさを考えている。 ○プログラムをつくることに関心をもち、いろいろ試しながら取り組んでいこうとしている。
	わくわく ＳＤＧｓ 「エネルギーをたいせつに使おうプロジェクト」	2	●表やグラフなどの資料から必要な情報を選択し、エネルギーについての問題を解決する方法を考える。 ●エネルギーについての課題を話し合い、課題解決に向けた計画を考える。	◇文章、表、グラフから問題を解くのに必要な情報を選択することができる。 □文章、表、グラフを関連づけて考えたり説明したりしている。
	もうすぐ６年生	5	●5年生の既習事項の確認と持続	

年間授業時数　２０１時間　　標準時数　175時間

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	算数のとびら	1	●長方形内部の図形の面積の大小比較について、図、式、ことばなどを関連づけて考えたり筋道立てて説明しあったりすることを通して割合についての理解を深めるとともに、学びを深めあう算数学習の進め方のよさに気づき今後の学習にいかそうとする態度を養う。	◇算数の学習を進める手順を知り、図、式、ことばなどを用いて考えたり、説明したり、話しあったりすることのよさを理解している。 □図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりしている。 ○自らが主体となる学習の進め方に関心をもち、話し合い活動や発表に進んで取り組んでいる。学習を進める手順や話し合いの仕方などをふり返り、これからの学習にいかそうとしている。
	１．対称な図形	１１	●図形の対称性について、図形を折り重ねたり回したりする活動を通して線対称や点対称の意味を理解し、対称な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の対称性を調べたりすることを通して、平面図形の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇操作活動を通して線対称・点対称な形について理解し、対称の軸や対称の中心、対応する点や直線を見つけたり、対称な図形を作図したりすることができる。 □平面図形の構成要素の対応に着目し、対称の軸や対称の中心を見いだしたり、対称な図形のかき方を考えたりしている。また、対称性の観点から多角形の特徴を考えている。 ○対称な図形に進んで関わり、ふり返りを通して既習の合同な図形の見方と関連づけて対称性をとらえられることや対称性に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
5	２．文字と式	１０	●数量やその関係について、ｘやｙを使って式に表したり文字式の意味を具体に即して考えたりすることを通して、文字を使った式の理解や対応する値を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇○や△などの代わりにｘやｙなどの文字を用いることを理解し、文字を使って数量やその関係を式に表したり、ｘやｙに数をあてはめて対応するｘやｙの値を求めたりすることができる。 □問題場面から数量の関係を見いだして文字を使って式に表したり、文字を使って表された式の意味を具体に即していろいろに読み取ったりしている。 ○文字を使って式に表すことに進んで関わり、ふり返りを通してｘやｙなどの文字を使って数量やその関係を簡潔に表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	３．分数×整数 分数÷整数	6	●分数と整数の乗除について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して、分数と整数の乗除計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇分数に整数をかけたり，整数でわったりする計算ができる。 □分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算について、分数の意味や図をもとに考えている。 ○分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算に進んで関わり、ふり返りを通して分数の意味から計算の仕方を考えることや計算過程で約分することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	復習	2	●既習事項の確認と持続	
6	４．分数×分数	１６	●分数をかける計算や逆数について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のかけ算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態	◇分数をかける計算の意味を理解し、計算することができる。また、逆数の意味や分数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。 □分数に分数をかける計算の意味や仕方について、分数に整数をかけたり整数でわったりする既習の場合をもとにして筋道立てて考えている。

			度を養う。	○分数に分数をかける計算に進んで取り組み、ふり返りを通して見いだした計算の仕方のよさや計算のきまりが整数や小数と同じように成り立つことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	5．分数÷分数	１４	●分数でわる計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇分数でわる計算の意味を理解し、計算することができる。 □分数を分数でわる計算の意味や仕方について、分数に整数をかけたり整数でわったりする既習の場合をもとにして筋道立てて考えている。 ○分数を分数でわる計算に進んで取り組み、ふり返りを通して見いだした計算の仕方のよさに気づき、割合が分数で表される場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。
	6．場合を順序よく整理して	１５	●場合の数について、落ちや重なりのないように図や表を用いて調べたり場合を整理して考えたりすることを通して、場合の数を求めたり条件に合う場合を見つけたりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇組み合わせや並べ方を順序よく整理して調べることができる。また、落ちや重なりのないように調べるためには、観点をきめたり、図や表を工夫したりして調べればよいことを理解している。 □組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重なりのないように調べる方法を考えている。また、すべての場合のうち、条件に合うものを考え、判断している。 ○場合の数を調べることに進んで関わり、ふり返りを通して落ちや重なりのないように図や表を使って順序よく整理することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
7	日本の森林面積は？	1	●根拠にもとづいて、分数のかけ算やわり算の演算決定をすることができる。	□演算決定の根拠を考えたり説明したりしている。
	算数自由研究	1	●「もようづくり」といった自由研究に取り組み，見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。	□見通しをもちながら、模様づくりの仕方を考えている。 ○模様づくりに意欲的に取り組み、作図の工夫の仕方を考えようとしている。
8	復習	2	●既習事項の確認と持続	
9	７．円の面積	１０	●円の面積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、円や円弧を含む複合図形の面積を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇円の面積の求め方や公式について理解し、円の面積や円弧を含む複合図形の面積を求めることができる。 □既習の図形の面積の求め方をもとに円の面積の見当のつけ方や求め方を考え、円の面積の公式を見いだしたり、公式を活用できるように円弧を含む複合図形をとらえたりしている。 ○円の面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよさに気づき、円や円弧を含む複合図形の面積を求める場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。
	８．立体の体積	９	●柱体の体積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、体積を求めることができるようにしたり立体図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇柱体の体積の求め方とその公式を理解し、公式を使って柱体の体積を求めたり複合図形の体積を求めたりすることができる。 □直方体の体積の求め方をもとに、角柱や円柱の体積の求め方やその公式、また、複合図形の体積の求め方を考えている。 ○柱体の面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して体積の求め方や公式のよさに気づき、複合図形を柱体と捉えて体積を求める場面に適用するなど生活や学習にいかそうとしている。
	９．データの整理と活用	１２	●データの散らばりについて、ドットプロット・度数分布表・ヒストグラムを用いた分類・整理の仕方や代表値の意味を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したり	◇身のまわりの事象について、データの散らばりを表すにはドットプロット、度数分布表やヒストグラムを用いるとよいことを理解し、それらをよんだりつくったりする

			することを通して、統計的に問題解決する力を育むとともに、その方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ことや代表値を求めたりすることができる。また、統計的な問題解決の方法を理解している。 □目的にあわせて、データの収集・整理の仕方を考えたり、代表値や表・グラフを適切に用いてデータの特徴を判断したりしている。また、得られた結果を多面的にとらえて結論について考察している。 ○データの散らばりについて進んで関わり、度数分布表やヒストグラムを使ってデータを整理することや結果を多面的にとらえることのよさに気づき、統計的な問題解決を生活や学習にいかそうとしている。
10	子ども会の準備	3	●文章題において、数量の関係を表に整理して条件に合う場合に着目して解法を考えることを通して、順序よく調べちょうどよい場合を見つける考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇表を使ってすべての場合を順序よく整理し、調べることができる。 □表をもとにして、条件に合う場合を見つけたり、条件に合う場合のきまりを考えたりしている。 ○表を使って考える問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して順序よく表に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	復習	2	●既習事項の確認と持続	
	１０．比とその利用	１１	●比について、その表し方や比の値、等しい比の意味を理解し、割合が比で表された問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇比の意味と表し方を理解し、比を用いて表したり、等しい比を見つけて比を簡単にしたりすることができる。 □数量の関係に着目し、比と一方の量からもう一方の量を求めたり、全体の量をきまった比に分けたりする方法を考えている。 ○比に進んで関わり、ふり返りを通して比を用いて数量の関係を表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
11	１１．図形の拡大と縮小	１２	●図形の拡大・縮小について、図形の関係を考察する活動を通して拡大・縮小の意味を理解し、拡大図・縮図の性質や作図の仕方を考えたり縮図を用いて距離を調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇図形の拡大や縮小の意味を理解し、頂点、辺、角の対応を見つけて拡大図・縮図を作図することができる。 □拡大や縮小の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、拡大図・縮図の作図の仕方や形を考えたり説明したりしている。 ○平面図形の形や大きさに進んで関わり、ふり返りを通して構成要素に着目することのよさや三角形の場合をもとに多角形について考えていけばよいことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
12	１２．比例と反比例	１８	●伴って変わる２つの数量について、比例や反比例の意味を理解し、その変化の様子や関係を式、表、グラフを用いて調べたり考えたりすることを通して、関数的な見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇比例や反比例の意味や性質を理解し、比例や反比例の関係を、式や表、グラフに表すことができる。 □数量の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり、比例関係を利用して問題を解決したりしている。 ○比例や反比例の関係を考察することに進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を、式や表、グラフに表すことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	ぴったりを探せ！	3	●文章題において、数量の変化を表に整理してその和や差に着目して解法を考えることを通して、変わり方のきまりを	◇2つの数量の関係やその和や差の変化を表に整理することができる。 □表をもとに考え、変化する２つの数量の和や差に

			見つける考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。。	着目し、これを活用して問題を解決している。 ○表を使って考える問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して結果の見通しを立てて表に整理することのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	食といのち	3	●切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。 ●簡単に計算できるように切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。	□切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、実際の数量がそれより大きいか小さいかを判断することができる。 □簡単な計算で結果を見積もれるように、切り上げや切り捨ての利用の仕方を考えたり説明したりしている。
	わくわくプログラミング	1	●変数の演算子と整除の条件判定の命令を組み合わせて、ある数の倍数を見つけるプログラムをつくることができる。	□倍数の性質に着目すればよいことに気づき、順序立ててどのようなプログラムにすればよいかを考えたり、説明したりしている。 ○プログラムをつくることに関心をもち，いろいろ試しながら取り組んでいこうとしている。
1	復習	2	●既習事項の確認と持続	
	１３．およその形と大きさ	7	●ものの概形のとらえ方やメートル法の仕組みについて理解し、およその面積や体積の求め方を考えたり単位の関係を統合的にとらえたりすることを通して、ものの形や数量の大きさの見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇身のまわりのものの概形をとらえて、そのおよその面積や体積を手際よく求める方法を理解し、概測することができる。また、メートル法の仕組みについての理解を深める。 □身のまわりのものの概形をとらえ、およその面積や体積の求め方を考えている。また、長さと面積・体積の関係を調べたり、単位の接頭語の意味を考えたりしている。 ○ものの形や大きさの考察に進んで関わり、ふり返りを通してものの概形をとらえることやメートル法の仕組みのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	よういスタート！	2	●仕事の速さの文章題において、問題場面を図に表して全体と部分の割合に着目して解法を考えることを通して、全体を１として割合の考えを使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	◇ある仕事にかかる時間を、仕事全体の割合を１として線分図に表すことができる。 □線分図をもとに、仕事全体の割合を１としたときに各部分の割合がどれだけにあたるかを考えている。 ○仕事の速さに関する問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係図に整理して考えることや全体を１として考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	すごろく	1	●与えられた情報をもとに仮説を立て、それを検証して問題を解くことができる。	□情報をもとに仮説を立て、それが正しいといえるかを考えて問題を解決している。 ○情報を整理し、順序立てて考えていこうとしている。
2 3	わくわくSDGs 「水害に備えようプロジェクト」	2	●表やグラフなどの資料から必要な情報を選択し、水害についての課題について考えることができる。 ●水害の対策について話し合い、課題解決に向けた計画を考えることができる。	◇文章、表、グラフから問題を解くのに必要な情報を選択することができる □文章、表、グラフを関連づけて考えたり説明したりしている。 ○算数で学んだことをいかして、自身の生活や地域社会のことを見直そうとしている。
	６年のまとめ	１８		
	未来へのとびら			

年間授業時数　１９５時間　　標準時数（１７５時間）

第３学年　理科　年間指導計画

月	小単元	時	指導目標・内容	観点別評価規準
４月	生きもののすがた	4	身の回りの生物を探す中で、それらの様子に着目して、それらの様子を比較しながら、生物の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○校庭で生き物を探したり、教科書の絵を見たりして、生き物の姿について気付いたことを話し合う。 ○虫眼鏡の使い方を知る。 ○観察カードの書き方を知る。 ○生き物の色、形、大きさを他の生き物と比べながら調べる。	【態度】 生物の姿についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 生物の姿について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 生物の姿について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 生物の姿について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 生物の姿について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
５月	１たねまき ２葉・くき・根	6	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○いろいろな植物の種を見て、気付いたことを話し合う。 ○育てる植物を2つ決めて、種を観察する。 ○種をまく。 ○2つの植物の子葉を比べて、気付いたことを話し合い、問題を見つける。 ○植物の育ち方を比べながら調べる。 ○植物の体を見て気付いたことを話し合う。 ○育ててきた植物の体のつくりを比べながら調べる。	【思・判・表】 植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 子葉が出た後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 植物の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	１チョウの育ち方		昆虫の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の昆虫を比較しながら昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【思・判・表】 昆虫の成長について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 昆虫の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉

6月	2こん虫の体のつくり 3こん虫の育ち方	11	○チョウのたまごや青虫、成虫の姿を比べて、気付いたことを話し合う。 ○チョウの育ち方を、姿を比べながら調べる。 ○チョウの体と他の虫の体を比べて、気付いたことを話し合う。 ○いろいろな虫の体のつくりを、チョウの体のつくりと比べながら調べる。 ○チョウの育ち方と他の昆虫の育ち方を比べて、気付いたことを話し合う。 ○トンボやバッタの育ち方を、チョウの育ち方と比べながら調べる。	【態度】 身の回りの生物についての事物・事象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 昆虫の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 昆虫の体のつくりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記述分析〉 【思・判・表】 昆虫の体のつくりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 昆虫の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 昆虫の成長や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	葉がふえたころ	1	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○2つの植物の育ち方を比べながら調べる。	【知・技】 植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	1ゴムの力のはたらき	7	ゴムと風の力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら、ゴムと風の力の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○ゴムで動く車を作って遊んでみて、気付いたことを話し合う。 ○実験の仕方を知る。 ○ゴムの伸ばし方を変えたときの車の進む距離を比べながら調べる。 ○深めよう「ねらったいちに車を止めてみよう！」を行う。 ○風で動く車を作り、うちわであおいで遊んでみて、気付いたことを話し合う。	【態度】 ゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 ゴムの力の働きについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 ゴムの力の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 ゴムの力は、物を動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 ゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

	2風の力のはたらき		○車に当てる風の強さを変えたときの車の進む距離を比べながら調べる。 ○作ってみよう「ゴムと風の力で動くおもちゃを作ってみよう！」を行う。	【思・判・表】 風の力の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 風の力は、物を動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 ゴムと風の力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 ゴムと風の力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
7月	1音の出方	6	音を出したときの震え方に着目して、音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら、音の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○楽器などを使って音を出し、気付いたことを話し合う。 ○音の大きさを変えたときの物の震え方の違いを比べながら調べる。 ○糸電話を作って、友達と話をしたときのことについて、気付いたことを話し合う。 ○音が伝わるときの物の震え方を比べながら調べる。 ○作ってみよう「音のおもちゃを作ってみよう！」を行う。	【態度】 音の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 音の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 物から音が出るとき、物は震えていること、また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	2音のつたわり方			【思・判・表】 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 物から音が伝わるとき、物は震えていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	花	2	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○植物の育ち方を比べながら調べる。	【知・技】 花が咲いた植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
9月	動物のすみか		身の回りの動物を探す中で、これらの様子や周辺の環境に着目して、それらを比較しながら、生物と環境との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身	【態度】 生物と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

		4	に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○校庭で動物を探して、動物がいる場所について気付いたことを話し合う。 ○いろいろな動物がいた場所の様子を比べながら調べる。	【思・判・表】 生物と環境との関わりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 生物と環境との関わりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【思・判・表】 生物と環境との関わりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 生物と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
１０月	花がさいた後	4	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○植物の育ち方を比べながら調べる。 ○植物の育ち方の順序について、分かったことを発表する。	【知・技】 花が咲いた後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【思・判・表】 植物の育ち方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 植物の育ち方には一定の順序があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 植物の育ち方や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	１かげのでき方と太陽のいち ２日なたと日かげの地面のようす	9	太陽と地面の様子との関係について、日なたと日陰の地面の様子に着目して、比較しながら調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○影踏み遊びを行って、気付いたことを話し合う。 ○影の向きや太陽の位置を調べる。 ○影の位置を太陽の位置と比べながら調べる。 ○方位磁針の使い方を知る。 ○太陽の位置を、時刻と比べながら調べる。 ○日なたと日陰の様子で気付いたことを話し合う。 ○放射温度計の使い方を知る。 ○棒温度計の使い方を知る。 ○日なたと日陰の地面を触って比べる。 ○時刻を変えて、日なたと日陰の地面の温度を比べながら調べる。	【思・判・表】 太陽と日陰や影の位置の変化について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【知・技】 日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 太陽と日陰や影の位置の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【思・判・表】 太陽と日陰や影の位置の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

				【知・技】 太陽と地面の様子との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 太陽と地面の様子との関係について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	かがみではね返した日光		光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○鏡で太陽の光（日光）をはね返して的に当てて、気付いたことを話し合う。 ○鏡ではね返した日光について調べる。 ○鏡ではね返した日光について調べたときに気付いたことを話し合う。 ○鏡の数を変えたときの的の明るさや温度を比べながら調べる。 ○深めよう「虫眼鏡で日光を集めてみよう！」を行う。	【態度】 光の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
11月				【知・技】 日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
		8		【思・判・表】 光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 光の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 光の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	電気の通り道		乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○夜と昼のイルミネーションの様子を見て、気付いたことを話し合う。 ○豆電球に明かりをつける。 ○豆電球に明かりをつけるときに気付いたことを話し合う。	【態度】 電気を通すつなぎ方についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電気を通すつなぎ方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉

１２月		10	○電気を通す物と通さない物を、比べながら調べる。 ○深めよう「遠くにある豆電球に明かりをつけてみよう！」を行う。 ○作ってみよう「豆電球を使ったおもちゃを作ってみよう！」を行う。	【思・判・表】 電気の回路について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電気を通す物と通さない物があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
１月	１じしゃくに引きつけられるもの	8	磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○磁石を身の回りの物に近付け、磁石の不思議について、気付いたことを話し合う。 ○磁石に引き付けられる物と引き付けられない物を、比べながら調べる。 ○磁石から離れていても働く力について、気付いたことを話し合う。 ○磁石と鉄の距離を変えたときの、鉄を引き付ける力を比べながら調べる。 ○磁石同士を近付けたときの様子について、気付いたことを話し合う。 ○磁石の極同士の組み合わせを変えて、近付けたときの様子を比べながら調べる。 ○深めよう「じしゃくを糸につるしてみよう！」を行う。 ○磁石に引きつけられたクリップとクリップがつながったまま落ちなかった様子について、気付いたことを話し合う。 ○磁石に近付けた鉄は、磁石になるのか磁石と比べながら調べる。	【態度】 磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	２じしゃくと鉄			【思・判・表】 磁石の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
２月	１もののしゅるいと重さ		物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【態度】 物の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 物の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

3月	2ものの形と重さ	6	○物を見たり、持ったりして、物の重さについて気付いたことを話し合う。 ○はかりの使い方を知る。 ○はかりを使って重さを調べる。 ○種類が違う物の重さを比べながら調べる。 ○物の重さについて気付いたことを話し合う。 ○形を変えたときの物の重さを比べながら調べる。 ○深めよう「形をかえて重さをくらべてみよう！」を行う。	【知・技】 物の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 物の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	おもちゃショーを開こう！	4	ゴムと風の力、音のふしぎ、電気の通り道、じしゃくのふしぎについて、学んだことを、ものづくりに生かすことができるようにする。 ○今まで学習したことを生かしておもちゃを作り、おもちゃショーを開く。	【態度】 物の性質、ゴムと風の力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 物の性質、ゴムと風の力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

年間90時間

第４学年　理科　年間指導計画

月	小単元	時	指導目標・内容	観点別評価規準
４月	春の始まりの生物のようす	1	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○春の始まりの生物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。	【態度】 身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	天気と気温	7	気温に着目して、それらと天気の様子とを関係付けて、天気の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○晴れの日と曇りの日の気温について気付いたことを話し合う。 ○天気によって1日の気温の変化に、どのような違いがあるか、予想する。 ○気温の測り方を知る。 ○天気と1日の気温の変化の関係を調べる。 ○折れ線グラフの表し方や読み方を行う。	【態度】 天気についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 天気について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 天気について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈発言分析・記録分析〉 【思・判・表】 天気について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 天気について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	１１年間の観察 ２春の生物のようす	7	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○春の始まりの生物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。	【態度】 春の身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 春の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉

5月			○生物の様子は、季節によってどのように変わっていくのか、予想する。 ○水温の測り方を知る。 ○気温と動物の様子の関係を調べる。 ○気温と植物の様子の関係を調べる。 ○種をまく。	【知・技】 春の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 春の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	1かん電池のはたらき	9	電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて、電流の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○乾電池を使ってモーターを回したときに、気付いたことを話し合う。 ○乾電池の向きを変えると、電流の向きが変わるか、予想する。 ○簡易検流計の使い方を知る。 ○乾電池の向きと電流の向きを関係付けて調べる。 ○深めよう「電流の向きをたしかめてみよう！」を行う。	【態度】 電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	2かん電池のつなぎ方		○直列つなぎと並列つなぎにしてモーターなどを動かす。 ○直列つなぎと並列つなぎで、モーターの回る速さや豆電球の明るさが変わるのはどうしてか、予想する。 ○乾電池のつなぎ方と電流の大きさを関係付けて調べる。 ○作ってみよう「かん電池で動くおもちゃを作ってみよう！」を行う。	【態度】 電流の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 電流の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	1とじこめた空気		体積や圧し返す力の変化に着目して、それらと圧す力とを関係付けて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○空気を袋に閉じ込め、圧してみて気付いたことを話し合う。	【態度】 空気の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 空気の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉

6月	2とじこめた水	6	○閉じ込めた空気に力を加えると、空気の体積はどのようになるか、また、圧し返す力はどのようになるか予想する。 ○加えた力の大きさと、空気の体積や圧し返す力を関係付けて調べる。 ○深めよう「空気のようすを図に表してみよう！」を行う。 ○閉じ込めた水に力を加えると、水の体積はどのようになるか、予想する。 ○加えた力の大きさと、水の体積を関係付けて調べる。 ○作ってみよう「ふん水や水でっぽうを作ってみよう！」を行う。	【知・技】 閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、圧し返す力は大きくなることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 閉じ込めた空気は圧し縮められるが、水は圧し縮められないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	夏の生物のようす	5	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○気温と動物の様子の関係を調べる。 ○気温と植物の様子の関係を調べる。 ○気温と育てている植物の様子の関係を調べる。	【知・技】 夏の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 夏の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 夏の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	星の明るさや色	3	星の明るさや色に着目して、それらを比較しながら、星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○星の明るさや色について気付いたことを話し合う。 ○星の明るさや色の違いを比べながら調べる。	【態度】 星の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	夏の終わりの生物のようす	3	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○気温と生物の様子の関係を調べる。	【知・技】 夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 夏の終わりの身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 夏の終わりの育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉

7月	1流れる水のゆくえ 2土のつぶの大きさとしみこみ方 3空気中に出ていく水 4空気中の水	10	水の流れやしみ込み方、行方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさ、水の状態変化とを関係付けて、雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○校庭など、雨が降っている間や雨が降ったあとの濡れた地面の様子を眺めて気付いたことを話し合う。 ○雨水の行方についての問題を整理する。 ○水は、どのように流れていくのか、予想する。 ○地面の傾きと水の流れる方向の関係を調べる。 ○水は、地面にしみ込むのか、予想する。 ○土の粒の大きさと水のしみ込み方との関係を調べる。 ○水は、空気中に出て行くのか、予想する。 ○水が空気中に出て行くか、水を入れた入れ物を使って比べながら調べる。 ○深めよう「地面にしみこんだ水がじょう発するか調べてみよう！」を行う。 ○空気中には、水蒸気がどこにでも含まれているのか、予想する。 ○水蒸気が空気中に含まれているか、保冷剤を使って比べながら調べる。	【態度】 雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 雨水の行方と地面の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解してる。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 自然界の中の水の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 自然界の中の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
9月	1月の位置の変化		月や星の位置の変化に着目して、それらを関係付けて、月や星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けると	【態度】 月の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

			ともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【思・判・表】 月の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
			○月の位置について気付いたことを話し合う。 ○時間が経つと、半月の位置はどのように変わるか、予想する。 ○月の位置の調べ方や月の記録の仕方を知る。 ○半月の位置の変化と時間の関係を調べる。	【知・技】 月の特徴について、器具や機器をなど正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 月は日によって形が変わって見え、１日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
		9		【思・判・表】 星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	２星の位置の変化		○時間が経つと、月の位置はどのように変わるか、予想する。 ○満月の位置の変化と時間の関係を調べる。 ○星座早見の使い方を知る。 ○時間が経つと、星の位置や並び方はどのように変わるか、予想する。 ○はくちょう座の位置や並び方の変化と時間を関係付けて調べる。	【思・判・表】 星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 月や星の特徴について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
１０月	１うでが動くしくみ		骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらを関係付けて、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【態度】 人や他の動物の体についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 人の体には骨と筋肉があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
			○腕相撲をしたときの腕の様子について気付いたことを話し合う。 ○腕の骨は、どのようなつくりになっていてどのように動くのか、予想する。 ○骨のつくりと腕の動きを関係付けて調べる。 ○腕の筋肉は、どのようなつくりになっていて、どのように動くのか、予想する。 ○筋肉のつくりと腕の動きを関係付けて調べる。 ○体全体の骨と筋肉は、どのようなつくりや仕組みになっているか、予想する。 ○体のいろいろな部分について骨と筋肉を関係付けて調べる。 ○深めよう「身近な動物の、ほねときん肉のつくりや動き方を調べてみよう！」を行う。	【思・判・表】 人や他の動物の体について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 人や他の動物の体について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	２体全体のほねときん肉	9		【思・判・表】 人や他の動物の体について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

				【態度】 人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	秋の生物のようす	3	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○気温と動物の様子の関係を調べる。 ○気温と植物の様子の関係を調べる。	【知・技】 秋の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 秋の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 秋の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
１１月	１空気の温度と体積	8	体積の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○理科室のきまりを知る。 ○空のペットボトルを湯や氷水の中に入れたときのペットボトルの様子について、気付いたことを話し合う。 ○空気の温度が変わると、空気の体積はどうなるか、予想する。 ○空気の温度の変化と体積の変化を関係付けて調べる。	【態度】 空気の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	２水の温度と体積		○深めよう「空気の体積の変化をたしかめてみよう！」を行う。 ○水の温度が変わると、水の体積はどうなるか、予想する。 ○水の温度の変化と体積の変化を関係付けて調べる。	【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 水は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	３金ぞくの温度と体積		○金属の温度が変わると、金属の体積はどうなるか、予想する。 ○実験用ガスこんろの使い方を知る。 ○金属の温度の変化と体積の変化を関係付けて調べる。	【知・技】 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 金属の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 金属、水及び空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

	冬の星	2	冬の星に着目して、それらを関係付けて、冬の星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【態度】 星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
12月	1冬の生物のようす	5	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○気温と動物の様子の関係を調べる。 ○低い温度の読み方を知る。 ○気温と植物の様子の関係を調べる。 ○気温と育てている植物の様子の関係を調べる。 ○生物の様子は、季節によってどのように変わってきたか、1年間の観察の結果からいえることを話し合う。 ○1年間の動物の活動や植物の育ち方が、気温とどのように関係しているか、話し合ったことを発表する。	【知・技】 冬の身近な動物の活動について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 冬の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 冬の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	21年間をふりかえって			【思・判・表】 身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること、また、植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
1月	1金ぞくのあたたまり方	9	熱の伝わり方に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○写真を見て、金属の中華鍋が温まる様子について気付いたことを話し合う。 ○金属は、どのように温まるか、予想する。 ○金属の熱したところと温まり方を関係付けて調べる。 ○試験管に入れた水を熱して調べる。	【態度】 金属の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 金属の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	2水と空気のあたたまり方			【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
			○水は、どのようにして全体が温まるか、予想する。 ○水の温まり方を、金属の温まり方と比べながら調べる。 ○暖房している教室の空気の温度をはかる。 ○空気は、どのようにして全体が温まるか、予想する。 ○空気の温まり方を金属や水の温まり方と比べながら調べる。	【知・技】 水は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

2月				【知・技】 空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 金属、水及び空気の温まり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
3月	1熱したときの水のようす 2冷やしたときの水のようす 3温度と水のすがた	8	状態の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○水を熱したときの様子について、気付いたことを話し合う。 ○湯気を調べる。 ○水が沸騰しているときに出てくる泡は何か、予想する。 ○温度の変化と袋の様子を関係付けて調べる。 ○水を熱し続けると、水の温度と様子はどのようになるか、予想する。 ○温度の変化と水の様子を関係付けて調べる。 ○水を冷やし続けると、水の温度と様子はどのようになるか、予想する。 ○温度の変化と水の様子を関係付けて調べる。 ○水は温度によって固体、液体、気体にすがたを変えることをまとめる。	【態度】 水の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 水は、温度によって水蒸気に変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 水は、温度によって氷に変わること、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 水は、温度によって水蒸気や氷に変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	春のおとずれの生物のようす	1	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○春のおとずれの生物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。	【態度】 身近な動物や植物について一年間を通して学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

年間105時間

第５学年　理科　年間指導計画

月	小単元	時	指導目標・内容	観点別評価規準例
4月	１天気と雲 ２天気の変化	10	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○天気の変化を見て、気付いたことを話し合う。 ○天気は、雲の様子とどのような関係があるかを調べる方法について、計画を立てる。 ○雲の様子と天気の変化の関係を調べる。 ○深めよう「いろいろな雲を調べてみよう！」を行う。 ○天気はどのように変わっていくかを調べる方法について、計画を立てる。 ○気象情報と天気の変化の関係を調べる。 ○深めよう「明日の天気を予想してみよう！」を行う。	【態度】 天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 〈発言分析・記録分析〉 【態度】 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
5月	１発芽の条件 ２発芽と養分 ３植物の成長の条件	13	発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○発芽に必要な条件について、気付いたことを話し合う。 ○発芽に水が必要か調べる。 ○種子が発芽するためには、水のほかに何が必要なのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○発芽に空気が必要かどうか、条件を整えて調べる。 ○発芽に温度が関係するかどうか、条件を整えて調べる。 ○種子には、発芽に必要な養分が含まれているのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○ヨウ素液の使い方を知る。 ○種子に養分が含まれているかどうか、発芽して成長したものの子葉と比べながら調べる。 ○植物の成長には、どのような条件が関係するのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○成長に日光が関係しているかどうか、条件を整えて調べる。	【態度】 植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 植物の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 植物の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

			○成長に肥料が関係しているかどうか、条件を整えて調べる。	【知・技】 植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。〈行動観察・発言分析・記述分析〉
6月	メダカのたまごの変化	10	魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○メダカを見て、気付いたことを話し合う。 ○メダカを飼って観察する。 ○メダカは、卵の中でどのように変化してたんじょうするのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○双眼実体顕微鏡（または解剖顕微鏡）の使い方を知る。 ○メダカの卵の中の様子を、変化したところを比べながら調べる。	【態度】 魚の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 魚には雌雄があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 魚の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 魚の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 魚の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
7月	台風の接近と天気	5	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○台風が近づいたときに何が起こるのかを話し合う。 ○台風が近づくと、天気はどのように変わるかを調べる方法について、計画を立てる。 ○台風が近づいたときの気象情報と天気の変化の関係を調べる。	【態度】 台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 台風の進路は天気の変化の規則性が当てはまらないこと、また、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

				【態度】 台風について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
9月 10月	1花のつくり 2受粉の役わり 1流れる水のはたらき 2川のようす 3流れる水と変化する土地	8 14	結実の様子に着目して、それに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○植物の育ち方を思い出し、花と実について気付いたことを話し合う。 ○花は、どのようなつくりになっているかを調べる方法について、計画を立てる。 ○花のつくりを他の花と比べながら調べる。 ○顕微鏡の使い方を知る。 ○花粉の様子を調べる。 ○アサガオの花粉は、いつおしべからめしべに付くのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○花が開く前と後のおしべとめしべを比べながら調べる。 ○受粉すると、花にはどのような変化が起こるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○受粉させた花と受粉させなかった花の変化を、条件を整えて調べる。	【態度】 植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
			流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○教科書p.86～87の写真を見て気付いたことを話し合う。 ○流れる水には、どのような働きがあり、量によって違いがあるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○流れる水の量とその働きの関係を調べる。 ○流れる場所によって、川原の石にはどのような違いが見られるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○流れる水の速さと川原の石の大きさや形の関係を調べる。 ○川を流れる水の量が増えると、土地の様子はどのように変化するのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○水の量の変化と土地の変化の関係を調べる。	【態度】 流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

			○防災「こう水への備え」を行う。	【知・技】 流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【態度】 流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
11月	1とけたもののゆくえ 2水にとけるものの量 3とかしたもののとり出し方	14	物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○薬品の扱い方を知る。 ○食塩を水に溶かして、気付いたことを話し合う。 ○水に物を溶かした後の水溶液の重さはどうなるかを調べる方法について、計画を立てる。 ○電子天秤の使い方を知る。 ○溶かす前の全体の重さと溶かした後の全体の重さを比べながら調べる。 ○深めよう「どのようにとけているか見てみよう！」を行う。 ○物が水に溶ける量には限りがあるかを調べる方法について、計画を立てる。 ○物が水に溶ける量を、条件を整えて調べる。 ○物の溶ける量を増やすには、どのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ○水の量や水溶液の温度を変えたときの物が水に溶ける量を、条件を整えて調べる。 ○ろ過の仕方を知る。 ○実験3［イ］の水溶液をろ過する。 ○水溶液に溶けている物を取り出すにはどのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ○駒込ピペットの使い方を知る。 ○水の量や水溶液の温度と、溶けている物が出てくることを関係付けて調べる。	【態度】 物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 溶けている物を取り出すことができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

				【態度】 物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
12月	ふりこの１往復する時間	10	振り子が１往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○振り子を作って、音楽などに合わせて動かしたときに、気付いたことを話し合う。 ○振り子の１往復する時間は、何によって変わるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○振り子の10往復する時間をはかる。 ○１往復する時間の求め方を知る。 ○振り子の１往復する時間は、振り子の長さで変わるか条件を整えて調べる。 ○振り子の１往復する時間は、おもりの重さで変わるか条件を整えて調べる。 ○振り子の１往復する時間は、振れ幅で変わるか条件を整えて調べる。 ○深めよう「ふりこの長さをもっと長くしてみよう！」を行う。 ○作ってみよう「メトロノームを作ってみよう！」を行う。	【態度】 振り子の運動の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 振り子が１往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	１電磁石の極		電流の大きさや向き、コイルの巻数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○電磁石の作り方を知る。 ○作った電磁石と磁石の性質を比べて、気付いたことを話し合う。 ○電磁石と磁石の性質を比べる。 ○電磁石の極を変えるには、どのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。	【態度】 電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 電磁石がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

2月	2電磁石の強さ	12	○電流の向きと電磁石の極のでき方を関係付けて調べる。 ○電磁石が鉄を引き付ける力を強くするにはどのようにすればよいかを調べる方法について、計画を立てる。 ○100回巻のコイルの作り方を知る。 ○電流の大きさと電磁石の強さの関係を条件を整えて調べる。 ○コイルの巻数と電磁石の強さの関係を条件を整えて調べる。 ○作ってみよう「電磁石を利用したおもちゃを作ってみよう！」を行う。	【知・技】 電磁石がつくる磁力について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 電磁石がつくる磁力について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしてる。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 電磁石がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
3月	母親のおなかの中での子どもの成長	9	人の発生についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○子どもが生まれる前と後の様子について気付いたことを話し合う。 ○胎児は、母親の子宮の中で、どのように成長して生まれてくるのかを調べる方法について、計画を立てる。 ○胎児の成長の様子をメダカの成長の様子と比べながら調べる。 ○胎児の成長や母親の子宮の中の様子について、まとめたことをプレゼンテーションアプリなどを使って分かりやすく発表する。	【態度】 人の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 人の発生や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 人の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 人の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 人の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

年間105時間

第６学年　理科　年間指導計画

月	小単元	時	指導目標・内容	観点別評価規準
4月	ものの燃え方	10	空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる活動を通して、燃焼の仕組みについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○物を燃やした経験や、写真のろうそくが燃える様子について気付いたことを話し合う。 ○火のついたろうそくを覆って調べる。 ○ろうそくが燃えるときの空気の様子を調べる。 ○気体の中でのろうそくの様子を調べる。 ○気体検知管、石灰水の使い方を知る。 ○燃やす前と燃やした後の空気をいろいろな方法で調べる。 ○物が燃える前と燃えた後の空気には、どのような違いがあるか、結果を基に話し合う。 ○深めよう「空気の変化を図に表してみよう！」を行う。 ○深めよう「線こうで調べてみよう！」を行う。	【態度】 燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 燃焼の仕組みについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 燃焼の仕組みについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 燃焼の仕組みについて、観察、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
5月	植物の体のつくりとはたらき ①日光との関わり	6	植物の体のつくりと葉で養分をつくる働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○ジャガイモ畑の様子を見て気付いたことを話し合う。 ○日光と、葉にできる養分を関係付けて調べる。 ○植物の葉に日光が当たると、葉にデンプンができるか、結果を基に話し合う。	【態度】 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 植物の体のつくりと働きについて問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 植物の葉に日光が当たるとデンプンができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

				【態度】 植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	人や他の動物の体とつくりとはたらき ①吸った空気のゆくえ ②血液中にとり入れられた酸素のゆくえ ③食べたもののゆくえ ④ 臓器の関わり	11	体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、人や他の動物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○激しく運動をしたときに体にどのような変化が起こったか、気付いたことを話し合う。 ○吸う空気とはいた空気の違いをいろいろな方法で調べる。 ○人は、空気を吸ったりはいたりするとき、何を取り入れ、何を出しているのか、結果を基に話し合う。 ○酸素と二酸化炭素を出し入れする仕組みをいろいろな方法で調べる。 ○人は、体の中のどこで、どのように、酸素と二酸化炭素を出し入れするのか、結果を基に話し合う。 ○酸素が体の中を運ばれる仕組みをいろいろな方法で調べる。 ○酸素は、どのような仕組みで、体のどこへ運ばれるのか、結果を基に話し合う。 ○デンプンと唾液の働きの関係を調べる。 ○消化と吸収の仕組みをいろいろな方法で調べる。 ○食べ物は、口を通った後、体の中でどのように消化され、吸収されるのか、結果を基に話し合う。 ○養分が運ばれる仕組みをいろいろな方法で調べる。 ○養分は、血液に吸収された後、どのような仕組みで、体のどこへ運ばれるのか、結果を基に話し合う。 ○体の中のいろいろな部分についてまとめる。 ○深めよう「ほかの動物の血液の流れを見てみよう！」を行う。	【態度】 人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 人や他の動物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生そうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 人や他の動物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
6月	植物の体のつくりとはたらき ②水との関わり		植物の体のつくりと体内の水などの行方に着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【態度】 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 植物の体のつくりと働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

		6	○しおれた植物に水を与えたときの様子について気付いたことを話し合う。 ○植物の体のつくりと水の通り道を関係付けて調べる。 ○根から取り入れた水は、植物の体のどこを通って、体全体に行きわたるのか、結果を基に話し合う。 ○葉から水が出ていくか、条件を整えて調べる。 ○水は、葉まで行きわたった後どうなるか、結果を基に話し合う。 ○葉の表面のつくりと水の出口を関係付けて調べる。 ○水は、葉のどこから水蒸気として出ていくのか、結果を基に話し合う。	【思・判・表】 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと体内の水などの行方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【態度】 植物の体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
7月	生物と地球環境 ①食べものを通した生物どうしの関わり ②空気を通した生物どうしの関わり ③水を通した生物どうしの関わり	10	生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、生物と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○生物は生きていくために何を食べているのか考え、気付いたことを話し合う。 ○メダカの食べ物を調べる。 ○生物同士の関わりを食べ物と関係付けて調べる。 ○地球上の生物は、食べ物を通してどのように関わり合っているか、結果を基に話し合う。 ○植物が出し入れする気体を、条件を整えて調べる。 ○植物は、空気を通して動物とどのように関わっているか、結果を基に話し合う。 ○生物同士の関わりと姿を変える地球上の水を関係付けて調べる。 ○地球上の水は姿を変えながら、生物とどのように関わっているか、結果を基に話し合う。	【知・技】 生物と周囲の環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【思・判・表】 生物と周囲の環境について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 生物と周囲の環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と周囲の環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 生物は、空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 生物と周囲の環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 生物と周囲の環境について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 生物は、水を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水が循環していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 生物と周囲の環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

	月と太陽 ①月の形とその変化	8	月と太陽の位置に着目して、これらの位置関係を多面的に調べる活動を通して、月の形の見え方と月と太陽の位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○教科書p.92～93の写真を見て気付いたことを話し合う。 ○月と太陽の位置を調べる。 ○月の形の見え方と太陽の位置の関係を調べる。 ○月の形の見え方が日によって変わるのは、どうしてか、結果を基に話し合う。 ○深めよう「月をくわしく調べよう！」を行う。	【態度】 月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【知・技】 月の形の見え方ついて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【思・判・表】 月の形の見え方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 月の形の見え方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記録分析〉
9月	水容器の性質 ①水よう液にとけているもの ②酸性・中性・アルカリ性の水よう液	12	水に溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる活動を通して、水溶液の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○身の回りやこれまで実験で使ったもので、どのような水溶液があるかを話し合う。 ○水溶液を調べる。 ○炭酸水に溶けているものを、いろいろな方法で調べる。 ○炭酸水には何が溶けているか、結果を基に話し合う。 ○深めよう「二酸化炭素を水にとかしてみよう！」を行う。 ○リトマス紙の使い方を知る。 ○水溶液が何性か調べる。 ○深めよう「ムラサキキャベツ液で調べてみよう！」を行う。 ○酸性の水溶液に金属を入れる。 ○アルミニウムがとけた液体を熱して調べる。 ○液体を熱したときに出てきたものの性質をいろいろな方法で調べる。 ○出てきたものはアルミニウムか、結果を基に話し合う。	【態度】 水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【知・技】 水溶液の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【思・判・表】 水溶液の性質や働きについて、観察、実験などを行い、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【態度】 水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【知・技】 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

	③金属をとかす水よう液			【態度】 水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 水溶液の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 水溶液の性質や働きについて、観察、実験などを行い、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
10月	土地のつくりと変化①土地をつくっているもの	13	土地やその中に含まれている物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、土地のつくりや変化についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【態度】 土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記録分析〉
				【思・判・表】 土地のつくりと変化について問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	②地層のでき方		○縞模様に見える土地の様子をいろいろな方法で調べる。 ○土地が、縞模様に見えるのはどうしてか、結果を基に話し合う。 ○流れる水の働きと地層のでき方の関係を調べる。 ○地層は、どのようにできるのか、結果を基に話し合う。 ○火山の働きと地層のでき方の関係を調べる。 ○流れる水の働きでできた岩石には、礫岩や砂岩、泥岩があることを知る。 ○火山活動や地震による土地の変化を、いろいろな方法で調べる。 ○火山活動や地震によって、土地は、どのように変化するのか、結果を基に話し合う。 ○防災「火山活動や地震による被害とその防災」を行う。 ○防災「火山活動や地震の被害への備え」を行う。	【思・判・表】 土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、土地のつくりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また、層には化石が含まれているものがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 土地のつくりと変化ついて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 地層は、流れる水の働きによってできることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 土地のつくりと変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、土地のでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 地層は、火山の噴火によってできることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

11月	③火山活動や地震による土地の変化			【知・技】 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記録分析〉
				【態度】 土地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記録分析〉
12月	てこのはたらき	11	加える力の位置や大きさに着目して、これらの条件とてこの働きとの関係を多面的に調べる活動を通して、てこの規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○棒をどのように使うと、小さな力で大きな力を出すことができるか、気付いたことを話し合う。 ○てこの３つの点を知る。 ○力点や作用点の位置を変えたときの手ごたえを調べる。 ○実験用てこを使って、うでの傾きを調べる。 ○実験用てこのうでが水平になってつり合うときのきまりを条件を整えて調べる。 ○実験用てこのうでが水平になってつり合うときには、どのようなきまりがあるのか、結果を基に話し合う。 ○深めよう「てこのはたらきを利用した道具について調べてみよう！」を行う。 ○作ってみよう「つり合いを利用したおもちゃを作ってみよう！」を行う。	【態度】 てこの規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 てこの規則性について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 てこの規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 てこの規則性について、観察、実験などを行い、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【態度】 てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
1月	私たちの生活と電気		電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、発電や蓄電、電気の変換についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○身の回りで使われている電気について、気付いたことを話し合う。 ○手回し発電機、光電池の使い方を知る。 ○手回し発電機や光電池を使って発電する。 ○コンデンサーの使い方を知る。 ○コンデンサーに電気をためる。	【態度】 発電についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電気は、つくりだすことができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電気は、蓄えることができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉

2月		11	○発光ダイオードや発熱を調べる装置の使い方を知る。 ○電気の変換について調べる。 ○作ってみよう「風力発電機を作ってみよう！」を行う。 ○豆電球と発光ダイオードの明かりのついている時間を条件を整えて調べる。 ○豆電球と発光ダイオードで、使う電気の量にどのような違いがあるのか、結果を基に話し合う。 ○プログラミングを利用して、プログラミングを体験する。	【態度】 電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 電気の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【思・判・表】 電気の性質や働きについて、観察、実験などを行い、電気の量と働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 電気の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 電気の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【知・技】 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
3月	かけがえのない地球環境 ①地球環境を守る	7	生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、人の生活と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ○写真の川の様子について気付いたことを話し合う。 ○地球環境を守るための取り組みをいろいろな方法で調べる。 ○かけがえのない地球環境を守るため、私たちはどのような行動をすればよいのか、結果を基に話し合う。 ○これまでの自分たちの生活を振り返って、これからどのような行動をしていけばよいのか考え、発表する。	【態度】 生物と地球環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
				【知・技】 生物と地球環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
				【思・判・表】 生物と地球環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と地球環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
				【知・技】 人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
				【態度】 生物と地球環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

年間105時間

第1学年　生活科　年間指導計画

入学当初の活動 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
きょうから１ねんせい （主たる内容１　内容８） 指導時期：４月 指導時数：６時間 教科書　：上巻p.表紙裏～9	入学前に好きだったことや、やったことなどを思い出したり伝え合ったりする活動を通して、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりすることができ、すでに知っていることや自分でできていることことに気付き、期待と安心をもって学校生活を過ごすことができるようにする。	入学前から、すでに知っていることや自分でできていることに気付いている。	入学前の経験と比べて、小学校生活でやってみたいことを考えたり伝え合ったりしている。	期待と安心をもって、学校生活を過ごすことができるようにする。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
合科的・関連的な指導や弾力的な時間設定	表紙裏～5	きょうから １ねんせい	入学前と小学校生活とを比べ、違いや同じところに気付き、幼児期の経験を生かして、適切な生活習慣を行ったり、友達と一緒に楽しく遊んだりできるようにする。	○教科書の絵を見て、気付いたことを自由に話す。 ○絵から想像したことを話し合う。 ○先生や友達と自己紹介をしたり、一緒に仲良く遊んだりする。 ○教室にあるものを見たり、靴箱や洗面所などの施設の使い方を知り実際に使ってみる。 ○これから一緒にやってみたいことを考えたり話したりする。 ○学校生活と入学前の経験を比べたり、気付いたことを話したりする。	・入学前の生活との相違に気付いている。 ・生活において、挨拶、片付け、手洗いなどをしている。 【発】【行】	入学前の生活と比べたりこれまで経験を生かしたりしながら、遊んでいる。 【行】	友達に挨拶をしたり、一緒に遊んだりして、学校生活を楽しくしようとしている。 【発】【行】
	6～7	がくしゅうの はじまり	入学前にしていたことを生かして活動を楽しんだり、いろいろな学習の時間があることに気付き、幼児期の経験を生かして、学習活動ができるようにする。	○幼児期の経験を生かして、みんなで絵本や歌や制作活動を楽しむ。 ○幼児期に培った学びを生かして、自己紹介や友達づくりの活動を楽しむ。	いろいろな学習の時間があることに気付いている。 【発】【行】	入学前にしていたことを生かして、活動を楽しんでいる。 【発】【行】	これまでの経験を生かして、学習活動に取り組もうとしている。 【発】【行】
	8～9	がっこうの せいかつ	入学前の経験を生かして、身の回りのことを自分ですることに気付き、生活のリズムをもって、楽しく学校生活を送ることができるようにする。	○生活の流れを意識した学校生活を送る中で、朝や帰りの準備、給食当番や掃除などを行う。 ○思い描いていた学校生活についてや、幼児期の生活との相違について考えたり話したりする。 ○これからの学習に使う学習者用端末や電子機器などに触れる。	身の回りのことにおいて、自分で整理整頓などをしている。 【行】	これまでの経験を生かしながら、学習活動をしている。 【発】【行】	生活のリズムをもって、楽しく学校生活を送ろうとしている。 【発】【行】

単元 （学習指導要領との関連）	目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わくわく どきどき しょうがっこう （主たる内容１　内容８） 指導時期：４～５月 指導時数：14時間 教科書　：上巻p.10～23	学校や通学路を探検する活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々と関わることができ、学校生活はさまざな人や施設と関わっていること、一緒に生活する楽しさ、学校生活でのきまりやマナーを守ると気持ちよく過ごせることがわかり、楽しく安心して学校生活をしたり、安全な登下校をしたりできるようにする。	学校生活はさまざな人や施設と関わっていること、一緒に生活する楽しさ、学校生活でのきまりやマナーを守ると気持ちよく過ごせることがわかっている。	学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々を意識して、関わっている。	学校の施設の様子、学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々に関心をもち、楽しく学校生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	10～11	（単元の導入）	入学してからを思い起こして、学校にはさまざまな人がいることに気付き、学校のことをもっと知りたいという意欲をもつことができるようにする。	■入学してからどんなことがあったか、どんな人と会ったかなどを思い出し、これからの学習の見通しを持つ（わくわくすいっち/わくわくしいと）。 ○学校のことがわかる方法を考えたり話し合ったりする。	学校にはさまざまな人がいることに気付いている。 【発】	入学してからを思い起こして、学校が、もっとよくわかる方法を伝え合っている。 【発】【行】	学校について、もっと知ろうとしている。 【発】【行】
2	12～13	がっこうを たんけんしよう	校庭にある施設や生きものを見付けて、施設やみんなで遊ぶ楽しさ、きまりやマナーを守ると楽しく遊べることに気付き、さまざまな場所と意欲的に関わることができるようにする。 みんなで学校探検をして、学校にはさまざまな人やいてさまざまな場所があること、学校内にはきまりやマナーがあることに気付き、適切に関わることができるようにする。	○休み時間に、校庭で遊んだことを思い出し、楽しそうなところを発表する。 ■校庭を探検し、自分のお気に入りの場所を探す（こうていたんけん）。 ○お気に入りの場所を友達に伝える。 ○みんなで学校探検をして、学校にはさまざまな人やいてさまざまな場所があること、学校内にはきまりやマナーがあることに気付き、適切に関わることができるようにする。	・校庭の施設や、みんなと遊ぶ楽しさやよさに気付いている。 ・施設を利用したり、みんなと遊んだりする際、みんなで気持ちよく使ったり遊んだりするためのきまりやマナーを守って遊んでいる。 ・学校にはさまざまな人やいてさまざまな場所があることに気付き、探検のきまりやマナーを守って探検している。 【発】【行】	・校庭にある施設や生きものを見付けながら、友達と遊んでいる。 ・職員に会ったときや、部屋の入退のときのふるまいを考えながら、探検している。 【発】【行】	・校庭の施設や生きものに関心をもって、関わったり探そうとしたりしている。 ・学校の施設をもっと知りたい、先生や友達などと親しくなりたいという思いをもって関わろうとしている。 【発】【行】

1	14～15	なにを かんじたかな	学校探検した中で、学校の施設の位置や特徴がわかり、気付いたこと、もっと知りたいこと、やってみたいことを伝え合い、学校への興味や関心を高めることができるようにする。	○気付いたこと、もっと知りたいこと、やってみたいことを伝え合う。 ○まだ見ていないところや、もう一度行ってみたいところがあることを話し合い、もう一度行く計画を立てる。 ○グループを作り、探検の約束について話し合う。 ■学校探検をしたときに感じた疑問や考えを話し合ったり整理したりして、これからの学習の見通しを持つ（なにを みつけたかな/かんがえまとめいろ）。	学校にはさまざまな人々がいて、さまざまな施設があることに気付いている。 【発】【行】	学校の施設の位置や特徴を意識して、行ってみたい場所やってみたいことを選んでいる。 【発】【行】	学校のことを、もっと知りたいという意欲をもって、確かめに行こうとしている。 【発】【行】
4	16～17	じぶんたちで あいに いこう	グループで学校を探検し、利用の仕方やマナーについて考えることができ、いろいろな部屋や人の存在や役割に気付き、出会った人たちとの交流を楽しむことができるようにする。	○グループで、校内の施設や設備を、諸感覚を使いながら探検する。 ○探検をして気付いたことや見つけたものを絵や言葉で表現したり、実物を見せ合ったりする。 ○探検をして、気になることやもっと知りたいことを話し合う。	学校には、みんなで使う部屋や設備、入ってはいけない場所があることに気付いている。 【発】【行】	利用の仕方や、マナーについて考えながら、学校の施設や人々と関わっている。 【行】【作】	出会った人たちとの交流を楽しみ、もっと知りたいという思いをもって関わろうとしている。 【発】【行】
4	18～19	もっと たんけんして みよう	グループで、もっと知りたいことなど目的をもって探検したり利用したりして、学校の施設やそこにいる人々の役割や働き、自分との関わりに気付くことができるようにする。	○気になることやもっと知りたいことをどのようにしたらわかるかについて話し合い、再度、グループで探検する計画を立て、人に聞くときの約束について話し合う。 ○グループで、自分たちの知りたいことについて調べに行く。 ○探検してわかったことを伝え合う。	学校探検において、適切な言葉遣いし、きまりやマナーを守って探検している。 【発】【行】	学校の施設の利用の仕方やマナーについて考えたことを意識しながら、探検したり利用したりしている。 【行】【作】	繰り返し探検し、学校の施設の利用やマナーに応じて、楽しく遊んだり生活しようとしている。 【発】【行】
2	20～21	なにを かんじたかな	探検を振り返って、学校生活を楽しく安心して過ごす方法を考えることができ、学校の施設の位置や特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどがわかり、楽しく安心して学校生活ができるようにする。	○これまでかいた絵やカードを見ながら、学習を振り返る。 ○みんなにわかるような伝え方を考えたり、絵をかいたりして発表の準備をする。 ○かいた絵などをもとに、仲よくなった人やお気に入りの場所について発表する。 ■学習を振り返って、自己評価をする（がっこうを たんけんして みつけた こと/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に、学校の様子を伝える。	学校の施設の位置や特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどがわかっている。 【発】【作】	学校にいる人々や施設などについて振り返って、自分の学校生活を楽しく安心して過ごす方法について伝え合っている。 【発】【行】【作】	友達やさまざまな人々と関わることを楽しみにし、楽しく安心して生活をしようとしている。 【発】【行】【作】

2	22～23	げんきに すごそう	学校生活や登下校にお　、自分たちの安全や健康を守ってくれている設備や人々と適切に関わり感謝の気持ちをもったり、衛生管理に自ら取り組み、学校生活を安全で健康に送れるようにする。	○安全を守るものやそれがあるところについて確認し、どのような役割をするのか、また、安全な行動について話し合う。 ○登下校の際に、通学路の危険な箇所について振り返り、安全を守る設備や安全を守る人、安全な行動について話し合う。 ○毎日を健康に過ごすためには、どんなことが必要か話し合う。 ■正しい手のあらいかたを練習する（てのあらいかた）。	・　校生活や登下校において、自分たちの安全を守る設備、人々に気付いている。 ・登下校において、安全を意識して通学を歩いている。 【発】【行】	毎日の登下校において、自分たちの安全を守ってくれる人々を思い起こして、挨拶をして感謝の気持ちを表している。 【発】【行】	学校や登下校の安全を守っている人々の存在を感じながら、学校生活や安全な登下校をしようとしている。 【発】【行】

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
きれいに さいてね わたしの はな （主たる内容７　内容８） 指導時期：５～３月 指導時数：10時間 教科書　：上巻p. 24～39	アサガオなどの植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き、植物への親しみをもち、大切にできるようにする。	アサガオなどを育てる活動を通して、植物に合った世話の仕方や、植物が同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。	アサガオなどを育てる活動を通して、植物が育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけている。	アサガオなどを育てる活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	24～25	（単元の導入）	これまで育てたことがある植物を振り返って、自分たちで育てることができるこに気付き、栽培への意欲を高めることができるようにする。	■身の回りに育っている植物や、植物を育てた経験を思い出し、これからの学習のイメージを持つ（わくわくすいっち/わくわくしいと）。 ○育てたい花について話し合う。	アサガオなどを、自分たちで育てることができることに気が付いている。 【発】【行】	これまで育てたことがある植物を振り返って、考えている。 【発】【行】	アサガオなどをイメージし、自分たちで育てようとしている。 【発】【行】
1	26～27	たねを まこう	開花への願いをもって種を観察し、種の特徴に気付き、自分で栽培準備や種まきができるようにする。	○諸感覚を使って育てる種を観察し、気付いたことを発表し合う。 ○種の様子を、絵や文などで表現する。 ○種まきのやり方を知り、用意した容器や花壇に種をまく。 ○種まきをした気持ちを発表し、これからの世話の仕方について考える。	種の大きさや形、色などの特徴がわかり、種まきに必要な道具に気付き、準備している。 【発】【行】【作】	開花の様子を思い描きながら、育てたい植物を選んでいる。 【発】【行】【作】	発芽を楽しみにし、種まきや水やりをしようとしている。 【発】【行】【作】
1	28～29	まいにち みよう	発芽や成長の様子に関心をもって観察し、変化に気付き、成長に合わせた世話を続けることができるようにする。	■成長の様子を伝え合い、発芽した喜びを味わう（めが でる ようす）。 ○発芽の様子や思ったことを、絵や文などで表現する。 ○間引きなど成長に合わせた世話や観察を続け、カードや学習者用端末などに記録する。	・発芽の様子に気付いている。 ・芽などの世話において、適切なあげ方や量で水やりをしている。 【発】【行】【作】	発芽の様子を、友達の植物と比べながら、観察している。 【発】【行】【作】	芽を毎日観察し、よりよく育てようとしている。 【発】【行】【作】

2	30～31	まいにち せわを しよう	成長や変化に関心をも　観察し、適切な世話の方法を決めることができ、変化に気付き、開花への期待をもって続けて世話ができるようにする。	○毎日の世話や観察を通して気付いた変化について話し合う。 ■伸びてきたつるにどんな世話をしたらよいかを考えたり調べたりし、支柱を立てる（つるの ようす）。 ○追肥などの世話や、つるの伸び具合などの観察を行う。 ○変化や成長、世話の様子がわかるように、絵や文などで表現したり、学習者用端末などに記録する。	・　の伸び方などの変化や成長に気付いている。 ・世話において、成長に合わせて支柱立てや追肥などをしている。 【発】【行】【作】	・植物の変化を、前日の様子や友達と比べたり、これからを予想したりして観察し、それを表現している。 ・成長に合わせた世話を考えて、世話の方法を決めている。 【発】【行】【作】	これからどんな成長をするのか楽しみにし、続けて世話をしようとしている。 【発】【行】【作】

2	32～33	せわを つづけよう	開花の喜びを伝え合ったり、花を残す方法を考えたりすることができ、世話を続けた自分に気付き、植物への親しみをもつことができるようにする。	■つぼみや花の様子を観察する（つぼみが ひらく ようす）。 ○花が咲いた喜びを絵や文で表す。 ○明日はどのつぼみが咲きそうか予想する。 ○押し花や色水作りなど、花を使った遊びを楽しむ。	・つぼみから開花への変化や成長に気付いている。 ・毎日、世話をして花を咲かせたことに気付いている。 【発】【行】【作】	次に咲く花を予想しながら、開花の喜びを表現したり、友達と伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	花を長く楽しみたいという思いや願いをもって、花を残そうとしている。 【発】【行】【作】
2	34～35	たねとりを しよう	種取りや後片付けをして、植物が自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き、育て続けた自分への自信もち、それらを大切にできるようにする。	■種ができる様子を観察したり、種取りをしたりする（たねの ようす）。 ○これまでの記録や観察を経て、気が付いたことを絵や文で表す。 ○枯れてしまった草花を抜き、植木鉢や花壇を整える。	・植物にも自分と同じように生命があり、成長していることに気付いている。 ・種取り後において、鉢や土の後片付けに気付き、片付けている。 【発】【行】【作】	アサガオと自分の成長を関連付けながら、種取りをしている。 【発】【行】【作】	植物に心を寄せ、大切に育て続けた自分に自信をもち、それらを大切にしようとしている。 【発】【行】【作】
1	36～37	なにを かんじたかな	植物の成長や、自分の世話について振り返り、上手に世話ができるようになった自分の成長に気付き、これからも植物に親しみをもって大切にできるようにする。	○アサガオが育ってきた様子を振り返り、観察カードをまとめたり、動作化したり、がんばったことを伝え合ったりする。 ■学習を振り返って、自己評価をする（わたしの はなの おもいで/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に育てた種を見せながら、どんなふうに育てたか伝える。	アサガオなどへの親しみが増し、成長に合わせて、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 【発】【行】【作】	アサガオなどを育てたことを振り返って、育て続けた自分への思いを表現し、友達と伝え合っている。 【発】【行】【作】	育て続けた自分への自信をもち、これからも植物を大切にしようとしている。 【発】【行】【作】
資料	38	もっと そだてたいね	春に花を咲かせる植物について参考にする。				
資料	39	もしも なかが みえる むしめがねが あったら。	■栽培の経験をもとに、生命の不思議さを感じながら種の中を想像する（いぐらどりる）。				

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
きせつと なかよし はる なつ （主たる内容５、６ 内容４、８、９） 指導時期：５～７月 指導時数：13時間 教科書　：上巻p.40～53	春や夏の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の特徴や違いを見付けることや、それらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことなどについて気付き、季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。	春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。	春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、春や夏の違いや特徴を見付け、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	春や夏の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	40～41	（単元の導入）	野原や公園で遊んだ経験を思い出し、自然の中で遊ぶ楽しさに気付き、春や夏の季節の特徴を生かした楽しい遊びに関心をもつことができるようにする。	■これまでしてきた春から夏の遊びの経験を思い出し、これからの学習のイメージを持つ（わくわくすいっち/わくわくしいと）。 ○野原や公園の様子を思い出して、どのように変わったか予想し、生活の中で変化したことなどを考える。 ○みんなでしてみたい季節の特徴を生かした遊びを話し合い、活動への見通しを立てる。	自然の中で遊ぶことの楽しさに気付いている。 【発】	これまでの生活や遊びを振り返って、遊びを考えている。 【発】	季節の特徴を生かして楽しく遊びたいという願いをもって、出かけようとしている。 【発】
2	42～43	はるを みつけに いこう	野原や公園の自然に、諸感覚を使って関わったり、自然物で遊んだりして、季節の特徴に気付き、それらと適切に関わって遊ぶことができるようにする。	○野原や公園までの安全な行き方や、きまりについて話し合う。 ■春の公園のイメージをふくらませる（はるみつけ）。 ○友達と一緒に生きものや樹木、草花などとふれ合って遊んだり、出会った人たちと関わったりしながら楽しく遊ぶ。 ○諸感覚を使って自然物にはたらきかけながら春を感じたり、自然の様子に気付いたりする。 ○見つけたことや楽しかったことを友達に伝える。 ○管理事務所や避難場所、防火水槽など人々を災害などから守る施設もあることに気付く。	・春や夏の自然の特徴に気付いている。 ・遊ぶ際、野原や公園での約束やルールを守って遊んでいる。 【発】【行】	・諸感覚を生かして、身近な自然と関わっている。 ・四季の変化や季節の特徴を確かめながら、身近な自然を楽しんでいる。 【発】【行】	身近な自然の様子や季節の特徴に応じながら、それらと適切に関わって遊ぼうとしている。 【発】【行】

2	44～45	いきものの わくわくくいず	草花遊びをしたり、生きものを見付けたりして、遊びや、工夫して遊びを作り出す面白さに気付き、遊びを楽しみたいという願いをもって、自然と触れ合うことができるようにする。	○野原や公園で、草花遊びや生きもの探しをする。 ○見つけたことや楽しかった遊び、驚いたことや不思議に思ったことなどを絵や文などにして表現したり、友達と伝え合ったりする。 ■見つけた生きものの名前を調べたり、観察したりする（でじたるずかん）。 ○「だれがぬいだのかな」のクイズをしたりして、夏のイメージを広げる。	草花や生きものを探して遊ぶ楽しさや、草花で工夫して遊びを作り出す面白さに気付いている。 【発】【作】	草花での楽しい遊び方や、生きものの見つけ方を意識しながら遊んでいる。 【発】【行】【作】	草花遊びや生きもの探しを楽しみたいという思いや願いをもって、それらと触れ合っている。 【発】【行】【作】
4	46～47	なつを かんじよう	雨の日と晴れの日の校庭で生きものを探したり遊んだりして、天候の違いによる特徴を見付け、それらを生かして遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。	○どんな遊びをしたいか、話し合い、遊びのイメージを膨らませ、必要な道具などを準備する。 ■雨の日の生きものや花の様子を観察したり、諸感覚をはたらかせながら雨の中を散歩して気付いたことを表現する（でじたるずかん）。 ○晴れた日に水遊びや砂遊びをして楽しむ。 ○遊んで楽しかったことや、発見したことなどを絵や文などで表現したり、発表したりする。	雨の日と晴れの日では、気温や湿度、過ごし方、生きものがいる場所の違いに気付き、自然の中のきまり、自然事象の不思議さに気付いている。 【発】【作】	土や砂、水などを使う遊びを思い描きながら、遊びや遊びに使うものを選んでいる。 【発】【行】【作】	みんなで楽しく遊びたいという願いをもって、土や砂、水を使って粘り強く遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】
1	48～49	なにを かんじたかな	身近な自然で繰り返し遊んだ活動を振り返って、季節によって生きものや植物などの様子が違うことや、その面白さや不思議さに気付いたり、友達と一緒に遊びを創り出す楽しさに気付くことができるようにする。	○見つけたことやわかったことを、絵や文などで表現して、友達と伝え合う。 ○友達との伝え合いを通して、季節の特徴について考えたり話し合ったりする。 ■学習を振り返って、自己評価をする（はるや なつの たのしかった あそび/ぐんぐんはしご）。 ★家の人と一緒に野原に行き、活動したことや見つけた生きものを伝える。	季節の特徴を生かした遊び方があること、自分たちの生活は、季節によって様子が変わることに気付いている。 【発】【作】	自然物と繰り返し遊んだことを振り返って、季節を生かした遊びの楽しさや生活の変化について、表現したり伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	自分たちの遊びや生活が、身近な自然や季節の変化に関わっていることを実感し、それらを取り入れて生活を楽しくしようとしている。 【発】【行】
資料	50～51	のはらずかん	■春から夏の生きものと生息環境を調べたり、成体と幼体を比べながら、生きものの成長について興味を持つ（でじたるずかん/のはらずかんのこたえ）。				
1	52	にゅうがくしてからを ふりかえろう	入学してからの自分と今の自分を比較して、自分の生活や成長を見つめ直し、自分を支えてくれたさまざまな人々に気付き、成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。	○4月からの出来事を振り返り、楽しかったことやびっくりしたことを交流する。	自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。 【発】	入学してからの自分自身や出来事を振り返って、現在の自分と比べている。 【発】【行】【作】	これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 【発】【行】

1	53	なつやすみを げんきに すごそう	夏休みにやってみたい　　や健康に過ごす計画を立て、地域には、季節にちなんだ行事があることや生活のリズムの大切さに気付き、健康に楽しく過ごすことができるようにする。	■夏休みにどんな行事や楽しみがあるか話し合いながら期待を高める（なつの くらし）。 ○夏休みに自分が取り組みたいことや、がんばりたいことを話し合う。 ○夏休みの生活のリズムについて考える。 ○夏休み後、自分が取り組んだことや、がんばったことを発表する。	自　　ちの生活の中に、季節や地域にちなんだ行事があることに気付いている。 【発】【作】	夏休みにやってみたいこと、健康で楽しく過ごすことを思い描きながら、計画を立てている。 【発】【行】	生活のリズムや地域の行事に関心をもって、健康に楽しく過ごそうとしている。 【発】【行】

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なかよく なろうね 小さな ともだち （主たる内容７　内容８） 指導時期：９月 指導時数：10時間 教科書　：上巻p. 54～63	動物や虫などを育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持って働きかけることができ、育てている生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き、生きものへの親しみをもち、大切にできるようにする。	動物や虫などを育てる活動を通して、生きものに合った世話の仕方や、生きものが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付いている。	動物や虫などを育てる活動を通して、飼育している生きものの変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	動物や虫などを育てる活動を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	54～55	（単元の導入）	学校で見つけた生きものたちを思い出し、身の回りにはさまざまな生きものがいることに気付き、飼育への関心をもつことができるようにする。	■学校で見つけた生きものたちの様子や、飼ったことがある生きものについて思い出し、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○生きものに会える場所を話し合う。	身の回りにはさまざまな生きものがいることに気付いている。 【発】	生きものに接した経験や飼育した経験を振り返りながら、話し合っている。 【発】	身の回りの生きものに関心をもち、みんなで話し合おうとしている。 【発】
2	56～57	生きものを さがそう	校庭などの生きものを探し、生きものが、どこに生息しているか気付き、ふれ合いを通して、飼育への意欲をもつことができるようにする。	■校庭などの生きものを探す（校ていの 生きもの）。 ○生きものと遊ぶときに、気をつけることについて話し合う。 ○生きものの生命を感じ取り優しく接する。 ○学校にいた生きものについて話し、触れ合いを振り返る。	生きものが、どこに生息しているか気付いている。 【発】【行】	生きものがいる場所を予想して、見つけようとしている。 【発】【行】	生きもの探しに興味をもち、友達と教え合って探そうとしている。 【行】
4	58～59	もっと なかよく なりたいね	生きものに心を寄せて世話をして、生きものたちが自分と同じように生命をもっていることや成長していることに気付き、生きものへの親しみをもち大切にできるようにする。	○生きものを飼育することについて話し合い自分たちで育てる覚悟をもつ。 ○飼育している生きもののすみかや餌などについて調べ用意する。 ○生きものと触れ合って感じたことなどをさまざまな方法で表現する。	生きものが自分と同じように生命をもち、成長していることや、世話において、すみかやえさ、定期的な掃除など、適切な世話の大切さに気付いている。 【発】【行】【作】	生きものの気持ちになって考えながら、触れ合い方や育て方を考えている。 【発】【行】【作】	生きものに心を寄せ、生きものの様子に合わせて、繰り返し関わろうとしている。 【行】

3	60～61	なにを かんじたかな	世話で工夫したことや、いたことなどを伝え合って、生きものに心を寄せ、継続して育てた自分に気付き、自信をもつことができるようにする。	○世話を通して自分が感じてきたことを振り返り話し合う。 ○生きものとの関わりや、生きものの様子を自分の考えた方法で表す。 ○伝える相手や伝え方を考え、練習をする。 ○自分が感じたことを、世話を任せてくれた人に報告をする。 ■学習を振り返って、自己評価をする（わたしの 生きものの ひみつ/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に、自分が学校で飼育した生きものを紹介する。	生　　のの気持ちを考え世話ができるようになったことに気付いている。 【発】【行】【作】	生きものを育てたことを振り返りながら、気付いたこと、生きものへの思い、自分自身の成長をさまざまな方法で表現している。 【発】【行】【作】	がんばったことや継続して世話を続けたことを、友達と認め合い、関わりを続けようとしている。 【発】【行】
資料	62	生きものの そだてかた	すみかや餌などを、適宜、参考にする。				
資料	63	もしも 生きものの ことばが わかる マイクが あったら。	■飼育をした経験をもとに、生きものに心を寄せて、生きものの気持ちを想像する（いぐらドリル）。				

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
きせつと なかよし あき （主たる内容５、６ 内容４、８） 指導時期：10～11月 指導時数：13時間 教科書　：上巻p. 64～81	秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付けることや、それらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことなどについて気付き、季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。	秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。	秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いや特徴見付け、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	64～65	（単元の導入）	秋の野原や公園の変化を思い起こして、生活の変化や自然の様子に気付き、秋にできる遊びについて期待をもつことができるようにする。	■生活の中で見つけた秋の様子を話し、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○秋の野原や公園は、夏と比べて、どのように変わったか予想をする。 ○みんなでしてみたい秋の活動を話し合い、活動への見通しを立てる。	季節の移り変わりによる生活の変化や自然の様子に気付いている。 【発】【行】	春や夏の様子を思い起こして、秋の野原や公園の様子を予想している。 【発】	秋の野原や公園を思い起こして、どんな遊びができそうか話し合おうとしている。 【発】【行】
2	66～67	あきを 見つけに　いこう	野原や公園で秋の自然を観察したり、木の実や葉を集めたり、自然を利用して遊んだりして、夏との違いや秋の自然の特徴に気付き、秋の自然を楽しむことができるようにする。	○秋の野原や公園に行く計画を立てる。 ○野原や公園に出かけ、春や夏に虫を見つけた場所で虫や虫のすみかを探す。 ■秋の草花や樹木などを観察し、季節の変化に気付く（あき見つけ）。 ○気付いたことや心に残っていることを絵や文などで表現する。	風や光、動植物などが、春や夏と変化していることや、秋の特徴に気付いている。 【発】【行】	風や光、動植物などを春や夏と比較しながら、観察している。 【発】【行】	風や光、植物や生きものなどを見付けて、秋の自然を楽しもうとしている。 【発】【行】
1	68～69	生きものの わくわくクイズ	木の実や落ち葉などを集めて、それらで遊ぶ面白さや自然の不思議さに気付き、木の実や葉の特徴を生かして、楽しく遊ぶことができるようにする。	○木の実や葉を拾って、どのような場所にあったかを考えたり、友達と伝え合ったりする。 ■集めた木の実や葉の種類を調べる（デジタルずかん）。 ○木の実や葉でどのような遊びをしたいか考えたり伝え合ったりしながら集めたり遊んだりする。	落葉樹や常緑樹、木の実などを拾い、自然の中のきまりや事象の不思議さに気付いている。 【発】【行】【作】	木の実や葉を形や色などで分けたり、比べたりしながら、集めている。 【発】【行】【作】	木の実や葉などについて、木の実や葉の特徴を生かして、楽しく遊ぼうとしている。 【発】【行】

1	70～71	なにを かんじたかな	見付けた秋の特徴や自[illegible]、楽しかった活動などを友達と伝え合い、木の実や葉の特徴を生かした遊びができることに気付き、遊びや生活をより楽しくすることができるようにする。	○前時にカードに描いた内容について、友達に紹介したり伝え合ったりする。 ○友達と伝え合いをして気付いたことや感想を発表する。 ○これからどんな活動をしていきたいのかを考える。 ○これからどんなことをしていきたいかを発表し、クラス全体で話し合う。話し合ったことをもとに、今後何をしていくかをクラス全体で決める。 ■カードや学習者用端末などで学習を振り返り、次の学習への見通しを持つ（かんがえまとめいろ）。	多[illegible]木の実や葉の形や色などを生かした遊びができることに気付いている。 【発】【行】	自分が見つけた秋の特徴や自然物と、友達とを比べながら、伝え合っている。 【発】【行】【作】	秋を楽しむ遊びに向けて、計画を立てようとしている。 【発】【行】
1	72～73	見つけた あきで あそぼう	集めた木の実や葉を形や色で分けたり何かに見立てたりして、特徴を生かした遊びに気付き、みんなで楽しい遊びを創り出すことできるようにする。	○集めた木の実や葉について、友達と伝え合う。 ○集めた木の実や葉で、どんなことをしてみたいかを考える。 ○集めた木の実や葉の特性を生かして、簡単な遊びを楽しむ。 ○素材遊びをした感想や気付いたことを伝え合う。	木の実や葉の形や色などを生かして遊ぶことの面白さに気付いている。 【発】【行】【作】	集めた木の実や葉を形や色で分けたり何かに見立てたりして、どんなおもちゃが作れるか動きを試したりしながら遊んでいる。 【発】【行】【作】	木の実や葉を使って遊ぶことについて、みんなで楽しく遊ぼうとしている。 【発】【行】【作】
3	74～75	見つけた あきで つくろう	集め木の実や葉で遊びに使うものを工夫して作り、みんなで遊ぶことの面白さ、約束やルールを守って遊ぶと楽しいことに気付き、、粘り強く遊びを創り出すことができるようにする。	○作りたいものを考え、活動への見通しをもつ。 ○自分が作りたいおもちゃを工夫しながら作ったり改良したりしながら遊ぶ。 ○作ったもので友達と一緒に遊んだり、遊び方を工夫して楽しんだりする。 ○活動を振り返り、楽しかったことや気付いたことを絵や文などで表現する。	・木の実や葉の形や色などを生かしておもちゃを作る楽しさや、遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付いている。 ・約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】【作】	おもちゃの動きを試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、繰り返し遊んでいる。 【発】【行】	・みんなで楽しく遊ぶために遊び遊びの工夫を伝え合い、粘り強く遊びを創り出そうとしている。 ・友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。 【発】【行】

資料	76	あきの おもちゃの つくりかた	秋の自然物を使ったおもちゃの作り方を、適宜、参考にする。				
2	77	あきの たのしさを つたえよう	秋の自然物で遊んだ楽しさを、身近な人々に伝えたいという願いをもち、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選ぶことができるようにする。	○「あきのたからものランド」の計画を立てる。 ○「あきのたからものランド」に招待するために必要なものを作ったり準備したりする。 ○遊び方やルールをグループで話し合ったり、試しに遊んでみたりして工夫する。 ○ポスターや招待状を作って渡す。	相手や目的に応じて、さまざまな伝え方があることに気付いている。 【発】【行】【作】	これまで園児と接したことを思い起こして、計画を立てたり練習したりしようとしている。 【発】【行】【作】	園児の反応や状況に合わせて、多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとしている。 【発】【行】【作】
2	78～79	みんなで あきを たのしもう	園児と適切に関わって遊び、伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかり、一緒に楽しく遊びたいという願いをもち、すすんで触れ合い交流することができるようにする。	○園児を出迎え、挨拶をしたり、「あきのたからものランド」コーナーやルールなどについて説明をしたりする。 ○「あきのたからものランド」を園児と一緒に楽しむ。 ○園児を見送り、片づけをする。 ○活動を振り返り、楽しかったことや嬉しかったことを、絵や文などで表現する。	・伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかっている。 ・園児におもちゃの楽しさを伝える際、園児にわかる言葉遣いをしている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】	園児の様子を意識して、伝わる方法や言葉を選んでいる。 【発】【行】【作】	おもちゃの楽しさを伝えたいという思いをもち、すすんで触れ合い交流しようとしている。 【発】【行】【作】
1	80～81	なにを かんじたかな	活動を振り返り、みんなで秋を楽しむことができたことや、友達や自分自身の成長に気付き、生活と季節との関わりや、一緒に遊ぶ楽しさを実感し、生活を豊かに楽しくできるようにする。	○これまで記入したカードや、ノート、写真などを見て活動を振り返る。 ○これまでの活動を振り返って、感じたことや考えたことをカードなどに記入する。 ○これまでの活動について、感じたことや考えたことを友達と伝え合う。 ○友達と伝え合いをして感じたことや、気付いたことを発表する。 ■学習を振り返って、自己評価をする（あきの たのしかった あそび/ぐんぐんはしご）。 ★家の人に、おもちゃの工夫や楽しかったことを伝え、一緒に遊ぶ。	自分たちが秋を楽しむことができたことや、園児を楽しませることができたことがわかり、友達や自分自身の成長に気付いている。 【発】【行】【作】	野原での遊びや、おもちゃ作り、「あきのたからものランド」で、遊びを工夫したり、友達や園児と楽しく遊んだことを振り返り、表現したり伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	自分たちの生活が、身近な自然や季節の変化に関わっていることや、みんなで遊ぶ楽しさを実感し、毎日の生活を豊かに楽しくしようとしている。 【発】【行】【作】

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
かぞくにこにこ 大さくせん （主たる内容２ 内容８、９） 指導時期：12～１月 指導時数：10時間 教科書　：上巻p. 82～93	家庭生活に関わる活動を通して、家庭での楽しみ、家庭における自分の生活や役割などについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることがわかり、家族の一員として、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりすることができるようにする。	家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることがわかっている。	家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えている。	家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	82～83	（単元の導入）	これまでの家族との出来事を振り返って、家族のことや自分のことに関心をもち、家族のよさや、自分と家族との関わりに気付くことができるようにする。	■家族がにこにこする場面や自分の家族のことについて思い出し、家の人がにこにこしているのはどんなときか、笑顔を見て感じることなどについて話し合うことで、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○家の人がしていることや、自分のしていることについて話し合う。	家庭の温かさ、家族一人一人のよさがわかっている。 【発】【行】	家族のことや、家族と一緒にいて楽しかったことなどを思い起こし、伝えている。 【発】【行】	家族と一緒にいて楽しかったことや、助けてもらったことなどを思い出そうとしている。 【発】【行】
1	84～85	みんなの　１日を きいて みよう	家庭生活に関心をもち、家族が役割をもって家庭の仕事をしていることがわかり、自分自身の生活を見つめることができるようにする。	○家庭での自分の１日の過ごし方を思い出し、家族の１日の過ごし方について考える。 ○家庭でわからないことを見たり尋ねたりして調べ、家族の１日や仕事を調べる。	家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることがわかっている。 【発】【行】【作】	家庭生活を思い起こしたり、調べたりして、家族のことや自分のこと、自分がしていることについて、表現している。 【行】【作】	家族のことに関心をもち、家庭生活を見つめようとしている。 【行】【作】
1	86～87	なにを かんじたかな	家庭生活における家族の役割を見直して、家族が果たしている家庭の仕事と、自分の生活や健康との関わりに気付き、家族のために自分ができることに取り組むことができるようにする。	○自分と家族の１日の過ごし方について、家族と自分を比べて気付いたことを友達と話し合う。 ○家族が家庭のために果たす役割や仕事が、自分とどのように関わっているかを考え、自分が家でできることをやってみたいという意欲をもつ。 ■カードや学習者用端末などで学習を振り返り、次の学習への見通しを持つ（かんがえまとめいろ）。	日常生活において、生活のリズムや健康を大切にしている。 【発】【作】	家庭生活におけるそれぞれの役割を見直しながら、自分の取り組み方を決めている。 【発】【作】	家族が喜ぶことを考え、自分ができることに取り組もうとしている。 【発】【行】

2	88～89	いえの しごとに ちょうせんしよう	家族が喜ぶことを考え、自分の役割に気付き、自分でできそうな仕事に繰り返し取り組むことができるようにする。	○家庭の中で自分のできそうなこと、やってみたいことを考える。 ○家族と一緒に家の仕事に取り組む。 ○自分一人でできることを探して取り組む。 ○家庭で行った仕事について絵や文などで表現する。	自分でできることや自分の役割に気付いている。 【発】【行】	家族の存在や役割、喜ぶことを意識して、自分でできそうなことを集めている。 【発】【行】	家族のためにという願いをもって、自分でできることに何度も繰り返し、取り組もうとしている。 【発】【行】

3	90	かぞくにこにこ 大さくせんを しよう	家庭での取り組みを友達と交流して、家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、家庭生活をよりよくするために、自分の役割を果たすことができるようにする。	○家庭生活の仕事以外にも、家族が喜ぶことを考え実行する。 ○「かぞくにこにこ大さくせん」を行う準備をし、行う。 ○気付いたことを友達と伝え合う。 ○「かぞくにこにこ大さくせん」で行ったことやわかったことを自分なりの方法で発表し、活動を振り返る。	家[illegible]の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。 【発】【行】【作】	家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 【発】【作】	家庭生活をよりよくするために、自分の取り組みを見直しながら、自分の役割を果たそうとしている。 【発】【作】
1	91	なにを かんじたかな	家庭での取り組みを振り返って、自分も家庭を構成している大切な一人であることに気付き、家族の一員として、家庭での仕事を続けることができるようにする。	○活動を振り返り、自分の気持ちを家族へ手紙で伝える。 ○これからも自分が家族のためにできることを続けていく意欲をもつ。 ■学習を振り返って、自己評価をする（ぐんぐんはしご）。 ★自分が家庭できることを考えて続けるようにする。	自分も家庭を構成している大切な一人であることに気付いている。 【発】【作】	家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 【発】【作】	家族の一員として、家庭での仕事を続けようとしている。 【発】【作】
1	92～93	これまでを ふりかえろう ふゆ休みを げん気に すごそう	○これまでの活動を振り返って、自分自身のよさや成長に気付き、意欲をもってこれからの生活ができるようにする。 ○日本の伝統的な習慣や行事に関心をもち、季節にちなんだ行事に気付き、家族とともに楽しく過ごすことができるようにする。	○これまでの活動からできるようになったことなどを友達に伝え合い、自分自身の成長を振り返る。 ○食べ物や暮らしの変化で気付いたことなどを話し合う。 ■年末年始の行事のことを思い出す（ふゆのくらし）。 ○冬休みに家族と一緒にやってみたいこと、楽しみにしていることなどを話し合う。 ○冬休み中の規則正しい生活や健康のために気をつけることなどについて話し合う。	・これまでの活動を通して、自分自身のよさや成長に気付いている。 ・生活の中には、季節にちなんだ行事があることに気付いている。 【発】【行】	・過去の自分自身や出来事を振り返り、現在の自分と比べている。 ・身近な行事を思い起こしながら、自分の関わり方を考えている。 【発】【行】	・これまでの成長に自信をもち、意欲をもってこれからの生活をしようとしている。 ・年末年始の習慣や行事に関心をもって、家族と楽しく過ごそうとしている。 【発】【行】

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
きせつと なかよし ふゆ （主たる内容５、６ 内容４、８） 指導時期：１～２月 指導時数：12時間 教科書　：上巻p. 94～107	冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見付け、遊びや遊びに使うものを工夫してつくることができ、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬の自然遊びの面白さや自然の不思議さ、遊びの準備や後片づけの大切さに気付き、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。	冬の自然に関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬の自然遊びの面白さや自然の不思議さ、遊びの準備や後片付けの大切さに気付いている。	冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見付け、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。	冬の自然に関わる活動を通して、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出そうとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	94～95	（単元の導入）	冬の野原や公園を予想して、変化に気付き、冬にできる遊びについて期待することができるようにする。	■身近な地域の様子や自分たちの生活の中で見つけた冬を思い出し、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○冬の野原や公園の様子の変化を予想する。 ○冬の野原や公園でどのようなものを見つけたり遊んだりしたいか、見通しをもつ。	冬の野原や公園の様子が変化してきていることに気付いている。 【発】	冬の野原や公園の様子を、秋の野原や公園の様子と比べながら、予想している。 【発】	冬の野原や公園でできる遊びを楽しもうとしている。 【発】
2	96～97	ふゆを 見つけに　いこう	諸感覚を生かして冬の自然と関わり、自然の中のきまりや自然の不思議さに気付き、冬の特徴を見付けることができるようにする。	○冬の野原や公園に行く計画を立てる。 ■春や夏、秋と比べて、違うところを見つける（ふゆ見つけ）。 ○冬の野原や公園に出かけ、楽しく遊んだり、出会った人と関わったりする。 ○諸感覚を使い、秋の様子と比較しながら植物や生きものの様子を調べたり、氷や風などに触れたりして楽しむ。 ○気付いたことや心に残っていることを絵や文などで表現する。	冬の野原や公園の様子から、自然の中のきまり、自然の不思議さに気付いている。 【発】【作】	諸感覚を生かして、冬の自然に関わったり、冬の特徴を確かめながら、動植物を見付けている。 【発】【行】【作】	冬の野原や公園の変化に関心をもって、冬の特徴を見付けようとしている。 【発】【行】【作】
2	98～99	生きものの わくわくクイズ	生きものを観察したり調べたりして、自然の中のきまりや自然の不思議さに気付き、生きものの冬の過ごし方に関心をもつことができるようにする。	○植物の様子を観察する。 ○生きものの様子を観察する。 ■見つけた植物や生きものを調べる（デジタルずかん）。	冬の生きものの様子から、自然の中のきまり、自然の不思議さに気付いている。 【発】【作】	他の季節と比べながら、冬の生きものを観察している。 【発】【行】【作】	冬の生きものの特徴に関心をもって、観察したり調べたりしようとしている。

4	100～101	かぜと　あそぼう	風で遊ぶおもちゃを作り遊んだりして、風の力や遊びに必要な道具の準備に気付き、みんなで冬の遊びを楽しむことができるようにする。	○風を捕まえたり、風を使ったおもちゃを作ったりして、風と遊ぶ。 ○自分なりに工夫しておもちゃを作り、楽しく遊ぶ。	・風にはものを浮かせたり動かしたりする力があること、遊びの楽しさや遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】【作】	風で遊ぶおもちゃの動きを予想したり、確かめたり、見直したりしながら、おもちゃを作ったり遊んだりしている。 【発】【行】【作】	友達と競って楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強くおもちゃを作ったり、遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】【作】
2	102～103	ゆきや こおりで あそぼう	雪や氷のある場所を比べて、雪や氷の遊びに必要な道具、遊びの楽しさや遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付き、みんなで協力して遊びを創り出すことができるようにする。	○寒い日に雪や氷を使った遊びを工夫して遊んだり、自分で氷を作ったりして楽しむ。 ○雪や氷を使った遊びのおもしろさや自然の不思議さについて友達に伝え合う。 ●氷ができる場所について考えたり、日なたと日陰の違いを比べたりする。	・雪や氷は、いろいろ遊びに利用できること、遊びの楽しさや遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】	雪がとけにくい場所や、氷が作りやすい場所を比べながら、遊びを創り出している。 【発】【行】	友達と協力して雪遊びや氷づくりをしたいという願いをもって、遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】
1	104～105	なにを かんじたかな	冬の自然と関わった遊びを振り返って、冬と仲よくなれた自分に気付き、冬の自然と関わったことを生かして、自分たちの生活を楽しくしようとしている。	○気付いたことを絵や文にしてカードなどに書く。 ○わかったことや感じたことを伝え合う。 ■学習を振り返って、自己評価をする（ふゆの たのしかった あそび/ぐんぐんはしご）。 ★冬の野原でしたことを、家の人に伝える。	活動を通して、冬と仲よくなることができた自分に気付いている。 【発】【行】【作】	冬の自然と関わった遊びを振り返って、遊びを楽しく工夫したり、楽しく友達と遊んだこと、季節の変化が自分たちの生活と関わっていることを伝え合っている。 【発】【行】	冬の自然と関わった遊びを生かして、自分たちの生活を楽しくしようとしている。 【発】【行】【作】
資料	106～107	のはらの カレンダー	生きものの1年間の様子を参考にする。				

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
もうすぐ ２年生 （主たる内容９ 内容８） 指導時期：２～３月 指導時数：14時間 教科書　：上巻p. 108～116	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えている。	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	108～109	（単元の導入）	入学した頃の自分や出来事を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、成長を振り返る手掛かりを見付けたり集めたりしようとしている。	■入学したときのことで覚えていることや、入学してからこれまでの写真などを見て、どんなことがあったかを振り返り、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○うれしかったこと、楽しかったこと、残念だったことなどを発表する。	自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。 【発】【行】	入学した頃の自分や出来事を振り返り、現在の自分と比べている。 【発】【行】	成長を振り返るために、手掛かりを見付けたり集めたりしようとしている。 【発】【行】
6	110～111	あたらしい １年生を むかえよう	新１年生を迎える準備をする中で、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、自分の内面的な成長に気付き、思いを込めて準備できるようにする。	○新１年生を迎えるためにどんなことができるか、考えたり話し合ったりする。 ○新１年生に教えてあげたい学校のことや、伝え方の方法を話し合う。 ○新１年生を招待して、学校について教えてあげたり、自分がいちばん自信があることを教えてあげたりする。	優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付いている。 【発】【行】【作】	自分の生活や成長について、自分なりに振り返りながら、新１年生を迎える準備をしている。 【発】【行】【作】	入学当初の自分を思い出して、思いを込めて準備をしようとしている。 【発】【行】【作】
3	112～113	1年かんを おもい出そう	1年間を思い起こして、自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付き、感謝の気持ちを表すことができるようにする。	○カードや絵、作文などを見ながら、入学してからのできごとを発表し合う。 ○カードや絵、作文などを見て１年間を振り返る。 ○入学してからできるようになったことや、がんばったことを思い出す。 ○自分一人だけでなく、友達と協力してできたことや自分を支えてくれた人々がいたことなどを思い起こし話し合う。 ○できるようになったことを、見せたり、説明したりして発表する。 ○教室をきれいに掃除したり、飾り付けをしたりして、新１年生を迎える準備をする。	自分の成長を支えてくれた人の存在や自分との関わりに気付いている。 【発】【行】	成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりについて考え、感謝の気持ちを表している。 【発】【行】	自分自身の成長を支えてくれた友達や周りの人に感謝の気持ちを伝えようとしている。 【発】【行】

4	114～115	なにを かんじたかな	自分らしさを捉え、自　身のよさや可能性に気付き、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。	○２年生になることへの期待をもてるよう、２年生になってしてみたいことについて伝え合う。 ○自分の成長を振り返り、２年生になってからの希望や期待について、作文に表す。 ○書いた作文を発表し、友達のよさを認め、伝え合う。 ■学習を振り返って、自己評価をする（２年生の目ひょう/ぐんぐんはしご）。 ★２年生の目標や願いを、家の人に伝えるようにする。	自　身のよさや可能性に気付いている。 【発】【作】	自分らしさを捉え、自分の成長に希望をもち、これからの生活について考えている。 【発】【作】	これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 【発】【作】
資料	116	もしも 1年まえの じぶんと あえる かがみがあったら。	■自分の成長を学習した経験をもとに、1年前の自分が今の自分に、どのようなことを言うかを想像する（いぐらドリル）。				

（標準時数１０２時間）

第2学年　生活科　年間指導計画

第2学年導入 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わくわく　２年生 （主たる内容９・内容３） 指導月　：４月 配当時数：２時間 教科書　：下巻p. 表紙裏～３	新１年生と関わり、２年生になってやってみたいことなどについて考えることができ、自分の成長に気付き、進級した自分に自信をもって、意欲的に生活することができるようにする。	自分の成長に気付いている。	１年生の頃を振り返りながら、２年生になってやってみたいことなどについて考えている。	進級した自分に自信をもって、意欲的に生活しようとしている。

時数	頁	導入	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	表紙裏～3	わくわく　２年生	新１年生を迎える学習を通して、自分の成長を捉え、自分が大きくなったこと、できるようになったことに気付き、自分への自信をもって１年生と関わることができるようにする。	○教科書の絵を見て、気付いたことを自由に話す。 ○絵から想像したことを話し合う。 ○２年生に進級し、新１年生を迎えることへの期待や喜びをカードに書いたり、伝え合ったりする。 ○新１年生にしてあげたいことや教えてあげたいことを話し合う。	自分が大きくなったこと、できるようになったことに気付いている。 【発】【行】	自分の成長を捉えて、自分ができることを表現している。 【発】【行】	２年生に進級した喜びを感じ自分への自信をもって１年生と関わろうとしている。 【発】【行】

目標			観点別評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
めざせ 野さい作り名人 （主たる内容７　内容８） 指導月　：5～10月 配当時数：11時間 教科書　：下巻p. 4～21	野菜などの植物を育てる学習を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、適切な世話の仕方、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、植物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。		野菜などの植物を育てる学習を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜などの植物を育てる学習を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜などの植物を育てる学習を通して、植物への親しみをもち、大切にしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4～5	（単元導入）	育ててみたい野菜について話し合い、１年生で花を育てたことを思い起こして、野菜を育てる時期や場所に気付き、野菜を育てる計画を立てることができるようにする。	■自分のこれまでの野菜栽培に対する経験を思い出し、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○いつも食べている野菜は、どのようにして作られているのか、１年生の時の花の栽培や、これまでの経験から予想してみる。 ○花の栽培を通して培った力で、自分でも育てることができると気付いたり、何を育てたいか考えたりする。	野菜を育てる時期や場所に気付いている。 【発】【行】	１年生で花を育てたことを思い起こしながら、野菜を育てる計画を立てている。 【発】【行】	野菜を育てることに関心をもって、育てる野菜を決めようとしている。 【発】【行】
2	6～7	野さいを そだてよう	植物を育てた経験を想起しながら、野菜を育てる計画を立て、野菜に合った世話の仕方があることに気付き、おいしい野菜を育てたいという願いをもつことができるようにする。	○教科書や図鑑、学習者用端末などを使って調べたり、地域で野菜を作っている身近な人に聞いたりして育てたい野菜を決める。 ○野菜の種類に応じて必要な準備や世話の仕方について知る。 ○収穫した野菜をどうしたいのか話し合う。	育てる野菜に合った世話の仕方があることに気付いている。 【発】【行】	植物を育てた経験を生かして、育ててみたい野菜を選んだり、育てる場所を決めたりしている。 【発】【作】	おいしい野菜を育てて食べたいという願いをもって、計画を立てようとしている。 【発】【行】
1	8～9	なえを うえよう	世話の仕方を調べたり、詳しい人に聞いたりして、適切な方法で種や苗を植え、大切に育てることができるようにする。	○適切な土を調べて準備をする。 ○苗の植え付けや種まきのやり方を知り、用意した容器や学級園に苗を植えたり種をまいたりする。 ○野菜に合った適切な世話を考える。 ○カードや学習者用端末を使って育つ様子を記録する。 ●葉、茎、根などの植物のからだのつくりを、自分が育てている野菜とほかの植物とで比較する。	苗や種の特徴や、育てている野菜に合った世話の仕方に気付いている。 【発】【行】	世話の仕方を調べたり、詳しい人に聞いたりして、種や苗を植えようとしている。 【発】【作】	土づくりなどをして、苗や種を大切に育てることができるようにする。 【発】【行】【作】

3	10～11	野さいの せ話を しよう	世話の仕方を調べたり、詳しい人に聞いたりして、支柱立てや追肥などの適切な世話をし、野菜の成長や変化に関心をもって観察したり、世話をしたりできるようにする。	○野菜の成長の様子を観察し、気付いたことをカードに記録したり、伝え合ったりする。 ○自分の世話について伝え合ったり表現したりし、そのよさに気付く。 ○野菜の成長に合わせた世話の仕方を知り、大切に世話をする。	野菜の世話において、支柱立てや追肥などの適切な世話をしている。 【発】【行】	わからないことについて調べたり、詳しい人に聞いたりしたことを活用し、育てたり観察したりしている。 【発】【作】	野菜の成長や変化に関心をもち、観察や世話をしようとしている。 【発】【行】【作】
2	12～13	野さいを しゅうかくしよう	収穫やあと片付けをしたりして、さまざまな出来事を振りながら、野菜の結実とこれまでの自分の世話を関連付けたり、野菜にも生命があることに気付いたりして、継続して育てた自分への自信をもつことができるようにする。	■野菜の収穫の時期を予想したり、調べたりして収穫をする（ミニトマトの ようす）。 ○野菜を収穫した喜びを多様な方法で表現したり、友達に伝えたりする。 ○後片付けをし、さまざまな出来事を振り返る。	・野菜にも生命があることに気付いている。 ・育てた野菜への親しみが増したことに気付いている。 ・後片づけの際、適切な方法で片づけている。 【発】【作】	・自分の世話と関連付けながら、収穫している。 ・苗植え（種まき）から収穫までの、さまざまな出来事を振り返りながら、片づけている。 【発】【行】【作】	・継続して育て続けたことに自信をもち、大切に収穫しようとしている。 ・自分で野菜を育てたことを実感し、自信をもちながら、後片づけをしようとしている。 【発】【行】
2	14～15	何を かんじたかな	野菜を育てたことを伝え合い、野菜への親しみが増したこと、上手に世話ができるようになったことに気付き、これからに生かし、豊かに生活することができるようにする。	○野菜の成長や収穫の喜び、野菜を育てて思ったことや考えたこと、自分自身が成長したことなどについて作品にまとめたり、それらを使って伝え合う。 ■学習を振り返って自己評価をする。（わたしの 野さいの 思い出・ぐんぐんはしご） ★収穫した野菜を家庭で調理して食べる。食べた感想をカードなどにまとめ伝え合う。	野菜への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 【発】【作】	野菜を育てる前の自分と比較して、野菜への親しみが増したことを絵や文で表現したり、伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	野菜を育てたことを、これからに生かし、豊かに生活しようとしている。 【発】【行】
資料	16～17	野さいの そだて方	野菜の苗の植え方、種のまき方、世話の仕方などを、適宜、参考にする。				
資料	18～19	野さいと くだものの クイズ	野菜にはいろいろな種類があることや、形、旬、食べ方を知ることを通して、野菜への関心を高める。				
資料	20～21	ぽかぽか お日さまを よろこんで いるのは だれ	みんなで、身近な地域に出かけ、冬の様子と比べて、春になった地域の様子に気付き、季節や季節による生活の変化を見付けることができるようにする。 ■学校のまわりにどんな春を見つけることができるか予想する。（春見つけ/春の行じ/デジタルずかん）				

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
まちが大すき たんけんたい （主たる内容３・４　内容８） 指導月　：５～６月 配当時数：14時間 教科書　：下巻p. 22～37	地域と関わる学習や、公共物や公共施設などを利用する学習を通して、地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりすることができ、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていること、身の回りにはみんなで使うものがあること、それらを支えている人々がいることがわかり、地域の人々やさまざまな場所への親しみや愛着をもち、人々に適切に接したり、公共施設や公共物を大切にし、安全に正しく利用したりできるようにする。	地域と関わる学習や、公共物や公共施設などを利用する学習を通して、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていること、身の回りにはみんなで使うものがあること、それらを支えている人々がいることがわかり、適切に接したり利用したりしている。	地域と関わる学習や、公共物や公共施設などを利用する学習を通して、地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりしている。	地域と関わる学習や、公共物や公共施設などを利用する学習を通して、地域の人々やさまざまな場所に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、公共物や公共施設を大切にし、安全に正しく利用しようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	22～23	（単元の導入）	地域の場所や人々についてみんなと交流し、身の回りに親しみを感じる場所や気になる場所があることに気付き、地域への関心をもつことができるようにする。	■自分たちの住むまちや、日々の生活でお世話になっている人について思い出したり、話し合ったりして、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。	・身の回りに親しみを感じる場所や気になる場所があることに気付いている。 【発】【作】	・地域の場所や人々を思い起こし、地域の様子について友達と交流している。 【発】【行】【作】	・友達が紹介する場所や人に関心をもって伝え合い、地域のさまざまな場所を知ろうとしている。 【発】【行】【作】
3	24～25	まちに ついて 話そう	お世話になっている人々や楽しい場所などのお気に入りのことを紹介し合い、まちへの関心を高め、安全な行動やマナーについて考えながら、友達と協力して探検の計画を立てることができるようにする。	○まちの中で、お気に入りの場所やお世話になっている人について、自分なりの理由や経験を発表する。 ○それぞれのお気に入りの場所について話し合いながら分類・整理し、特徴について考える。 ○みんなで行ってみたいところについて話し合い、探検に行く場所を決める。 ○行く場所や目的、探検の約束などについて話し合い、探検の計画を立てる。 ○床地図を利用して、道順などについて話し合う。 ○話し合ったことや、自分の考えについて「まちたんけん」計画カードや自分の探検マップに記録する。	・自分が伝えたい場所や人のいる場所がわかっている。 ・安全な行動やマナーの大切さに気付いている。 【発】【作】	・行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てている。 【発】【行】【作】	・探検への関心と期待感をもち、友達と協力して計画を立てようとしている。 【発】【行】【作】

2	26～27	たんけんに 出かけよう	自分の生活と関連付けながら、安全な行動やマナーを守って探検し、これまで知らなかった場所や人々の存在に気付き、地域への新たな発見ができるようにする。	○店の様子を外から見て、友達が紹介したことを確認したり、新たな発見をしたりする。 ○駅や図書館などの設備や利用する人々の様子について観察する。 ○設定ができる場合は、そこで働いている人の話を聞いたりする。 ○道路や建物にある掲示板や標識、安全を守るためのものなどを見つける。 ○感想や気付いたことをカードや探検マップに書き加える。	・これまで知らなかった場所や人の存在に気付いている。 ・探検の際、安全な行動や挨拶をしながら探検している。 【発】【行】【作】	自分の生活との関わりを考えながら、探検している。 【発】【行】【作】	諸感覚を働かせたり、地域の人の話を聞いたりして、新たな発見をしようとしている。 【発】【行】【作】
4	28～29	みんなで 図書かんに 行こう	図書館を探検し、身の回りには、みんなのための施設やものがあること、多くの人が利用していること、それらを支えている人がいることがわかり、適切に利用できるようにする。	○図書館に行く計画を話し合う。 ○地域の図書館を訪ね、利用している人たちの様子を見学したり、そこで働く人たちに、施設の設備、訪れる人たちなどについて、話を聞いたりする。 ○図書館の使い方を教えてもらったり、実際に使ってみたりする。	図書館には、みんなで使うものやみんなのための施設や場所があること、多くの人が利用していること、それらを支えている人がいることに気付いている。 【発】【行】【作】	施設にあるものを見付けたり、利用方法を実際に確かめたりしながら、探検している。 【発】【行】【作】	図書館を利用したり、働く人に話を聞いたりしながら、適切に利用しようとしている。 【発】【行】【作】
1	30～31	見つけた ことを つたえ合おう	心にとまった場所や人々を伝え合い、地域にはさまざまな場所があり、多様な人々が生活していることに気付き、地域の人が自分の生活とどのように関わっているか捉えることができるようにする。	○カードなどに気付きや発見を表現し、床地図に貼ったり、友達のカードを読んで感想を伝え合ったりする。 ○これまでに書いたカードを振り返り、新たに見つけたことや考えたことを話し合う。 ●「東西南北」がついている地名などがある場合は、方位を意識する。	地域には、さまざまな場所があり、そこには幼児や高齢者、障害のある人など多様な人々が生活していることに気付いている。 【発】【作】	心にとまった場所や人々を地図に位置づけながら、自分の生活との関りを考えている。 【発】【作】	友達の体験をよく聞いて、地域の場所や人々、公共施設などの特徴や役割を捉えようとしている。 【発】【行】【作】
2	32～33	何を かんじたかな	探検で感じたことや、もっと知りたいことなどを伝え合い、地域の人々やさまざまな場所が自分の生活を支えていることがわかり、地域への愛着を深めることができるようにする。	○地域の店や公共施設を探検して、諸感覚を使って観察したり、そこで働く人の話を聞いたりしたことを「探検カード」などに絵や文で表現する。 ○「探検カード」などをもとに自分の気付きや経験を発表したり友達と伝え合ったりする。 ○地域のお店や施設、人々と自分の生活との関わりについて考え、話し合う。 ■学習を振り返って自己評価をする。（わたしがもっと知りたいこと/ぐんぐんはしご） ★まち探検で体験したことを家の人に伝えたり、一緒に体験先を訪ねたりする。	地域で生活したり働いたりしている人々やさまざまな場所が自分の生活を支えていることがわかっている。 【発】【作】	探検で感じたことを振り返りながら、もっと知りたいことややりたいことを絵や文で表現したり、伝え合ったりしている。 【発】【作】	地域で生活したり働いたりしている人々やさまざまな場所に親しみをもち、愛着を深めようとしている。 【発】【作】
資料	34～35	わたしの まちの 自まん	■自分たちの地域で自慢できる場所や特産物などについて考え、地域への愛着をいっそう高める（まちの自まん）。				
資料	36	わたしの まちの くふう	地域には、多様な人たちが生活をしていることやみんなが暮らしやすい工夫があることに気付き、自分たちが住むまちや多様性の意識を高める。				

資料	37	もしも かこや みらいを 見る ことが できる モニターが あったら。	■まちの学習をした経験を[illegible]とに、未来のまちを想像する（いぐらドリル）。

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
めざせ　生きものはかせ （主たる内容７　内容８） 指導月　：６～７月 配当時数：10時間 教科書　：下巻p. 38～53	生きものを育てる学習を通して、生きものがすんでいた場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、適切な世話の仕方や、それらが生命をもっていることや成長していることに気付き、生きものへの親しみをもち、大切にすることができるようにする。	生きものを育てる学習を通して、適切な世話の仕方や、それらが生命をもっていることや成長していることに気付いている。	生きものを育てる学習を通して、生きものがすんでいた場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	生きものを育てる学習を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	38～39	（単元の導入）	生きものを育てることを話し合い、自分たちで生きものを育てることができることに気付き、生きものを採取したり育てたりするイメージをもつことができるようにする。	■これまでの生きものの飼育に関する経験を思い出し、これからの学習のイメージを持つ。（わくわくスイッチ/わくわくシート） ○家で飼っている生きものを発表する。 ○これまでに自然の中で見つけた生きものや、飼ったことのある生きものについて話し合う。 ○学校の近くの自然の中にどんな生きものを見つけたことがあるかを発表する。 ○どんなところでどんな生きものを見つけたいか、どんな生きものを飼いたいかを話し合う。	自分たちで生きものを育てることができることに気付いている。 【発】【作】	これまでの経験を生かして、生きもの探しを計画している。 【発】【行】	生きものを育てることを話し合って、生きものを採取したり育てたりするイメージをもとうとしている。 【発】【行】
2	40～41	生きものを つかまえよう	生きもの特徴を予想して、生息場所や生態に合わせた道具を準備し、自分で生きものを見つけることができるようにする。	○生きもの探しに行く場所や準備について話し合う。 ○安全に気をつけて生きもの探しに出かける。 ○友達と情報交換しながら生きものを探したり捕まえたりして、飼育する生きものを持ち帰る。 ■生きものについて調べる（デジタルずかん/アメリカザリガニの おすと めすの 見分け方）	・生きものの生息場所や生態がわかっている。 ・採取において、必要な道具を準備している。 【発】【行】【作】	生きもののすみかの特徴を予想しながら、生きもの探しをしている。 【発】【行】【作】	必要な道具を準備して、自分で生きものを探そうとしている。 【発】【行】
3	42～43	生きものを かって みよう	育つ環境と関係づけながら、観察をしたり、特徴に合わせた適切な世話をして、形態や生態に気付き、生きものを大切にできるようにする。	○生きもののすみかやえさについて話し合う。 ■飼い方や成長について、生きものに詳しい人に聞いたり、図鑑や本を見たり、インターネットで調べたりする（やごの うか）。 ○生きものに合ったすみかやえさを準備する。 ○すみかを整えて育てる。 ○不思議に思ったことや驚いたことをカードに記録する。 ●生きもののからだのつくりを比較する。	・形態や生態に気付いている。 ・生きものの世話において、特徴に合わせた適切な仕方で世話をしている。 【発】【作】	育つ環境と関係づけながら、観察したり世話をしたりしている。 【行】【作】	生きものの特徴に応じて、大切に世話をしようとしている。 【発】【行】

3	44～45	生きものの について つたえ合おう	生きものの特徴など伝え ことを工夫してまとめ、相手に伝わるよさや楽しさ、適切な伝え方がわかり、伝えたいという思いをもち、すすんで交流できるようにする。	○自分の飼っている生きものを紹介し合うことについて話し合う。 ○発表の準備をする。 ○クイズや発表・新聞・身体表現などさまざまな方法で発表する。 ○学習を振り返り、発表会の感想を伝えたり、生活科ノートに記録したりする。	気 ことを伝え合うことにおいて、相手に伝わるよさや楽しさ、適切な伝え方がわかっている。 【発】【行】【作】	生きものの特徴など伝えたいことを工夫してまとめて、伝え合っている。 【発】【行】【作】	自分が飼っている生きものについて、伝えたいという思いをもち、すすんで交流しようとしている。 【発】【行】
1	46～47	何を かんじたかな	育てて実感したことや生きものの特徴を伝え合い、上手に世話ができるようになったことに気付き、継続して育てた自分に自信をもち、生命あるものを大切にできるようにする。	○生き物を育てて思ったことや感じたこと、自分自身の成長などについて話し合う。 ○飼った後は生きものをどうするのかを話し合う。 ■学習を振り返って、自己評価をする（わたしの生きものの思い出/ぐんぐんはしご）。 ★発表のために作った作品をもとに、生きものの秘密について家族に教える。	生きものへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 【発】【作】	自分の生きものの特徴を比較して伝えたいことを選び、伝え合っている。 【発】【行】【作】	生きものに親しみや愛着をもったり、自分の関わりが増したことに自信を持ったりしたことを実感し、これからも生命あるものとして関わろうとしている。 【発】【作】
資料	48～49	生きものの そだて方	■生きものの飼育環境やえさを、適宜、参考にする（デジタルずかん）。				
資料	50～51	会いに 行きたい！ せかいの なかまたち	地球上の様々な生きものを知ることを通して、世界や環境への興味を持つ。				
資料	52～53	夏を 楽しむ くふうは どこ	■春のまちの様子と比較して、自分たちが住む地域の自然や生活の様子に、どのような変化があったか考えたり、自分たちのまちの夏の行事を思い起こしたりする。（夏見つけ/夏の 行じ/デジタルずかん）				

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
えがおのひみつ たんけんたい （主たる内容３・４　内容８） 指導月　：９～11月 配当時数：28時間 教科書　：下巻p. 54～75	地域の多様な場所や人々に関わる学習や、身近な人々と伝え合う学習を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや、公共物のよさや働きを捉えたり、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わるよさや楽しさがわかり、地域に親しみや愛着をもち、すすんで触れ合い交流することや、適切に接したり安全に生活したりすることができるようにする。	地域の多様な場所や人々に関わる学習や、身近な人々と伝え合う学習を通して、身近な人々と関わるよさや楽しさ、適切な接し方がわかっている。	地域の多様な場所や人々に関わる学習や、身近な人々と伝え合う学習を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや、公共物のよさや働きを捉えたり、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	地域の多様な場所や人々に関わる学習や、身近な人々と伝え合う学習を通して、地域に親しみや愛着をもち、すすんで触れ合い交流することや、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	54～55	（単元の導入）	これまでのまち探検で、訪ねた場所などを思い起こし、地域に親しみがある場所が増えたことに気付き、地域や人々に関わることへの期待をもつことができるようにする。	■前回のまち探検の記録や作品をもとに、印象に残っていることや、自分の生活や関わり方が変わったところを考え、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○楽しかったこと、疑問に思うこと、新たに発見した場所などを話し合う。 ○再び行ってみたいところや、会ってみたい人などを話し合う。	地域に親しみがある場所が増えたことに気付いている。 【発】【行】	これまでのまち探検を思い起こして、より関わりを深める方法を話し合っている。 【発】【行】	地域や人々に関わることへの期待をもって、話し合おうとしている。 【発】【行】
3	56～57	もっと 知りたいことを 話そう	知りたいことやしてみたいことを分けたり、適切な行動を予想したりしながら計画を立て、訪問や連絡、依頼を適切に行い、期待をもって、繰り返し関わることができるようにする。	○行きたい場所や目的、約束などについて話し合い、探検の計画を立てる。 ○行きたい場所をもとにグループをつくり、お店の人にインタビューをして尋ねてみたいことを考え、整理し、笑顔で働く理由を予想する。 ○話し合ったことや自分の考えについて計画カードに記録する。 ○探検する場所について、行く日やお願いしたいことを適切な方法で連絡する。	探検に行くことについて、連絡や依頼を適切に行っている。 【発】【作】	もっと知りたいことやしてみたいことを分けたり、ふさわしい行動を予想したりしながら、計画を立てたり約束を決めたりしている。 【発】【作】	地域の場所や人々に関わることに関心や期待をもって、繰り返し関わる計画を立てようとしている。 【発】【作】

10	58～59	えがおの ひみつを さぐろう	仕事をする人たちの思い 仕事の仕方や内容などを聞き取ったり、仕事の一部を体験したりする学習を通して、場に応じた言葉遣いや行動に気付き、仕事の楽しさやたいへんさ、仕事をしている人たちの思いなどに気付くことができるようにする。	○お店を探検したりインタビューしたりするときに気をつけることを確認する。 ○仕事の仕方や手順、種類などについて観察したり聞き取ったりする。 ○お店や公共施設で、普段見ることのできないバックヤードの様子や、開店前や閉店後の仕事などについて教えてもらう。 ○気付いたり教えてもらったりしたことを学習者用端末で記録したり、カードに整理してまとめる。 ○仕事を体験させてもらう時に気を付けることを話し合う。 ○仕事の様子を見せてもらう。 ○仕事の内容を見たり聞いたりする中で、自分にもできそうなことを教えてもらい、やってみる。 ○やってみて感じたことや、考えたことをカードなどに記録する。	・仕事をしている人の思いや工夫に気付いている。 ・その場に応じた言葉遣いや適切な行動をしている。 【発】【作】	仕事をしている人々の思いや工夫、体験した仕事の楽しさやたいへんさ、喜びなどについて考えている。 【発】【作】	仕事をしている人々にインタビューしたり、体験したりすることに、意欲をもって取り組もうとしている。 【発】【行】
1	60～61	何を かんじたかな	自分が体験したことをまとめたり、友達と伝え合ったりして、仕事をしている人の思いや工夫に気付き、人々への親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にできるようにする。	○仕事の大変さや楽しさ、仕事をしている人たちの思いなどについて、グループの友達と自分の考えを伝え合う。 ○働く人たちの笑顔の秘密について考えたり予想を立て直したりする。 ■カードや学習者用端末などで学習を振り返り、次の学習への見通しを持つ（かんがえまとめいろ）。	それぞれの仕事には、さまざま思いや工夫があることに気付いている。	友達の体験や感想と比較しながら、自分の体験をまとめたり、友達と伝え合ったりしている。	仕事をしている人々の姿や自分が体験したことを思い起こして、人々への親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にしようとしている。
3	62～63	体けんを つたえ合おう	探検場所で体験したことを自分たちの選んだ方法で表現し、伝えたいことが相手に伝わるよさがわかり、意欲をもって友達と伝え合うことができるようにする。	○体験してわかったことをグループの友達と情報交換する。 ○他のグループの友達に伝えるための方法について話し合う。 ○絵本や、クイズ、絵地図、新聞などの方法で、探検してわかったことや、体験して多様な感じたことや考えたことなどを、友達と協力してまとめる。 ○体験発表会を開く。	伝えたいことが相手に伝わるよさがわかっている。 【発】【行】	他のグループの友達に伝えるために、何を伝えるか、どのような方法で伝えるかについて、考えながらまとめている。 【発】【行】	体験したことを知らせたいという意欲をもって、話し合いや表現活動に取り組んでいる。 【発】【行】
3	64～65	まちの 人にも つたえよう	伝えたいことや伝え方を選んで、多様な伝え方があることに気付き、相手や目的に合わせて、発表会の計画を立てることができるようにする。	○発表会の計画を立てる。 ○各グループでどのように表現するか話し合う。 ○発表の準備や練習をし、発表方法の改善をする。 ○招待状を作成して届けたり、ポスターを作って貼らせてもらったりする。	相手や目的に応じて、多様な伝え方があることに気付いている。 【発】【作】	何を伝えるかを考え、伝えたいことや伝え方を選んでいる。 【発】【行】【作】	相手や目的に合わせて、発表会の計画を立てようとしている。 【発】【行】

3	66～67	えがおいっぱい はっぴょう会	適切な言葉遣いで工夫して伝え、自分のことや伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかり、相手の反応や状況に合わせて、伝えたいことや気持ちを表すことができるようにする。	○発表会の内容を、招待した人たちに説明する。 ○探検して見つけたことやわかったことを協力して表現する。 ○ほかのグループの発表を見て、質問したり、感想を述べたりする。 ○招待したまちの人から感想をもらって交流をする。 ○交流にはICT機器などを使った方法もある。 ○発表会を振り返り、感想をカードに書く。	・自分のことや伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかっている。 ・伝える際に、適切な挨拶や言葉遣いをしている。 【発】【行】	相手の反応を確かめながら、伝え方を工夫している。 【発】【行】	相手の反応や状況に合わせて、多様な方法で伝えたいことや気持ちを表そうとしている。 【発】【行】
3	68～69	ありがとうを つたえよう	学習を振り返り、お世話になった相手のことを思い浮かべながら伝え方を工夫し、自分の気持ちを伝えるうれしさに気付き、多様な方法で、感謝の気持ちを表すことができるようにする。	○まち探検でお世話になった方にお礼を伝えることや、わかったことを身近な人たちに伝えることを話し合う。 ○手紙や感謝状、ポスターなど、グループごとに方法を決めて書き、届ける。	自分の気持ちが相手に伝わることのうれしさに気付いている。 【行】【作】	これまでの体験をもとに、相手のことを思い浮かべながら、伝え方を工夫している。 【作】	多様な方法で、感謝の気持ちを表そうとしている。 【行】【作】
1	70～71	何を かんじたかな	学習を振り返り、地域の人々や公共施設の利用などが、自分たちの生活を豊かに楽しくしていることを実感し、地域や多様な人々との関わりを自ら築いていこうとしている。	○仕事の大変さや楽しさ、仕事をしている人たちの思いなどについて話し合う。 ○働く人たちの笑顔の秘密について予想と比べたり話し合ったりする。 ○大人になったらしてみたい仕事やなりたい職業について伝え合う。 ■学習を振り返って、自己評価をする（わたしが見つけたえがおのひみつ/ぐんぐんはしご）。 ★まち探検で体験したことを家の人に伝えたり、一緒に体験先を訪ねたりする。	地域の親しみを感じる人々や愛着のある場所、公共施設などが、自分たちの生活を豊かに楽しくしていることに気付いている。 【発】【行】【作】	地域の場所や人々を自分の生活と関連付けながら、捉えている。 【発】【行】【作】	地域の場所や人々、公共施設への親しみや愛着をもち、身近な人々と関わることのよさや楽しさを実感し、多様な人々との関わりを自ら築いていこうとしている。 【発】【行】【作】
資料	72～73	きらきら えがお 見つけたよ	地域で多様な仕事をしている人々に気付き、これからの自分の生活や職業への意識を高める。				
資料	74～75	秋は どこに やって 来た	■夏のまちの様子と比較して、自分たちが住む地域の自然や生活の様子に、どのような変化があったか考えたり、自分たちのまちの秋の行事を思い起こしたりする（秋見つけ/秋の行じ/デジタルずかん）				

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作って ためして （主たる内容６　内容８） 指導月　：12～１月 配当時数：20時間 教科書　：下巻p. 76～95	身近にあるものを使ったりして遊ぶ学習を通して、動くおもちゃを工夫して作ることができ、身近なものを使ってできる遊びの面白さ、素材のもつ特徴や不思議さ、約束やルール守って遊ぶと楽しいこと、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓などをすると気持ちよく遊べることに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができるようにする。	身近にあるものを使って動くおもちゃを作る活動を通して、自然の不思議さ、協力して遊ぶ楽しさ、約束やルールを守って遊ぶ楽しさなどに気付いている。	身近にあるものを使って動くおもちゃを作る活動を通して、遊びを工夫したり、遊びに使うものを工夫して作っている。	動くおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、遊ぶ学習を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとする。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	76～77	（単元の導入）	おもちゃの動きや材料を調べ、身近なものが遊びに利用できることに気付き、動くおもちゃを自分で作って、みんなで遊びたいという意欲をもつことができるようにする。	■これまでのおもちゃ遊びやおもちゃ制作についての経験を思い出し、これからの写真のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○休み時間などに見本の動くおもちゃで遊んだ経験を想起する。 ○例示のおもちゃがどのような動きをするのか予想し、話し合う。 ○おもちゃがどんな材料で作られているかを調べる。 ○自分たちにもおもちゃが作れそうか考え、おもちゃ作りへの見通しがもてるように話し合う。	身近なものが、いろいろな遊びに利用できることに気付いている。 【発】【行】	おもちゃの動きを予想し、どんな材料で作られているかを調べている。 【発】【行】	作りたいおもちゃを思い描き、見通しをもとうとしている。 【発】【行】
1	78～79	みのまわりの ものであそぼう	素材の特徴を生かし、動きを比べたり友達と競ったりして、目に見えない力、動きの面白さ、約束やルールを守って遊ぶと楽しいことに気付き、遊びを楽しくできるようにする。	○事前に輪ゴム、ガムテープ、ビニル袋、磁石などの材料を集めておく。それらの材料でどんな遊びができるか予想する。 ○素材遊びをする。素材のもつ目に見えない力や特徴を捉えながら、試したり、予測したり、工夫したりする。 ○素材遊びの振り返りをする。身近にあるものでどんなおもちゃを作れるのかを予想し、おもちゃ作りへの見通しをもつ。 ●磁石にくっつくものとくっつかないものとで、どのような違いがあるか考える。	・素材のもつ目に見えない力や特徴、動きの面白さに気付いている。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、約束やルール守って遊んでいる。 【発】【行】	素材の動きを比べたり、予想したり、友達と競ったりしながら、遊んでいる。 【行】	何度も動きを試して、遊びを楽しくしようとしている。 【発】【行】
6	80～81	うごく おもちゃを作ろう	おもちゃの動きを繰り返し確かめながら作り、おもちゃが動く仕組み、材料の組み合わせに気付き、自分のおもちゃをよりよくしたいという願いをもつことができるようにする。	○身近にある物を使って、自分が作りたいおもちゃを決める。 ○必要な材料や道具を考え、見通しをもつ。 ○素材遊びの経験や教科書、おもちゃ図鑑を参考にしながら動くおもちゃを作って試す。 ○学習者用端末などを使って写真や動画で記録する。	おもちゃが動く仕組み、材料の組み合わせに気付いている。 【発】【行】	おもちゃの動きを予想したり、確かめたり、見直したりを繰り返しながら、おもちゃ作りをしている。 【発】【行】	友達と情報を共有して、自分のおもちゃをよりよくしたいという願いをもって作ろうとしている。 【発】【行】

1	82～83	何を かんじたかな	友達と情報交換し合って自分が作ったおもちゃを見直し、動くおもちゃには、材料や働く力が関係していることに気付き、よりよいおもちゃを作ることができるようにする。	○自分が作ったおもちゃについて、よかった点と改善点を出し合い、クラスで共有する。 ■カードや学習者用端末などで学習を振り返り、次の学習への見通しを持つ（かんがえまとめいろ）。	動くおもちゃには、おもちゃの材料やおもちゃにかける力が関連していることに気付いている。 【発】【行】【作】	おもちゃや遊びを工夫したり、友達と楽しく遊んだことを振り返り、表現している。 【発】【行】【作】	友達と共有した情報を生かして、おもちゃをよりよくしようとしている。 【発】【行】【作】
4	84～85	パワーアップ大作せん	試行錯誤を繰り返しておもちゃを改良し、力と動き、材料との関係に気付き、みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。	○改善点を基に、「丈夫、早い、高い、遠い、面白い」という視点でおもちゃをよりよくしていく。 ○同じおもちゃのグループどうしで一緒に遊ぶ。 ○それぞれの視点を基におもちゃをよりよくしていく。学習者用端末などで撮影したものを参考にして、自分のおもちゃをよりよくするための解決策を振り返る。	おもちゃにかける力と動き、材料との関係に気付いている。 【発】【行】	友達と比べたり、動きを繰り返し試したり、乗り物に見立てて飾りをつけたりしながら、おもちゃ改善するために使う材料、道具などを選んでいる。 【行】	完成したおもちゃを使って、みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。 【発】【行】
6	86～87	みんなの おもちゃで あそぼう	友達のよさや自分との違いを取り入れ、約束やルールを守って友達と一緒に遊ぶと楽しいこと、適切な道具の使い方、準備や片づけに気付き、遊びを楽しくできるようにする。	○看板や得点表などを作成し、クラスや学年の児童と遊ぶための準備をする。 ○友達との関わりを大切にしながら、ルールや遊び方を工夫し、遊びを創り出したり、面白くしたりする。 ○単元を振り返り、できるようになったことや身に付いた力を自覚し、自分たちの生活をより楽しく豊かにする。	・みんなで楽しく遊ぶ際、約束やルールを守って遊んでいる。 ・みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片づけ、掃除、整理整頓をしている。 【発】【行】	遊びの約束やルールなどを工夫しながら遊んでいる。 【発】【行】	友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。 【発】【行】
1	88～89	何を かんじたかな	遊びを工夫し、友達と楽しく遊んだことを振り返り、自分と友達のおもちゃのよさがわかっている自分に気付き、身の回りの物を使ってみんなで遊ぶ工夫をして、毎日の生活を豊かにできるようにする。	○課題をどのように解決したのかを伝え合う。 ○自分や友達のよさを伝え合う。 ○これからも、身近なものを使って遊ぼうという思いをもつ。 ■学習を振り返って、自己評価をする（わたしが パワーアップで くふうしたこと/ぐんぐんはしご）。 ★家族などに作ったおもちゃについて遊び方や工夫したところなどを説明し、一緒に遊ぶ。	自分と友達のおもちゃの違いやよさがわかっている自分に気付いている。 【発】【行】【作】	遊びを工夫したり、友達と楽しく遊んだことを振り返り、自分の取り組みや、友達との関わりを表現したり伝え合ったりしている。 【発】【行】【作】	身の回りの物を使って遊んだりみんなで遊んだりすると生活が楽しくなることを実感し、これからの生活でも取り入れ毎日の生活を豊かにしようとしている。 【発】【行】【作】

資料	90～92	おもちゃの 作り方	おもちゃの材料やおもち　作る手順を、適宜、参考にする。
資料	93	もしも はつ明が ひらめく ぼうしが あったら。	動くおもちゃを作った経験をもとに、ものを動かす力を使った発明について発想を広げる（いぐらドリル）。
資料	94～95	北風が はこんで くる ものは なあに	■秋のまちの様子と比較して、自分たちが住む地域の自然や生活の様子に、どのような変化があったか考えたり、自分たちのまちの冬の行事を思い起こしたりする（冬見つけ/冬の行じ/デジタルずかん）。

単元 （学習指導要領との関連）	目標	観点別評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
あしたへ つなぐ 自分たんけん （主たる内容９　内容８） 指導月　：２～３月 配当時数：20時間 教科書　：下巻p.96～108	自分自身の生活や成長を振り返る学習を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかるとともに、これまでの自分の生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活できるようにする。	自分自身の生活や成長を振り返る学習を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。	自分自身の生活や成長を振り返る学習を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えている。	自分自身の生活や成長を振り返る学習を通して、自分自身の成長に関心をもち、これまでの生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

時数	頁	小単元	目標	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	96～97	（単元の導入）	自分自身の成長に関心をもち、自分のことを調べる方法を考え、今の自分と前の自分が違うことに気付き、自分の成長を振り返ることができるようにする。	■自分自身がこの一年で何が変わったのかを考え、これからの学習のイメージを持つ（わくわくスイッチ/わくわくシート）。 ○生活科の最後の学習であることを知り、自分自身について学習することを話し合う。 ○小学校に入学してからや２年生になってからできるようになったことや成長したと思うことを思い出す。 ○自分の成長を調べるためには、どのような方法があるのか話し合う。	今の自分と前の自分が違うことに気付いている。 【発】	これからの学習を見通して、自分のことを調べる方法を伝え合っている。 【発】	自分自身の成長に関心をもち、自分の成長を振り返ろうとしている。 【発】
3	98～99	自分に ついて 思い出そう	現在の自分と比べながら、自分自身や出来事を振り返り、自分の成長の手がかりを、意欲をもって見つけたり集めたりすることができるようにする。	○以前と比較してできるようになったことや得意になったことを考え、今の自分はどんな自分なのか考える。 ○クラスの中でどんな係や役割をしてきたかなどを考える。 ○家での自分の立場や役割についての変化を考える。 ○体の成長についてどのような変化があったかを考える。	自分が大きくなったこと、自分できるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。 【発】	現在の自分と比べながら、自分自身や出来事を振り返っている。 【発】	成長を振り返るために、手がかりを見つけたり集めたりして意欲をもって調べようとしている。 【発】

6	100～101	まわりの 人に 聞いて みよう	自分について調べたことをまとめて、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付き、意欲をもって調べることができるようにする。	○友達のよいところや成長したところを考え、カードなどに書いて伝え合う。 ○小さい頃に使っていた物や写真など、小さい頃の自分の手がかりを集める。 ○家族やお世話になった身近な人などに、小さい頃のことを取材する。 ○今の自分と比べ、どんなことが成長したのかを考える。 ○友達からのメッセージや、お世話になった身近な人からの情報をもとに、自分の成長をまとめる。	優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付いている。 【発】【行】【作】	自分について調べたことを分けながら、集めている。 【発】【行】【作】	成長を振り返るために、手がかりを見つけたり集めたりして意欲をもって調べようとしている。 【発】
2	102～103	何を かんじたかな	自分の成長を支えてくれた身近な人々の存在や自分との関わりについて気付き、感謝の気持ちをもち、自分なりに表現し伝えることができるようにする。	○自分が成長するまでに、誰がどのように成長を支えてくれたかについて考える。 ○友達と自分の成長を伝え合いながら、互いに認め合い、喜びを味わう。 ■学習を振り返って、自己評価をする（いちばん「ありがとう。」を伝えたい人/ぐんぐんはしご）。	自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。 【発】【行】【作】	成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりについて考え、感謝の気持ちを表している。 【発】【行】【作】	自分自身の成長を支えてくれた人々に感謝をもち、伝えようとしている。 【発】【行】【作】
6	104～105	楽しかったね 生活科	３年生の学習や生活に夢や希望をもち、それを表現することができるようにする。	○３年生の教室に行き、３年生の生活について話を聞いたり、社会や理科などの授業を実際に見せてもらったりする。 ○３年生がどんなことをしていたか、どんなふうに見えたか、３年生になってやってみたいことなどを発表し合う。 ○３年生になった自分がどのように成長しているか予想し、話し合う。	自分自身のよさや可能性に気付いている。 【発】【作】	自分らしさを捉え、自分の成長に希望をもち、これからの生活について考えている。 【発】【行】	これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。 【発】【行】
2	106～107	何を かんじたかな	これからの自分の生活への期待を作文で表現することができるようにする。	○これまでの自分を振り返るとともに、自分がなりたい３年生の姿を考え、発表する。 ○これからがんばりたいことややってみたいことなどをカードなどに書いて整理し、書きたいことを選んで作文する。 ■学習を振り返って、その経験がこれからに活かせることに気づく（３年生の目ひょう/みのりの木）。 ★３年生になって、がんばりたいことや希望について家族に伝える。		これからの生活について考えながら、自分らしさを捉えている。 【発】【行】【作】	
資料	108	もしも みらいの 自分が 見える ぼうえんきょうが あったら。	■自分の成長を学習した経験をもとに、未来の自分を心に描く（いぐらドリル）。				

（標準時数105時間）

第1学年 音楽科 年間指導計画　　(1)知識技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元 ○・歌唱 ◇・器楽 ☆・音楽づくり ♪・鑑賞 (共)・共通教材	時	指導目標	評価規準
4 5	1.うたって おどって なかよく なろう ♪どみそらんど (歌探し) ♪セブン ステップス ♪チェッ チェッ コリ (共)ひらいたひらいた	4	(導入)きいて うごこう (導入)うたって なかよく なろう ●みんなで いっしょに うたって,ともだちを つくることができる。 ●ともだちと いっしょに おどることができる。 ●みんなで あそびながら たのしく うたうことができる。	(1)曲想と速度や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、速度、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。
6	2.はくを かんじとろう (そだてよう)おとで おはなし (そだてよう)手拍子で リレー ♪さんぽ ◇○じゃんけんぽん ◇○みんなであそぼう	7	●おんがくに あわせて からだを うごかすことができる。 ●[たん たん|たん (うん)] の リズムで あそぶことができる。 ●うたに あわせて リズムを うつことができる。	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。
7	3.はくに のってリズムを うとう ♪しろくまのジェンカ (共)かたつむり ◇○ぶんぶんぶん ☆ことばでリズム (共)うみ	9	●おんがくに あわせて リズムを うちながら きくことができる。 ●はくにのって、あかるいこえで うたうことができる。 ●たんと たたの ちがいに きづいて リズムを うつことができる。 ●たんと たたを つかって ことばで リズムを つくることができる。 ●うみの ようすを おもいうかべながら うたうことができる。	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、器楽の技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)リズムや拍に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、いろいろなリズムに親しむ。
	4.みのまわりのおとに みみを すまそう ☆おとをさがして あそぼう	2	●みつけた おとで よびかけあうことができる。	(1)身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2)身の回りの音や呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声の出し方やつなげ方を試して、音楽づくりの発想を得る。 (3)身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。

8 9	5.どれみとなかよくなろう ◇たのしくふこう ◇どんぐりさんのおうち (そだてよう)けんばんハーモニカで おとあそび ♪みつばちハニーの ぼうけん ◇○なかよし (共)ひのまる	8	●けんばんハーモニカで いろいろな おとを みつける。 ●どと その ばしょを みつけて、おぼえることができる。 ●けんばんハーモニカ。 ●どれみふぁその ばしょを おぼえる。 ●おとの たかさに きを つけながら うたうことができる。	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)階名と、鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と仲良く学習する態度を養う。
10 11 12	6.せんりつで よびかけあおう ○やまびこ ごっこ (そだてよう)まねっこあそび ☆せんりつの よびかけっこ ♪こうしんきょく	6	●たがいの こえを ききながら よびかけあって うたうことができる。 ●よびかけあうように せんりつを つなげて あそぶことができる。 ●せんりつが よびかけあう おもしろさを かんじながらきくことができる。	(1)曲想と旋律、呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能、呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の呼びかけ合いに親しむ
	7.がっきと なかよくなろう ◇おとさがし ◇さがしてみよう ならしてみよう ☆えから うまれる おんがく ♪シンコペーテッド クロック	6	●いろいろな おとを みつけて ならすことができる。 ●きに いった おとを みつけて うたと いっしょに ならすことができる。 ●えから おもいうかべた おとを組み合わせて、おんがくをつくることができる。 ●みみを すまして がっきの おとを きくことができる。	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、互いの音の出し方を比べながら表現し、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる打楽器の音色に親しむ。
1	8.ようすを おもいうかべよう ○◇きらきらぼし ♪にんぎょうの ゆめと めざめ ○はる なつ あき ふゆ	8	●ほしぞらの ようすを おもいうかべながら,うたったり えんそうしたりできる。 ●にんぎょうの ようすを おもいうかべながら きくことができる。 ●かしから ようすを おもいうかべて うたうことができる。	(1)曲想と音色、速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、音色に気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)音楽や歌詞の内容を基に情景を思い浮かべる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。

2	9.にほんの うたをたのしもう ♪さんちゃんが/ おおなみこなみ ○おちゃらか ほい	4	●わらべうたを きいたり うたったりして あそぶことができる。 ●ともだちと いっしょに あそびながら うたうことができる。	(1)曲想と旋律、拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのような歌い方や遊び方にするかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)わらべうたの旋律や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、生活の中の遊びに生かす。
3	10.みんなであわせて たのしもう ○あいあい ◇○とんくるりん ぱんくるりん ◇○こいぬのマーチ ♪クシコシポスト	10	●たがいの うたごえを ききあいながら うたうことができる。 ●うたごえと がっきの おとを あわせて えんそうすることができる。 ●たがいの がっきの おとを ききあいながら えんそうすることができる。 ●がっきの たのしさを かんじながら きくことができる。	(1)曲想と旋律や強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌声や楽器の音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる
年間	(巻末) ○うたいつごう にほんのうた たなばたさま/おしょうがつ/うれしいひなまつり ※国歌「きみがよ」	4	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	

計画時数 68時間　　標準時数68時間

第2学年 音楽科 年間指導計画　　(1)知識技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	時	指導目標	評価規準
4	1. 音楽でみんなとつながろう ○メッセージ ♪小犬のビンゴ ♪ロンドンばし (共)かくれんぼ ♪ティニクリン/エース オブ ダイヤモンド/とうしん ドーイ ♪ドードレブスカ ポルカ	4	●自分のこえや ともだちのこえを よくきいて うたうことができる。 ●ともだちと せかいの あそびうたを 楽しむことができる。 ●かくれんぼで あそんで いる ようすを おもいうかべながら うたうことができる。 ●いろいろな くにの おどりの 音楽を 楽しむことができる。	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想を感じ取って音楽を聴いたり、声を合わせて歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の遊びうた、踊りの音楽に親しむ。
5	2. はくの まとまりをかんじとろう ○はしのうえで (そだてよう)2びょうしでリズムあそび① ○たぬきのたいこ (そだてよう)3びょうしで リズムあそび ♪ミッキーマウス マーチ ♪メヌエット	6	●2びょうしのはくのまとまりを かんじとりながら うたうことができる。 ●3びょうしのはくのまとまりを かんじながら うたうことができる。 ●2びょうしと 3びょうしの ちがいに気をつけて きくことができる。	(1)曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組む。
6 7	3. ドレミで あそぼう ♪○ドレミのうた ◇○かっこう ◇○かえるのがっしょう ○◇ぷっかり くじら (そだてよう)鍵盤ハーモニカで せんりつあそび	10	●音の たかさに 気を つけながら, きいたり うたったりすることができる。 ●音の たかさに 気を つけながら, うたったり ふいたりすることができる。 ●音の たかさに 気を つけながら, うたや鍵盤ハーモニカでおいかけっこをすることができる。 ●うたに あわせて 鍵盤ハーモニカを ふくことができる。	(1)曲想と旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)互いの声や音を聴き合いながら階名で歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、 音の高低に対する感覚を養う。
8 9	4. せいかつの中にある音を楽しもう ☆なきごえを つかって あそぼう (共)虫のこえ	6	●みの まわりの 音を こえで あらわして, 音楽を つくることができる。 ●かしの かんじを 生かして うたうことができる。	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、反復を用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)身の回りの音の音色や強弱、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりする。 (3)身の回りの音の感じを声で表す学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。
	5. リズムをかさねて楽しもう ◇○この空とぼう	8	●2びょうしの はくにのって リズムを うつことができる。	(1)曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、器楽の技能を身に付ける。

10	(そだてよう)2びょうしで リズムあそび②		●3びょうしの はくにのって リズムを うつことができる。	(2)リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。
	◇○いるかはざんぶらこ ◇山のポルカ		●はくに のって 楽しく がっそうできる。	(3)拍子やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組み、拍子やリズムに対する感覚を養う。
11	6.くりかえしを見つけよう ○かねがなる ☆おまつりの音楽 ♪トルコこうしんきょく	6	●せんりつの くりかえしに 気を つけて うたうことができる。 ●くりかえしを つかって 音楽を つくることができる。 ●せんりつの くりかえしに 気を つけて きくことができる。	(1)曲想と反復などの音楽の構造との関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、反復を用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、フレーズ、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、リズムの組み合わせ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律やリズムの反復に親しむ。
	7.いろいろながっきの音をさがそう ♪だがっき パーティー ☆がっきでおはなし ◇○かぼちゃ	6	●いろいろな がっきの 音の 中から すきな音を さがすことができる。 ●がっきの 音の くみあわせを 楽しむことができる。 ●いろいろな がっきの 音を かさねて えんそうできる。	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、楽器の音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や歌声、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能や、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、音の重なり、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、楽器やリズムの組み合わせ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる楽器の音色に親しむ。
12	8.ようすをおもいうかべよう ○あのね、のねずみは ♪たまごの からをつけた ひなどりのバレエ (共)夕やけこやけ ◇○小ぎつね	7	●かしや 音楽の かんじを 生かして うたうことができる。 ●音楽が あらわす ようすを おもいうかべながら きくことができる。 ●かしの ようすを おもいうかべながら うたうことができる。 ●かしの ようすを おもいうかべながら,うたったり ふいたりできる。	(1)曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。

1	9. 日本のうたでつながろう ♪ずいずいずっころばし／ あんたがた どこさ ○なべなべ そこぬけ ☆名前で せんりつあそび	4	●わらべうたを きいたり うたったりできる。 ●3つの 音で せんりつを つくって あそぶことができる。	(1)曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、言葉の抑揚について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2)旋律、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、旋律遊びを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)わらべうた興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、ほかのわらべうたにも親しむ。
2 3	10. みんなで あわせて 楽しもう。 ○楽しいね ◇○こぐまの 二月 ♪エンターテイナー (共) はるが きた	10	●たがいの うたごえを ききあいながら うたうことができる。 ●うたごえと がっきの 音を あわせて えんそうできる。 ●がっそうの 楽しさを かんじながら きくことができる。 ●みんなで 気もちを あわせて うたうことができる。	(1)曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる。
年間	(巻末) ○うたいつごう 日本のうた 夕日／とんぼのめがね シャボン玉 ○みんなで楽しく ・あの青い空のように ・はるのまきば ・あおい そらに えを かこう ・手のひらをたいように ・どこかで ・ドレミであそぼ ・アイアイ ・国歌「君が代」	3	＊世代をこえて歌い継いでいきたい日本の歌。 ＊各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	

計画時数 70時間　　標準時数70時間

第3学年 音楽科 年間指導計画　　(1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	時	指導目標	評価規準
年間	巻頭 ようこそ リコーダーの世界へ			
4	1.音楽で心をつなげよう ○ハッピーソング (そだてよう)リズムでなかよくなろう (共)春の小川 (共)茶つみ	6	●友だちと声を合わせて歌うことができる。 ●春の様子を思い浮かべて、歌い方をくふうすることができる。 ●曲のかんじを生かして歌うことができる。	(1)曲想とリズム、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の感じを生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。
5	2.歌って音の高さをかんじとろう ○◇ドレミで歌おう (そだてよう)ドレミと友だちになろう ○◇海風きって	4	●音の高さに気をつけながら,歌ったりえんそうしたりできる。 ●楽器と合わせて,明るい声で歌うことができる。	(1)曲想と旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして表現する技能や、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)旋律、音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)音の高さを感じて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、読譜に親しむ。
6	3.リコーダーのひびきに親しもう ヘッドピースで音あそび ♪小鳥のために(参考曲) ♪ピタゴラスイッチ (そだてよう)いろいろなシの音であそぼう ◇ふいてみよう①(シ・ラ)／ふいてみよう②(シ・ラ・ソ)／きれいな ソラシ ◇坂 道／雨上がり (そだてよう)いろいろな音であそぼう	8	(導入)はじめましてリコーダー (導入)リコーダーと友だち (導入)タンギングと息の使い方 ●タンギングに気をつけてきれいな音でふくことができる。 ●息の使い方に気をつけて歌うようにふくことができる。	(1)リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する基本的な技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3)リコーダーの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。

7 8 9	4.拍にのってリズムをかんじとろう ◇〇ゆかいな木きん ◇〇あの雲のように ◇アチャ パチャ ノチャ ☆手拍子でリズム	9	●2拍子にのってえんそうできる。 ●拍子のかんじを生かしてえんそうできる。 ●くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりることができる。	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、拍にのって音を合わせて演奏する技能、反復や変化を用いて、まとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、拍、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3)拍子やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくりの学習活動に取り組む。
10	5.せんりつのとくちょうをかんじとろう 〇とどけよう このゆめを ♪メヌエット (共)ふじ山 (共)うさぎ	7	●せんりつの音の上がり下がりに気をつけて歌うことができる。 ●せんりつの音の上がり下がりに気をつけてきくことができる。 ●曲の山をかんじながら歌うことができる。 ●日本に古くからつたわるせんりつのよさをかんじとって歌うことができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、旋律の特徴を生かした表現に親しむ。
11	6.せんりつの 重なりをかんじとろう ♪か ね 〇歌おう 声高く (そだてよう)リコーダーのひくい音で あそぼう ◇メリーさんのひつじ	6	●せんりつの重なりを楽しみながら、きいたり歌ったりすることができる。 ●せんりつの重なりをきき合ってえんそうできる。	(1)曲想及びその変化と、音色、旋律、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞、歌唱、器楽の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の重なりに親しむ。
12 1	7.いろいろな音のひびきに親しもう ♪トランペットふきの休日 ♪よろこびの歌(参考曲) ◇パ フ ☆クロック ミュージック	9	●トランペットの音色に親しんできくことができる。 ●重なり合う音のひびきをかんじとりながら合奏できる。 ●「まほうの音楽」を入れて歌うことができる。 ●音のとくちょうを生かして音楽をつくることができる。	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、楽器の組合せや音の重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現に必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。

2	8.ちいきにつたわる音楽でつながろう ♪神田囃子「投げ合い」 (チャレンジ)ちいきにつたわる 祭りばやしを調べよう ☆ラドレの音で せんりつづくり	5	●祭りばやしのとくちょうをかんじとることができる。 ●3つの音で，自分たちのおはやしをつくることができる。	(1)曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりや、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音の上がり下がりを感じ取って、旋律をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を味わって聴いたりする。 (3)祭り囃子に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、郷土に伝わる音楽に親しむ。
3	9.思いを音楽で表そう ○帰り道 ◇エーデルワイス	6	●歌詞の表す様子を思いうかべながら、曲のかんじを生かして歌うことができる。 ●いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら合奏することができる。	(1)曲想と音色、旋律、フレーズなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)自分の思いを音楽で表現することへの興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、友達と協力して表現の工夫をする態度を育む。
年間	(巻末) ○歌いつごう 日本の歌 ・ゆりかごの歌/七つの子/どこかで春が ○みんなで楽しく ほしぞら おはよう おはよう に じ ゴー ゴー ゴー また あそぼ Head,Shoulders, Knees And Toes 友だち よろこびの歌 ゆかいなまきば ミッキーマウス マーチ ・国歌「君が代」	0	＊世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 ＊各校の実態に応じて，弾力的に扱うことのできる教材。	

計画時数 60 時間　　標準時数60時間

第4学年 音楽科 年間指導計画　　(1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	時	指導目標	評価規準
年間	(巻 頭) 気持ちを歌でとどけましょう			
4	1.音楽で心の輪を広げよう ○小さな世界 (そだてよう)リズムでなかよくなろう① (共)さくら さくら	4	●友だちと声を合わせて歌うことができる。 ●歌詞の表す様子を思いうかべながら、音楽のまとまりを大切にして歌うことができる。	(1)曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。
5	2.歌声のひびきを感じ取ろう ○◇いいこと ありそう ○◇風のメロディー ♪パパゲーノとパパゲーナの二重唱 (共)まきばの朝	7	●音の高さに気をつけながら,明るい声で歌うことができる。 ●リコーダーと歌声のひびきを合わせることができる。 ●2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取ることができる。 ●歌詞の表す様子を思いうかべながら、のびやかな声で歌うことができる。	(1)曲想及びその変化と、音色、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌声に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な歌声の響きに親しむ。
6	3.いろいろなリズムを感じ取ろう ◇クラッピング ファンタジー 第7番 楽しいマーチ (そだてよう)リズムでなかよくなろう② ◇○いろんな木の実 ♪ピーナッツ ベンダー(参考曲) ☆言葉でリズムアンサンブル	8	●手拍子のリズムアンサンブルを楽しむことができる。 ●リズムばんそうのおもしろさに注目して、えんそうしたり歌ったりすることができる。 ●くり返しや変化を使って,リズムアンサンブルをつくることができる。 ●ちいきにつたわる音楽をきくことができる。	(1)曲想とリズムなどの音楽の構造との関わり、言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、反復や変化、呼びかけとこたえを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3)拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろなリズムに親しむ。
7	4.ちいきにつたわる音楽に親しもう	3	●ちいきにつたわる音楽をきくことができる。	(1)曲想及びその変化と、音色、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付く。

	♪こきりこ (チャレンジ) ちいきにつたわるおどりやまいの音楽を調べよう			(2)日本の民謡の歌声や楽器の音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴く。 (3)日本の民謡や地域に伝わる音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、日本の民謡や地域に伝わる音楽の特徴やよさに親しむ。
8 9 10	5.せんりつのとくちょうを感じ取ろう ○ゆかいに歩けば ◇陽気な船長 ♪白 鳥 ♪堂々たるライオンの行進(参考曲) (共)とんび	8	●せんりつのとくちょうを生かして歌うことができる。 ●せんりつのとくちょうに合ったふき方でえんそうできる。 ●せんりつのとくちょうを感じ取りながらきくことができる。 ●せんりつのとくちょうを生かして歌うことができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴に捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の特徴に親しむ。
11	6.せんりつの重なりを感じ取ろう ○パレード ホッホー ♪ファランドール ◇オーラ リー (共)もみじ	9	●せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取ることができる。 ●せんりつが重なり合う美しさを感じ取ってえんそうできる。 ●声が重なり合う美しさを感じ取って歌うことができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の重なりに親しむ。
12	7.いろいろな音のひびきを楽しもう ☆打楽器の音楽 ♪ポロネーズ ♪茶色の小びん(参考曲) ◇茶色の小びん	8	●音のとくちょうに注目して、音楽をつくることができる。 ●フルートの音色を味わってきくことができる。 ●ゆたかなひびきを味わいながらえんそうできる。	(1)曲想とその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能、音楽づくりの技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)楽器の材質や音の出る仕組みに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。

1 2	8.日本の音楽でつながろう ♪こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」から ♪津軽じょんから節（参考曲）／ていんさぐぬ花（参考曲） (チャレンジ) ことをひいてみよう ☆「さくら さくら」の音階でせんりつづくり	5	●ことの音色に親しみながらきくことができる。 ●日本の音階のよさを感じ取りながら、せんりつをつくることができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、反復を用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。 (2)音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へ構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)日本の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、日本の楽器の音や音階に親しむ。
3	9.思いを音楽で表そう ○赤いやねの家 ◇鉄わんアトム ♪山の魔王の宮殿にて ♪朝の気分（参考曲）	8	●曲の気分を生かして歌うことができる。 ●曲の気分を感じ取って合奏できる。 ●音楽が表している様子を思いうかべながらきくことができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2)速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、曲に対する思いや曲のよさなどを、友達と共有する態度を育てる。
年間	(巻末) ○歌い継ごう 日本の歌 みかんの花さくおか／せいくらべ／みどりのそよ風 ○みんなで楽しく ごんぎつね いつだって! 林の朝 世界を旅する音楽室 花束をあなたに チャレンジ! Sing a rainbow 雨の公園 ハッピー バースデイ トゥ ユー スーパーカリフラジリスティック エクスピアリドーシャス ・国歌「君が代」	0	・世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 ・各校の実態に応じて，弾力的に扱うことのできる教材。	

計画時数 60 時間　　標準時数 60 時間

月	教材・単元 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	時	指導目標	評価規準
年間	(巻頭) 音楽と社会をつなぐテクノロジー 心をつなぐ歌声 ○ Believe	2	●表現する時に大切なことを知る。 ●年間を通して愛唱したり,歌う楽しさを味わったりする。	
4 5	1.歌声をひびかせて心をつなげよう ○すてきな一歩 (共)こいのぼり	4	●曲の感じを生かして,明るい声で歌うことができる。 ●曲の特徴を生かして,明るい声で歌うことができる。	(1)曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。
6	2.音の重なりを感じ 取ろう ◇小さな約束 ○いつでも あの海は ♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章	5	●リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏することができる。 ●歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱できる。 ●いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらきくことができる。	(1)曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能や、各声部の楽器の音や歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)楽器の音や歌声が重なり合う響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる音の重なりに親しむ。
7 8 9	3. いろいろな音のひびきを味わおう ◇リボンのおどり(ラ パンパ) ♪祝典序曲 ♪アフリカン シンフォニー(参考曲) ☆打楽器で リズム アンサンブル	8	●いろいろな楽器の音が重なり合うひびき味わいながら演奏することができる。 ●オーケストラのひびきに親しむことができる。 ●打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして,リズムアンサンブルをつくることができる。	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。

				(3)音を合わせて表現したり、オーケストラの音楽を聴いたりすることに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。
10 11	4. 和音のひびきの 移り変わりを感じ取ろう ◇○静かにねむれ ○こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore) ♪こげよ マイケル(参考曲) ☆「静かにねむれ」の和音で旋律づくり	6	●和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら歌うことができる。 ●和音のひびき移り変わりを感じ取りながら合唱できる。 ●和音のひびき移り変わりを感じ取りながら旋律をつくることができる。	(1)曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能や、呼びかけとこたえや変化など、これまで学んだ音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なり、和音の響き、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3)和音の響きやその移り変わりを感じ取る学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。
12 1 2	5. 曲想の変化を感じ取ろう ○夢の世界を ◇キリマンジャロ	5	●曲想の変化を感じ取って,明るい声で歌うことができる。 ●曲想を生かして合奏することができる 。	(1)曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)曲想の変化を感じ取る学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、他者と力を合わせて一つの音楽をつくり上げる態度を養う。
3	6. 詩と音楽の関わりを味わおう ♪待ちぼうけ ♪赤とんぼ(参考曲)／この道(参考曲) (共)冬げしき (共)スキーの歌	6	●詩と音楽との結び付きに気を付けて,日本語の歌曲を味わうことができる。。 ●歌詞の表す情景を思いうかべながら歌うことができる。 ●曲想を生かして歌うことができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。 (3)詩と音楽との結び付きについて考える学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本語の歌曲などに親しむ。

	7. 日本の音楽に親しもう ♪春の海 (共)子もり歌 ♪ソーラン節／かりぼし切り歌 ♪小さな淡黄色の馬（参考曲） (チャレンジ)日本の民謡めぐり	5	●曲想の変化を感じ取りながら、日本の楽器のひびきを味わいながらきくことができる。 ●日本の旋律の美しさを味わいながら歌うことができる。 ●音楽の特徴を感じ取りながら，日本の民謡をきくことができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。 (3)日本の音楽に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本の音楽のよさなどを味わう感性を育む。
	8.思いを表現に生かそう ◇威風堂々 ♪威風堂々 第1番 〇それぞれの空	5	●きいている人に，音楽のもり上がりが伝わるように演奏できる。 ●歌詞の表す気持ちを大切にして歌うことができる。	(1)曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能、各声部の楽器の音や歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)思いを表現に生かす活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。
年間	(巻末) 〇歌いつごう日本の歌 ちいさい秋みつけた／海 〇みんなで楽しく マイ バラード 地球へ 君は虹を見たかい? 小さな鳥の 小さな夢 失われた歌 大空がむかえる朝 ほたるの光 クラッピング ファンタジー 第4番 ギャラクシー ～銀河をこえて～ アフリカン シンフォニー 国歌「君が代」	4	●世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌の良さや楽しさを味わい，世代を超えて共有できる。 ＊各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材	

計画時数 50 時間　　標準時数 50 時間

第6学年 音楽科 年間指導計画

(1)知識技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	時	指導目標	評価規準
年間	(巻頭)音楽は人間の命の一部です (山田和樹さんからのメッセージ) 心をつなぐ歌声 ○つばさをください	2	○年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための教材。	
4 5 6	1.歌声をひびかせて心をつなげよう ○ペガサス (共)おぼろ月夜	5	●明るくひびきのある声で歌うことができる。 ●歌詞の表す情景を思いうかべながら,曲想にふさわしい歌声で歌うことができる。	(1)曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。
6 7 8 9	2.いろいろな音の ひびきを味わおう ♪木星 ◇ラバーズ コンチェルト ☆ボイスアンサンブル	7	●オーケストラのひびきを味わいながらきくことができる。 ●パートの役割や楽器の音色の特徴を生かして合奏できる。 ●声のひびきが重なるおもしろさを生かして,音楽をつくることができる。	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについての思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)いろいろな音色が重なって生まれる響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器の音色やオーケストラの響き、声の響きに親しむ。
9 10	3.和音のひびきや 音の重なりを 感じ取ろう ○星の世界 ◇雨のうた ☆「雨のうた」の和音で旋律づくり	9	●歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱することができる。 ●和音のひびきの美しさを味わいながら演奏できる。 ●旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくることができる。	(1)曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能、音楽の縦と横との関係などを用

				いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なり、和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3)和音の響きの違いや移り変わりを生かして表現したり、旋律をつくったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる和音の響きや音の重なりに親しむ。
11 12	4.曲想の変化を楽しもう ○思い出のメロディー ♪ハンガリー舞曲 第5番	4	●曲想の移り変わりを味わいながら，思いをこめて歌うことができる。 ●曲想の移り変わりを味わいながらきくことができる。	(1)曲想及びその変化と、強弱などの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想の移り変わりを味わいながら、歌ったり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる曲想の変化を味わう。
1 2	5.詩と音楽との関わりを 味わおう ♪花 ♪箱根八里（参考曲）／荒城の月（参考曲） (共)ふるさと (共)われは海の子	7	●言葉と旋律の美しさを感じ取りながら，日本の歌を味わうことができる。 ●人々が大切にしてきた歌を味わい，思いが伝わるように歌うことができる。 ●歌詞と曲想との関わりに気を付けて歌うことができる。	(1)曲想及びその変化と、旋律や強弱、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌詞と旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどを味わう学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる詩と音楽との関わりを味わう。
3	6.日本や世界の音楽に 親しもう (共)越天楽今様 ♪雅楽「越天楽」（参考曲） ♪世界の国々の音楽	4	●日本に古くから伝わる音楽に親しむことができる。 ●世界のいろいろな国の音楽に親しむことができる。	(1)曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。

				(2)音色、旋律、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本に古くから伝わる歌の特徴を生かして、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、日本や世界のいろいろな国の音楽のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)日本や世界のいろいろな国の音楽の特徴を味わう学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の音楽に親しむ。
	7. 音楽で思いを伝えよう ○きっと届ける ◇メヌエット ○街にだかれて	9	●曲想を生かして表情豊かに歌うことができる。 ●気持ちを合わせて、美しいひびきで演奏することができる。 ●曲想の変化を生かして、豊かなひびきで歌うことができる。	(1)曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)音楽で思いを伝える活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。
年間	(巻末) ○歌いつごう日本の歌 ・夏は来ぬ／浜千鳥 ○みんなで楽しく Wish ～夢を信じて いのちの歌 明日という大空 星空はいつも Edelweiss あおげばとうとし 旅立ちの日に そよ風のデュエット 木 星 風を切って Paradise Has No Border ・国歌「君が代」	3	○世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 ○各校の実態に応じて，弾力的に扱うことのできる教材。	

計画時数 50 時間　　標準時数 50 時間

第1学年　　図画工作　　年間指導計画

知・技（「知」知識　「技」技能）　**思・判・表**（「発」発想・構想　「鑑」鑑賞）　**主体的に学習に取り組む態度**（「主」）

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
4	すきなもの いっぱい	2	食べ物や乗り物、動物など好きなものをたくさん描く。	知	好きなものを描く活動を通して、クレヨンやパスなどの色に気づいている。
				技	クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	好きなものを思い浮かべ、表したいことを見つけたり、好きな色や画用紙の形を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	描くことの喜びを味わい、好きなものを思いつくままに、描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	おしえて みんなの すきなもの	2	自分や友達が描いたものを見せ合う。	知	自分や友達の描いた好きなものを見ることを通して、いろいろな形や色に気づいている。
				鑑	自分や友達の描いたものの造形的な面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、見方や感じ方を広げている。
				主	友達の描いた好きなものを見ることを通して、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	ねんどと なかよし	2	粘土を触ってたのしく活動する。	知	粘土に働きかける感覚や行為を通して、触った感じや形の変化に気づいている。
				技	丸める、のばす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。
				発	粘土を触った感じやそこから生まれる形をもとに、造形的な活動を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	粘土の触り心地を味わい、粘土でできる活動を考えたり、いろいろな形を見つける学習活動にたのしく取り組もうとしている。
5	すきなもの いろいろ あるね	2	土粘土に触れ合いながらつくりたいものをつくる。	知	いろいろな表し方から生まれる粘土の形に気づいている。
				技	粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	これまでの経験や想像したことをもとに、粘土でつくりたいことを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	粘土の心地よい感触を味わい、粘土で好きなものをたくさんつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				知	いろいろな材料を並べたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気づいている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
5	ならべて みつけて	2	材料の形や色をもとに発想し、材料の並べ方を考えながら活動する。	技	並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。
				発	いろいろな材料の形や色、大きさなどの特徴から、並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	いろいろな材料の形や色、大きさの並べ方やつなぎ方のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	いろいろな材料の形や色、大きさなどに関心をもち、好きな並べ方を見つける学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	チョッキン パッで かざろう	4	折った色紙を切って開くとできる形をつなげて飾る。	知	折り方や切り方によってできる形や色の組み合わせに気づいている。
				技	折り方や切り方などをさまざまに試しながら、工夫して表している。
				発	自分のイメージをもちながら、折り方や切り方、色の組み合わせなどについて、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	折り方や切り方、色の組み合わせによって、いろいろな形や色の感じがあることに関心をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
6	さわって まぜて きもちいい	2	手や指を使って絵の具で描くたのしさや気持ちよさを味わう。	知	手や指で描くことを通して、触った感じや絵の具の跡の形や色の違いに気づいている。
				技	手や指、体全体を動かす勢いや速さ、強さを変えるなど、手の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	手や指で思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことやものを見つけて、どのように表すか考えている。
				鑑	とろとろ絵の具の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	とろとろ絵の具の気持ちよさを味わい、手や指につけて描いたり塗ったりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	ひかりの くにの なかまたち	4	色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りをつくる。	知	材料や作品を光にかざすことを通して、光が透過する材料の形や色に気づいている。
				技	袋の形を考えたり、中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。
				発	材料の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の形や色の面白さ、たのしさなどについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	光を通した材料の美しさや面白さに関心をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				知	共同絵の具で表す線の跡や動きから、形や色などに気づいている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
7	すいすい ぐるーり	2	筆の軌跡や線の動きから、感じたことや思いついたことを自由に表す。	技	共同絵の具の扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	好きな色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	共同絵の具でのびのびと描く心地よさを味わい、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	スタンプぺったん	2	身近な材料を使って、形を見つけながらスタンプする。	知	いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色などに気づいている。
				技	手や体全体の感覚を働かせながら、スタンプをする活動を工夫してつくっている。
				発	身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。
				鑑	写された形や色から自分のイメージをもって、見ることをたのしんでいる。
				主	つくりだす喜びを味わい、スタンプをする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
8	あそぼうよ パクパクさん	2	手で動かして遊ぶおもちゃをつくる。	知	パクパクと動く様子から、つくりたいものを工作に表すことを通して、形や色などに気づいている。
				技	色画用紙や接着剤に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	パクパクと動く様子をもとにして、感じたことや、想像したことから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、パクパクと動く様子をもとにしてつくりたいものを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
9	こすりだしから うまれたよ	2	こすりだした模様の形や色から工夫して表現する。	知	凸凹をこすりだす活動を通して、クレヨンやパスで表される模様の形や色などに気づいている。
				技	クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	こすりだしをする活動を通して、見えてきた形や色から表したいことや表したいものを見つけて、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	クレヨンやパスで凸凹をこすりだす学習活動にたのしく取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	うきうきボックス	4	紙箱の形を変えたり飾りをつけたりしてつくりたいものをつくる。	知	箱の飾りつけを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、形や色に気づいている。
				技	箱の形や色を生かした飾りつけをするなど、表し方を工夫して表している。
				発	空き箱の形や色をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	箱の形や色を生かした飾り方の工夫について感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	空き箱を飾ることに関心をもち、空き箱で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
10	いろんな ともだち はなしだす	2	型押しをした紙粘土をもとに顔をつくる。	知	粘土を型押しすることを通して、できた形や色などに気づいている。
				技	型押しをすることや粘土べらを使ってつくることを通して粘土に慣れるとともに、表し方を工夫して表している。
				発	型押しでできた粘土の形から想像して、どのように表すか考えている。
				鑑	つくった友達でお話しすることから、造形的な面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	粘土で顔をつくったり、粘土の友達でお話ししたりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	だいすき！ わくわくペーパー	2	大きな紙の触り心地や大きさなどの特徴を感じながら体全体を使って活動する。	知	紙を優しく触ったり、歩きながら紙をなびかせたりして紙の特徴に気づいている。
				技	紙と仲良くできるいろいろな遊び方をして活動を工夫してつくっている。
				発	紙を使って、どのようにたのしく遊ぶか考えている。
				鑑	紙の大きさ、触った感じなどの面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	体全体を使って、紙で遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	ふわっと ぎゅっと おはながみの え	4	丸めたり、ちぎったりしたお花紙を、並べたり重ねたりして絵に表す。	知	材料の形を変えたり貼り重ねたりすることを通して、材料のもつ形や色、触った感じに気づいている。
				技	材料の特徴を生かした形のつくり方や重ね方、貼り方を試しながら、表したいことをもとに工夫して表している。
				発	貼り重ねた材料の形や色から表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	お花紙の面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
11	おしらせします！ にっこりニュース	4	たのしかったことやうれしかったことを絵に表す。	知	クレヨンやパスなどの身近な材料を使って描く活動を通して、表したいものの形や色に気づいている。
				技	クレヨンやパスの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	日常生活の中で感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を鑑賞することを通して、造形的な面白さやたのしさ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	日常の出来事をたのしく描き、友達に知らせる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
12	くしゃくしゃ だいへんしん	4	くしゃくしゃにした紙からつくりたいものを立体に表す。	知	色薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色などに気づいている。
				技	表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表している。
				発	くしゃくしゃにした色薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したものや表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	くしゃくしゃにした色薄紙から形を見つけて表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	ふわっ ふわっ ゴー	2	うちわであおぐと風で動くたのしいおもちゃを考えてつくる。	知	つくったり互いの作品で遊んだりすることを通して、飾りの形や色に気づいている。
				技	動きの特徴を生かした飾りをつけたり、模様を描いたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	風で動く仕組みや動きの特徴をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	互いの作品で遊ぶことを通して、動き方の面白さや飾りのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	風で動くおもちゃをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
1	つくって へんしん	4	さまざまな材料を選んだり組み合わせたりしながらつくり、身に付けてたのしむ。	知	変身グッズをつくることを通して、形や色などに気づいている。
				技	変身グッズのつくり方や飾りつけの方法などをいろいろ試しながら、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	自分が変身してみたいものに合わせた変身グッズを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の面白さやたのしさ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	変身したいものに合わせた変身グッズをつくることや、変身する学習活動にたのしく取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	できたらいいな こんなこと	4	できたらいいと思うことを考えて絵に表す。	知	絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれているものの形や色に気づいている。
				技	伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。
				発	経験したことや想像したことをもとに「やってみたいこと」を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	友達が想像した「ゆめのたしざん」のたのしさや、表し方のよさや違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	経験したことから自由に想像を広げて、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
2	はこと はこを くみあわせて	4	空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表す。	知	いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色に気づいている。
				技	紙箱の組み合わせ方や飾りつけ、接着の方法など、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	紙箱の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を鑑賞したり、作品で遊んだりすることを通して、造形的な面白さやたのしさ、表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	箱を組み合わせることで、いろいろな形ができることに関心をもち、箱を組み合わせてつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
3	ようこそ あたらしい 1ねんせい	6	友達と関わり合いながら自分の気持ちを伝える作品をつくって飾る。	知	伝えたい気持ちを表すために、思いついたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色に気づいている。
				技	はさみやのりなどの接着剤、ビニルや色紙などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	伝えたい気持ちから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、伝えたい気持ちを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。

年間授業時数　68時間

標準時数　68時間

第2学年　　図画工作　　年間指導計画

知・技（「知」知識　「技」技能）　**思・判・表**（「発」発想・構想　「鑑」鑑賞）　**主体的に学習に取り組む態度**（「主」）

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
4	すきなこと なあに	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	知	絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。
				技	表したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。
				発	経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の表したいことや表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。
				主	自分が好きなことを絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	こんにちは むぎゅたん	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	知	手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。
				技	粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。
				発	粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形のよさや面白さ、表し方などについて感じ取って、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	自分らしい「むぎゅたん」を表すことに関心をもち、粘土に積極的に働きかけながら立体に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
5	クレヨン、パスで らんらんランド	4	クレヨンやパスでぼかしたりひっかいたりして、感じたことや思いついたことを絵に表す。	知	ぼかしたり引っかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやパスで表す形や色に気づいている。
				技	いろいろな表し方を試したり組み合わせたりしながら、表し方を工夫して表している。
				発	クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。
				主	クレヨンやパスをぼかすことや引っかいたりすることで絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	さらさら どろどろ	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知	自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。
				技	砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。
				発	砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。
				主	砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	おはながみ かさねて すかして	4	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知	作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じや、重なったお花紙の形や色などに気づいている。
				技	お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	お花紙の触り心地や変化を味わいながら、飾りをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
6	つんで ならべて びっくりしタワー	2	粘土を積んだり並べたりしながら、つくりたいものをつくる。	知	見たことがない形の「びっくりしタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。
				技	粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。
				発	粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。
				鑑	互いの作品の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、つくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	ならべて 見つけて いろいろ色水	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知	色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときや並べたときの形や色に気づいている。
				技	いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。
				発	つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	自分や友達の活動の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	色水をつくったり並べたりすることに関心をもち、色水で思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
7	ふたりは なかよし	2	紙コップや紙づつを組み合わせて、二人組をつくる。	知	紙コップや紙づつなどの組み合わせを考えながら、形や色などに気づいている。
				技	手や体全体の感覚を働かせながら、自分の表したい二人組の表し方を工夫して表している。
				発	紙コップや紙づつの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	仲良しの二人組をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				知	動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	どうぶつさんと いっしょに	4	見たり遊んだりした動物を思い出して絵に表す。	技	表したいことをもとに描き方を工夫して表している。
				発	動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	動物との関わりを思い出して、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
8	ジャンプ！ キャッチ！ 紙けん玉	4	仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊ぶ。	知	紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。
				技	すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	けん玉をつくって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。
9	えのぐじま	2	筆をのびのびと動かして描きたい「えのぐじま」を描く。	知	筆をのびのびと動かして描くことを通して「えのぐじま」の形や色などに気づいている。
				技	筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら表し方を工夫して表している。
				発	「えのぐじま」などの言葉や絵の具の感触から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	絵の具で描かれた形や色などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	どんどん かわるよ 新聞紙	2	体全体を使って、新聞紙で活動する。	知	新聞紙に働きかけることを通して、変化する形などに気づいている。
				技	新聞紙を折ったり、ねじったり、裂いたりするなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。
				発	新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	さまざまに変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、自分の見方や考え方を広げている。
				主	新聞紙の触り心地を味わい、手や体全体で新聞紙に働きかけて変化させる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	ぎゅっとしたい！ わたしの「お友だち」	4	紙をもんで柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」をつくる。	知	紙をもんで柔らかくして「お友だち」をつくることを通して、紙の形や色などに気づいている。
				技	手や体全体の感覚を働かせ、紙を柔らかくして自分の表したい「お友だち」の表し方を工夫して表している。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
10				発	柔らかくなった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつき、形や色などどのように表すか考えている。
				鑑	「お友だち」の形や色、感触などについて、感じ取ったり味わったりし、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	自分の「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	えのぐ ひっぱレインボー	4	厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのばし、できた模様から絵に表す。	知	自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。
				技	絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。
				発	厚紙でのばした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表したいことなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、絵の具をのばして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
11	コップ くるくる チェンジ	2	紙コップに透明なコップを重ねて回転させることで絵が変化する仕組みから、表したいものをつくる。	知	紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づいている。
				技	仕組みを試しながら、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	仕組みから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を動かしたり見たりしながら、いろいろな表し方の面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	仕組みに関心をもち、表し方を考えながら、つくって動かす学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	たからもののものがたり	2	宝物が大切な理由を考えて、友達に伝える。	知	身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。
				技	自分の気持ちをカードに工夫して表している。
				発	身近なものにある思い出などから自分のイメージをもっている。
				鑑	身近にあるものの造形的な面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	身近にあるものに関わり、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	しぜんからのおくりもの	2	自然の材料を集め、つないだり組み合わせたりして活動する。	知	自然の材料を集め、並べたり組み合わせたりすることを通して、材料の形や色などに気づいている。
				技	自然の材料を並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせて、活動を工夫してつくっている。
				発	自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
12				鑑	活動によって表れた造形的な面白さやたのしさから、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	自然の材料の形や色に関心をもち、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	わくわく カッターナイフ	2	カッターナイフを使っていろいろな線を切る活動をする。	知	カッターナイフで紙を切ることを通して、切ってできた形や色に気づいている。
				技	安全で正しいカッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。
				発	カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	カッターナイフで紙を切る心地よさを味わい、紙を切る学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	まどのある たてもの	4	色画用紙や色造形紙をカッターナイフで切って窓を開けるなどして、建物をつくる。	知	カッターナイフで紙を切って窓や扉のある建物をつくることを通して、建物や窓や扉の形や色などに気づいている。
				技	カッターナイフの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。
				発	カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	カッターナイフで紙を切る快さを味わい、カッターナイフで紙を切って表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
1	あなで つながる 二つの せかい	4	画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表す。	知	穴でつながる二つの世界を描くことを通して、そこに生まれる形や色に気づいている。
				技	穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。
				発	穴でつながる二つの世界を想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	自分や友達の作品のよさを味わい、穴でつながる二つの世界を描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	たくさん うつそう わたしの 形	4	型紙をつくって並べ方や重なり方などを工夫して版画に表す。	知	版を写す活動を通して、写るものの形や色に気づいている。
				技	版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。
				発	たくさんあったら面白い形を考え、造形的な面白さやたのしさを感じながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
2				主	型紙版画の表現に関心をもち、版で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
	まごころメダルを プレゼント	4	紙粘土でメダルをつくって、気持ちを伝える。	知	紙粘土の型押しをしたり絵の具で着彩したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。
				技	紙粘土や絵の具の扱い方に慣れ、表し方を工夫して表している。
				発	贈る人のことを思い浮かべてメダルをイメージし、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	メダルをつくることを通して、気持ちを伝える学習活動にたのしく取り組もうとしている。
3	かぶって へんしん	6	お花紙を重ねて貼り、張り子のお面をつくって遊ぶ。	知	お面をつくったり、かぶったりすることを通して、お花紙でつくるお面の形や色などに気づいてる。
				技	お花紙や身近な材料などの扱いに十分に慣れるとともに、紙の貼り方を工夫して表している。
				発	なりたいもののイメージを広げて、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	お面をつくることやかぶることを通して、造形的な面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつくってかぶって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。

年間授業時数　70時間　　標準時数　70時間

第3学年　　図画工作　　年間指導計画

知・技（「知」知識　「技」技能）　**思・判・表**（「発」発想・構想　「鑑」鑑賞）　**主体的に学習に取り組む態度**（「主」）

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
4	絵の具と水のハーモニー	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。	知	筆の動かし方や水の量を変えて描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。
				技	水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。
				発	絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	描く心地よさを味わい、いろいろな描き方を試して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	ふわふわ空気つんで つなげて	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知	膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。
				技	膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。
				発	膨らませたビニル袋を積んだりつなげたりしながら活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。
				鑑	膨らませたビニル袋の形や色、感触、場所などの感じについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。
5	生まれかわったなかまたち	4	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	知	材料に触れたり変化させたりして表す形や色の組み合わせの感じがわかっている。
				技	材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	材料を変化させて表す形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。
				主	材料を変化させて表すことに関心をもち、立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
				知	カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。
				技	これまでの経験を生かし、紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ってたのしいものの表し方を工夫して表している。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
6	カラフルねん土でマイグッズ	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	発	カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	つくったものを生活の中で使うことから、形や色のよさや美しさ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくる喜びを味わい、カラフル粘土で使ってたのしむものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
	かげのへんしん	2	友達と協力して、身のまわりの影を変化させることや影のよさを味わうことをたのしむ。	知	影との関わりを通して、影の形や変化した感じがわかっている。
				技	見つけた影をもとに、影をつけたしたり組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
				発	影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	さまざまな影のよさや面白さを味わい、自分の見方や考え方を広げている。
				主	友達と協力しながら、影を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。
7	光サンドイッチ（選択）	4	色セロハンなどをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	知	光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっている。
				技	光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりして表し方を工夫して表している。
				発	光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したい飾りを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	光を通した材料の形や色に着目し、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	光を通したときの材料や飾りの美しさ味わい、飾りをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
	はこの中の世界（選択）		箱や紙粘土を工夫して使いながら、表したい世界をつくる。	知	箱や紙粘土などの材料を扱ったり、形を変えたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっている。
				技	箱や紙粘土などの材料やはさみなどの用具を適切に扱うとともに、これまでの経験を生かしながら表し方を工夫して表している。
				発	紙や箱の形から表したい世界を想像して、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を鑑賞することを通して、材料や表し方の工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	材料を選んだり、表し方を工夫したりして、箱の中の世界をつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
				知	粘土の削ったりつけたりする行為を通して、粘土でできる形の感じがわかっている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	けずってつけて わたしたちの形	2	粘土を削ったりつけたりしながら、表したいことを思いつき、立体に表す。	技	手や指、道具を使い、粘土の表し方を工夫して表している。
				発	削ったりつけたりしながら、どんな形にしたいか、どのように表すか考えている。
				鑑	いっしょにつくっている友達の作品や、他のグループの作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、削ったりつけたりして立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
8	すきな色で すてきな花を	2	身のまわりにある花に注目し、感じたことをもとに、好きな色の絵の具で描く。	知	好きな色の絵の具を選び、身のまわりにある花を絵に表すことを通して、表れる形や色などの感じがわかっている。
				技	表したい感じに合わせて、絵の具の色の組み合わせや、筆の動かし方を工夫して表している。
				発	花の形や色、匂いなど、感じたことをもとに、自分の表したい花の形や色を見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	絵の具の色の組み合わせ方や筆の動かし方の工夫によって表れる形や色などのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	描く心地よさを味わい、好きな色で花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
9	にじんで広がる ものがたり	4	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	知	クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっている。
				技	にじみでできる形や色やそれらの組み合わせをいろいろ試して、表し方を工夫して表している。
				発	にじみでできた形や色の感じから自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品を見て、よさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	にじみを生かして自分の世界を表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	ようこそ！ アミアミワールド	2	網を使って場所を生かした活動をする。	知	網に触れたり、場所に関わったりしながら、その形や色などの感じがわかっている。
				技	網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
				発	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	自分や友達の活動のよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	友達と協力しながら、網を使った学習活動に進んで取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
10	このカタチ へんしんすると	2	同じ形の表と裏で絵が変身するクイズをつくって友達とたのしむ。	知	表と裏で絵が変身するクイズを通して、同じ形でも見る人によって違って見えるおもしろさに気づき、形や色の感じがわかっている。
				技	表したいクイズの絵に合わせて、描き方を工夫して表している。
				発	見方を変えることから描きたい絵の裏の絵を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	クイズを通して、友達の作品の表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	友達のアイデアや作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。
	みんなでつくろう ねん土ランド	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	知	粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土でできる形の感じがわかっている。
				技	握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土の表し方を工夫して表している。
				発	粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、表したい「ねん土ランド」を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	つくりながら自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。
				主	自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土でつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
11	ためしてあそんで マグネット	4	磁石と身近な材料で、磁石の働きを生かしたおもちゃをつくる。	知	磁石の働きをもとに箱や色紙など身辺材料を組み合わせながら、形や色などの組み合わせの感じや動きの特徴がわかっている。
				技	箱や色紙などの材料や用具を適切に扱うとともに、手や体全体を十分に働かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	箱や色紙、身辺材料などの組み合わせ方や磁石の特徴から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、動きや形や色などを生かしながらどのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、磁石の働きを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
	未来にタイムスリップ （選択）		将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	知	夢をかなえた瞬間を思い浮かべ、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっている。
				技	描画材料を使った経験を生かし、夢をかなえた瞬間の場面に合わせて表し方を工夫している。
				発	自分が夢をかなえた場面を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
12		4		主	自分の夢を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	ふしぎな乗りもの （選択）		身近なものがどんな乗り物になったら面白いか考えて、絵に表す。	知	不思議な乗り物を絵に表すことを通して、身近なものの形や色の感じがわかっている。
				技	不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。
				発	身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。
				鑑	形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	想像を膨らませることに関心をもち、不思議な乗り物を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。
	トントンくぎ打ち コンコンビー玉	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。	知	金づちを使って釘を打ったり、材料を打ちつけたりしながら、形や色の感じがわかっている。
				技	釘や金づちを適切に扱い、釘の打ち方や材料のつけ方を工夫して表している。
				発	ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、転がるとたのしい仕組みを考えている。
				鑑	自分や友達がつくったコースで遊び、それぞれのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。
				主	釘を打つ感触を味わい、友達と協力して、コースをつくったりつくったコースで遊んだりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
1	えっへん！ わたしが主人公です	2	絵画に描かれた架空の生き物の中から気に入った生き物を選び、感じたことや、想像したことを描き、考えたことを友達と話し合う。	知	ジョアン・ミロの「耕作地」に描かれた架空の生き物を主人公にして絵を描きながら、形や線、色などの感じがわかっている。
				技	気に入った架空の生き物の表し方を工夫して表している。
				発	気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えたり、絵を描いたりしている。
				鑑	気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、自分の見方や考え方を広げている。
				主	想像をしたことを描いたり、友達と互いの考えを話し合ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
	のこぎりザクザク つないでつけて	4	角材をたくさんのこぎりで切り、木片を組み合わせてつくりたいものをつくる。	知	のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっている。
				技	のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切れの組み合わせ方を工夫して表している。
				発	切ってできた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせて表すか考えている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
2				鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	木の感触を味わい、のこぎりで角材を切り、木片を組み合わせてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
	うつしてふえるよ でこぼこさん	4	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	知	身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかっている。
				技	身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インクの色の組み合わせ方や写し方を工夫して表している。
				発	「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したものから想像を広げたりしている。
				鑑	友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	身近な材料の凹凸に関心をもち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
3	わくわく！ スーパーランドセル （選択）	6	ランドセルの中の世界を想像し、思いついたことを段ボールで表す。	知	ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、材料の形や色などの感じがわかっている。
				技	ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	ランドセルの中の様子について想像したことから材料などを生かし、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達のランドセルの工夫や造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	自分や友達の作品のよさやつくりだす喜びを味わい、想像の世界をランドセルの中に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	みんなで オン・ステージ （選択）		空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知	空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。
				技	箱や角材などの材料や用具を適切に扱い、これまでの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したい弦楽器に合わせて表し方を工夫して表している。
				発	輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空き箱や容器の特徴から感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、弦楽器づくりをしたり友達と演奏したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。

年間授業時数　60時間

標準時数　60時間

第4学年　　図画工作　　年間指導計画

知・技（「知」知識　「技」技能）　**思・判・表**（「発」発想・構想　「鑑」鑑賞）　**主体的に学習に取り組む態度**（「主」）

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
4	いろいろ絵の具研究所	2	身近なものを使って絵の具遊びをして、絵に表す。	知	身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。
				技	身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、表し方を工夫して表している。
				発	思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	造形的なよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	いろいろな用具を使って絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。
	はる はる はる絵	2	折り紙、包装紙、布などを切って貼りながら、思いついたことを絵に表す。	知	紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色などの感じがわかっている。
				技	材料を切って並べる、重ねるなど表し方を工夫して表している。
				発	いろいろな材料の形や色、質感などの違いやよさから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	材料の形や色の組み合わせや配置のよさや美しさを味わい、貼り絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
5	紙パックでパックパク	4	四角い筒に棒材をつけた動く仕組みの動きを生かし、動くおもちゃをつくる。	知	四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかっている。
				技	テープや接着剤などを適切に扱い、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫して表している。
				発	仕組みの動きから表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	互いの作品で遊びながら、造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	動く仕組みを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
5	むすんで つないで	2	身近な場所に枝を結び付けたりひっかけたりして、思いついた活動をする。	知	身近な場所を使って枝をつなげ、思いついたことをする活動を通して、形や色などの感じがわかっている。
				技	身近な場所を使って枝を結んだりひっかけたりつなげたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
				発	枝と枝をつなげることでできる場所の変化をもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	造形的なよさやいろいろな表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。
				主	友達と協力して、枝を結んで場所を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。
6	木々を見つめて	4	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知	身近にある木々を見たり触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。
				技	色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて、表し方を工夫して表している。
				発	身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに自分のイメージをもちながら、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	身近にある木々に関心をもち、自分なりの木を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。
7	自然の色 どんな色	2	自然が描かれた作家の絵を見て、形や色から感じ取ったことについて対話する。	知	身近な美術作品を鑑賞することを通して、形や色などの感じがわかっている。
				鑑	身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、自然が描かれた美術作品を鑑賞する学習活動に進んで取り組もうとしている。
	つないで組んで すてきな形	4	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	知	紙バンドを触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかっている。
				技	ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を工夫して表している。
				発	形や色などの感じから飾ったり使ったりするものを思いつき、どのように表すか考えている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	紙バンドの特徴を生かして使ったり飾ったりするものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
8	お気に入りの形	2	粘土の形を変えながら、気に入った形を見つけて写真を撮ったり、つくり変えたりすることを繰り返し、立体に表す。	知	粘土をさまざまな触り方をすることで粘土でできる形の感じが変わる特徴について、自分の感覚や行為を通してわかっている。
				技	表したいことに合わせて手や指、手のひらなどの使い方を工夫して表している。
				発	自分がお気に入りだと感じる形のイメージをもちながら、さまざまな触り方や形を見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	友達の作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	粘土のよさを味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。
9	ちかごろむちゅうです（選択）	4	身近にあるたのしみを絵に表し、伝え合う。	知	身近な出来事を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。
				技	これまでの描画材料の経験を生かして、伝えたいことに合わせて表し方を工夫している。
				発	生活の中から絵に表したい場面を見つけて形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の表したいことやいろいろな表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	身近にあるたのしみを絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	小さくなって遊びにいこう（選択）		小さくなって身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す。	知	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、形や色などの感じがわかっている。
				技	表したい様子が伝わるように、表し方を工夫している。
				発	小さくなった自分が身のまわりのもので遊ぶ様子を想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	友達のアイデアや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
				主	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
10	どろどろカッチン （選択）	4	布を液体粘土で固めた形を生かして、立体に表す。	知	材料で型を組んだり布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっている。
				技	布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫して表している。
				発	固まった布の形から自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	液体粘土の感触を味わい、固めた布から思いついたものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
	直線と曲線から 生まれる形 （選択）		割り箸と竹ひごを組み合わせて、紙を貼って、思いついたものを立体に表す。	知	割り箸と竹ひごを組み合わせることを通して、線と面の形などの感じがわかっている。
				技	思いついたことに合わせて、つなげる、貼る、色を塗るなど、表し方を工夫して表している。
				発	材料をつなげて立体をつくることから表したいことを見つけ、線と面の形を生かしながらどのように表すか考えている。
				鑑	線と面を組み合わせた構成と形、色のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	線と面の組み合わせや形や色のよさを味わい、割り箸と竹ひごで組み合わせて表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	わくわくランドで遊ぼう	2	身近な場所を生かしてたのしい遊び場をつくる活動をする。	知	活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色の感じがわかっている。
				技	見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、身辺材料と組み合わせた感じを生かして活動を工夫してつくっている。
				発	場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	アトラクションを互いに見せ合ったり遊んだりして、よさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	友達と協力して、身近な場所や自然材料を生かしてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
11	学校もりあげますコット （選択）	4	学校生活を応援してくれたり手伝ってくれたりするマスコットをカラフル紙粘土で立体的につくる。	知	紙粘土に絵の具を混ぜてカラフル粘土をつくり、マスコットを表すことを通して、形や色などの感じがわかっている。
				技	表したいマスコットに合わせて、紙粘土の形や色を工夫して表している。
				発	学校の場所やもの、学校生活での経験などからイメージを広げ、表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の発想、表し方の工夫や違いに気づき、見方や感じ方を広げている。
				主	マスコットをつくったり飾って見せ合ったりして伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。
	本を開くと お気に入りの場面 （選択）	4	本のお気に入りの場面を段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合ってたのしむ。	知	お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。
				技	表したい場面に合わせて、形や色、紙粘土や段ボールなどの使い方やつくり方などを工夫して表している。
				発	物語を読んで、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や登場人物の気持ちなどから、表したいことを思いつき、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいか考えている。
				鑑	友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	お気に入りの場面を表し、伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。
12	飛び出すハッピーカード	4	友達や家族に伝える飛び出すカードをつくり、気持ちを伝える。	知	飛び出す仕組みのカードをつくる活動を通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。
				技	飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて形や色や組み合わせ方を工夫して表している。
				発	贈る相手のことを思い浮かべて表したいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。
				鑑	互いのカードの工夫やよさに気づき、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくったカードで気持ちを伝える学習活動に進んで取り組もうとしている。
				知	彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	ほった線から はじまるお話	4	はじめに版木に彫刻刀で彫った線から広げたイメージを木版画に表す。	技	彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。
				発	彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい話を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
1	紙の箱だいへんしん	2	切ったり、組み合わせたりして紙の箱を変身させ、表したいものを考えて飾りをつくる。	知	紙の箱を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。
				技	紙の箱の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫して表している。
				発	紙の箱を切ったり折ったりして形を変えながら表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしてどのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品やその表現の過程などにおいて、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表現の工夫などを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	紙の箱を切って組み合わせて表現したり、作品を鑑賞したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
	へんてこ山の物語	4	「へんてこ山」の形から想像してお話を考えながら、絵に表す。	知	「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。
				技	描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を工夫して表している。
				発	へんてこな形から表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の「へんてこ山」のよさやおもしろさ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	描く喜びを味わい、想像の世界を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	カクカク板を 組み合わせたら	4	のこぎりで切った板を組み合わせ、使ってたのしいものをつくる。	知	のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色、組み合わせの感じがわかっている。
				技	板を切ったり補助的な材料を組み合わせたりしながら、組み合わせた形やその使い方を工夫して表している。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
2				発	切った板の形や組み合わせからイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	板をさまざまな形に切り分けて自分のつくりたいものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
	みんなでたのしい だんボールランド	2	段ボールと場所をもとに、友達と協力して活動をする。	知	段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっている。
				技	段ボールや段ボールカッターを適切に扱い、段ボールを組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなど、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
3				発	段ボールや広い場所などをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	自分や友達の活動の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	つくりだす喜びを味わい、友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
	ゆめいろランプ	4	透明容器と光を通す材料を組み合わせて、ランプをつくってみんなで飾る。	知	光を通す材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の感じがわかっている。
				技	用具を適切に使い、光を通す材料の形や色、その組み合わせ方などを表したいことに合わせて工夫して表している。
				発	映る光の影の形や色、材料を切ったり重ねたりして想像したことなどから表したいことを見つけ、形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	材料を透過する光のよさや面白さなどを味わい、ランプをつくって、みんなで飾る学習活動に進んで取り組もうとしている。

年間授業時数　60時間

標準時数　６０時間

第５学年　　図画工作　　年間指導計画

知・技（「知」知識　「技」技能）　**思・判・表**（「発」発想・構想　「鑑」鑑賞）　**主体的に学習に取り組む態度**（「主」）

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
4	季節を感じて	4	季節から感じたことを絵に表す。	知	自分がもった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解している。
				技	描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、自分がもった季節のイメージを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
5	のぞくと広がる ひみつの景色 （選択）	4	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	知	「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を工作に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。
				技	さまざまな材料を適切に活用するとともに、これまでの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	ビー玉大ぼうけん （選択）		ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	知	コースのしかけによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。
				技	玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。
				発	玉の転がり方をもとにしかけを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
				鑑	作品で遊び、友達のコースの面白さやしかけの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、コースターをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
6	線から生まれた わたしの世界 （選択）	2	いろいろな線の描き方や重ね方を試し、表したいことを絵に表す。	知	いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。
				技	表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。
				発	線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	思いのままに線で表す喜びを味わい、線で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	動きの形を つかまえよう （選択）		人の動きや形をとらえて絵に表す。	知	人の動きを見たりそれを描いたりすることから、人の動きや形を理解している。
				技	表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして表し方を工夫して表している。
				発	動きや形から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさや特徴などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	人の動きをとらえることをたのしみ、いろいろな表し方をして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	ねん土で動きを ハイ、ポーズ！ （選択）		粘土で動き出しそうな人物を立体に表す。	知	粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解している。
				技	粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。
				発	人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
		2		主	粘土の触り心地を味わい、人の動きを粘土で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	ぺたんこねん土でつくってみると（選択）		板粘土をつくり、それを立たせたり丸めたりしながら表したいことを立体に表す。	知	板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解している。
				技	切ったりひねったりつけたしたりするなどして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を工夫して表している。
				発	板粘土を巻いて丸めたり立てたりしてできた形をもとにイメージを広げ、表したい形を見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の表し方のよさや面白さを味わいながら表現の特徴を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	板粘土でできる形の変化のよさを味わい、粘土で形をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
7	だんボールでためしてつくって	4	段ボールの特徴を生かして、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	知	段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。
				技	段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。
				発	段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	段ボールの加工の工夫や作品のよさを互いに感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	段ボールの特徴を生かしてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
8	見つけてワイヤーワールド（選択）		針金の特徴を生かして、立体的に表す。	知	針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。
				技	針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。
				発	針金を曲げたりつないだりすることからイメージを広げ、つくりたい形を考えている。
				鑑	作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
9		6		主	針金に手を加えながらつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	くるくる回して （選択）		クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる。	知	クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解している。
				技	身辺材料などを活用するとともに、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、表し方を工夫して表している。
				発	動きやバランスをもとに、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように主題を表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などついて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、クランクの仕組みを使って動くおもちゃをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	コロコロ ローラーダンス	2	ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。	知	ローラーを使って表すことを通して、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさなどを理解している。
				技	ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。
				発	ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
10	重ねて広がる形と色	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す。	知	版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。
				技	彫り進み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷る色など表し方を工夫して表している。
				発	彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけ、どのように表現するか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
11				主	彫り進み版画の活動に関心をもち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	進め！ 糸のこたん検隊	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせてつくる。	知	板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。
				技	電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。
				発	形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこで切り、板材を組み合わせてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
12	地球まるごと たからばこ (選択)	2	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	知	自然の材料と場所との組み合わせから、自然や材料の形や色、空間などを理解している。
				技	これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。
				発	材料を集めたり、場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考えあわせながら活動することを考えている。
				鑑	身近な場所と自然の材料の組み合わせから，変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	この空間がいい感じ (選択)		学校のさまざまな場所にビニルひもを使ってつなぐことで空間を変化させる活動をする。	知	ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよいと思うものに変えることを通して、形や色、場所や空間を理解している。
				技	表したい空間になるようにビニルひもの使い方など活動を工夫してつくっている。
				発	ビニルひもで場所と場所とをつなぐことでできる空間の変化をもとに自分のイメージをもち、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	造形的なよさやいろいろな表し方の特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
				主	友達と協力して、ビニルひもで空間を変化させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1	学校おすすめガイド （選択）	4	学校の中で見つけたすてきなものやことを絵に描いて伝える。	知	自分なりの見方や感じ方を働かせておすすめのものやことを絵で紹介する活動を通して、形や色などを理解している。
				技	おすすめしたいものやことの感じが伝わるように、描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的にを生かし、表し方を工夫して表している。
				発	学校の中からおすすめしたいものやことを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	友達の表現の意図や表し方の工夫などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	学校の中でおすすめしたいものやことを見つけて、絵に表して伝え合う学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	あったらいい町 どんな町 （選択）		あったらいいな、行ってみたいなと思う町を想像して絵に表す。	知	絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。
				技	想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。
				発	あったらいいなという町を具体的に想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	想像を広げる喜びを味わい、想像の町を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
2	わたしの町のひみつ教えます	2	町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う。	知	作品に描かれている町の様子を見て、形や色など理解している。
				鑑	町の作品から、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	互いの感じ方のよさや違いを味わい、町の作品を鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				知	オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	動いてクレイアニメーション （選択）	6	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくってたのしむ。	技	お話をもとに、キャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫して表している。
3				発	キャラクターからお話を想像して表したいことを思いつき、動かし方やコマのつながりをどのように表すか考えている。
				鑑	友達の作品の表現の意図や特徴、動かし方による違いなどについて、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	友達とアイデアを出し合い、協力してクレイアニメーションをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	おもしろかんばん屋さん （選択）		学校のことをたのしくわかりやすく伝える看板をつくる。	知	身のまわりの看板や展示する看板の形や色などを理解している。
				技	段ボールを活用し、これまでの材料や用具などの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	看板にして伝えたいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、学校のことを伝え合う看板をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。

年間授業時数　50時間

標準時数　50時間

第6学年　　図画工作　　年間指導計画

知・技（「知」知識　「技」技能）　**思・判・表**（「発」発想・構想　「鑑」鑑賞）　**主体的に学習に取り組む態度**（「主」）

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
4	紙が奏でる形と色のハーモニー	2	色画用紙を切り抜いたり重ね合わせたりして、絵に表す。	知	紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解している。
				技	色画用紙やカッターナイフを適切に活用するとともに、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	形や色、奥行き、色の鮮やかさなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、紙を切って重ねたり組み合わせたりして絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	絵のお話でプレゼント	4	友達と協力してお話と絵を考えて紙芝居をつくり、伝えることをたのしむ。	知	グループで協力し、１年生に伝わるお話を絵に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。
				技	描画材料を活用し、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	形や色などをもとに、自分のイメージをもちながら、感じたことや、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、グループで協力し、１年生に伝わるお話を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
5	いつもの学校が変身（選択）	2	学校内の環境や場所の形を生かして、来校者がたのしくなるものやことを考えてつくる活動をする。	知	見慣れた場所に新たな材料を組み合わせることを通して、動きや奥行きを理解している。
				技	材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方など活動を工夫してつくっている。
				発	異なる材料や場所との組み合わせから表したいものを見つけ、どのように活動するか考えている。
				鑑	自分や友達の活動の造形的なよさや表現の意図を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	友達と力を合わせて活動する喜びを味わい、場所を変身させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
		2		知	天井や壁などに光と水のゆらめきを反映させる組み合わせ方や机や椅子の配置を考え、光の色の鮮やかさや奥行きを理解している。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	ゆらめき ファンタジーワールド （選択）		普段使っている教室や廊下を光と水を組み合わせることで、友達と協力して場所を変化させる活動をする。	技	光と水のゆらめきがよりよく見える組み合わせや環境づくりなど、活動をを工夫してつくっている。
				発	水にあてる光の角度を考えたり、場所に合わせて光と水の置き方を変えることから表したいことを思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	光と水のゆらめきの美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	友だちと協力して、光と水を組み合わせて表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
6	すかして重ねて わたしの光 （選択）	4	紙と光の特徴を生かして、自分が表したいランプをつくる。	知	LEDライトと固さや光の透け方が違う紙の組み合わせから、光と影の美しさや奥行きを理解している。
				技	LEDライトや紙の特徴を生かして、紙の切り方や組み合わせ方などを試しながら、表し方を工夫して表している。
				発	紙の透かし方や重ね方を試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品から、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	光と影の美しさを味わいながら、ランプをつくったり友達と飾ったりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	心も動き出す からくリンク （選択）		リンク機構を生かした動く仕組みから、表したいものをつくる。	知	リンク機構を生かした動く仕組みを使って表すことを通して、動きやバランスついて理解している。
				技	はとめや割りピン、画用紙や工作用紙を活用して、形や色などの表し方を工夫して表している。
				発	リンク機構を生かした動く仕組みをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	友達の作品からよさや美しさ、つくった人の思いを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	動く仕組みの作品をつくりだす喜びを味わい、仕組みを生かして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
7	不思議なとびらの むこうには （選択）	4	身近なものが不思議な扉になることを想像して不思議な扉の向こうに広がる世界を表す。	知	身近なものを不思議な扉として表すことを通して、二つの世界の形や色の造形的な特徴を理解している。
				技	表したい二つの世界を表す描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	不思議な扉からイメージを広げて表したいことを見つけ、その世界の形や色、構成など、どのように表すか考えている。
				鑑	身のまわりのものや友達の作品を鑑賞することから、造形的なよさや表現の意図を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、二つの世界を描く学習活動に主体的に取り組もうとしている。
				知	お気に入りの場所を描くことを通して、身のまわりの風景の奥行きや色の鮮やかさを理解している。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
	わたしのお気に入りの場所 （選択）		学校内外のお気に入りの場所を絵に表す。	技	気持ちや思いが伝わるように、描画材料を選び、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表し方を工夫して表している。
				発	お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを深め、どのように主題を表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品について、どんな思いで描いたのかについて考えたり伝え合ったりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	お気に入りの場所を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
8	わたしの二つの気持ち （選択）	4	表したい気持ちを組み合わせて絵に表す。	知	気持ちを表現する活動を通して、形や色の組み合わせやバランスを理解している。
				技	表したい感じに合わせて材料や用具を活用し、表し方などを工夫して表している。
				発	気持ちに自分なりのイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	友達の作品を鑑賞することを通して、表現の意図や特徴を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	心を開いて自分の気持ちを表現するたのしさを味わい、二つの気持ちを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
9	見て感じて わたしの表現に （選択）		芸術家の作品を鑑賞し、気に入った表現方法を自分の絵にも取り入れて表したいことを絵に表す。	知	芸術家の表現を取り入れて絵に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。
				技	水彩絵の具やクレヨン、パス、カラーペンなどを活用するとともに、これまでの描画材料などの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表している。
				発	自分のイメージをもちながら、感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	つくりだす喜びを味わい、芸術家の表現を取り入れて絵に表す活動に主体的に取り組もうとしている。
	形の中に入ってみると （選択）		自分自身が作品の中に入り込んだつもりになることを手がかりに想像を広げ、粘土で立体に表す。	知	形の中に入り込むという感覚を通して、形がつくる空間を理解している。
				技	粘土の特徴を生かし、表し方を工夫して表している。
				発	形の中に入り込んで表す形の特徴をもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	友達の作品や街にあるモニュメントやオブジェなどからよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化など感じ取ったり、考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
		2		主	作品の世界に入り込む喜びを味わい、粘土で形を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	ねん土の板から 生み出す形 （選択）		粘土の板を切ったり組み合わせたりして、表したいことを立体に表す。	知	粘土の板を切ったり組み合わせたりすることから、立体の美しさやバランスを理解している。
				技	粘土を切ったり曲げたりねじったりしたものを、表したいものに合わせて、組み合わせ方を工夫して表している。
				発	粘土の板を切ったり形づくったりしながら自分なりのイメージをもち、表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的な美しさやバランスなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	粘土の板を組み合わせながら表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	墨の達人	2	筆やさまざまな用具を使って、墨のよさを生かして、表したいことを絵に表す。	知	墨で描くことを通して、にじみやかすれ、動きやバランス、色の感じなどを理解している。
				技	表したいことに合わせて墨の技法や用具による効果を選んだり、組み合わせたりして表し方を工夫して表している。
10				発	墨の技法や用具によってできる形の感じなどから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の工夫したところ、表し方の違いやよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	墨のよさを味わい、墨で描く学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	墨や筆の技 水墨画の世界へ	2	墨や筆のいろいろな技に注目して水墨画を鑑賞して、感じたことを話し合う。	知	雪舟の『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞する活動を通して、墨の濃さの違いによる形や色など、水墨画の造形的な特徴を理解している。
				鑑	『四季山水図（山水長巻）』を鑑賞して、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	気づいたことや感じたことを話し合うことから、自他の感じ方の違いを味わい、鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	金属と木でチャレンジ	6	金属と木の特徴を生かして、それらを組み合わせて、飾るものをつくる。	知	異なる材料の組み合わせて表すことを通して、生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。
				技	材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫して表している。
11				発	異なる材料の組み合わせから表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品のよさや面白さ、材料の使い方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	自他の作品のよさを味わい、異なる材料の組み合わせによって表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
12	ためして刷って 広がる思い	4	これまでに経験した版画やスチレンボードの特徴を生かして、版に表す。	知	版による表現を通して、形や色の組み合わせと、そこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。
				技	版による表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫して表している。
				発	さまざまな方法を試しながら自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品から表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	版による表現方法のよさを味わい、スチレンボード版画に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1	白くなったら見える 世界	6	身辺材料を液体粘土などで白く固めた形の組み合わせから、表したい白い世界を立体に表す。	知	液体粘土で固めてできた形の組み合わせをいろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。
				技	液体粘土で固めた材料の特徴を生かして、置き方や表し方を工夫して表している。
				発	液体粘土で白くした形の組み合わせをいろいろな角度から見ながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
				主	液体粘土や身辺材料の手触りや変化を味わい、白く固めた形から思いついた世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
2	わたしはデザイナー 12さいの力で (選択)	8	生活がたのしく便利になるものをつくる。	知	生活がたのしく便利になるものをつくることを通して、形や色、奥行きやバランスなどを理解している。
				技	これまで学んできたことを生かして、材料や用具の使い方を工夫し、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
				発	使う場面を思いうかべながら、板材で生活がたのしく便利になるものを思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑	表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。
				主	生活がたのしく便利になるものをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
3	ドリーム カンパニー (選択)		「夢の新製品」を友達と協力して考え、これまで学んだ既習事項を生かして工作に表す。	知	夢の新製品をつくることを通して、形や色など造形的な特徴を理解している。
				技	表現方法に応じて身近な材料を活用し、表現に適した方法などを組み合わせ、表し方を工夫して表している。
				発	夢の新製品として表したいものを見つけ、どのように主題を表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。

月	教材・単元	時間数	指導目標	観点別評価規準	
				主	つくりだす喜びを味わい、あったらいいなと思う新製品をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。

年間授業時数　50時間

標準時数　50時間

第５学年　家庭科　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	学んで変わるよ　わたしたち/この教科書の見方・使い方/目次	1	●これまでの自分の成長を自覚し、なりたい自分をイメージしたり、よりよい家庭生活について考えたりして２学年間の学習の見通しをもつことができる。	◇自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づいている。 ○自分の成長や家族・家庭生活について、２学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	１ 毎日の生活を見つめてみよう		●毎日の生活を見つめて、生活を支える家族の仕事にはどのような種類があるかがわかり、どのように取り組んだらよいのかを考えることができる。	◇生活を支える家庭の仕事にはどのような種類があるかわかる。 □家庭の仕事にどのように取り組んだらよいか考えている。
	①　毎日の生活を見つめよう	0.5		○毎日の生活を見つめ、意欲的に家庭の仕事を見つけようとしたり、どのように取り組んだらよいかを考えたりしている。
	②　生活を支える家庭の仕事	0.5		
5	２　クッキングはじめの一歩			○ゆでる調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○ゆでる調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。
	①　なぜ調理をするのだろう	1	●調理の手順や加熱用調理器具の安全な取り扱い方がわかり、湯をわかしてお茶をいれることができる。	◇加熱用調理器具の安全な扱い方がわかり、湯をわかして、お茶をいれることができる。
	②　ゆでて食べよう	4	●青菜のゆで方がわかり，ゆでることができる。 ●じゃがいものゆで方がわかり，ゆでることができる。	◇調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱い及び、加熱調理器具の安全な取り扱い、材料に応じた洗い方、調理に適した切り方やゆで方、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。 □おいしく食べるために、ゆでる調理の仕方について問題を見出し、課題を設定している。
	③　ゆでておいしい料理をつくろう	3	●必要な材料や手順を考え、調理計画を立てることができる。 ●調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。	◇調理に必要な材料の分量や手順がわかり、調理計画について理解している。 ◇材料に適したゆで方について理解しているとともに、適切にできる。 □おいしく食べるために，ゆでる調理の調理計画について考え、工夫している。
6	３ ソーイングはじめの一歩			
	①　なぜ針と糸でぬうのだろう	0.5	●この題材でできるようになること、製作するものなどを具体的に知り、見通しをもって取り組む。。	◇手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに，適切にできる。
	②　どのような用具や方法でぬうのだろう	4.5	●玉結びと玉どめの役割と作り方がわかり，適切な位置に適切な大きさの玉結び・玉どめを作ることができる。 ●なみ縫い・返し縫いの仕方がわかり、適度な大きさで縫うことができる。 ●それぞれの縫い方の特徴から、その用途を考える。 ●ボタン付けの仕方がわかり、じょうぶにボタン付けをすることができる。 ●かがり縫いの仕方がわかり、適度な大きさで縫うことができる。	□練習縫いをする中で、糸の準備の仕方やそれぞれの縫い方の特徴をつかみ、適切に縫うためにはどうしたらよいか考えて取り組んでいる。 ○手縫いによる目的に応じた縫い方について、自らの課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○手縫いによる目的に応じた縫い方について課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ○手縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。
	③　手ぬいを生活に生かそう	3	●自分の生活を豊かにするための小物を考え、作り方の手順を考え、見通しをもって製作できる。 ●自分の製作を振り返って、できるようになったことやこれからもっとやってみたいことなどを考える。	◇製作に必要な材料や手順がわかる。 ◇手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 □生活を豊かにするための布を用いた物の製作に習得した技能を適切に用いてよりよい方法を考えながら取り組んでいる。
7	４　整理・整とんで快適に			
	①　なぜ整理・整とんをするのだろう	1	●整理・整とんの仕方について問題を見いだして課題を設定する。	□整理・整頓の仕方について問題を見出して課題を設定している。
	②　整理・整とんをしよう	2	●住まいの整理・整とんの仕方を理解するとともに，それに係る技能を身に付ける。 ●住まいの整理・整とんの仕方について課題の解決に向	◇住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、適切にできる。 ○住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。

			けて主体的に取り組もうとする。。 ●環境に配慮した物の使い方について理解する。	
	③ 身の回りを快適で安全にしよう	1	●整理・整とんの仕方について，実践に向けた一計画を考え、工夫する。 ●課題の解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現する。 ●整理・整頓の仕方について、工夫し、実践しようとする。 ●整理・整頓の仕方について、実践を評価したり、改善したりする。 ●課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする。	□整理・整頓の仕方について実践に向けた計画を考え、工夫している。 □整理・整頓の仕方についての課題の解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 □整理・整頓の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ○整理・整とんの仕方について，工夫し、実践しようとしている。 ○整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
9	5 できるよ，家庭の仕事			
	① 自分にできる仕事を見つけよう	0.5	●学んだことをふり返って自分にできる仕事を見つけ、実行の計画を立てる。	□学んだことを生かして、自分なりの仕事の工夫を考えて計画を立てている。 ○課題に向かって意欲的に取り組んでいる。
	② 工夫して仕事をしよう	0.5		
	③ 続けよう、家庭の仕事	1	●自分の仕事として，工夫しながら続けることができる。	□仕事を工夫して実践したり、実践をふり返り改善しようとしたりしている。 ○自分の仕事を続けている。
9 10	6 ミシンで楽しくソーイング			
	① ミシンぬいのよさは何だろう	0.5	●身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき，ミシンに関心をもち，ミシン縫いの特徴がわかる。	□生活を豊かにするために布を用いた物の製作（ミシン縫い）について問題を見い出して課題を設定している。
	② ミシンの使い方を知ろう	4.5	●ミシンの安全な使い方を知り，ミシンの準備やから縫いができる。	◇ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切にできる。
	③ ミシンを使って製作しよう	6	●ミシンを使って布を用いて製作するものを考え，製作計画を立てて製作し，活用することができる。	◇製作に必要な手順や材料がわかり、製作計画について理解している。 ◇ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 □生活を豊かにするために、布を用いた製作について、製作計画を考え工夫している。 □生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ○ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題可決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ○ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。
10 11 12	7 食べて元気に			
	① なぜ毎日食事をするのだろう	0.5	●なぜ食事が必要なのかに気づく。	◇食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。 食事の役割や大切さを理解している。
	② ご飯とみそ汁を作って食べよう	9.5	●ご飯とみそ汁作りのための米やみその特徴がわかる。 ●炊飯の仕方を理解するとともに、技能を身に付ける。 ●和食の基本となるだしや、みそ汁の調理の仕方を理解するとともにみそ汁作りの技能を身に付ける。 ●ご飯とみそ汁の二品を同時に仕上げることができるように、ご飯とみそ汁作りの計画を立てる。 ●ご飯とみそ汁作りの課題を解決しておいしいご飯とみそ汁の調理をする。 ●食品の栄誉的な特徴について課題の解決に向けて主体的に取り組み、五大栄養素の種類と体内での働きがわかる。 ●食品に含まれている栄養素の主な働きにより、食品を	◇米飯及びみそ汁が日本の伝統的な日常食であることを理解している。 ◇日本の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ◇米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ◇みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ◇体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ◇食品の栄養的な特徴について理解している。 □おいしく食べるために米飯及びみそしるの調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。

			3つのグループに分けることができる。	□おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画について考え、工夫している。 □おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について実践を評価したり、改善したりしている。
	③ 日常の食事に生かそう	1	●栄養を考えた食事やご飯とみそ汁の調理のしかたについてふり返り、生活を工夫し、実践しようとする。	□おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ○伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ○伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について工夫し、実践しようとしている。
1	8 生活を支える物やお金			
	① 物やお金の使い方を考えよう	1	●消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解する。	◇消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解している。
	② 買い物の仕方を考えよう	2	●物や金銭の計画的な使い方について理解する。	◇物や金銭の計画的な使い方について理解している。
			●買い物の仕組みについて理解する。	◇買い物の仕組みについて理解している。
		3	●身近な物の選び方、買い方について理解する。	◇身近な物の選び方，買い方について理解している。
			●購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに適切にできる、それに係る技能を身に付ける。	◇購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに，適切にできる。
			●身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。	○身近な物の選び方・買い方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
	③ これからの生活に生かそう		●身近な物の選び方、買い方について、問題を見いだして課題を設定している。	□身近な物の選び方・買い方について問題を見いだして課題を設定している。
			●身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。	□身近な物の選び方・買い方について考え、工夫している。 考え、実践を評価したり，改善したりしている。
			●身近な物の選び方、買い方について工夫し、実践しようとしている。	□身近な物の選び方・買い方について、実践を評価したり，改善したりしている。
			●身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。	○身近な物の選び方・買い方について工夫し、実践しようとしている。
			●身近な物の選び方、買い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○身近な物の選び方・買い方について，課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
2	9 着方の工夫で快適に			
	① なぜ衣服を着るのだろう	0.5	●生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。	○生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
	② 衣服の働きを知ろうろう	1.5	●衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じたに日常着の快適な着方について理解する。	◇衣服の主な働きがわかり，季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。
	③ 快適で安全な着方を工夫しよう	1	●日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	□日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
			●生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。	○生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
3	10 暖かい住まい方で快適に			
	① 住まいはなぜ必要なのだろう	0.5	●寒い日を快適に過ごすために、工夫していることに気づく。	◇住まいの主な働きがわかり、季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。

				○快適な住まい方ついて、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
	② 暖かく快適な住まい方を考えよう	1.5	●寒い季節の住まい方について課題を見いだし，快適に過ごすための工夫を考えることができる。	◇季節の変化に合わせた住まい方について理解している。 □季節の変化に合わせた住まい方について問題を見いだして課題を設定している。
	③ 暖かく快適な住まい方を工夫しよう	1	●自分の生活に合わせて工夫し，快適な住まい方を実践することができる。	□季節の変化に合わせた住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題を可決する力を身に付けている。 ○快適な住まい方について課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
3	１１ いっしょにほっとタイム			
	① ほっとするのは，どのようなときだろう	0.5	●家族や周囲の人々とのふれ合いや団らんに関心をもち、その大切さがわかる。	◇家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。 □家族とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。
	② ほっとタイムの計画を考えよう	0.5	●家族や周囲の人々とのふれ合いや団らんを楽しくすることや，自分の思いの伝え方について計画を考えたり，工夫したりする。	□家族とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。
	④ 続けよう！いっしょにほっとタイム	1	●家族や周囲の人々、自分に身近な人とのふれ合いや団らんをふり返って考えたことを話し合い、これからの自分の生活の中で生かすことを考え、工夫することができる。	□家族とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ○家族とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○家族とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ○家族とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。

年間授業時数　６０　時間　　標準時数（　６０　時間）

第６学年　家庭科　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	1　生活時間をマネジメント			
	①　時間をどのように使っているだろう	0.5	●自分がどのように時間を使ってるかをふり返り、課題を見つけて、有効な時間の使い方を考える。	□自分の時間の使い方の課題を見つけ、解決方法を工夫し、有効な時間の使い方を考えている。
	②　課題を見つけて時間をマネジメントしてみよう	1.5		
		1	●時間の使い方を工夫して生活するとができる。	◇生活時間を工夫しを有効に使うことで、自分や家族の生活が円満に営まれているとを理解している。
	③　続けよう！生活時間のマネジメント			○生活時間の課題解決に向けて意欲的に取り組んだり、時間の使い方を工夫して生活しようとしたりしている。
4	2　できることを増やしてクッキング	0.5	●「いためる調理」の特徴を知り、おいしくいためるための課題を設定するとができる。	□おいしく食べるために、いためる調理の仕方について問題を見だして、課題を設定している。
5	①　「ゆでる調理」と「いためる調理」は何がちがうのだろう	6	●野菜をおいしくいためるための調理計画を考え、工夫することができる。	◇調理に必要な用具の安全な取り扱いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに適切にできる。
	②　いためる調理でおかずをつくろう		●材料に適したいため方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	◇材料に適した切り方やいため方について理解しているとともに適切にできる。
			●いためる調理のしかたについて、実践を評価したり改善たりすることができる。	□おいしく食べるめにいためる調理の調理計画ついて考え、工夫している。
			●いためる調理に必要な用具の安全な取り扱い、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに適切にできる。	□おいしく食べるめに、いためる調理の調理計画や調理の仕方について実践を評価したり改善したりしている。
		1.5	●食事の役割がわかり、朝食を食べることの大切さについて理解することができる。	○材料に適したいため方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
	③　朝食を食べよう		●材料に適したいため方や朝食に合うおかず作りついて工夫し、実践しようとしている。	○材料に適したいため方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
				○材料に適したいため方や朝食に合うおかず作りについて工夫し，実践しようとしている。
6	3　クリーン作戦で快適に	1	●住まいの清掃の必要性に気づき，清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定することができる。	□清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定している。
	①　なぜそうじをするのだろう		●場所ごとの汚れの種類や特徴を調べ，まとめることができる。	
		2	●汚れやごみの種類，その場所に合った清掃の仕方・用具を考えて計画を立て，工夫をして掃除をすることができる。	◇住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。
	②　よごれに合ったそうじをしよう		●汚れの特徴に合った洗剤を選び、環境に配慮しながら、安全に使用することができる。	□清掃の仕方について、様々な解決方法を考え、実践に向けた計画を立て、工夫している。
				□清掃の仕方について実践を評価・改善している。
		1	●学校内の清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動をふり返って評価・改善することができる。	○清掃の仕方について，課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
	③　身の回りを快適にしよう		●学校での実践をもとに、家庭での実践を考え、家庭生活を快適にしようとする。	○清掃の仕方について，課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
				○家族の一員として、生活をよりよくしようと清掃の仕方について工夫し，実践しようとしている。
6	4　衣服の手入れで快適に	0.5	●生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。	○生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
7	①　なぜ手入れをするのだろう	2.5	●日常着の手入れが必要であることを理解する。	◇日常着の手入が必要であることや、洗濯の仕方を理解しているとともに、洗濯が適切にできる。
	②　衣服の手入れをしよう		●洗濯の仕方を理解できる。	
			●洗濯が適切にできる。	
		1	●日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	□日常着の手入の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	③　手入れの工夫を調べよう		●生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返っ	○生活をよりよくしようと、日常着の手入について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

			て改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。	
7	5　すずしい住まい方で快適に ①　健康で快適な住まいとは ②すずしく快適な住まい方を考えよう ③生活快適プランを考え、生活に生かそう	1 2 1	●暑い季節を快適に過ごすために、工夫していることに気づく。 ●暑い季節の住まい方ついて課題を見いだし、快適に過ごすための工夫を考えることができる。 ●自分の生活に合わせて生活快適プランを考え、快適な住まい方を実践しようとすることができる。	◇健康で快適な住まい方の大切さを理解している。 ○快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ◇すずしく快適な住まい方について理解している。 □暑い季節の住まい方について問題を見いだして課題を設定している。 □快適な住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題解決する力を身に付けている。 ○快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
9 10	6　ソーイングで生活を豊かに ①　どのようなふくろが使いやすいだろう ②　目的に合ったふくろを作ろう ③　作ったふくろで生活を豊かに	0.5 9.5 1	●身近な布のふくろについて関心をもち、使う目的に応じた工夫を見つけることができる。 ●布を用いたふくろの製作ついて問題を見いだして課題を設定することができる。 ●自分の作りたいふくろの材料や手順がわかり、製作計画を立てることができる。 ●用具の安全な取り扱いを理解し、布を裁断し、正しくしるしをつけることができる。 ●製作計画をもとに、縫い方や手順を考え、工夫して製作ることができる。 ●製作計画や製作の仕方について評価したり、改善したりして、生活をよりよくする工夫を考えることができる。	□生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について問題を見いだして課題を設定している。 ◇製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解している。 ◇手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに適切にできる。 □生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作について考え、工夫している。 □生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践を評価したり改善したりしている。 □生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫ついての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現している。 ○生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ○生活を豊かにするための布を用いた物の製作について工夫し、実践しようとしている。
11 12	7　こんだてを工夫して ①　料理や食品をどのように組み合わせて食べるとよいだろう ②　１食分のこんだてを立てよう ③工夫して毎日の食生活に生かそう	1 2 7	●１食分の献立の栄養バランスについて問題を見いだして課題を設定するとができる。 ●献立を構成する要素がわかり、１食分の献立作成方法について理解するとができる。 ●１食分の献立の栄養ランスについて考え、工夫することができる。 ●栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。 ●１食分の献立作成やおいしく食べるめの調理の仕方ついて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする。 ●１食分の献立作成やおいしく食べるための調理の仕方について課題解決に向けた一連の活動について、考えたとをわかりやすく表現することができる。 ●家族の一員して、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事やおいしく食べるための調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。	□１食分の献立の栄養バランスについて、問題を見いだして課題を設定している。 ◇献立を構成する要素がわかり、１食分の献立作成の方法について理解している。 □１食分の献立の栄養バランスについて考え、工夫している。 ○栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。 ◇材料に適したゆで方やいため方を理解し適切にできる。 □１食分の献立作成やおいしく食べる調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことをわかりやすく表現している。 ○家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事やおいしく食べるための調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善しようとしたり、生活を工夫し、実践しようとしている。
1 2	8　共に生きる地域での生活 ①　地域の人たちとの関わりを見つめよう ②　地域の人たちとかかわり行動してみよう	1 2	●家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることがわかり，地域の人々との協力が大切であることが理解できる。 ●地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定したり、課題の解決に向けて「地域かかわりプロジェクト」の計画を立て、実践したりす	◇家庭生活は人々との関わりで成り立っていることがわかり，地域の人々との協力が大切であることを理解している。 □地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見出して課題を設定している。 □地域の人々とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を

			ることができる。	考え、工夫している。
	③　地域の人たちと共に生きよう	2	●「地域かかわりプロジェクト」の実践をふり返って実践計画を評価・改善し、地域の人々と、よりよく関わっていくために考えたことを表現し、家族や地域の人々との関わりについて生活を工夫しようとしている。	○地域の人々とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 □地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 □地域の人々とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ○地域の人々とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ○地域の人々とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。
2	9　持続可能な社会のために ①　生活と環境の関係を考えよう ②　生活と資源の関係を考えよう ③　生活の中で取り組もう	1 1 1	●自分の生活と身近な環境が相互に関係していることに気づく。 ●人や環境に配慮した、資源としてのものの扱い方を理解し、日頃の生活においても自分ができそうな工夫を考えることができる。 ●持続可能な社会構築の視点から、今後自分も家庭生活の中で取り組む内容や生活の工夫について考えることができる。	◇自分の生活と身近な環境が関係していることに気づく。 □環境に配慮した生活について考えられる。 ◇地球の資源やエネルギーを効率よく循環させることの重要性を理解している。 □身近な生活でできる、人や環境に配慮した工夫について考えられている。 □生活を見直し、資源やエネルギーの使い方について問題を見いだし、課題解決の方法を考えている。 ○持続能な社会の構築の視点から、自らの家庭生活をふり返り、よりよい生活の仕方を工夫しようとしている。
3	2年間の学習をふり返って，中学校につなげよう	1	●2年間の学習をふり返り，できるようになったことを確認する。 ●中学校での学習に興味をもち，意欲を高める。	◇2年間の家庭科学習で学んだことの活用の仕方を理解している。
3	生活の課題と実践 ①課題・計画 ②発表	1 1	●家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，計画を立てて実践し，評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ●家族の一員として，生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。	□家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりの中から問題を見いだして課題を設定している。 □家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けて、よりよい生活にするための解決方法を考え，計画を工夫している。 □家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて実践した結果を評価したり改善したりしている。 □家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について，考えたことをわかりやすく説明したり改善したりしている。 ○家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ○家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ○家族や地域の一員としてよりよい生活にするために、家庭の仕事または地域の人々との関わりを工夫し実践しようとしている。

年間授業時数　55時間　　標準時数（ 55時間）

第１学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4. 5	体つくりの運動遊び	6	●運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，体を動かす心 地よさを味わったり，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりするこができるようにする。	◇体ほぐしの運動遊びでは，手軽な運動遊びを行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりすることができる。 ◇多様な動きをつくる運動遊びでは，体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □楽しくできる体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
4・5・6	走・跳の運動遊び	8	●走の運動遊び（走や投の運動遊び）の楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●走の（投の）簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇走の運動遊びの行い方を知るとともに，いろいろな方向に走ったり，低い障害物を走り越えたりすることができる。 （◇投の運動遊びの行い方を知るとともに，遠くに力いっぱい投げることができる。）・・・加えて扱うことができる。 □自己に適した運動遊びの場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □感想や動きのポイント，友達のよい動きを書いたり，発表したりしている。 ○走の運動遊び（や投の運動遊び）に進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守ったり，誰とでも仲よく練習や競走（争）をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
	表現リズム遊び	6	●表現遊びやリズム遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，題材になりき ったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 ●身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりすることができる。	◇表現遊びの基本的な行い方を知り，身近な題材の特徴を捉え，全身で踊ることができる。 ◇リズム遊びの基本的な行い方を知り，軽快なリズムに乗って踊ることができる。 □身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫している。 □よい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○表現遊びやリズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ○誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○場の設定や使った用具の片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊ろうとしている。

第１学年　体育科　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

6・7	水遊び	15	●水の中を移動する運動遊びやもぐる・浮く運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身 に付けることができるようにする。 ●水の中を移動したり，もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫すると ともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができる。	◇水の中を移動する運動遊びの行い方を知り，水につかって歩いたり走ったりすることができる。 ◇もぐる・浮く運動遊びの行い方を知り，息を止めたり吐いたりしながら，水にもぐったり浮いたりすることができる。 □簡単な遊び方や場を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○水の中を移動する運動遊びやもぐる・浮く運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○プールサイドは走らない，プールに飛び込まないなどの水遊びの心得を守ろうとしている。
8・9	走・跳の運動遊び	3	●走の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●走る簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇走の運動遊びの行い方を知るとともに，いろいろな方向に走ったり，低い障害物を走り越えたりすることができる。 □自己に適した運動遊びの場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □感想や動きのポイント，友達のよい動きを書いたり，発表したりしている。 ○走の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守ったり，友達と仲よく練習や競走（争）をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
9	体つくりの運動遊び	3	●体の基本的な動きを身に付けることができるようにする。 ●多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりするこができるようにする。	◇体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
9	器械・器具を使っての運動遊び	4	●固定施設や鉄棒を使った運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●固定施設や鉄棒を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達 に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇固定施設を使った運動遊びの行い方を知り，登り下りや懸垂移行，渡り歩きや跳び下りをすることができる。 ◇鉄棒を使った運動遊びの行い方を知り，支持しての揺れや上がり下り，ぶら下がりや易しい回転をすることができる。 □楽しくできる場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり，学習カードに書いたりしている。 ○固定施設や鉄棒を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よく運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○器械・器具の使い方や置き方などの場の安全に気を付けている。

10	器械・器具を使っての運動遊び	9	●マットや跳び箱を使った運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●マットや跳び箱を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇マットを使った運動遊びの行い方を知り，いろいろな方向への転がり，手で支えての体の保持や回転をすることができる。 ◇跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り，跳び乗りや跳び下り，手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすることができる。 □楽しくできる場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり，学習カードに書いたりしている。 ○マットや跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よく運動しようとしている。 ○マットや跳び箱の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○マットや跳び箱の使い方や置き方などの場の安全に気を付けている。
10 ・ 11	ゲーム	6	●鬼遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲーム をすることができるようにする。 ●簡単な規則を工夫したり，攻め方を選んだりするとともに，考えたこと を友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇鬼遊びの行い方を知るとともに，一定の区域で逃げる，追いかける，陣地を取り合うなどの簡単な規則で鬼遊びをしたり，工夫した区域や用具で鬼遊びをしたりすることができる。 □提示された簡単な遊び方や規則の中から，楽しく鬼遊びができる場や得点の方法など，自己に適した遊び方や規則を選んでいる。 □少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり，走り抜けたりする行い方について，動作や言葉で友達に伝えている。 ○鬼遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具等の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
11 ・ 12	体つくりの運動遊び	8	●体の基本的な動きを身に付けることができるようにする。 ●多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
11 ・ 12	表現リズム遊び	4	●表現遊びやリズム遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，題材になりき ったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 ●身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりすることができる。	◇表現遊びの基本的な行い方を知り，身近な題材の特徴を捉え，全身で踊ることができる。 ◇リズム遊びの基本的な行い方を知り，軽快なリズムに乗って踊ることができる。 □身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫している。 □よい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○表現遊びやリズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ○誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○場の設定や使った用具の片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊ろうとしている。

12	ゲーム	6	●ボールゲームの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲーム をすることができるようにする。 ●簡単な規則を工夫したり，攻め方を選んだりするとともに，考えたこと を友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇ボールゲームの行い方を知るとともに，簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって，易しいゲームをすることができる。 □ゲームの場や規則の中から，楽しくゲームができる場や得点の方法など，簡単な遊び方，自己に適した場や規則を選んでいる。 □ボールを捕ったり止めたりするときに行 った工夫を，動作や言葉で友達に伝えている。 □ボールが飛んだり，転がったりしてくる コースに入ることについて，友達のよい動きを動作や言葉で友達に伝えている。 ○ボールゲームに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，友達と仲よくゲームをしようとしている。 ○用具等の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
1 ・ 2	体つくりの運動遊び	12	●体の基本的な動きを身に付けることができるようにする。 ●多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
2	走・跳の運動遊び	6	●跳の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●跳ぶ簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇跳の運動遊びの行い方を知るとともに，前方や上方に跳んだり，連続して跳んだりすることができる。 □自己に適した運動遊びの場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □感想や動きのポイント，友達のよい動きを書いたり，発表したりしている。 ○跳の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守ったり，誰とでも仲よく練習や競走（争）をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
3	ゲーム	6	●ボールゲームを楽しく行い，その動きができるようにする。 ●簡単な規則を工夫したり，攻め方を選んだりするとともに，考えたこと を友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇ボールゲームの行い方を知るとともに，簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって，易しいゲームをすることができる。 □ゲームの場や規則の中から，楽しくゲームができる場や得点の方法など，簡単な遊び方，自己に適した場や規則を選んでいる。 □ボールを捕ったり止めたりするときに行 った工夫を，動作や言葉で友達に伝えている。 □ボールが飛んだり，転がったりしてくる コースに入ることについて，友達のよい動きを動作や言葉で友達に伝えている。 ○ボールゲームに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，友達と仲よくゲームをしようとしている。 ○用具等の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けようとしている。

年間授業時数 102 時間　　標準時数（102 時間）

第２学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4・5	体つくりの運動遊び	9	●運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，体を動かす心 地よさを味わったり，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体ほぐしの運動遊びでは，手軽な運動遊びを行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりすることができる。 ◇多様な動きをつくる運動遊びでは，体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □楽しくできる体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
5・6	走・跳の運動遊び	8	●走の運動遊び(走や投の運動遊び)の楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●走の(投の)簡単な遊び方をを工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇走の運動遊びの行い方を知るとともに，いろいろな方向に走ったり，低い障害物を走り越えたりすることができる。 (◇投の運動遊びの行い方を知るとともに，遠くに力いっぱい投げることができる。)・・・加えて扱うことができる。 □自己に適した運動遊びの場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □感想や動きのポイント，友達のよい動きを書いたり，発表したりしている。 ○走の運動遊び(や投の運動遊び)に進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守ったり，誰とでも仲よく練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
5・6	表現リズム遊び	6	●表現遊びやリズム遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，題材になりき ったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 ●身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりすることができる。	◇表現遊びの基本的な行い方を知り，身近な題材の特徴を捉え，全身で踊ることができる。 ◇リズム遊びの基本的な行い方を知り，軽快なリズムに乗って踊ることができる。 □身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫している。 □よい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○表現遊びやリズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ○誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○場の設定や使った用具の片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊ろうとしている。

第２学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

6 ・ 7	水遊び	15	●水の中を移動する運動遊びやもぐる・浮く運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身 に付けることができるようにする。 ●水の中を移動したり，もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫すると ともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができる。	◇水の中を移動する運動遊びの行い方を知り，水につかって歩いたり走ったりすることができる。 ◇もぐる・浮く運動遊びの行い方を知り，息を止めたり吐いたりしながら，水にもぐったり浮いたりすることができる。 □簡単な遊び方や場を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○水の中を移動する運動遊びやもぐる・浮く運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○プールサイドは走らない，プールに飛び込まないなどの水遊びの心得を守ろうとしている。
9	走・跳の運動遊び	3	●走の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●走る簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇走の運動遊びの行い方を知るとともに，いろいろな方向に走ったり，低い障害物を走り越えたりすることができる。 □自己に適した運動遊びの場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □感想や動きのポイント，友達のよい動きを書いたり，発表したりしている。 ○走の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守ったり，友達と仲よく練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
9	体つくりの運動遊び	3	●体の基本的な動きを身に付けることができるようにする。 ●多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり， 場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
9	器械・器具を使っての運動遊び	4	●固定施設や鉄棒を使った運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●固定施設や鉄棒を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達 に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇固定施設を使った運動遊びの行い方を知り，登り下りや懸垂移行，渡り歩きや跳び下りをすることができる。 ◇鉄棒を使った運動遊びの行い方を知り，支持しての揺れや上がり下り，ぶら下がりや易しい回転をすることができる。 □楽しくできる場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり，学習カードに書いたりしている。 ○固定施設や鉄棒を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よく運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○器械・器具の使い方や置き方などの場の安全に気を付けている。

第２学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

10	器械・器具を使っての運動遊び	9	●マットや跳び箱を使った運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●マットや跳び箱を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇マットを使った運動遊びの行い方を知り，いろいろな方向への転がり，手で支えての体の保持や回転をすることができる。 ◇跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り，跳び乗りや跳び下り，手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすることができる。 □楽しくできる場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり，学習カードに書いたりしている。 ○マットや跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よく運動しようとしている。 ○マットや跳び箱の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○マットや跳び箱の使い方や置き方などの場の安全に気を付けている。
10 ・ 11	ゲーム	6	●鬼遊びびの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲーム をすることができるようにする。 ●簡単な規則を工夫したり，攻め方を選んだりするとともに，考えたこと を友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇鬼遊びの行い方を知るとともに，一定の区域で逃げる，追いかける，陣地を取り合うなどの簡単な規則で鬼遊びをしたり，工夫した区域や用具で鬼遊びをしたりすることができる。 □提示された簡単な遊び方や規則の中から，楽しく鬼遊びができる場や得点の方法など，自己に適した遊び方や規則を選んでいる。 □少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり，走り抜けたりする行い方について，動作や言葉で友達に伝えている。 ○鬼遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具等の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
11 ・ 12	体つくりの運動遊び	8	●体の基本的な動きを身に付けることができるようにする。 ●多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり， 場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
11 ・ 12	表現リズム遊び	4	●表現遊びやリズム遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，題材になりき ったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 ●身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりすることができる。	◇表現遊びの基本的な行い方を知り，身近な題材の特徴を捉え，全身で踊ることができる。 ◇リズム遊びの基本的な行い方を知り，軽快なリズムに乗って踊ることができる。 □身近な題材の特徴を捉えて踊ったり，軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫している。 □よい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○表現遊びやリズム遊びに進んで取り組もうとしている。 ○誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○場の設定や使った用具の片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊ろうとしている。

第２学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

12	ゲーム	6	●ボールゲームの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲーム をすることができるようにする。 ●簡単な規則を工夫したり，攻め方を選んだりするとともに，考えたこと を友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇ボールゲームの行い方を知るとともに，簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって，易しいゲームをすることができる。 □ゲームの場や規則の中から，楽しくゲームができる場や得点の方法など，簡単な遊び方，自己に適した場や規則を選んでいる。 □ボールを捕ったり止めたりするときに行 った工夫を，動作や言葉で友達に伝えている。 □ボールが飛んだり，転がったりしてくる コースに入ることについて，友達のよい動きを動作や言葉で友達に伝えている。 ○ボールゲームに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，友達と仲よくゲームをしようとしている。 ○用具等の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
1 ・ 2	体つくりの運動遊び	12	●体の基本的な動きを身に付けることができるようにする。 ●多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり， 場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体のバランスをとったり移動をしたりするとともに，用具の操作する動きや力試しの動きをすることができる。 □多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 ○多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
2	走・跳の運動遊び	6	●跳の運動遊びの楽しさに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●跳ぶ簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をし たり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇跳の運動遊びの行い方を知るとともに，前方や上方に跳んだり，連続して跳んだりすることができる。 □自己に適した運動遊びの場や簡単な遊び方を選んでいる。 □友達のよい動きを見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 □感想や動きのポイント，友達のよい動きを書いたり，発表したりしている。 ○跳の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守ったり，誰とでも仲よく練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けようとしている。
3	ゲーム	6	●ボールゲームを楽しく行い，その動きができるようにする。 ●簡単な規則を工夫したり，攻め方を選んだりするとともに，考えたこと を友達に伝えることができるようにする。 ●運動遊びに進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇ボールゲームの行い方を知るとともに，簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって，易しいゲームをすることができる。 □ゲームの場や規則の中から，楽しくゲームができる場や得点の方法など，簡単な遊び方，自己に適した場や規則を選んでいる。 □ボールを捕ったり止めたりするときに行 った工夫を，動作や言葉で友達に伝えている。 □ボールが飛んだり，転がったりしてくる コースに入ることについて，友達のよい動きを動作や言葉で友達に伝えている。 ○ボールゲームに進んで取り組もうとしている。 ○順番やきまりを守り，友達と仲よくゲームをしようとしている。 ○用具等の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○危険物が無いか，安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けようとしている。

年間授業時数 105 時間　　標準時数（105 時間）

第３学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	体つくり運動	6	●運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，体を動かす心地よさを味わったり，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりすることができる。 ◇多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせることができる。 □心地よさを味わえる運動を選んだり，楽しく運動しながら基本的な動きを高めるための課題を見付けたりしている。。 □運動の楽しさや心地よさを味わったり，様々な基本的な体の動きを身に着けたりするために行い方を工夫している。 □運動の楽しさや心地よさを味わい，基本的な動きを身に付けるために考えたり，見付けたりしたことを友達に伝えている。 ○体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の考えを認めたり，互いの気持ちを尊重し合ったりしている。 ○活動の場の危険物を取り除いたり，用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
4	走・跳の運動	3	●かけっこ・リレー，幅跳びや高跳び，(投の運動)の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを 身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，動きを身に付けるための活動や競争の 仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇かけっこ・リレーでは，調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすることができる。 ◇幅跳び，高跳びでは，短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 (◇投げるポイントを知り，遠くに力いっぱい投げることができる。) □自己の課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □友達との競走(争)の仕方を考え，競走(争)の規則や記録への挑戦の仕方を工夫している。 □友達のよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○かけっこ・リレー，幅跳びや高跳び(，投の運動)に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，用具の安全を確かめたりしている。
5	表現運動	12	●表現やリズムダンスの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，友達の動きや考えを認 めたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇表現では，身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え，表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。 ◇リズムダンスでは，軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○表現やリズムダンスに進んで取り組もうとしている。 ○誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○場の設定や用具の片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めようとしている。 ○友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊ろうとしている。

6・7	けんこうな生活	4	●心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境が関わっていることを理解できるようにする。 ●毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であること理解できるようにする。 ●毎日を健康に過ごすには、体の清潔を保つことが必要であることを理解できるようにする。 ●毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることが必要であることを理解できるようにする。	◇心や体がよい状態が健康だということ、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解している。 □健康でいるためには何が大切なのかを考え、書いたり伝えたりしている。 ○健康の状態やよさについて資料を見たり、生活をふり返ったりするなど、進んで学習に取り組もうとしている。 ◇毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活を続けることが大切であると理解している。 □健康な生活に関わる課題を、自分の生活と比べたり関連づけたりして考えている。 ○自分の１日の生活をふり返り、健康増進のために進んで学習活動に取り組もうとしている。 ◇毎日を健康に過ごすには、体や衣服、ハンカチなどを清潔に保つことが必要であることを理解している。 □学習したことと自分の生活を関連づけて、体の清潔について考え、書いたり伝えたりしている。 ○体や衣服などの清潔に関心をもち、進んで学習活動に取り組もうとしている。 ◇健康の保持増進には、部屋の明るさの調節や換気など、生活環境を整えることが必要であることを理解している。 □学習したことと自分の生活とを比べたり関連づけたりして、生活環境を整えるための方法を考えている。 ○自分の生活を見直すことで、自分でできることに気づき、意欲的に実践しようとしている。
	水泳運動	15	●浮いて進む運動やもぐる・浮く運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●浮いて進む運動やもぐる・浮く運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇浮いて進む運動では，け伸びや浮いて呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎをすることができる。 ◇ もぐる・浮く運動では，息を止めたり吐いたりしながら，いろいろなもぐり方や浮き方をすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○水泳運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○バディで互いを確認しながら活動する，プールに飛び込まないなど，水泳運動の心得を守って安全を確かめようとしている。
9	走・跳の運動	6	●幅跳びや高跳び，(投の運動)の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，動きを身に付けるための活動や競争の 仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにす	◇幅跳び，高跳びでは，短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 (◇投げるポイントを知り，遠くに力いっぱい投げることができる。) □自己の課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □友達との競走(争)の仕方を考え，競走(争)の規則や記録への挑戦の仕方を工夫している。

			る。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	□友達のよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○幅跳びや高跳び，(投の運動)に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，用具の安全を確かめたりしている。
9 ・ 10	器械運動	6	●鉄棒運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇鉄棒運動の行い方を知るとともに，自己の能力に適した支持系の基本的な技ができる。 ◇発展技に取り組んだり，技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ○きまりなどを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして，技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，器械・器具の安全を確かめたりするとともに，試技の開始前の安全を確かめようとしている。
10	器械運動	6	●マット運動や跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇マット運動の行い方を知るとともに，自己の能力に適した回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。 ◇発展技に取り組んだり，技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○マット運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ○きまりなどを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして，技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，器械・器具の安全を確かめたりするとともに，試技の開始前の安全を確かめようとしている。

10 ・ 11	ゲーム	9	●ネット型ゲームの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲー ムをすることができるようにする。 ●規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を 受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりする ことができるようにする。	◇ネット型ゲームの行い方を知るとともに，基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって，易しいゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイ上の緩和や制限，得点の仕方などの規則を選んでいる。 □ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○ネット型ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り，誰とでも仲よく励まし合って練習やゲームをしたり，ゲームの勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり，話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に，友達の考えを認めている。 ○場の危険物を取り除くなど，周囲を見て場や用具の安全を確かめたりしている。
11	走・跳の運動	6	●小型ハードル走の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，動きを身に付けるための活動や競争の 仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇小型ハードル走では，小型ハードルを調子よく走り超えることができる。 □自己の課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □友達との競走(争)の仕方を考え，競走(争)の規則や記録への挑戦の仕方を工夫している。 □友達のよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○小型ハードル走に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，用具の安全を確かめたりしている。
11 ・ 12	体つくり運動	4	●運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせることができる。 □楽しく運動しながら基本的な動きを高めるための課題を見付けたりしている。 □様々な基本的な体の動きを身に着けたりするために行い方を工夫している。 □基本的な動きを身に付けるために考えたり，見付けたりしたことを友だちに伝えている。 ○多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の考えを認めたり，互いの気持ちを尊重し合ったりしている。 ○活動の場の危険物を取り除いたり，用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
12	ゲーム	9	●ベースボール型ゲームの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲー ムをすることができるようにする。 ●規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝え	◇ベースボール型ゲームの行い方を知るとともに，蹴る，打つ，捕る，投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって，易しいゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイ上の緩和や制限，得点の仕方などの規則を選んでい

			ることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を 受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりする ことができるようにする。	る。 □ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○ベースボール型ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り，誰とでも仲よく励まし合って練習やゲームをしたり，ゲームの勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり，話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に，友達の考えを認めている。 ○場の危険物を取り除くなど，周囲を見て場や用具の安全を確かめたりしている。
1	器械運動	6	●跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇跳び箱運動の行い方を知るとともに，自己の能力に適した切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技ができる。 ◇発展技に取り組んだり，技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ○きまりなどを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして，技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，器械・器具の安全を確かめたりするとともに，試技の開始前の安全を確かめようとしている。

1 ・ 2	体つくり運動	4	●運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせることができる。 □楽しく運動しながら基本的な動きを高めるための課題を見付けたりしている。 □様々な基本的な体の動きを身に着けたりするために行い方を工夫している。 □基本的な動きを身に付けるために考えたり，見付けたりしたことを友達に伝えている。 ○多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の考えを認めたり，互いの気持ちを尊重し合ったりしている。 ○活動の場の危険物を取り除いたり，用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
2	ゲーム	9	●ゴール型ゲームの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲー ムをすることができるようにする。 ●規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を 受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりする ことができるようにする。	◇ゴール型ゲームの行い方を知るとともに，基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって，易しいゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイ上の緩和や制限，得点の仕方などの規則を選んでいる。 □ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○ゴール型ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り，誰とでも仲よく励まし合って練習やゲームをしたり，ゲームの勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり，話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に，友達の考えを認めている。 ○場の危険物を取り除くなど，周囲を見て場や用具の安全を確かめたりしている。

年間授業時数 105 時間　　標準時数（105 時間

第４学年　体育科　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	体つくり運動	6	●運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，体を動かす心地よさを味わったり，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体の変化に気付いたり，みんなで関わり合ったりすることができる。 ◇多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせることができる。 □心地よさを味わえる運動を選んだり，楽しく運動しながら基本的な動きを高めるための課題を見付けたりしている。 □運動の楽しさや心地よさを味わったり，様々な基本的な体の動きを身に着けたりするために行い方を工夫している。 □運動の楽しさや心地よさを味わい，基本的な動きを身に付けるために考えたり，見付けたりしたことを友達に伝えている。 ○体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の考えを認めたり，互いの気持ちを尊重し合ったりしている。 ○活動の場の危険物を取り除いたり，用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
4	走・跳の運動	3	●かけっこ・リレーの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを 身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，動きを身に付けるための活動や競争の 仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇かけっこ・リレーでは，調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりする ことができる。 □自己の課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □友達との競走(争)の仕方を考え，競走(争)の規則や記録への挑戦の仕方を工夫している。 □友達のよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○かけっこ・リレーに進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，用具の安全を確かめたりしている。
5	表現運動	12	●表現やリズムダンスの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，誰とでも仲よく踊ったり，友達の動きや考えを認 めたり，場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇表現では，身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え，表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。 ◇リズムダンスでは，軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○表現やリズムダンスに進んで取り組もうとしている。 ○誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ○場の設定や用具の片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めようとしている。 ○友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊ろうとしている。

6・7	水泳運動	15	●浮いて進む運動やもぐる・浮く運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを 身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，水の中での動きを身に付けるための活 動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●浮いて進む運動やもぐる・浮く運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇浮いて進む運動では，け伸びや浮いて呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎをすることができる。 ◇ もぐる・浮く運動では，息を止めたり吐いたりしながら，いろいろなもぐり方や浮き方をすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○水泳運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○バディで互いを確認しながら活動する，プールに飛び込まないなど，水泳運動の心得を守って安全を確かめようとしている。
9	走・跳の運動	6	●幅跳びや高跳び，(投の運動)の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その動きを身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，動きを身に付けるための活動や競争の 仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇幅跳び，高跳びでは，短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 (◇投げるポイントを知り，遠くに力いっぱい投げることができる。) □自己の課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □友達との競走(争)の仕方を考え，競走(争)の規則や記録への挑戦の仕方を工夫している。 □友達のよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○幅跳びや高跳び，(投の運動)に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って練習や競走(争)をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，用具の安全を確かめたりしている。
9・10	器械運動	6	●鉄棒運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇鉄棒運動の行い方を知るとともに，自己の能力に適した支持系の基 本的な技ができる。 ◇発展技に取り組んだり，技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ○きまりなどを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして，技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，器械・器具の安全を確かめたりするとともに，試技の開始前の安全を確かめようとしている。

10	器械運動	6	●マット運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇マット運動の行い方を知るとともに，自己の能力に適した回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。 ◇発展技に取り組んだり，技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○マット運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ○きまりなどを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして，技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，器械・器具の安全を確かめたりするとともに，試技の開始前の安全を確かめようとしている。
10 ・ 11	ゲーム	9	●ネット型ゲームの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲー ムをすることができるようにする。 ●規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を 受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりする ことができるようにする。	◇ネット型ゲームの行い方を知るとともに，基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって，易しいゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイ上の緩和や制限，得点の仕方などの規則を選んでいる。 □ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○ネット型ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り，誰とでも仲よく励まし合って練習やゲームをしたり，ゲームの勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり，話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に，友達の考えを認めている。 ○場の危険物を取り除くなど，周囲を見て場や用具の安全を確かめたりしている。
11	走・跳の運動	6	●小型ハードル走の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，動きを身に付けるための活動や競争の 仕方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇小型ハードル走では，小型ハードルを調子よく走り超えることができる。 □自己の課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □友達との競走（争）の仕方を考え，競走（争）の規則や記録への挑戦の仕方を工夫している。 □友達のよい動きや変化を見付けたり，考えたりしたことを友達に伝えている。 ○小型ハードル走に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って練習や競走（争）をしたり，勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり，動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，用具の安全を確かめたりしている。
11 ・ 12	体つくり運動	4	●運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも	◇多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせることができる。 □楽しく運動しながら基本的な動きを高めるための課題を見付けたりしている。 □様々な基本的な体の動きを身に着けたりするために行い方を工夫している。

			仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	□基本的な動きを身に付けるために考えたり，見付けたりしたことを友だちに伝えている。 ○多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の考えを認めたり，互いの気持ちを尊重し合ったりしている。 ○活動の場の危険物を取り除いたり，用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
12	ゲーム	9	●ベースボール型ゲームの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲーム をすることができるようにする。 ●規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を 受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりする ことができるようにする。	◇ベースボール型ゲームの行い方を知るとともに，蹴る，打つ，捕る，投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって，易しいゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイ上の緩和や制限，得点の仕方などの規則を選んでいる。 □ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○ベースボール型ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り，誰とでも仲よく励まし合って練習やゲームをしたり，ゲームの勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり，話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に，友達の考えを認めている。 ○場の危険物を取り除くなど，周囲を見て場や用具の安全を確かめたりしている。
1	器械運動	6	●跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，その技を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇跳び箱運動の行い方を知るとともに，自己の能力に適した切り返し 系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技ができる。 ◇発展技に取り組んだり，技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決のための活動を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ○きまりなどを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして，技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に，友達の考えを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり，器械・器具の安全を確かめたりするとともに，試技の開始前の安全を確かめようとしている。
1 ・ 2	体つくり運動	4	●運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，基本的な動きを身に付けたりすることができるようにする。 ●自己の課題を見付け，その解決のための活動を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	◇多様な動きをつくる運動では，体のバランスをとる動き，体を移動する動き，用具を操作する動き，力試しの動きをし，それらを組み合わせることができる。 □楽しく運動しながら基本的な動きを高めるための課題を見付けたりしている。 □様々な基本的な体の動きを身に着けたりするために行い方を工夫している。 □基本的な動きを身に付けるために考えたり，見付けたりしたことを友だちに伝えている。 ○多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ○きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合って運動しようとしている。 ○用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ○友達の考えを認めたり，互いの気持ちを尊重し合ったりしている。

				○活動の場の危険物を取り除いたり，用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

1 ・ 2	育ちゆく体とわたし	4	●体の発育・発達について理解すること。 ・体は，年齢に伴って変化すること。また，体の発育・発達には，個人差があること。 ・体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，初経，精通などが起こったりすること。また，異性への関心が芽生えること。 ・体をよりよく発育・発達させるには，適切な運動，食事，休養及び睡眠が必要であること。 ●体がよりよく発育・発達するために，課題を見付け，その解決に向けて考え，それを表現すること。	◇体は年令とともに発育し変化すること，発育には個人差があることを理解している。 ◇思春期には体つきの変化や発毛など，体に変化が現れること，それらには男女差や個人差があることを理解している。 ◇思春期になると初経・精通が起こり，異性への関心も芽生えること，これらは個人差があるものの，大人の体に近づく現象であることを理解している。 ◇よりよい発育のためには，適切な運動，調和のとれた食事，休養および睡眠が必要であることを理解している。 □体の発育のしかたには個人差があることを，グラフなどの資料から読み取り，説明している。 □思春期に現れる男女の体の変化について，資料を参考にしながら，個人差があることを説明している。 □思春期の体の変化について学習したことを自分の体の発育・発達と結びつけて考え，表現している。 □よりよい発育のためには，運動，食事，休養・睡眠などにおいて，どのようなところに気をつけたらよいのか，自らの生活を振り返りながら考え，説明している。 ○これまでとこれからの，自分たちの体の変化のしかたについて関心をもち，個人差があることも含めて肯定的に捉えようとしている。 ○思春期の体の変化について，意欲的に調べたり考えたりして，変化することや個人差があることを肯定的に捉えようとしている。 ○新しい生命を生み出す準備として自身の体が変化することについて受け止め，意欲的に学習活動に取り組もうとしている。 ○よりよい発育のための運動，食事，休養・睡眠について，意欲的に考え，実行しようとしている。
2	ゲーム	9	●ゴール型ゲームの楽しさや喜びに触れ，その行い方を知るとともに，易しいゲームをすることができるようにする。 ●規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに，考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み，規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり，勝敗を 受け入れたり，友達の考えを認めたり，場や用具の安全に気を付けたりする ことができるようにする。	◇ゴール型ゲームの行い方を知るとともに，基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって，易しいゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイ上の緩和や制限，得点の仕方などの規則を選んでいる。 □ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。 □課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 ○ゴール型ゲームに進んで取り組もうとしている。 ○規則を守り，誰とでも仲よく励まし合って練習やゲームをしたり，ゲームの勝敗の結果を受け入れたりしようとしている。 ○用具などの準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ○ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり，話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に，友達の考えを認めている。 ○場の危険物を取り除くなど，周囲を見て場や用具の安全を確かめたりしている。

年間授業時数 105 時間　　標準時数（105 時間）

5学年　体育科　年間指導計画　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	体つくり運動	6	●体つくり運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体を動かす心地よさを味わったり，体の動きを高めたりすることができるようにする。 ●自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体との関係に気付いたり，仲間と関わり合ったりすることできる。 ◇体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 □自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。 □自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 ○体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って運動しようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○仲間の気付きや考え，取組のよさを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。
4	陸上運動	3	●短距離走・リレーの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫 するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受 け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったり することができるようにする。	◇短距離走やリレーでは，一定の距離を全力で走ったり，滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 □自己やグループの能力に適した課題を見付け，課題に応じた練習の場や段階 を選んでいる。 □ 自己の能力に適した競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり，考えたりしたことを他者に伝 えている。 ○短距離走・リレーに積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って練習や競走(争)をし，勝敗を受け入れようとしている。 ○用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たそ ○用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり場を整備したりするとともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
5	表現運動	12	●表現やフォークダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，表したい感じを表現したり踊りで交流したりすることができるようにする。 ●自己やグループの課題の解決に向けて，表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを 他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，互いのよさを認め合い助け合って踊ったり，場 の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇表現では，いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じ をひと流れの動きで即興的に踊ったり，簡単なひとまとまりの動きにして 踊ったりすることができる。 ◇フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。 □自己やグループの課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題に 応じた見合いや交流の仕方などを選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○表現やフォークダンスに積極的に取り組もうとしている。 ○互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ○グループで取り組む際に，仲間と助け合おうとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○活動する場所の危険物を取り除くとともに，仲間とぶつからないよう，場の安全に気を配ろうとしている。

6	心の健康	3	●心はいろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することを理解できるようにする。 ●心と体には密接なつながりがあることを理解できるようにする。 ●不安や悩みへの対処には、大人や友だちに相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを理解できるようにする。	◇心は様々な生活経験や学習を通して、年齢とともに発達することを理解している。 □よりよく心を発達させる適切な方法を考えたり、表現したりしている。 ○心の発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ◇心と体の関わりを知り、心は体と深く影響し合っていることを理解している。 □心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連づけて考えたり、表現したりしている。 ○心と体の関わりについて資料を見たり、生活をふり返ったりするなど、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。 ◇不安や悩みへの対処には様々な方法があり、自分の不安や悩みに合った適切な方法で対処できることを理解している。 ◇呼吸法などの対処のしかたを実践できる。 □不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選んだり表現したりしている。 ○不安や悩みへの対処法を進んで考え、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。
6 ・ 7	水泳運動	12	●クロールや平泳ぎ・安全確保につながる運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにするとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇クロールや平泳ぎでは，手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 ◇安全確保につながる運動では，背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くことができる。 □自己の課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題に応じた練習の場や段階を選んだりする。 □自己の能力に適した記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○クロールや平泳ぎ，安全確保につながる運動に積極的に取り組んでいる。 ○約束を守り，友達と助け合って泳ぎの練習をしようとしている。 ○用具の準備や片付けなど，分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○自己や仲間の体の調子を確かめてから泳ぐなど，水泳運動の心得を守って安全に気を配ろうとしている。
9	陸上運動	3	●短距離走・ハードル走(・投の運動)の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったり することができるようにする。	◇短距離走では，一定の距離を全力で走ることができる。 ◇ ハードル走では，ハードルをリズミカルに走り越えることができる。 (◇遠投の仕方を知り，遠くに力いっぱい投げることができる。) □自己やグループの能力に適した課題を見付け，課題に応じた練習の場や段階 を選んでいる。 □ 自己の能力に適した競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり，考えたりしたことを他者に伝 えている。 ○短距離走・ハードル走(・投の運動)に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って練習や競走(争)をし，勝敗を受け入れようとしている。 ○用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり場を整備したりするとともに，用具の安全に

				気を配ろうとしている。
9	器械運動	6	●鉄棒運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，支持系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技を行ったり，それらを繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫すると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇鉄棒運動の行い方を理解するとともに，自己の能力に適した支持系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりできる。 ◇選んだ技を自己やグループで繰り返したり，組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題 に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○鉄棒運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ○学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合おうとしている。 ○器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配ろうとしている。
9	器械運動	6	●マット運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，そ の発展技を行ったり，それらを繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫すると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇マット運動の行い方を理解するとともに，自己の能力に適した回転 系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりできる。 ◇選んだ技を自己やグループで繰り返したり，組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題 に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○マット運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ○学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合おうとしている。 ○器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配ろうとしている。
10 ・ 11	ボール運動	6	●ベースボール型の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付け，簡易化されたゲームをすることができるようにする。 ●ルールを工夫したり，自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○ベースボール型では，ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって， 簡易化されたゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイの制限，得点の仕方などのルールを選んでいる。 □自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○ベースボール型の簡易化されたゲームや練習に積極的 に取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り，仲間と助け合って練習やゲームをし，勝敗を受け入れようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりする とともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
11 ・ 12	体つくり運動	3	●体つくり運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体の動きを高めることができるようにする。 ●自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い	◇体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 □自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んで

			方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	いる。 □自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 ○体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って運動しようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○仲間の気付きや考え，取組のよさを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。
11 ・ 12	陸上運動	5	●走り高跳び・走り幅跳びの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫 するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったり することができるようにする。	◇走り幅跳びでは，リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 ◇走り高跳びでは，リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 □自己やグループの能力に適した課題を見付け，課題に応じた練習の場や段階 を選んでいる。 □ 自己の能力に適した競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり，考えたりしたことを他者に伝 えている。 ○走り高跳び・走り幅跳びに積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って練習や競走(争)をし，勝敗を受け入れようとしている。 ○用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり場を整備したりするとともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
12	ボール運動	6	●ネット型の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付け，簡易化されたゲームをすることができるようにする。 ●ルールを工夫したり，自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○ネット型では，個人やチームによる攻撃と守備によって，簡易化された ゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイの制限，得点の仕方などのルールを選んでいる。 □自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○ネット型の簡易化されたゲームや練習に積極的 に取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り，仲間と助け合って練習やゲームをし，勝敗を受け入れようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりする とともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
1	器械運動	4	●跳び箱運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり， その発展技を行ったりすることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫すると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，	◇跳び箱運動の行い方を理解するとともに，自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりできる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題 に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○跳び箱運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ○学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合おうとしている。 ○器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。

			場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配ろうとしている。
1 ・ 2	体つくり運動	4	●体つくり運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体の動きを高めることができるようにする。 ●自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 □自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。 □自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 ○体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って運動しようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○仲間の気付きや考え，取組のよさを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。
2	けがの防止	5	●けがや事故の多くは、人の行動と周りの環境が原因で起こること、また、人の行動はその時の心の状態や体の調子と関係していることを理解できるようにする。 ●けがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが大切であることを理解できるようにする。 ●交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが大切であることを理解できるようにする。 ●犯罪被害の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが大切であることを理解できるようにする。 ●けがなどの簡単な手当ては、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。	◇けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はその時の心の状態や体の調子と関係していることを理解している。 □けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、考えたり表現したりしている。 ○けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活をふり返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。 ◇学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを理解している。 □自分のけがに関わる経験をふり返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明している。 ○学校や地域でのけがの防止について、生活をふり返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。 ◇交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを理解している。 □自己の周囲の環境をふり返り、危険の予測や回避の方法を考え、表現している。 ○交通事故の防止について、生活をふり返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。 ◇犯罪被害に遭わないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解している。 □犯罪被害に遭いやすい場所かどうかを判断し、安全な行動を考えて、説明している。 ○犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組もうとしている。 ◇けがは、種類や程度を速やかに把握して処置したり大人に知らせたりすることが大切であることを理解している。 □簡単なけがの手当てができるように実習したり、けがの適切な手当ての方法を選んだり説明したりしている。 ○けがの手当てについて、これまでの経験をふり返ったり、実習に取り組んだりする活動に積極的に取り込もうとしている。

2 ・ 3	ボール運動	6	●ゴール型の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付け，簡易化されたゲームをすることができるようにする。 ●ルールを工夫したり，自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○ゴール型では，ボール操作とボールを持たないときの動きによって，簡 易化されたゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイの制限，得点の仕方などのルールを選んでいる。 □自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○ゴール型の簡易化されたゲームや練習に積極的 に取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り，仲間と助け合って練習やゲームをし，勝敗を受け入れようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりする ともに，用具の安全に気を配ろうとしている。

年間授業時数　90 時間　　標準時数（90 時間）

第６学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

月	教材・単元	時	指導目標	評価規準
4	体つくり運動	6	●体つくり運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体を動かす心地よさを味わったり，体の動きを高めたりすることができるようにする。 ●自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体との関係に気付いたり，仲間と関わり合ったりすることできる。 ◇体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 □自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。 □自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 ○体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って運動しようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○仲間の気付きや考え，取組のよさを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。
4	陸上運動	3	●短距離走・リレーの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫 するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受 け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったり することができるようにする。	◇短距離走やリレーでは，一定の距離を全力で走ったり，滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 □自己やグループの能力に適した課題を見付け，課題に応じた練習の場や段階 を選んでいる。 □ 自己の能力に適した競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり，考えたりしたことを他者に伝 えている。 ○短距離走・リレーに積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って練習や競走(争)をし，勝敗を受け入れようとしている。 ○用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たそ ○用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり場を整備したりするとともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
5	表現運動	12	●表現やフォークダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，表したい感じを表現したり踊りで交流したりすることができるようにする。 ●自己やグループの課題の解決に向けて，表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを 他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，互いのよさを認め合い助け合って踊ったり，場 の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇表現では，いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じ をひと流れの動きで即興的に踊ったり，簡単なひとまとまりの動きにして 踊ったりすることができる。 ◇フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。 □自己やグループの課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題に 応じた見合いや交流の仕方などを選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○表現やフォークダンスに積極的に取り組もうとしている。 ○互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ○グループで取り組む際に，仲間と助け合おうとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○活動する場所の危険物を取り除くとともに，仲間とぶつからないよう，場の安全に気を配ろうとしている。

6・7	水泳運動	12	●クロールや平泳ぎ・安全確保につながる運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫できるようにするとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇クロールや平泳ぎでは，手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 ◇安全確保につながる運動では，背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くことができる。 □自己の課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題に応じた練習の場や段階を選んだりする。 □自己の能力に適した記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○クロールや平泳ぎ，安全確保につながる運動に積極的に取り組んでいる。 ○約束を守り，友達と助け合って泳ぎの練習をしようとしている。 ○用具の準備や片付けなど，分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○自己や仲間の体の調子を確かめてから泳ぐなど，水泳運動の心得を守って安全に気を配ろうとしている。
6・7	病気の予防	4	●病気の予防について理解することができるようにする。 ●病気を予防するために，課題を見付け，その解決に向けて思考し判断するとともに，それを表現することができるようにする。	◇病気は，病原体，体の抵抗力，生活行動，環境などが関わり合って起こることを理解できる。 ◇病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体の発生源をなくしたり，移る道筋を断ち切ったりして病原体が体に入るのを防ぐこと，また，予防接種や適切な運動，食事，休養及び睡眠をとることなどによって，体の抵抗力を高めておくことが必要であることを理解できる。 ◇生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には，全身を使った運動を日常的に行うこと，糖分，脂肪分，塩分などを摂りすぎる偏った食事や間食を避けたり，口腔の衛生を保ったりすることなど，健康によい生活習慣を身に付ける必要があることを理解できる。 □病気の予防について，病原体，体の抵抗力，生活行動，環境などの要因から課題を見付けている。 □病気の予防や回復に関する課題について，学習したことを活用して解決の方法を考えたり，選んだりしている。 □いくつかの病気の要因や起こり方を比べて，それぞれの病気に応じた予防の方法を選んでいる。
9	陸上運動	3	●短距離走・ハードル走(・投の運動)の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったり することができるようにする。	◇短距離走では，一定の距離を全力で走ることができる。 ◇ ハードル走では，ハードルをリズミカルに走り越えることができる。 (◇遠投の仕方を知り，遠くに力いっぱい投げることができる。) □自己やグループの能力に適した課題を見付け，課題に応じた練習の場や段階 を選んでいる。 □ 自己の能力に適した競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり，考えたりしたことを他者に伝 えている。 ○短距離走・ハードル走(・投の運動)に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って練習や競走(争)をし，勝敗を受け入れようとしている。 ○用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり場を整備したりするとともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
9	器械運動	6	●鉄棒運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，支持系の基本的な技を安	◇鉄棒運動の行い方を理解するとともに，自己の能力に適した支持系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりできる。

			定して行ったり，その発展技を行ったり，それらを繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫すると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇選んだ技を自己やグループで繰り返したり，組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題 に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○鉄棒運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ○学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合おうとしている。 ○器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配ろうとしている。
10	器械運動	6	●マット運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，そ の発展技を行ったり，それらを繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫すると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇マット運動の行い方を理解するとともに，自己の能力に適した回転 系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりできる。 ◇選んだ技を自己やグループで繰り返したり，組み合わせたりすることができる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題 に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○マット運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ○学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合おうとしている。 ○器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配ろうとしている。
10 ・ 11	ボール運動	6	●ベースボール型の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付け，簡易化されたゲームをすることができるようにする。 ●ルールを工夫したり，自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○ベースボール型では，ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって，簡易化されたゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイの制限，得点の仕方などのルールを選んでいる。 □自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○ベースボール型の簡易化されたゲームや練習に積極的 に取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り，仲間と助け合って練習やゲームをし，勝敗を受け入れようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりする とともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
11 ・ 12	体つくり運動	3	●体つくり運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体の動きを高めることができるようにする。 ●自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，	◇体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 □自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。 □自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 ○体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って運動しようとしている。

			場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○仲間の気付きや考え，取組のよさを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。
11 ・ 12	陸上運動	5	●走り高跳び・走り幅跳びの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付けることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫 するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったり することができるようにする。	◇走り幅跳びでは，リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 ◇走り高跳びでは，リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 □自己やグループの能力に適した課題を見付け，課題に応じた練習の場や段階を選んでいる。 □ 自己の能力に適した競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 □自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり，考えたりしたことを他者に伝 えている。 ○走り高跳び・走り幅跳びに積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って練習や競走(争)をし，勝敗を受け入れようとしている。 ○用具の準備や片付け計測や記録などで分担された役割を果たそうとしている。 ○課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたり場を整備したりするとともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
12	ボール運動	6	●ネット型の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付け，簡易化されたゲームをすることができるようにする。 ●ルールを工夫したり，自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○ネット型では，個人やチームによる攻撃と守備によって，簡易化された ゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイの制限，得点の仕方などのルールを選んでいる。 □自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○ネット型の簡易化されたゲームや練習に積極的 に取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り，仲間と助け合って練習やゲームをし，勝敗を受け入れようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりする とともに，用具の安全に気を配ろうとしている。
1 ・ 2	器械運動	4	●跳び箱運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技を行ったりすることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫すると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇跳び箱運動の行い方を理解するとともに，自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりできる。 □自己の能力に適した課題を見付け，その課題の解決の仕方を考えたり，課題 に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○跳び箱運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ○学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合おうとしている。 ○器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配ろうとしている。

第６学年　　体育科　　年間指導計画　　◇知識・技能　□思考・判断・表現　○主体的に学習に取り組む態度

1 ・ 2	体つくり運動	4	●体つくり運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，体の動きを高めることができるようにする。 ●自己の体の状態や体力に応じて，運動の行い方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	◇体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 □自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。 □自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。 ○体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ○約束を守り，仲間と助け合って運動しようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○仲間の気付きや考え，取組のよさを認めようとしている。 ○場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。
2	病気の予防	4	●病気の予防について理解することができるようにする。 ●病気を予防するために、課題を見付け，その解決に向けて思考し判断するとともに，それを表現することができるようにする。	◇喫煙については，せきが出たり心拍数が増えたりするなどして呼吸や心臓のはたらきに対する負担などの影響がすぐに現れること，受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できる。 ※ 喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの 影響があることについても触れる。 ◇飲酒については，判断力が鈍る，呼吸や心臓が苦しくなるなどの影響がすぐに現れることを理解できる。 ◇薬物乱用については，シンナーなどの有機溶剤を取り上げ，一回の乱用でも死に至ることがあり，乱用を続けると止められなくなり，心身の健康に深刻な影響を及ぼすことを理解できる。 ◇人々の病気を予防するために，保健所や保健センターなどでは，健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できる。 □喫煙，飲酒，薬物乱用と健康について，それらの害や体への影響を考えたり，地域の様々な保健活動の取組の中から人々の病気を予防するための取組を選んだりしている。 □ 病気の予防について，病気の予防や回復のために考えたり，選んだりした方法がなぜ適切であるか，理由をあげて学習カードなどに書いたり，友達に説明したりしている。
3	ボール運動	6	●ゴール型の楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，その技能を身に付け，簡易化されたゲームをすることができるようにする。 ●ルールを工夫したり，自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすると ともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ●運動に積極的に取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，勝敗を受け入れたり，仲間の考えや取組を認めたり，場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	○ゴール型では，ボール操作とボールを持たないときの動きによって，簡 易化されたゲームをすることができる。 □誰もが楽しくゲームに参加できるように，プレイヤーの人数，コートの広 さ，プレイの制限，得点の仕方などのルールを選んでいる。 □自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 □課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ○ゴール型の簡易化されたゲームや練習に積極的 に取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り，仲間と助け合って練習やゲームをし，勝敗を受け入れようとしている。 ○場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たそうとしている。 ○互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めようとしている。 ○使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりする ともに，用具の安全に気を配ろうとしている。

年間授業時数　90 時間　　標準時数（90 時間）

令和７年度　外国語活動全体計画及び年間指導計画

時代の要請	学校教育目標	児童の実態
○国際化する現代において外国語活動を基盤にしたコミュニケーション能力の育成	地域を愛し、人を大事にし、 自ら気づき・考え・行動する 国東っ子の育成 ～やさしく・かしこく・たくまし～	・素直で優しく、人懐っこい児童が多い。 ・意欲的にチャレンジしようとする。 ・指示待ちや、けいじめ、切り替えが苦手な児童がいる。

めざす児童像

○ やさしい子
○ かしこい子
○ たくましい子

外国語活動の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指す。

第３・４学年の目標

外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気づくとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

評価の観点	①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	○自己評価（ふり返りカード、ワークシート等） ○行動観察（表情、発言、活動の様子等）

教科・領域等との関連

【教科】
〔国語〕相手の伝わるように話したり，要点を聞いて伝え合ったりすることができる。
〔社会〕外国について調べ学習し，外国と日本の関係に関心をもつことができる。
〔算数〕数の数え方や図形など，英語でどのように表現するか関心を持つことができる。
〔理科〕身近な自然から英語で表現できるものを見つけることができる。
〔音楽〕外国や日本の音楽に関心を持ち，進んで歌ったり，演奏したり、聴いたりすることができる。
〔図工〕色や形の言い方など、英語でどのように表現するか関心を持つことができる。
〔体育〕健康増進と体力の向上を図り友達と協力して楽しく明るい生活を営むことができる。
【道徳】自他の生命を尊重し，お互いを大切にし合う心を養う。
【特活】集団の中で自他のよさを認め、互いに協力し合う意欲や態度を養う。
【総合的な学習の時間】世界の言語・生活・文化などに対して関心を持つ。

中学校との連携

小学校・中学校それぞれの公開授業日に教職員がお互いに参観し合う。

国東小学校　第3学年　外国語活動

○全体計画の目標を達成するために，以下の領域別目標を設定し，単元の指導計画に役立てるものとする。
○3，4年生においては「外国語活動」であることをふまえ，CAN-DOリストではなくTRYリストとし，評価に役立てるものとする。

【外国語活動 領域別目標】			（使用する教材で対応する単元）　教材名：Let's Try 1		
			1学期	2学期	3学期
聞くこと	(ア)	ゆっくりはっきりと話された際に，自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。	Unit 3	Unit 5・Unit 7	Unit 8
	(イ)	ゆっくりはっきりと話された際に，身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。	Unit 1・Unit 2・Unit 4		Unit 9
	(ウ)	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に，どの文字であるかが分かるようにする。		Unit 6	
話すこと（やり取り）	(ア)	基本的な表現を用いて挨拶，感謝，簡単な指示をしたり，それらに応じたりするようにする。	Unit 1・Unit 2		
	(イ)	自分のことや身の回りの物について，動作を交えながら，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。	Unit 1・Unit 2・Unit 4	Unit 6	
	(ウ)	サポートを受けて，自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。	Unit 3	Unit 5・Unit 7	
話すこと（発表）	(ア)	身の回りの物について，人前で実物などを見せながら，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。			Unit 8・Unit 9
	(イ)	自分のことについて，人前で実物などを見せながら，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	Unit 4		
	(ウ)	日常生活に関する身近で簡単な事柄について，人前で実物などを見せながら，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。			

【年間指導計画】

Let's Try! 1 指導内容							TRYリスト		
学期	単元名		題材	主な言語材料	他教科との関連	単元のGOAL	聞くこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）
1学期 ⑬	Unit 1	Hello! (3時間)	あいさつをして友だちになろう	Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you.	学道	先生や友だちと英語で名前を言って，あいさつをし合おう。	(イ) 世界には様々な言語があることを聞き取るようにする。(知・技)	(ア) 先生や友だちと簡単なあいさつをし合うようにする。(知・技) (イ) 先生や友だちとカードを交換しながら名前を伝え合うようにする。(思)	
	Unit 2	How are you? (2時間)	ごきげんいかが	How are you? I'm (happy).		友だちとどんな様子かを尋ね合おう。	(イ) 感情や状態を表す表現を聞き取るようにする。(知・技)	(ア) 表情やジェスチャーを使って挨拶をし合い，感情や状態を尋ね合うようにする。(思) (イ) 表情やジェスチャーを工夫しながら感情や状態を伝え合うようにする。(主)	
	Unit 3	How many? (4時間)	数えてあそぼう	How many (apples)? (Ten) (apples). Yes, That's right. No, sorry.	音	じゃんけんゲームをして数にしたしもう。	(ア) 数の言い方や数の尋ね方などの簡単な語句を聞き取るようにする。(知・技)	(ウ) 数を尋ねる表現に慣れ親しみ，数を尋ねたり答えたりして伝え合うようにする。(思)	
	Unit 4	I like blue. (4時間)	すきなものをつたえよう	I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do./No, I don't. I don't like (blue).	図	友だちに自分の好きなものを紹介しよう。	(イ) 色の言い方や好みを表したり，好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現を聞いて，意味が分かるようにする。(知・技)	(イ) 好きかどうかを尋ねたり答えたりして，自分の好みを伝え合うようにする。(思)	(イ) 友だちに，自分の好きなものについてイラストなどを見せながら話すようにする。(主)
2学期 ⑬	Unit 5	What do you like? (4時間)	何がすき？	What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer).		クラスの好きなものランキングを作ろう。	(ア) 身の回りの物を表す語句や何が好きか尋ねたり答えたりする表現を聞き取るようにする。(知・技)	(ウ) 自分やクラスの友だちの好きなものなどについて質問をしたり質問に答えたりするようにする。(思・主)	
	Unit 6	ALPHABET (4時間)	アルファベットとなかよし	(The "A" card), please. Here you are. Thank you. You're welcome.	国音	友だちに自分の名前のアルファベットを紹介しよう。	(ウ) 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に，活字体で書かれた文字と結び付けるようにする。(知・技)	(イ) 友だちと，自分の名前のアルファベットを伝え合ったり，紹介するようにする。(思・主)	
	Unit 7	This is for you. (5時間)	カードをおくろう	What do you want? (A star), please. Here you are. Thank you. You're welcome.	国音図	クリスマスカードを作ろう。	(ア) 形の言い方や，ほしいものを尋ねたり答えたりする表現を聞き取るようにする。(知・技)	(ウ) 友だちがほしいものを尋ねたり，自分が欲しいものを伝えたりするようにする。(知・技・思)	
3学期 ⑦	Unit 8	What's this? (5時間)	これなあに？	What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.	理社	クイズ大会をしよう。	(ア) 身の回りの物の言い方や，あるものが何かを尋ねたり答えたりする表現を聞き取るようにする。(知・技)		(ア) クイズの問題について，実物やイラスト，写真などを見せながら話すようにする。(主)
	Unit 9	Who are you? (4時間)	きみはだれ？	Are you a (dog)? Yes, I am./No, I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.	国	好きな場面を選んで，英語劇の発表会をしよう。	(イ) 誰かと尋ねたり答えたりする表現を聞いて，意味が分かるようにする。(思・主)		(ア) 登場人物の形状などについて，イラストを見せながら話すようにする。(主)

□ は，各単元の評価の中で，記録に残す評価をするところです。

国東小学校　第4学年　外国語活動

○全体計画の目標を達成するために、以下の領域別目標を設定し、単元の指導計画に役立てるものとする。
○3、4年生においては「外国語活動」であることをふまえ、CAN-DOリストではなくTRYリストとし、評価に役立てるものとする。

【外国語活動 領域別目標】			（使用する教材で対応する単元）　教材名：Let's Try 2		
			1学期	2学期	3学期
聞くこと	(ア)	ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。	Unit 2・Unit 4	Unit 5	
	(イ)	ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。	Unit 1・Unit 3	Unit 7	Unit 8・Unit 9
	(ウ)	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。		Unit 6	
話すこと（やり取り）	(ア)	基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。	Unit 1		
	(イ)	自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。	Unit 2・Unit 3		
	(ウ)	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をした梨質問に答えたりするようにする。	Unit 4	Unit 6・Unit 7	Unit 8
話すこと（発表）	(ア)	身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。		Unit 5	
	(イ)	自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。			
	(ウ)	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。			Unit 9

【年間指導計画】

	Let's Try! 2 指導内容						TRYリスト		
学期	単元名		題材	主な言語材料	他教科との関連	単元のGOAL	聞くこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）
1学期 ⑬	Unit 1	Hello,world! (2時間)	世界のいろいろなことばであいさつしよう	Hello.Good [morning/afternoon/night] I like~.Goodbye. See you.	音	世界のいろいろなことばであいさつをして，好きなものや好きなことを伝え合おう。	(イ) さまざまな挨拶の言い方を聞き取るようにする。(知・技)	(ア) 友だちと簡単なあいさつをし，それにこたえるようにする。(主)	
	Unit 2	Let's play cards. (4時間)	すきな遊びをつたえよう	How's the weather? It's[sunny/rainy/cloudy/ snowy] Let's~. Yes,let's. Sorry.Stand up.Sitdown./Stop,/Walk./ Jump./Run./Turn around.	理	すきな遊びを伝え合おう。	(ア) 天気や遊びなどの言い方を聞き取るようにする。(知・技)	(イ) 友だちと，天気に応じた自分の好きな遊びについて動作を交えながら伝え合うようにする。(思)	
	Unit 3	I like Mondays. (3時間)	すきな曜日は何かな？	What day is it? It's~ Do you like~ Yes, I do./No,I don't. I like~		1週間の予定や好きな曜日を伝え合おう。	(イ) 友だちの話を聞いておおよその意味が分かるようにする。(知・技)	(イ) 友だちと，1週間の予定や好きな曜日について伝え合うようにする。(思・主)	
	Unit 4	What time is it? (4時間)	今，何時？	What time is it? It's~ It's("Homework Time") How about you?		すきな時間を伝え合おう。	(ア) 時刻の言い方や時刻を尋ねたり答えたりする表現を聞き取るようにする。(知・技)	(ウ) 友だちと，お気に入りの時刻を尋ね合い好きな理由について質問をしたり質問に答えたりするようにする。(思・主)	
2学期 ⑬	Unit 5	Do you have a pen? (4時間)	おすすめの文房具セットをつくろう	Do you have (a pen)? Yes,I do./No,I don't. I [have/don't have] This is for you.	道学	プレゼントする相手を決めて，文房具セットをつくろう。	(ア) 文房具や持ち物などの言い方を聞き取るようにする。(知・技)		(ア) プレゼントしたい文房具セットの中身について，実物やイラストなどを見せながら話すようにする。(主)
	Unit 6	Alphabet (4時間)	アルファベットで文字遊びをしよう	Look. What's this? Hint,please. How many letters? I have~. Do you have(a"b")? Yes,I do/No, I don't. That's right.Sorry.Try again.	国	アルファベットの文字クイズをしよう。	(ウ) 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に，活字体で書かれた文字と結び付けるようにする。(知・技)	(ウ) 自分や友だちの好きな文字について，簡単な質問をしたり質問に答えたりするようにする。(思・主)	
	Unit 7	What do you want? (5時間)	ほしいものは何かな？	What do you want? I want (potatoes),please. How many? (Two) please. Here you are. Thank you.	学図	オリジナルメニューをつくろう。	(イ) ほしいものを尋ねる表現を聞いて，意味が分かるようにする。(知・技)	(ウ) 自分が欲しい食材を伝えたり，友だちが欲しい食材を尋ねたりするようにする。(思)	
3学期 ⑨	Unit 8	This is my favorite place. (4時間)	お気に入りの場所をしょうかいしよう	Go straight. Turn[right/left]. Stop.this is(the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).	学	校内のお気に入りの場所を紹介し合おう。	(イ) 教室の言い方や，道案内の表現を聞いて，意味が分かるようにする。(知・技)	(ウ) 自分のお気に入りの場所について，簡単な質問をしたり質問に答えたりするようにする。(思・主)	
	Unit 9	This is my day. (5時間)	ぼく・わたしの一日	I wake up(at 6:00). I have breakfast (at 7:00) I go to school. I go home.	保	自分の1日を，カードを使って紹介しよう。	(イ) 日課を表す表現を聞いて，意味が分かるようにする。(知・技・思)		(ウ) 友だちの前でカードを見せながら，自分の1日について紹介するようにする。(主)

□ は、各単元の評価の中で、記録に残す評価をするところです。

国東小学校　第5学年　外国語科

○5、6年生においては「外国語科」であることをふまえ、以下のようにCAN-DOリストをあらわし評価に役立てるものとする。
○使用教材：Junior Sunshine 5/別冊Word Book（開隆堂）

【年間指導計画】

Junior Sunshine 5 指導内容					CAN-DOリスト					
学期	単元名 / 単元の目標 関連する他教科等や今日的な教育課題等		主な表現	主な語句		聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
1学期	L1 ⑧	Hello, everyone. 友だちのことをもっと知ろう。 名前や名前のつづり，好きなものやもっているものなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，互いのことをよく知るために，伝え合ったりすることができる。 道，総，特，キャリア	Hello. Nice to meet you. My name is (Hayashi Natsuki). I like (baseball). I have (cats). I want (cats). How do you spell your name? Do you like (cats)? What (animal) do you like?	動作など① 動作など② 身の回りのもの 世界の国々 動物 スポーツ 食べ物 月・年 教科など	わかる	（ア）相手の名前やそのつづり、好きなものなどについて、聞いてわかる。（知・技）		（ア）名前やそのつづり、好きなものなどについて伝え合うことができる。（知・技）		
					使える			（イ）名前やそのつづり、好きなものなどについて相手のことをよく知ったり自分のことを伝えたりできる。（思）		
	L2 ⑧	When is your special day? クラスのスペシャル・カレンダーを作ろう。 相手のことをよく知るために，誕生日や特別な日，好きなものや欲しいものなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，互いのことをよく知るために，伝え合ったりすることができる。 社，理，待，SDGs	My birthday [special day] is (January 1st). When is your birthday [special day]? It's (my birthday). Do you like [want] (dogs)?	年中行事など 建物など 自然など 様子など 動作など① 季節 月・年 食べ物 遊び	わかる	（ウ）相手の誕生日や特別な日などについて聞いてわかる。（知・技）		（イ）誕生日や特別な日などについて伝え合うことができる。（知・技）		
					使える	（イ）相手の誕生日や特別な日などについて聞き、相手のことをよく知ることができる。（思）		（ウ）誕生日や特別な日などについて、自分のことを工夫して伝え相手のことをよく知ることができる。（思）（主）		
	L3 ⑧	What do you have on Mondays? 将来の夢をかなえるための時間割を作ろう。 相手のことをよく知るために，好きな教科や将来の夢のための時間割などについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたり，自分のことをよく知ってもらうために，自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。 道，総，特，キャリア	What do you have on (Mondays)? I [We] have (Japanese) on (Mondays). Do you have (Japanese) on (Mondays)? I like (English). I want to be (a teacher).	食べ物 日課 食事 頻度 数 時刻 曜日	わかる	（ウ）好きな教科や時間割などについて、聞いてわかる。（知・技）			（イ）好きな教科や時間割について、伝えることができる。（知・技）	
					使える	（イ）相手の考えた時間割についての話を聞き、相手のことをよく知ることができる。（思）（主）			（イ）好きな教科や将来の夢をかなえるための時間割について、その理由などをくわしく伝えることができる。（思）（主）	
	LC1 ②	Questions：5年2組の仲間たち 相手のことをよく知るために，時間割や誕生日，好きなものやもっているものなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたりすることができる。また，活字体の大文字を識別したり，書いたりすることができる。	Lesson 1～3で学習した表現	Lesson 1～3で学習した語句	わかる	（ア）アルファベットの読み方を理解し文字の読み方が発音されるのを聞いた際どの文字であるかわかる。（知・技）	（ア）アルファベットの大文字26文字を声に出して読むことができる。（知・技）			（ア）アルファベットの大文字26文字を書くことができる。（知・技）
					使える	（イ）相手のことをよく知るために好きな物や持っている物、誕生日などの情報を聞き取ることができる。（思）				
		Let's Talk!：先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために，自分や相手のことなどについて，伝え合うことができる。			わかる			（イ）自分や相手のことなどについて、これまで学習した言語材料を使って伝え合うことができる。（知・技）		
					使える			（イ）先生に自分のことを伝えたり先生のことをたずねることができる。（思）（主）		
	OW1	世界のあいさつと文字 さまざまな言語の「ありがとう」を知ったり，さまざまな国の子どもたちの自己紹介を聞き取ったりする。	既習の表現	既習の語句						

Junior Sunshine 5 指導内容					CAN-DOリスト					
学期	単元名 / 単元の目標 関連する他教科等や今日的な教育課題等		主な表現	主な語句		聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
2学期	L4 ⑧	I can draw pictures well. もっと自分を知ってもらおう。 相手のことをよく知るために，できること，できないことなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたり，自分や第三者のことをよく知ってもらうために，自分の考えや気持ちなどを含めて話したり，例文を参考に書いたりすることができる。 理，音，体，図，特，SDGs	I [You / He / She] can [can't] (play soccer). Can you (play soccer)? Yes, I can. / No, I can't.	スポーツ 学期 動作など① 遊び	わかる	(ウ) 相手やその場にいない人のできることやできないことについて、聞いてわかる。(知・技)			(イ) 自分のできること、できないことなどを伝えることができる。(知・技)	(イ) 自分のできること、できないことなどについて、ことばを選んで書き写すことができる。 (知・技)
					使える	(イ) 相手やその場にいない人のできることやできないことについての話を聞き、相手のことを知ることができる。 (思)			(イ) できることやできないことなどについて工夫して伝え、お互いのことをよく知ることができる。(思) (主)	
	L5 ⑧	Where is the station? マイタウンを作って案内しよう。 相手のことをよく知るために，地域のお気に入りの場所について，道順など具体的な情報を聞き取ったり，互いのことをよく知るために，道順やお気に入りの理由などを伝え合うことができる。 社，道，総，情報，キャリア	Where is (the station)? Go straight for one block [two blocks]. Turn right [left]. You can see it on your right [left]. It's on [in / under / by] (the park). We have (a park) in our town. What is your favorite place? My favorite place is [It's] (the library).	建物など 位置 道案内 身の回りのもの 自然など	わかる	(ウ) 道案内を聞いてわかる。(知・技)		(ア) 場所をたずねたり、案内をしたりすることができる。 (知・技)		
					使える	(イ) 相手の作った町のお気に入りの場所への案内や、理由などを聞き、相手のことをよく知ることができる。(思) (主)		(イ) 自分で作った町のお気に入りの場所までの道や理由などについて伝え合うことができる。 (思) (主)		
	L6 ⑧	What would you like? ランチメニューを考えて注文しよう。 レストランなどで注文するという目的に応じて，料理やその値段，味など，具体的な情報を聞き取ったり，丁寧な言い方で伝え合うことができる。 社，家，総	May I help you? What would you like? I'd like (a hamburger). How much is it? It's (500) yen. It's (delicious).	食べ物 飲み物 デザート 味覚など 果物・野菜，肉・魚など 数字	わかる	(ウ) ていねいな言い方でほしいものやその値段をたずねたり答えたりする話について、聞いてわかる。(知・技)		(ア) ていねいな話し方でほしいものやその値段などについて伝え合うことができる。(知・技)		
					使える	(イ) レストランという場面に合わせてていねいな言い方による注文などを聞き、相手のことをよく知ることができる。(思) (主)		(イ) 場面に合わせて、自分が考えたメニューについて、ほしいものやその値段などについて伝え合うことができる。 (思) (主)		
	LC2 ②	Questions:太陽小学校の先生たち 相手のことをよく知るために，できることやできないことなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたりすることができる。また，レストランで注文するという場面に応じて，短い話を聞いて概要を捉えることができる。また，活字体で書かれた小文字を識別し，読み方がわかったり，書いたりすることができる。	Lesson 4~6 で学習した表現	Lesson 4~6で学習した語句	わかる	(ウ) できることやできないこと、レストランでの注文について情報を聞き取ったり、内容をとらえたりすることができる。(知・技)	(ア) アルファベットの小文字26文字を声に出して読むことができる。(知・技)			(ア) アルファベットの小文字26文字を書くことができる。(知・技)
					使える	(イ) 相手のことをよく知るために情報を聞き取ることができる。(思)				
		Let's Talk!:先生と話をしよう。 互いの意外な一面を知ったり知ってもらったりするために，自分や相手のことなどについて，自分の気持ちや考えなどを含めて伝え合うことができる。			わかる			(イ) 自分や相手のことなどについて、これまで学習した言語材料を使って伝え合うことができる。 (知・技)		
					使える			(イ) おたがいの意外な一面を知ったり知ってもらったりするために、先生と話をすることができる。(思) (主)		
	OW2	いろいろな標識 さまざまな国の標識について知る。	既習の表現	既習の語句						

Junior Sunshine 5 指導内容					CAN-DOリスト					
学期	単元名 / 単元の目標 関連する他教科等や今日的な教育課題等		主な表現	主な語句		聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
3学期	L7 ⑧	I love my town. 「町のすてきなところ」をしょうかいしよう。 自分たちの住む地域をよく知ってもらうために，おすすめの場所について，自分の考えや気持ちなどを含めて話したり，例文を参考に書いたりすることができる。また，地域について書かれたものを読んで意味がわかる。 社，総，キャリア，SDGs	My favorite place is (the amusement park). We have [don't have] (a park). We can enjoy (watching soccer games). It's (beautiful). I love my town.	建物など 自然など 状態など 様子など 動作など① 遊び	わかる		(イ) 自分の町にあるしせつや場所などについて書かれているものを読んで意味がわかる。(知・技)		(ウ) 自分の町にあるしせつや場所、そこでできることなどについて伝えることができる。(知・技)	(イ) 自分の町にあるしせつや場所、そこでできることなどについて、ことばを選んで書き写すことができる。(知・技)
					使える				(ウ) 「自分たちの町」について知ってもらえるように、おすすめのしせつや場所などについて詳しく伝えることができる。(思)(主)	(イ) 自分たちが住む地域をよく知ってもらうために、考えや気持ちなどを含めて書いている。(思)
	L8 ⑧	My Hero クラスのみんなの「ヒーロー図かん」を作ろう。 互いの憧れの人や尊敬する人についてよく知ったり知ってもらったりするために，得意なことやできること，人柄などについて，短い話を聞いて概要を捉えたり，内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。また，例文を参考に書いたりすることができる。 国，社，道，特，総，キャリア	Who is your hero? My hero is (Otani Shohei). He [She] is (a baseball player). He [She] is good at (playing baseball). He [She] is (nice).	動作など① 職業 家族・人 性格など 建物など 状態など 様子など	わかる	(ウ) 相手や他の人の得意なことなどについて、聞いてわかる。(知・技)			(イ) 自分や他の人が得意なことなどを伝えることができる。(知・技)	(ア) 他の人が得意なことなどについて、書くことができる。(知・技)
					使える	(イ) 相手の尊敬する人が得意なことやできることなどについて話を聞き、相手のことをよく知ることができる。(思)(主)			(イ) 尊敬する人が得意なことやできることなどについて、工夫してくわしく伝えることができる。(思)(主)	(イ) 尊敬する人が得意なことやできることなどについて、相手にわかりやすいように言葉を選んで書き写すことができる。(思)(主)
	LC3 ②	Questions:ミーナ先生，ありがとう 相手のことをよく知るために，地域でできることやその様子，尊敬する人の得意なことや好きなことなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，話の概要を捉えたりことができる。また，活字体の大文字と小文字を書くことができる。	5年生で学習した表現	5年生で学習した語句	わかる					(ア) アルファベットの大文字、小文字をすべて書くことができる。(知・技)
					使える	(イ) アルファベットの大文字と小文字とを結びつけることができる。(知・技)				
					わかる	(ウ) 相手のことをよく知るために、短い話を聞いて内容をとらえている。(思)				
		Let's Talk!:先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために，自分や相手のことなどについて，自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合うことができる。			使える			(イ) 互いのことをよく知るために、自分の考えや気持ちを含めて伝え合うことができる。(知・技)		
								(イ) これまで学習してきたことをもとに、先生と話をすることができる。(思)(主)		
	OW3	いろいろなスポーツ さまざまな国で親しまれているスポーツについて知る。	既習の表現	既習の語句						

70時間

□は、各単元の評価の中で、記録に残す評価をするところです。

※ 関連教科
国…国語／社…社会／算…算数／理…理科／生…生活／音…音楽／図…図画工作／家…家庭／体…体育／道…特別の教科 道徳／総…総合的な学習の時間／特…特別活動／キャリア…キャリア教育／SDGs…SDGs

国東小学校　第6学年　外国語科

○5、6年生においては「外国語科」であることをふまえ、以下のようにCAN-DOリストをあらわし評価に役立てるものとする。
○使用教材：Junior Sunshine 6/別冊Word Book（開隆堂）

【年間指導計画】

Junior Sunshine 6 指導内容					CAN-DOリスト					
学期	単元名 / 単元の目標 関連する他教科等や今日的な教育課題等		主な表現	主な語句		聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
1学期	L1 ⑧	This is me. 自分について発表しよう。 名前や出身地，好きなことやできること，得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ったり，自分のことをよく知ってもらうために自己紹介をしたりすることができる。 国，道，特	I'm (Chiba Haruhi). I'm from (Sweden). What (animal) do you like [have / want]? I like [have / want] (cats). I can (swim). I'm good at (swimming). It's (nice). My birthday is (January 1st). When is your birthday?	動作など① 動作など② 身の回りのもの 世界の国々 動物 スポーツ 食べ物 月・年 教科など	わかる	(ア)相手の名前や誕生日，好きなことやできることなどについて，聞いてわかる。（知・技）			(イ)名前や誕生日，好きなことやできることなどを相手に伝えることができる。（知・技）	
					使える				(イ)名前や誕生日，好きなことやできることなど，自分のことについてくわしく伝えることができる。（思）	
	L2 ⑧	Welcome to Japan. 日本のよいところをしょうかいしよう。 日本の文化についてよく知るために，名物や名所，行事などについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたり，日本の文化のよさについてよく知ってもらうために，内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。また，日本の文化のよさについて書かれたものを読んで意味がわかる。 国，社，道，総，特，SDGs	We have (honomi) in (Japan). We have (the Star Festival) in summer [August]. You can (eat sushi). It's (delicious).	年中行事など 建物など 自然など 様子など 動作など① 季節 月・年 食べ物 遊び	わかる	(ウ)日本の名産や名所，名物などについての話を聞いて，おおよその内容がわかる。（知・技）	(イ)日本の名産や名所，名物などをしょうかいしている文を読んで意味が分かる。（知・技）		(イ)日本の名産や名所，名物などについてしょうかいすることができる。（知・技）	
					使える	(イ)相手がしょうかいする日本の名産や名所，名物などについての話を聞き，相手の考えなどについてよく知ることができる。（思）（主）			(ウ)日本の名産や名所，名物などについて，自分の考えなどを工夫してくわしくしょうかいすることができる。（思）（主）	
	L3 ⑧	What time do you get up? 「理想の日曜日のスケジュール」を伝え合おう。 相手のことをよく知るために，1日の過ごし方やある動作を行う頻度などについて，具体的な情報を聞き取ったり，互いのことをよく知るために，尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 体，道，特，キャリア	I (get up) at (six). I always [usually /sometimes / never] (get up) at (six). I always [usually /sometimes / never] eat (apples) for breakfast [lunch / dinner]. I (play soccer) on (Sunday). What time do you (get up)?	食べ物 日課 食事 頻度 数 時刻 曜日	わかる	(ウ)日常生活で，何を，どのくらい行っているかについて，聞いてわかる。（知・技）		(ウ)日常生活で，何を，どのくらい行っているかについて伝え合うことができる。（知・技）		(ウ)日常生活で，何を，どのくらい行っているかについて，例文を参考に書き写すことができる。
					使える	(イ)日常生活で，何を，どのくらい行っているかについて聞き，相手のことをよく知ることができる。（思）（主）		(ウ)お互いのことをよく知るために，理想の1日の過ごし方について伝え合うことができる。（思）（主）		
	LC1 ②	Questions: 新しい先生や交換留学生との出会い ある動作を行う頻度や得意なことなどについて具体的な情報を聞き取ったり，相手の考えをよく知るために，日本についての短い話の概要を捉えたりすることができる。また，誕生日や好きなものについて書き写すことができる。	Lesson 1～3で学習した表現	Lesson 1～3で学習した語句	わかる	(イ)自己紹介や日本のことなどについて具体的な情報を聞いてわかる。（知・技）	(イ)自己紹介や日本のこと，日常生活などが書かれたものを読んで，意味が分かる。（知・技）			(ウ)自己紹介や日本のこと，日常生活などについて，ことばを選んで書き写すことができる。（知・技）
					使える	(ウ)相手の考えをよく知るために，日本についての短い話を聞いて内容をとらえることができる。（思）				
		Let's Talk!: 先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために，自分や相手のことなどについて自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合うことができる。			わかる			(イ)自分や相手のことなどについて，自分の考えや気持ちを含めて伝え合うことができる。（知・技）		
					使える			(イ)これまで学習してきたことをもとに，先生と話をすることができる。（思）（主）		
	OW1	世界の朝ご飯 さまざまな国の朝食について知る。	既習の表現	既習の語句						

Junior Sunshine 6 指導内容					CAN-DOリスト					
学期	単元名 / 単元の目標 関連する他教科等や今日的な教育課題等		主な表現	主な語句		聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
2学期	L4 ⑧	My Summer Vacation 夏休みの思い出を発表しよう。 夏休みの思い出について，具体的な情報を聞き取ったり，自分のことをよく知ってもらうために，自分の考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。 社，理，SDGs	I [You / He / She] can [can't] (play soccer). Can you (play soccer)? Yes, I can. / No, I can't.	スポーツ 学期 動作など① 遊び	わかる	(イ) 夏休みの思い出についての話を聞いて，おおよその内容がわかる。(知・技)			(イ) 夏休みの思い出について，したことや感想などをしょうかいすることができる。(知・技)	
					使える				(イ) 夏休みの思い出について，工夫してくわしくしょうかいすることができる。(思)	
	L5 ⑧	Where do you want to go? 行きたい国のみりょくを伝え合おう。 相手のことをよく知るために，行きたい国とその理由について，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたり，互いのことをよく知るために，尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。また，行きたい国について，簡単な語句や表現を書き写すことができる。 社，SDGs	Where do you want to go? I want to [go to / see / watch / eat / buy / visit]. You can [see / watch / eat / buy / visit] ~. Why?	食べ物 スポーツ 動作など① 世界の国々 世界遺産	わかる	(ウ) 行きたい国とそこでしたいことやできることなどについての話を聞いて，おおよその内容がわかる。(知・技)		(イ) 行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて，理由をつけて伝え合うことができる。(知・技)		(イ) 行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて，例文を参考に書くことができる。(知・技)
					使える	(イ) 行きたい国とそこでしたいことやできることなどについての話を聞き，相手の考えなどについてよく知ることができる。(思)		(ウ) 行きたい国とそこでしたいことやできることなどについて，工夫してくわしくしょうかいすることができる。(思) (主)		
	L6 ⑧	My Best Memory 小学校生活の思い出アルバムを作ろう。 相手のことをよく知るために，小学校生活の思い出について，短い話を聞いて概要を捉えたり，自分のことをよく知ってもらうために，話す内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを含めて話したり，書いたりすることができる。 国，道，絵，侍，キャリア	May I help you? What would you like? I'd like (a hamburger). How much is it? It's (500) yen. It's (delicious).	食べ物 飲み物 デザート 味覚など 果物・野菜，肉・魚など 数字	わかる	(ア) 小学校生活の思い出について短い話を聞いて内容をとらえることができる (知・技)			(ウ) 小学校生活の思い出について，したことや感想を伝えることができる。(知・技)	(イ) 小学校生活の思い出について，例文を参考に書くことができる。(知・技)
					使える	(ア) 小学校生活の思い出についての話を聞き，相手の考えなどについてよく知ることができる。(思) (主)			(ウ) 小学校生活の思い出について，工夫してくわしく伝えることができる。(思) (主)	(イ) 小学校生活の思い出について，例文を参考に相手に伝わるように工夫して書くことができる。(思) (主)
	LC2 ②	Questions:世界の国々について伝え合おう ある国でできることやその様子などについて具体的な情報を聞き取ったり，相手のことをよく知るために，夏休みの思い出についての短い話の概要を捉えたりすることができる。 また，夏休みの思い出やおすすめの国について書かれたものを読んで意味がわかる。また，おすすめの国でできることについて書き写すことができる。	Lesson 4~6 で学習した表現	Lesson 4~6 で学習した語句	わかる	(イ) ある国でできることやその様子について情報を聞き取ったり，夏休みの思い出について短い話を聞いて内容をとらえたりすることができる。(知・技)	(イ) みんなの思い出や行きたい国をしょうかいする文などを読んで意味が分かる。(知・技)			(ウ) 夏休みや小学校生活の思い出，行きたい国などについて，例文を参考に書くことができる。(知・技)
					使える	(ウ) 相手のことをよく知るために，夏休みの思い出についての短い話を聞いて内容をとらえている。(思)	(イ) みんなの思い出や行きたい国をしょうかいする文などを読んで，相手のことをよく知ることができる。(思)			
		Let's Talk!: 先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために，自分や相手のことなどについて，自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合うことができる。			わかる			(イ) 自分や相手のことなどについて，自分の考えや気持ちを含めて伝え合うことができる。(知・技)		
					使える			(イ) これまで学習してきたことをもとに，先生と話をすることができる。(思) (主)		
	OW2	世界遺産 さまざまな国の世界遺産について知る。	既習の表現	既習の語句						

Junior Sunshine 6 指導内容					CAN-DOリスト					
学期	単元名 / 単元の目標 関連する他教科等や今日的な教育課題等		主な表現	主な語句		聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
3学期	L7 ⑧	My Dream 将来の夢を発表しよう。 相手のことをよく知るために，将来の夢やその理由などについて，具体的な情報を聞き取ったり，短い話を聞いて概要を捉えたり，自分のことをよく知ってもらうために，内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを含めて話したり，例文を参考に書いたりすることができる。 社，道，総，特，キャリア	I want to be (a vet). What do you want to be? I like (animals). I want to (help animals).	動作など① 何かをする 動作など② 職業	わかる	(ウ)将来の夢についての話を聞いて、おおよその内容がわかる。(知・技)			(イ)将来の夢について、理由などをつけて伝えることができる。(知・技)	(ア)将来の夢やその理由などについて、例文を参考に書くことができる。(知・技)
					使える	(イ)将来の夢についての話を聞き、相手の考えなどについてよく知ることができる。(思)			(ウ)将来の夢について、工夫してくわしく伝えることができる。(思)(主)	(イ)将来の夢について、例文を参考に相手にわかってもらえるように工夫して書くことができる。(思)(主)
	L8 ⑧	My Junior High School Life 中学校生活でしたいことやがんばりたいことを伝えよう。 自分のことをよく知ってもらうために，中学校生活など将来や今の自分のことについて，内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを含めて話したり，例文を参考に書いたりすることができる。また，相手のことをよく知るために，中学校生活など将来や今の自分のことについて書かれたものを読んで意味がわかる。 道，特，総，キャリア	I want to study (English) hard. I want to join (the basketball team).	教科 動作など① 中学校 職業	わかる		(イ)中学校生活でしたいことなどについて書かれたものを読んで、意味が分かる。(知・技)		(ウ)中学校生活でしたいことなどについて、理由をつけて伝えることができる。(知・技)	(イ)中学校生活でしたいことやその理由などについて、例文を参考に書くことができる。(知・技)
					使える		(イ)中学校生活でしたいことなどについて読んで、相手のことがよくわかる。(思)		(ウ)中学校生活でしたいことなどについて、工夫してくわしく伝えることができる。(思)(主)	(イ)中学校生活でしたいことなどについて、例文を参考に相手に伝わるように工夫して書くことができる。(思)
	LC3 ②	Questions: 卒業を前に 相手のことをよく知るために，大切にしているものについての短い話を聞いて概要を捉えることができる。また，相手のことをよく知るために，将来の夢や中学校生活でしたいことについて書かれたものを読んで意味がわかる。また，自分のことをよく知ってもらうために，例文を参考に自分について書くことができる。	これまでに学習した表現	これまでに学習した語句	わかる		(ア)アルファベットの大文字、小文字を読むことができる。相手のことや身近なことについて書かれたものを読んで意味が分かる。(知・技)			(ア)アルファベットの大文字、小文字を書くことができる。自分のことや身近なことについて、例文を参考に書くことができる。(知・技)
					使える	(ウ)相手のことや身近なことなどについての話を聞き、具体的なことや、おおよその内容を知ることができる。(思)	(イ)相手のことや身近なことについて書かれたものを読んで、相手のことや身近なことについて知ることができる。(思)			(ウ)自分のことや身近なことについて、例文を参考に相手に伝わるように工夫して書くことができる。(思)
		Let's Talk!: 先生と話をしよう。 互いのことをよく知るために，これからやってみたいことや将来の夢などについて，自分の考えや気持ちなどを含めて伝え合うことができる。			わかる			(イ)自分のことや相手のこと、身近なことなどについて伝え合うことができる。(知・技)		
					使える			(イ)身近なことなどについて、伝え合って相手のことを知ったり、自分の考えを工夫してくわしく伝えたりすることができる。(思)(主)		
	OW3	世界で活やくしている人 海外で活躍する日本人や，日本で活躍する外国の人々について知る。	これまでに学習した表現	これまでに学習した語句						

70時間

□は、各単元の評価の中で、記録に残す評価をするところです。

※ 関連教科
国…国語／社…社会／算…算数／理…理科／生…生活／音…音楽／図…図画工作／家…家庭／体…体育／道…特別の教科 道徳／総…総合的な学習の時間／特…特別活動／キャリア…キャリア教育／SDGs…SDGs

令和７年度　道徳教育全体計画

国東市立国東小学校

日本国憲法
教育関係諸法規
学校教育法
学習指導要領
国東市教委の教育目標

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし
自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

○現代や社会の要請
○児童の実態
　学習規律・基本的生活習慣に課題
　ボランティア活動の推進
○保護者や地域の願い
○教師の願い

特　別　活　動

（学級活動）
○学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度を育てる。
（児童会活動）
○学校生活の充実向上のために諸問題を話し合い、協力して解決を図る活動を行う。
（クラブ活動）
○同好の児童と共通の興味・関心を追求する活動を行う。
（学校行事）
○学校生活に秩序と変化を与え集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。

道徳教育の重点目標

○思いやりの心をもち、相手の立場になって行動し、お互い助け合う子どもを育てる。

○自分や周りの人たちを大切にするために、約束やきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする子どもを育てる。

各　教　科

○指導内容・方法の改善、充実を図り、児童一人ひとりの感じる力、考える力の育成に努　める。
○児童一人ひとりの個性、能力に応じた指導の展開に努めるとともに、相互に協力し合い、励まし合う学習態度の育成に努める。
○各教科の指導内容、教示などで、道徳教育に深くかかわる　ものを通して、道徳性の啓発　を行う。
○見学、実験、観察、グループ学習、共同制作などの学習方　法や、学習形態を通して、道　徳性の啓発を行う。
○指導する教師の行動や態度を　通して、望ましい人間関係のあり方を感化していく。

生　徒　指　導

○全教職員協働体制で、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせる。
○積極的な生活指導で、子どもの問題行動を未然に防ぐ。
○問題行動に対しては、家庭や地域と連携し、早期発見・早期指導を心がける。
○学校と家庭や地域が一体となって、「声掛け」や「あいさつ」　運動を推進し、存在感や安心　感がもてるように取り組む。

各学年重点内容項目

1・2年	【親切・思いやり】 ○身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。 【規則の尊重】 ○約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
3・4年	【親切・思いやり】 ○相手のことを思いやり、進んで親切にすること。 【規則の尊重】 ○約束や社会のきまりの意義を理解しそれらを守ること。
5・6年	【親切・思いやり】 ○誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。 【規則の尊重】 ○法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にして義務を果たすこと。

外国語活動

○外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

○日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、外国の人々や文化を大切にする心を育てる。

総合的な学習の時間

○自然体験、ボランティアなどの社会経験を通して、自ら問　題に積極的に取り組む態度を　養う。
○異年齢集団の組織的活動など　を通して、望ましい人間関係について体験の充実を図る。

道徳の時間の指導の重点

○問題解決的な学習の工夫

○道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れる工夫

教育環境の整備

児童の豊かな心を育て、道徳的実践意欲を高めるよう、心に響く環境づくりをする。
・児童と教師、児童相互の望ましい人間関係づくり
・言語環境の改善、充実
・校舎、校庭の美化
・地域清掃
・資料室の整備

豊かな体験

全教育活動において、道徳的実践を促したり、道徳的実践力を培ったりするための豊かな体験の場の充実と、道徳の時間への活用
・人、物、自然とのふれあい
・各教科における体験活動
・特別活動における体験活動
・総合的な学習における体験活動

家庭・地域等との連携

保護者や地域と連携し、基本的生活習慣・社会性・道徳性を身につけさせるための取り組みを実践する。
・授業の公開
・学年単位の親子ふれあい活動
・保護者・地域の方といっしょに学ぶ機会
・幼稚園・中学校との連携

第１学年　道徳年間指導計画

月	教材名 【主題名】	内容項目	ねらい	他の教育活動や現代的な課題との関わり
4	1. がっこうだいすき 【がっこう　だいすき】	C(14)よりよい学校生活、集団生活の充実	先生や上級生、友達と共に過ごすよさについて考えさせ、クラスや学校の生活をみんなで楽しくしようとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) 共生
4	2. きもちのよいせいかつ 【きもちのよいせいかつ】	A(3)節度、節制	気持ちのよい毎日を過ごすために大切なことについて考えさせ、生活の中で気をつけたいことを考え、気持ちのよい生活をしようとする実践意欲を育てる。	健康教育 消費者教育 食育
5	3. あかるいあいさつ 【あかるいあいさつ】	B(8)礼儀	自分も相手も気持ちよくなる挨拶とはどんな挨拶かについて考えさせ、進んで明るい挨拶をしようとする実践意欲を育てる。	国語科
5	4. なかよくね 【なかよくね】	B(9)友情、信頼	友達といっしょに活動する楽しさや助け合うことの大切さについて考えさせ、進んで友達と関わり、仲よく助け合おうとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) 共生
5	5. よいこととわるいこと 【よいこととわるいこと】	A(1)善悪の判断、自律、自由と責任	よいと思ったことをするとどんな気持ちになるかについて考えさせ、よいことと悪いことを考えて行動しようとする判断力を育てる。	安全教育 法教育
6	6. みんなじょうず 【じぶんのいいところ】	A(4)個性の伸長	自分自身の特徴について考えさせ、自分の長所を大事にしようとする実践意欲を育てる。	共生 キャリア教育
6	7. みんないきてる 【いきているっていいな】	D(17)生命の尊さ	生きているよさやすばらしさについて考えさせ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	共生 安全教育 健康教育 食育
6	8. かぼちゃのつる 【したいことがあるときは】	A(3)節度、節制	自分のしたいことをするときに考えなければならないことについて考えさせ、わがままを抑えて快適な毎日を送ろうとする判断力を育てる。	共生
6	9. どうしてこうなるのかな 【きまりをまもる】	C(10)規則の尊重	約束やきまりを守る意義を考えさせ、進んで約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとする判断力を育てる。	法教育
7	10. きんのおの 【しょうじきなこころで】	A(2)正直、誠実	その違いから、正直でいることの大切さについて考えさせ、うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	図書館活用
7	11. かぞくとおはなし 【かぞくだいすき】	C(13)家族愛、家庭生活の充実	自分の家族と話したいことを考えさせ、家族の温かさや優しさを大切に思い、敬愛の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	生活科
8 9	12. あさがお 【しぜんとなかよく】	D(18)自然愛護	草花や動物はどんな気持ちで世話をすればよいかについて考えさせ、優しい気持ちで動植物に接しようとする心情を育てる。	国語科 生活科 環境教育
9	13. いきているって 【いきているからできるこ	D(17)生命の尊さ	生きているとどんないいことがあるかを考えさせ、生命を大	共生 健康教育

	と】		切にしようとする心情を育てる。	
9	14. ありがとうがいっぱい 【おせわになっているひとに】	B(7)感謝	どんな人に世話になっているのかを多様に考えさせ、感謝の心を伝えようとする実践意欲を育てる。	共生 キャリア教育
9	15. やさしいひと、みつけた 【やさしいきもちで】	B(6)親切、思いやり	優しい気持ちとはどんな気持ちなのかを考えさせ、相手のことを考え、優しく接しようとする心情を育てる。	いじめ問題 共生
10	16. あしたはえんそく 【すきかきらいかでなく】	C（11）公正、公平、社会正義	好きか嫌いかで行動を変えるのはどうしてよくないのかを考えさせ、自分の好き嫌いにとらわれず接しようとする判断力を育てる。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
10	17. ぽんたとかんた 【よくないとおもったら】	A(1)善悪の判断、自律、自由と責任	よくないことをしないためにはどうすればいいのかを考えさせ、よいことを進んで行おうとする判断力を育てる。	安全教育
10	18. とりかえっこ 【がっこうでたのしく】	C(14)よりよい学校生活、集団生活の充実	学校にはどんな楽しさやよさがあるかを考えさせ、学校生活を楽しくしようとする実践意欲を育てる。	
10	19. きゅうしょくとうばん 【がんばってはたらく】	C（12）勤労、公共の精神	みんなのために働くことのよさについて考えさせ、みんなのために役立とうとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) キャリア教育 食育
11	20. わすれていること、なあい 【あいさつをきちんと】	B(8)礼儀	きちんと挨拶することの大切さについて考えさせ、感謝や謝罪の気持ちを素直に言葉や態度で伝えようとする判断力を育てる。	共生
11	21. おふろそうじ 【じぶんのしごとをしっかりと】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	勉強や仕事をしっかりすることの気持ちよさについて考えさせ、自分のやるべきことをしっかりと行おうとする心情を育てる。	キャリア教育
11	22. 二わのことり 【ともだちのことをかんがえて】	B(9)友情、信頼	友達のためにできることについて考えさせ、友達と仲よくし、助け合おうとする心情を育てる。	いじめ問題
11	23. ひしゃくぼし 【うつくしいこころ】	D（19）感動、畏敬の念	美しい心とはどんな心なのかを考えさせ、美しいものや清らかなものに対する素直な感動やすがすがしい思いを大事にしようとする心情を育てる。	図書館活用
12	24. せかいのこどもたち 【せかいのこどもたちと ともに】	C(16)国際理解、国際親善	生活の様子について考えさせ、他国の人々や文化に親しもうとする実践意欲を育てる。	国際理解教育
12	25. これならできる 【かぞくのために】	C(13)家族愛、家庭生活の充実	家族のために何かができたときの気持ちについて考えさせ、進んで家の手伝いなどをして家族のために役に立とうとする心情を育てる。	生活科 食育
12	26. にほんのあそび	C(15)伝統と文化の尊	我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとする実	伝統文化教育

	【にほんのよいところ】	重、国や郷土を愛する態度	践意欲を育てる。	
1	27．はしのうえのおおかみ 【しんせつにすると】	B(6)親切、思いやり	誰かに親切にしたときの気持ちを考えさせ、相手を思いやり、優しく接しようとする心情を育てる。	いじめ問題
1	28．ジャングルジム 【だれにたいしても】	C（11）公正、公平、社会正義	誰とでも仲よくすることについて考えさせ、好き嫌いにとらわれず接しようとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生
1	29．みんなでつかうものやばしょ 【みんなでつかうときには】	C(10)規則の尊重	約束やきまりがある理由を考えさせ、約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切にしようとする判断力を育てる。	情報モラル 法教育
2	30．なわとびカード 【のびのびとせいかつするために】	A(2)正直、誠実	伸び伸びと生活するために大切なことを考えさせ、うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする判断力を育てる。	体育科 特別活動(学校行事)
2	31．「すき」からうまれた「そらまめくん」 【すきなことをみつけよう】	A(4)個性の伸長	自分の好きなことやいいところを見つけることについて考えさせ、自分の特徴に気づこうとする実践意欲を育てる。	図書館活用 キャリア教育
2	32．やればできるんだ 【がんばってつづける】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	がんばって続けるとどんないいことがあるかを考えさせ、やるべきことをしっかりと行おうとする実践意欲を育てる。	体育科
3	33．ちいさなふとん 【おおきくそだって】	D(17)生命の尊さ	成長を感じるときについて考えさせ、生きることのすばらしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	生活科 健康教育
3	34．みんなみんな、ありがとう 【ありがとうのきもち】	B(7)感謝	世話をしてくれる人々の善意や、それに対して自然に生まれた感謝の念について考えさせ、感謝の気持ちを伝えようとする心情を育てる。	共生

標準時数３４時間

第２学年　道徳年間指導計画

月	教材名 【主題名】	内容項目	ねらい	他の教育活動や 現代的な課題との関わり
4	1. どうとくがはじまるよ		1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	
4	2. 二年生になって 【規則正しい生活】	A(3) 節度、節制	気持ちのよい生活をするために大切なことを考えさせ、わがままをしないで健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をしようとする実践意欲を育てる。	安全教育
4	3. あいさつ月間 【気持ちのいいあいさつ】	B(8) 礼儀	気持ちのいい挨拶について考えさせ、心を込めた挨拶や言葉遣い、動作などをしようとする心情を育てる。	特別活動 (学校行事)
5	4. どうしてきまりがあるのかな 【きまりをまもって】	C(10)規則の尊重	きまりはどうして守らなければならないかについて考えさせ、きまりをしっかりと守ろうとする判断力を育てる。	安全教育 法教育
5	5. しょうかいします 【すてきな学校】	C(14)よりよい学校生活、集団生活の充実	・自分たちの学校のいいところはどんなところかを考えさせ、学校やクラスに愛着をもち、みんなで楽しい生活にしようとする心情を育てる。	特別活動(学校行事)
5	6. 角がついたかいじゅう 【してよいこと、いけないこと】	A(1)善悪の判断、自律、自由と責任	してよいことか、してはいけないことかを考えさせるのはどうして大切なのかを考えさせ、善悪を区別し、正しいことをしようとする判断力を育てる。	図画工作科 情報モラル 法教育
6	7. けんかをしたけど 【友だちとなかよく】	B(9)友情、信頼	友達と仲よくするために大切なことは何かについて考えさせ、けんかをしても、友達と仲直りしようとする判断力を育てる。	共生
6	8.　おり紙の名人 ――よしざわ　あきら 【自分のよいところ】	A(4)個性の伸長	自分の好きなことやよいところに気づいたらどうするかを考えさせ、長所に気づき、それを伸ばそうとする実践意欲を育てる。	図画工作科 キャリア教育
6	9. どきどきしたけど 【やさしい気もちで】	B(6)親切、思いやり	人に優しくすることはどうして大切なのかを考えさせ、身近な人に温かい心で接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。	共生 福祉に関する教育
6	10. ダンゴムシのまるちゃん 【しぜんに親しむ】	D(18)自然愛護	生き物と仲よくすることについて考えさせ、身近な自然に親しみ、優しい心で接していこうとする実践意欲を育てる。	生活科 共生 環境教育
7	11. もうすぐ八さい 【かわっていくわたし】	D(17)生命の尊さ	生きているとどんなところが変わっていくのかを考えさせ、生きることの不思議さやすばらしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	
7	12. ありがとうの手紙 【ありがとうをつたえよう】	B(7)感謝	「ありがとう」を伝えるとどんな気持ちになるのかを考えさせ、日頃お世話になっている人々に感謝しようとするを育てる。	国語科 図画工作科 共生
8 9	13. クラスの大へんしん 【すごしやすいクラスに】	C(14)よりよい学校生活、集団生活の充実	過ごしやすいクラスにするには、どのような考えが大切なのかを考えさせ、学校やクラスの生活をみんなで過ごしやすく	特別活動(学級活動) いじめ問題

			しようとする実践意欲を育てる。	共生
9	14. やめなさいよ 【よくないと思うことは】	A(1)善悪の判断、自律、自由と責任	よくないと思うことを見たらどうすればいいのかを考えさせ、よしあしを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。	いじめ問題
9	15.およげないりすさん 【自分たちとちがっても】	C(11)公正、公平、社会正義	誰とでも仲よくすることの大切さを考えさせ、違いや好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接していこうとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生
9	16. お月さまとコロ 【すなおな心で】	A(2)正直、誠実	素直な心で過ごすとどんないいことがあるかを考えさせ、素直な心で伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	
10	17. 黄色いベンチ 【みんなでつかうものだから】	C(10)規則の尊重	公共の物を使う際に大切なことを考えさせ、みんなが使う物を大切にしようとする実践意欲を育てる。	法教育
10	18. ぼくは まけない 【自分が しなければいけないこと】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	すべきことをするためには、どんな気持ちが大切かを考えさせ、自分のすべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする判断力を育てる。	
10	19.どうして うまくいかないのかな 【自分をすきになる】	A(4)個性の伸長	自分を好きになると、どんな気持ちになるかを考えさせ、自分の特徴に気づき、よさを大事にしようとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) キャリア教育
10	20. おでこのあせ 【はたらくことのよさ】	C(12)勤労、公共の精神	働くことのよさを考えさせ、みんなのために働こうとする心情を育てる。	社会参画に関する教育
11	21. 雨ふり 【だれにたいしても】	C(11)公正、公平、社会正義	誰にでも同じように接する気持ちが大切な訳を考えさせ、好き嫌いにとらわれず、公正、公平に接しようとする心情を育てる。	いじめ問題 共生
11	22. なかよしだけど 【あいても自分も気もちよく】	B(8)礼儀	相手も自分も気持ちよく過ごすために大切なことを考えさせ、自他ともに気持ちよく過ごすことのできる挨拶や振る舞いをしようとする実践意欲を育てる。	社会参画に関する教育
11	23. くりの み 【あいてを思いやって】	B(6)親切、思いやり	困っている人のためにどんなことができるといいかを考えさせ、相手を思いやり、親切にしようとする心情を育てる。	共生
11	24. ぼくの かさぶた 【生きていることのすごさ】	D(17)生命の尊さ	生きていることの不思議やすごさを見つめさせ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	健康教育
12	25. もうすぐお正月 【かぞくの一人として】	D(17)生命の尊さ	家族の一人として、どんな気持ちで過ごすことが大切なのかを考えさせ、家族を敬愛し、進んで役に立とうとする心情を育てる。	図書館活用 伝統文化教育
12	26. 黒ばんが にっこりするかな 【みんなのために】	C(12)勤労、公共の精神	・みんなのために働くとどんな気持ちになるのかを考えさせ、働くことのよさを知り、みんなのために働こうとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) 社会参画に関する教育
12	27. きらきら 【うつくしいとかんじるもの】	D(19)感動、畏敬の念	美しいものや清らかなものに触れて生まれる素直な感動やすがすがしい心を大切にしようとする心情を育てる。	生活科 図書館活用
1	28. お年玉をもらったけれど	A(3)節度、節制	生活の中で気をつけなければならないことについて考えさせ、物や金銭を大切にし、よく考えて生活しようとする判断	消費者教育

	【よく考えて】		力を育てる。	
1	29. おせちのひみつ 【日本のぶんか】	C(15)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	昔から伝わるものや料理について考えさせ、我が国や郷土の伝統と文化に親しみ、愛着をもとうとする実践意欲を育てる。	図書館活用 食育 伝統文化教育
1	30. 日本のお米、せかいのお米 【せかいのことを知ろう】	C(16)国際理解、国際親善	他国で作られたものや、他国から伝わってきたものを知り、他国の文化や伝統に興味をもち親しもうとする実践意欲を育てる。	共生 国際理解教育 食育
2	31. 空色の自転車 【みんながささえるいのち】	D(17)生命の尊さ	命はどうして大切なのかを考えさせ、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。	安全教育
2	32. すてきなえがお 【正直でいられたら】	A(2)正直、誠実	うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	図書館活用 法教育
2	33. ありがとうの絵 【ありがとうと思える心】	B(7)感謝	「ありがとう」と思える心について考えさせ、日頃世話になっている人々の善意に気づき、感謝しようとする心情を育てる。	図画工作科 共生
3	34. ぶらんこ 【友だちっていいな】	B(9)友情、信頼	友達と仲よくすることについて考えさせ、友達の気持ちを考え、仲よく助け合おうとする心情を育てる。	いじめ問題 共生
3	35. こうさとびができた 【あきらめないで】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	諦めずにやり抜くとどんな気持ちになるのかを考えさせ、自分のやるべきことをやり遂げるために力を尽くそうとする心情を育てる。	体育科 特別活動(学校行事)

標準時数３５時間

第３学年　道徳年間指導計画

月	教材名 【主題名】	内容項目	ねらい	他の教育活動や 現代的な課題との関わり
4	1. どうとくが始まるよ		1 年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	
4	2. あいさつ名人 【あいさつの心】	B(8) 礼儀	挨拶にはどんな心が大切なのかを考えさせ、礼儀の大切さを知り、相手の立場に立って真心をもって接しようとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) 図書館活用 社会参画に関する教育
4	3. きらきらカード 【楽しいクラスに】	C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	よりよいクラスにするためにできることを考えさせ、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくろうとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) 共生
5	4. 日曜日の公園で 【いじめをゆるさない心】 【自分とちがう意見も】	B(10) 相互理解、寛容	自分と違う意見が出たときに心がけることを考えさせ、互いに考えを伝え合い、自分と異なる意見も大切にしようとする心情を育てる。	いじめ問題 共生 福祉に関する教育
5	5. 道夫とぼく 【分けへだてをせずに】	C(12) 公正、公平、社会正義	誰に対しても分け隔てなく接するにはどんな気持ちが必要かを考えさせ、公正、公平な態度で接しようとする心情を育てる。	いじめ問題 共生
5	6. よごれた絵 【正直にあやまる心】	A(2) 正直、誠実	心から謝ることのよさについて考えさせ、過ちを犯したときにはごまかさずに素直に反省し、正直に明るい心で過ごそうとする判断力を育てる。	図画工作科
6	7. 友だち屋 【友だちとは】	B(9) 友情、信頼	友達とはどんな人かを考えさせ、友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。	図書館活用 いじめ問題 共生
6	8. 教えてあげる？ 持ってあげる？ 【やさしさとは】	B(6) 親切、思いやり	優しい人とはどんな人なのかを考えさせ、相手の状況や気持ちを思いやり、よく考えて判断し、親切にしようとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生
6	9. やめられない 【じょうほうと向き合う】 【気持ちのよい生活】	A(3) 節度、節制	気持ちのよい生活をするにはどんなことが大切かを考えさせ、自分でよく考えて判断し、節度ある生活をしようとする判断力を育てる。	健康教育 情報モラル
6	10.マリーゴールド 【力を合わせてはたらく】	C(13) 勤労、公共の精神	みんなと力を合わせて働くことのよさや大切さを考えさせ、みんなのために進んで働こうとする心情を育てる。	理科 特別活動(学校行事) 環境教育 社会参画に関する教育
7	11.生きている仲間 【自然とともに】 【生きている仲間】	D(18) 生命の尊さ	生きている仲間とはどんな仲間なのかを考えさせ、自分と同様に生命あるもの全てを尊いものとして大切にしようする心情を育てる。	理科 共生 食育
7	12.ヤゴきゅう出大作戦 【身近な自然に目を向けて】	D(19) 自然愛護	身近な自然に目を向けさせ、身近な自然との関わりを振り返りながら、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	理科 総合的な学習の時間 特別活動(学校行事) 環境教育
8	13.目の前は青空	B(9)	友達と助け合うとどんな気持ちになるかを考えさせ、	特別活動(学校行事)

9	【友だちと助け合って】	友情、信頼	友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。	図書館活用 共生 福祉に関する教育
9	14.たてわりはんそうじ 【相手のことを理かいするために】	B(10) 相互理解、寛容	相手を理解するために大切なことについて考えさせ、自分の考えを相手に伝えるとともに、異なる意見も大切にしようとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) 共生
9	15.大切なものは何ですか 【かけがえのない命】	D(18) 生命の尊さ	生命を大切にするとはどういうことかを考えさせ、生命の尊さを感じ、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。	理科
9	16.黄金の魚 【度をすごすことなく】	A(3) 節度、節制	度を超さずに行動するために大切なことを考えさせ、よく考えて節度のある生活を送ろうとする判断力を育てる。	図書館活用 消費者教育
10	17.三人の仕事 【はたらくときには】	C(13) 勤労、公共の精神	働くときにはどんな思いが大切かを考えさせ、進んでみんなのために働こうとする実践意欲を育てる。	キャリア教育 社会参画に関する教育
10	18.きまりのない国 【きまりは何のため】	C(11) 規則の尊重	きまりは何のためにあるのかを考えさせ、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) 安全教育 法教育
10	19.三年元気組 【それぞれのよいところ】	A(4) 個性の伸長	自分のよさを見つけ、伸ばすためには、どんな気持ちが大切かを考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする実践意欲を育てる。	国語科 音楽科 特別活動(学校行事) 共生 キャリア教育
10	20.言わなきゃ 【正しいと思うことを】	A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと思うことを行うために大切なことを考えさせ、正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする判断力を育てる。	特別活動(学級活動) いじめ問題
11	21.なおとからのしつもん 【公平なたいどで】	C(12) 公正、公平、社会正義	公平に接することが大切な訳を考えさせ、誰に対しても分け隔てせず、公正、公平に接しようとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生
11	22.モンたんとケロきち 【明るい心で】	A(2) 正直、誠実	正直でいることのよさを考えさせ、過ちを偽ったりごまかしたりせずに素直に改め、明るい心で生活しようとする判断力を育てる。	特別活動(学級活動)
11	23.とくジーのおまじない 【ささえてくれている人を思って】	B(7) 感謝	生活を支えてくれる人にどんな気持ちで接するのがよいかを考えさせ、尊敬と感謝の心で接しようとする実践意欲を育てる。	社会参画に関する教育
11	24.ふろしき 【昔からつたわる物】	C(16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	日本に昔から伝わる物に興味や関心をもたせ、それらに親しもうとする心情を育てる。	社会科 伝統文化教育
12	25.まわりを見つけて	D(20)	さまざまな感じ方や感動に共感させ、自然の美しさ	図画工作科

	【美しいと感じるもの】	感動、畏敬の念	や人の心の気高さを感じる心を大切にしようとする心情を育てる。	
12	26.マサラップ 【ともに生きる】 【他の国の人となかよくなるために】	C(17) 国際理解、国際親善	他国の人と仲よくなるために大切なことを考えさせ、他国のものに親しみ、関心をもとうとする心情を育てる。	外国語活動 総合的な学習の時間 特別活動(学校行事) 共生 国際理解教育 食育
12	27.親切がいっぱい 【こまっている人がいたら】	B(6) 親切、思いやり	・親切にするとどんないいことがあるのかを考えさせ、相手の状況や気持ちを考えて、相手を思いやり、進んで親切にしようとする実践意欲を育てる。	社会科 共生 福祉に関する教育
1	28.「わたしらしさ」をのばすために 【自分を見つめて】	A(4) 個性の伸長	自分らしさを伸ばすためにどんなことができるかを考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) キャリア教育
1	29.学校のぶどう 【よりよい学校に】	C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	よりよい学校にするために、一人一人ができることを考えさせ、楽しい学校をつくろうとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) 社会参画に関する教育
1	30.ボールのきまり 【きまりの大切さ】	C(11) 規則の尊重	きまりを守らなければならない訳を考えさせ、きまりの意義やよさを理解し、守ろうとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) 共生 法教育
2	31.よわむし太郎 【よいと思ったことは】	A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任	よいと思ったことを行うときに大切な心について考えさせ、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないことは止めようとする心情を育てる。	図書館活用 いじめ問題 共生
2	32.漢字に思いをこめて 【家族への思い】	C(14) 家族愛、家庭生活の充実	家族に伝えたい思いを考えさせ、父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としてできることをしていこうとする実践意欲を育てる。	国語科
2	33.ありがとうの気持ちをこめて 【つたえたいありがとう】	B(7) 感謝	生活を支えてくれている人に、どのような思いを伝えたいかを考えさせ、尊敬と感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	国語科 社会科 社会参画に関する教育 防災教育
3	34.ヌチヌグスージ —命の祭り 【命のふしぎ】	D(18) 生命の尊さ	命にはどんな不思議があるのかを考えさせ、受け継がれる命の尊さを知り、大切にしようとする心情を育てる。	図書館活用
3	35.スーパーパティシエ物語 【ゆめに向かって】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	夢をかなえるためには、どんな気持ちが大切かを考えさせ、目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする実践意欲を育てる。	キャリア教育 食育

標準時数３５時間

第４学年　道徳年間指導計画

月	教材名 【主題名】	内容項目	ねらい	他の教育活動や現代的課題との関わり
4	1. 道徳が始まるよ		1 年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	
4	2. 目覚まし時計 【できることは自分で】	A(3)節度、節制	自分でできることを自分でするために大切なことを考えさせ、節度のある生活をしようとする実践意欲を育てる。	体育科 健康教育
4	3. 土曜日の学校 【心を表す礼ぎ】	B(8)礼儀	礼儀正しくすることの大切さについて考えさせ、言葉遣いや振る舞いを正し、誰に対しても礼儀正しく接しようとする心情を育てる。	総合的な学習の時間 特別活動(学校行事) 社会参画に関する教育
5	4.「思いやり」って 【思いやりとは】	B(6)親切、思いやり	思いやりとはどんなものかについて考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、親切な行為を進んで行おうとする判断力を育てる。	図書館活用 共生 福祉に関する教育
5	5.「正直」五十円分 【正直に行動するために】	A(2)正直、誠実	自分から正直に行動するために大切なことを考えさせ、正直であることのよさを感じ、明るい心で伸び伸びと過ごそうとする心情を育てる。	図書館活用 消費者教育 法教育
5	6. 絵はがきと切手 【友だちとのよりよい関係とは】	B(9)友情、信頼	・友達とのよりよい関係について考えさせ、互いに信頼し、助け合おうとする判断力を育てる。	国語科 消費者教育
6	7. みんな、待っているよ 【わたしの大切なクラス】	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	クラスのよさを考えさせ、自分を支えてくれる人々と進んで関わり、楽しいクラスをつくろうとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) 福祉に関する教育
6	8. 心のシーソー 【正しいと思うことを】	A(1)善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと思うことを行うにはどんな心が大切かを考えさせ、正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生
6	9. 学級会での出来事 【一人一人の考えを大切に】	B(10)相互理解、寛容	話し合いにはどんな気持ちが大切かを考えさせ、相手のことを理解し、互いの考えや意見を受け止め合おうとする心情を育てる。	国語科 特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
6	10. 生きているしるし 【大切な命】	D(18)生命の尊さ	命の大切さについて考えさせ、一つしかない尊い命を大切にしていこうとする心情を育てる。	体育科
7	11. いのちをつなぐ岬 【自然の大切さ】	D(19)自然愛護	自然を守るために大切な心を考えさせ、自然のすばらしさや尊さを感じ取り、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	総合的な学習の時間 図書館活用 共生 環境教育
7	12. このままに していたら 【みんなの場所で】	C(11)規則の尊重	みんなの場所で気をつけなければならないことを考えさせ、社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする判断力を育てる。	共生 環境教育 法教育
8 9	13. みんな同じだったら 【自分の特ちょうを見つめて】	A(4)個性の伸長	自分の特徴を多面的に見つめさせ、長所をさらに伸ばしていこうとする心情を育てる。	共生
9	14.「まあ、いいか。」 【よく考えて】	A(3)節度、節制	「まあ、いいか。」に負けない心について考えさせ、安全に気をつけ、よく考えて行動しようとする判断力を育てる。	安全教育

9	15. なみえさんへ 【身近な人への感しゃの思い】	B(7)感謝	自分たちを支えてくれている人たちの存在について考えさせ、その人たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする実践意欲を育てる。	国語科 理科 環境教育 社会参画に関する教育
9	16. つまらなかった 【分かり合うために】	B(10)相互理解、寛容	互いに分かり合うのに大切なことを考えさせ、自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、異なる意見も大事にしようとする心情を育てる。	図書館活用 共生 情報モラル
10	17. わたしたちの校歌 【楽しい学校に】	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	自分たちの校歌に込められた思いについて考えさせ、学校への愛着を深め、学校やクラスを大事にしていこうとする実践意欲を育てる。	音楽科 総合的な学習の時間 図書館活用 伝統文化教育
10	18. 決めつけてないかな 【公平な見方で】	C(12)公正、公平、社会正義	決めつけないために大切なことを考えさせ、誰に対しても公正、公平に接しようとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生
10	19. 祭りだいこ 【地いきを大切に】	C(16)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	地域の文化を大切にする意義を考えさせ、地域や国の伝統や文化に親しみをもち、大切にしていこうとする心情を育てる。	社会科 社会参画に関する教育 伝統文化教育
10	20. 琵琶湖のごみ拾い 【気持ちよく働く】	C(13)勤労、公共の精神	気持ちよく働くことのよさを考えさせ、進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。	特別活動(学校行事) 共生 環境教育 社会参画に関する教育
11	21. スーパーモンスターカード 【正しいことを行うために】	A(1)善悪の判断、自律、自由と責任	正しいことを行うために大切なことを考えさせ、正しいと思ったときには自信をもって行おうとする判断力を育てる。	消費者教育 法教育
11	22. 雨の バスていりゅう所で 【みんなが気持ちよく】	C(11)規則の尊重	みんなが気持ちよく過ごすために大切なことを考えさせ、社会のマナーやきまりの意義を理解し、それを守ろうとする実践意欲を育てる。	法教育
11	23. 泣いた赤おに 【友だちを大切に】	B(9)友情、信頼	友達を大切にすることについて考えさせ、友達と互いに理解し合い、信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。	図書館活用 共生
11	24. 生き物と機械 【命の不思議さ】	D(18)生命の尊さ	命とはどのようなものなのかを考えさせ、生命の尊さを感じ、大切にしようとする心情を育てる。	理科 共生
12	25. 年賀状に書いたゆめ —— 奥原希望 【目標に向かって】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	夢や目標をもって進むことについて考えさせ、目標に向かって強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする実践意欲を育てる。	体育科 図書館活用 キャリア教育
12	26. ちょっと待ってよ 【分けへだてのない行動】	C(12)公正、公平、社会正義	・誰に対しても分け隔てなく行動するために大切なことを考えさせ、公正、公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生 福祉に関する教育
12	27. 思いやりのかたち 【さまざまな思いやり】	B(6)親切、思いやり	人を思いやるとはどういうことかを考えさせ、相手のことを考え、自分にできる親切をしようとする実践意欲を育てる。	社会科 共生 福祉に関する教育
1	28. 花さき山 【人の心の美しさ】	D(20)感動、畏敬の念	美しい心について考えさせ、美しいものや気高いものに触れたときの素直な感動を大切にしようとする心情を育てる。	国語科 図書館活用
1	29. 梨の実—— アンリ=ファーブル	A(2)正直、誠実	間違いを素直に改めることの大切さについて考えさせ、正直に明るい心で生活しようとする実践意欲を育てる。	消費者教育 法教育

	【すなおになって】			
1	30. 空からの目線 【よいところをのばして】	A(4)個性の伸長	自分のよさを伸ばすことのよさを考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。	図画工作科 図書館活用 キャリア教育
2	31. わたしの大切なもの 【世界の人々に親しむ】	C(17)国際理解、国際親善	世界の人々や文化などを知り、他国の人々や文化に親しみ、関心をもって触れ合おうとする実践意欲を育てる。	総合的な学習の時間 共生 国際理解教育
2	32. おじいちゃんの ごくらく ごくらく 【思いでつながる命】	D(18)生命の尊さ	生命の尊さについて考えさせ、「死」を理解し、与えられた生命を大切にして生きようとする心情を育てる。	図書館活用 福祉に関する教育
2	33. ブラッドレーのせい求書 【家族を思って】	C(14)家族愛、家庭生活の充実	家族の一員としての自分について考えさせ、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする実践意欲を育てる。	国語科
3	34. 神戸のふっこうは、ぼくらの手で 【みんなのために働く】	C(13)勤労、公共の精神	みんなのために働くことの大切さについて考えさせ、集団の一員としてできることを見つけ、実行しようとする心情を育てる。	社会参画に関する教育 防災教育
3	35. 朝がくると 【周りの人にありがとう】	B(7)感謝	自分の生活を支えてくれる人々に伝えたいことを考えさせ、その方たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接していこうとする実践意欲を育てる。	国語科 社会科 共生 社会参画に関する教育

標準時数３５時間

第５学年　道徳年間指導計画

月	教材名 【主題名】	内容項目	ねらい	他の教育活動や現代的な課題との関わり
4	1. 道徳が始まるよ		1 年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	
4	2. わたしは飼育委員 【自分の役割を果たす】	C(16) よりよい学校生活、集団生活の充実	自分の役割を果たすためにはどんなことが大切かを考えさせ、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする実践意欲を育てる。	特別活動(児童会活動　キャリア教育 社会参画に関する教育
4	3. 夢を実現するためには 【夢をかなえるために】	A(5) 希望と勇気、努力と強い意志	夢や目標を実現するのに大切なのはどんなことかを考えさせ、夢や目標を設定し、その達成を目ざして努力しようとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) キャリア教育
5	4. 流行おくれ 【節度を守って】	A(3) 節度、節制	節度ある生活を送るために大切なのはどんなことかを考えさせ、進んで生活を見直し、節度ある生活をしようとする判断力を育てる。	消費者教育
5	5. 道案内 【親切とは】	B(7) 親切、思いやり	親切な行いをするときに大切なことは何かを考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、進んで親切にしようとする実践意欲を育てる。	図書館活用 共生 福祉に関する教育
5	6. いこいの広場 【責任ある行動とは】	A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任	・責任ある行動とはどんなものかを考えさせ、状況に応じて自律的に考え、行動しようとする判断力を育てる。	共生 安全教育 社会参画に関する教育
6	7. 公園のきまりを作ろう 【よりよいきまりとは】	C(12) 規則の尊重	きまりはどんなことを大事にして作ればよいのかを考えさせ、きまりの意義を理解したうえで、それを進んで守ろうとする実践意欲を育てる。	国語科 特別活動(学級活動) 共生 法教育
6	8. みんな、おかしいよ！ 【理解し合うために】	B(11) 相互理解、寛容	相手と理解し合うために大切なことを考えさせ、自分の考えや意見を適切に相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする実践意欲を育てる。	図書館活用 いじめ問題 共生
6	9. ドッジボール対決 【たがいに高め合いながら】	B(10) 友情、信頼	互いに高め合える友情とはどんなものかを考えさせ、友達と信頼し合い、協力して学び合いながら友情を深めていこうとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
6	10. 命の詩―― 電池が切れるまで 【命の大切さ】	D(19) 生命の尊さ	命の大切さについて考えさせ、限りある命を懸命に生きることの尊さを感じ取り、自分らしく精いっぱい生きようとする心情を育てる。	図書館活用 いじめ問題
7	11. 一ふみ十年 【自然を大切に】	D(20) 自然愛護	自然とのよりよい関わりについて考えさせ、自然環境を大切にしていこうとする心情を育てる。	理科 総合的な学習の時間 環境教育
7	12. 宇宙から見えたもの 【すばらしさを感じる心】	D(21) 感動、畏敬の念	宇宙の広がりに思いをはせ、美しいものや気高いものへの感動や、人間の力を超えたものへの畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。	理科 環境教育
8 9	13. 自分の身は自分で守る	A(3) 節度、節制	安全な生活には何が大切かを考えさせ、安全に関する意識を高め、節度ある生活をしようとする実践意欲を育てる。	特別活動(学校行事) 安全教育 防災教育

	【安全に生活するために】			
9	14. このままでいいのかな 【明るい心で】	A(2) 正直、誠実	明るい心で生活するには、どう考え、判断すればいいのかを考えさせ、自分自身に誠実であろうとする判断力を育てる。	いじめ問題 共生
9	15. あいさつって 【礼ぎとは】	B(9) 礼儀	挨拶や礼儀はなぜ大切なのかを考えさせ、相手の立場や気持ちを考えて心の籠もった接し方をしようとする判断力を育てる。	国語科 情報モラル
9	16. 友のしょうぞう画 【友達を思う心】	B(10) 友情、信頼	友達を思う心とはどんなものかを考えさせ、友達と互いに信頼し合い、支え合って友情を深めていこうとする心情を育てる。	共生
10	17. 健太の役割 【集団の中での役割】	C(16) よりよい学校生活、集団生活の充実	集団の中で、自分の役割を果たすために大切なことを考えさせ、自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めようとする判断力を育てる。	特別活動(児童会活動 社会参画に関する教育
10	18.. 三十八億年の命 【つながる命】	D(19) 生命の尊さ	「命」は、誰のものなのかを考えさせ、つながりの中にある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を大切にして生きようとする心情を育てる。	理科 図書館活用
10	19. おばあちゃんからもらった命 【相手の思いに応えて】	B(8) 感謝	相手の思いに応えるためにできることを考えさせ、温かなつながりに感謝し、善意に応えようとする実践意欲を育てる。	防災教育
10	20. 祖母のりんご 【家族のために】	C(15) 家族愛、家庭生活の充実	家族とはどんなものかを考えさせ、家族を敬愛し、家族のために自分にできることをしようとする心情を育てる。	福祉に関する教育
11	21. ようこそ、菅島へ！ 【郷土を大切に】	C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	国や郷土を大切にする心について考えさせ、先人の努力を知り、国や郷土の自然や文化を大切にし、発展させていこうとする心情を育てる。	総合的な学習の時間 特別活動(児童会活動 伝統文化教育
11	22. 真の看護を求めて ——ナイチンゲール 【真実を求めて】	A(6) 真理の探究	真実を追求しようとする思いはなぜ大切かを考えさせ、真理を大切にし、物事を探求しようとする心情を育てる。	算数科 図書館活用 キャリア教育
11	23. 小さな国際親善大使 【他国の人々を理解して】	C(18) 国際理解、国際親善	他国の習慣や文化を理解することの大切さを考えさせ、他国への関心や理解を深め、他国の習慣や文化を尊重し、国際親善に努めようとする心情を育てる。	総合的な学習の時間 図書館活用 共生 国際理解教育 食育
11	24. クール・ボランティア 【社会に役立つとは】	C(14) 勤労、公共の精神	ボランティア活動を支える心について考えさせ、勤労や社会奉仕の意義ややりがいを理解し、公共のために役立とうとする心情を育てる。	特別活動(児童会活動 図書館活用 キャリア教育 社会参画に関する教育
12	25.「自分らしさ」を見つめよう 【自分らしさを知る】	A(4) 個性の伸長	さまざまな自分を知り「自分らしさ」を見つめさせ、自分の特徴に目を向け、長所を伸ばしていこうとする実践意欲を育てる。	特別活動(学級活動) 図書館活用 キャリア教育
12	26. ブランコ乗りとピエロ 【分かり合うために】	B(11) 相互理解、寛容	考えの違う者どうしが関わり合って暮らすために必要な心を考えさせ、広い心で相手の思いや立場を尊重しようとする心情を育てる。	国語科 いじめ問題 共生
12	27. だれもが幸せになれ	C(13) 公正、公平、社会正	・誰もが幸せになれる社会とはどのようなものかを考えさ	社会科 図書館活用 いじめ問題 共生

	る社会を 【公正・公平な社会をめざして】	義	せ、差別や偏見をもたず、公正、公平な態度で正義の実現に努めようとする実践意欲を育てる。	社会参画に関する教育
1	28. うばわれた自由 【自由とは】	A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任	「本当の自由」とはどのようなものかを考えさせ、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任ある行動をしようとする判断力を育てる。	図書館活用 法教育
1	29. 千羽づる 【誠実に生きる】	A(2) 正直、誠実	誠実に生きるにはどんな考えがあればよいのかを考えさせ、自分自身に誠実に明るい心で生活しようとする心情を育てる。	
1	30. お客さま 【きまりの意義】	C(12) 規則の尊重	きまりは何のためにあるのかを考えさせ、互いの権利を大切にし、きまりを進んで守ろうとする判断力を育てる。	法教育
2	31.「思いやり」って、何だろう 【思いやりとは】	B(7) 親切、思いやり	「思いやり」についての考えを深め、友達と考えた「思いやり」の本質を、これからの自分の生き方に生かそうとする心情を育てる。	国語科 共生 福祉に関する教育
2	32. 水がわたる橋 ―― 通潤橋 【感謝の心をもって】	B(8) 感謝	自分たちの生活がどんな人たちに支えられているのかを考えさせ、自分たちの生活が、過去の人々の尽力のうえにあることに感謝し、善意に応えていこうとする心情を育てる。	社会科 社会参画に関する教育 伝統文化教育
2	33. 最後のコンサート ――チェロ奏者・ 徳永兼一郎 【精いっぱい生きる】	D(19) 生命の尊さ	「精いっぱい生きる」とはどういうことかを考えさせ、かけがえのない生命を大切に生きようとする心情を育てる。	音楽科
3	34. 今、自分がいいと思うものを ―― 切子作家・小川郁子 【くじけないで】	A(5) 希望と勇気、努力と強い意志	くじけない心の根っこにはどんな思いがあるのかを考えさせ、目標に向け困難に負けずに努力し、やり抜こうとする実践意欲を育てる。	社会科 図画工作科 図書館活用 キャリア教育 伝統文化教育
3	35. アンパンマンがくれたもの 【生きる喜び】	D(22) よりよく生きる喜び	「生きるよろこび」とは何かを考えさせ、人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとする心情を育てる。	音楽科 図書館活用

標準時数３５時間

第６学年　道徳年間指導計画

月	教材名 【主題名】	内容項目	ねらい	他の教育活動や現代的な課題との関わり
4	1. 道徳が始まるよ		1 年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	
4	2. ぬくもり 【個性を知って】	A（4）個性の伸長	長所を知ることの大切さを考えさせ、自分自身の特徴を知り、長所を伸ばして自己を高めようとする心情を育てる。	特別活動(学級活動) 図書館活用
4	3. まどさんからの手紙 ――こどもたちへ 【未来に向かって】	D(22)よりよく生きる喜び	人間としての自分のよさや可能性を信じ、さまざまなことに挑戦してよりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。	国語科 図書館活用 共生
5	4. 大きな目標をもって ―― 西山 麗 【目標に向かって】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	物事に挑戦するときに支えとなるものは何かを考えさせ、目標に向かってくじけずに努力し、実現しようとする心情を育てる。	体育科 図書館活用 キャリア教育
5	5. なれなかったリレーの選手 【生活を見直す】	A(3)節度、節制	後悔しないよう日頃から大切にすべきことを考えさせ、節度を守り節制に心がけようとする実践意欲を育てる。	体育科 特別活動(学校行事) 健康教育
5	6. 子ども会のキャンプ 【自分の役割を知る】	C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実	役割を果たすために大切なことを考えさせ、自分の役割を自覚し、責任をもって果たそうとする判断力を育てる。	社会参画に関する教育
6	7. 泣き虫 【だれにでも公正・公平な心で】	C（13）公正、公平、社会正義	・誰にでも公正で公平な態度を取るために必要な気持ちを考えさせ、身近な差別や偏見に向き合い、強い意志をもって正義の実現に努めようとする心情を育てる。	図書館活用 いじめ問題 共生
6	8. この胸の痛みを 【広い心で】	B(11)相互理解、寛容	「広い心」とはどんな心かについて考えさせ、自分について謙虚に振り返り、よりよい関係を築こうとする心情を育てる。	いじめ問題 共生
6	9. ロレンゾの友達 【真の友情とは】	B（10）友情、信頼	真の友情とはどのようなものかを考えさせ、互いに信頼し高め合い、真の友情を築こうとする判断力を育てる。	図書館活用 法教育
6	10. 今度は、ぼくの番 【相手を思いやって】	B(7)親切、思いやり	相手を思う心はどのような行動で示せるかを考えさせ、相手の状況や気持ちを考え、思いやりをもって親切にしようとする心情を育てる。	国語科 図書館活用
7	11. クジラとプラスチック 【自然を大切に】	D(20)自然愛護	自然を大切にするとはどういうことかを考えさせ、人間と自然の関わりに関心をもち、自然環境を大切にしようとする実践意欲を育てる。	社会科 理科 総合的な学習の時間 共生 環境教育 社会参画に関する教育
7	12. 命の旅 【命をつなぐ】	D(19)生命の尊さ	「命の旅」の意味について考えさせ、生命は、多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを知り、生命を尊重しようとする心情を育てる。	社会科 理科 共生 環境教育
8	13. 世界人権宣言から	C(12)規則	人権に関する考えを深め、自他の権利を尊重し合い、義	社会科 共生

9	学ぼう 【大切な権利】	の尊重	務を果たしてよりよい社会にしようとする実践意欲を育てる。	社会参画に関する教育 法教育
9	14. 気に入らなかった写真 【責任を自覚して】	A(1)善悪の判断、自律、自由と責任	責任ある行動について考えさせ、よく考えて自律的に判断し、責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。	情報モラル
9	15. 手品師 【自分の心に誠実に】	A(2)正直、誠実	「誠実に生きる」とはどういうことかを考えさせ、相手にも自分自身にも誠実に、明るい心で過ごそうとする心情を育てる。	
9	16. 昼休みのコートで 【理解し合うために】	B(11)相互理解、寛容	相手と理解し合うために大切な気持ちを考えさせ、相手の立場や気持ちを考え、互いに尊重し合ってよりよい関係を築こうとする心情を育てる。	いじめ問題 共生
10	17. コスモスの花 【友達とは】	B(10)友情、信頼	友達とはどんな存在なのかを考えさせ、よさを認め合い、よりよい友達関係を築こうとする心情を育てる。	図書館活用 いじめ問題
10	18. 六年生の責任って？ 【よりよい学校を目ざして】	C(16)よりよい学校生活、集団生活の充実	6 年生の責任を果たすために、どう考え、判断すればよいかを考えさせ、役割を自覚し、協力して学校生活を充実させようとする判断力を育てる。	特別活動(学級活動 児童会活動) 共生 社会参画に関する教育
10	19. ここを走れば 【法やきまりを守って】	C(12)規則の尊重	法やきまりを支えるのは、人々のどんな考えかを話し合わせ、法やきまりの意義を理解し、進んで守ろうとする心情を育てる。	社会参画に関する教育 法教育
10	20. 礼儀正しいふるまい 【礼儀とは】	B(9)礼儀	礼儀正しい振る舞いについて考えさせ、時と場に応じ、相手の立場や気持ちを考え、心を込めて接していこうとする実践意欲を育てる。	特別活動(学校行事) 社会参画に関する教育
11	21. 五十五年目の恩返し 【感謝の心を伝えるために】	B(8)感謝	感謝の心とはどういうものかを考えさせ、人々の支えに感謝し、応えようとする実践意欲を育てる。	社会科 共生 国際理解教育
11	22. 最後のおくり物 【その人のために】	B(7)親切、思いやり	心からの思いやりや親切とはどんなものかを考えさせ、思いやりの心を大切にしようとする心情を育てる。	キャリア教育
11	23. マザー＝テレサ 【心の美しさ】	D(21)感動、畏敬の念	人間の心の崇高さに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	社会科 共生 社会参画に関する教育 福祉に関する教育
11	24. 命のかがやき 【共に生きる】	D(19)生命の尊さ	命について考えさせ、一人一人のつながりの中にあるかけがえのない命を大切にして、精いっぱい生きようとする心情を育てる。	共生
12	25. 小川笙船 【やりとげるために】	A(5)希望と勇気、努力と強い意志	自分の決めたことをやり遂げるために大切な心について考えさせ、目標に向かって努力しようとする心情を育てる。	キャリア教育 福祉に関する教育
12	26. エルトゥールル号 ――友好の始まり	C(18)国際理解、国際	他国の人々と支え合いながら生きるのに大切なことを考えさせ、国際親善に努めようとする実践意欲を育てる。	社会科 総合的な学習の時間

	【他国の人々と支え合いながら】	親善		共生 国際理解教育
12	27. 私には夢がある 【差別のない社会を求めて】	C（13）公正、公平、社会正義	・マーティンが目ざす世界を実現するにはどんな考えが大切かを考えさせ、差別や偏見を許さず、正義の実現に努めようとする判断力を育てる。	社会科 図書館活用 共生 社会参画に関する教育 法教育
1	28. サバクトビバッタを追いかけて 〈昆虫学者・前野浩太郎〉 【真実を求めて】	A（6）真理の探究	真理を探究しようとする心について考えさせ、本質を見極めようとする実践意欲を育てる。	理科 図書館活用 キャリア教育
1	29.「自由」って、何だろう 【自由とは】	A（1）善悪の判断、自律、自由と責任	「自由」についての考えを深め、友達と考えた「自由」の本質を、これからの自分の生き方に生かそうとする心情を育てる。	国語科 共生
1	30. 曲げわっぱから伝わるもの 【郷土を大切に】	C（17）伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	伝統や文化を守っていくために必要なことを考えさせ、先人の業績や優れた技に誇りをもち、大切にしようとする心情を育てる。	社会科 図書館活用 伝統文化教育
2	31. ぼくの名前呼んで 【家族に対する思い】	C（15）家族愛、家庭生活の充実	家族が教えてくれるものを考えさせ、父母を敬愛し、家族の幸せに貢献しようとする実践意欲を育てる。	共生 福祉に関する教育
2	32. 恋ちゃん――はじめての「みとり」 【かけがえのない命】	D（19）生命の尊さ	命のすばらしさとはどのようなことかを考えさせ、限りある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を尊重しようとする心情を育てる。	図書館活用 共生
2	33.「働く」って、どういうこと？ 【働く意義】	C（14）勤労、公共の精神	働くとはどのようなことかを考えさせ、働くことの意義を理解し、自己実現を図るとともに、公共のために役に立つことをしようとする実践意欲を育てる。	社会科 キャリア教育
3	34.「ありがとう」の気持ちを伝える 【支えてくれた人々に】	B（8）感謝	自分の内面にある感謝の気持ちを見つめさせ、多くの人の支えや助け合いで成り立っている日々の生活に感謝し、それに応えようとする実践意欲を育てる。	特別活動（学級活動）
3	35. 一さいから百さいの夢 【よりよく生きるために】	D（22）よりよく生きる喜び	夢が私たちに与えてくれるものについて考えさせ、よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、夢や希望をもち自分らしく生きようとする心情を育てる。	国語科 特別活動（学級活動） キャリア教育

標準時数３５時間

（　1　）年　道徳教育の全体計画の別葉（低学年用）

	各教科等 ー 道徳の内容項目 ↓	特別活動 （学校の諸行事、児童会活動、学級活動等）	月	国　語	月	算　数	月	生活科	月	音　楽	月	図　工	月	体育	月
主として自分自身に関すること	善悪の判断 自律、自由と責任														
	正直、誠実														
	節度、節制														
	個性の伸長														
	希望と勇気 努力と強い意志														
主として人との関わりに関すること	親切、思いやり			ことばをみつけよう、やくそく	9			もうすぐ2ねんせい	3			ようこそあたらしい1年生	2	体ほぐしの運動	4
	感謝														
	礼儀														
	友情、信頼														
主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	図書館の利用	11	遊びの約束を話し合う	11	いくつといくつ	5					安全に正しく道具を使って 作品づくりをする	12	プールのきまりを守って 安全に楽しく泳ぐ	6
	公正、公平、 社会正義														
	勤労、公共の精神														
	家族愛 家庭生活の充実														
	よりよい学校生活 集団生活の充実														
	国際理解 国際親善														
	伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度														
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ														
	自然愛護														
	感動、畏敬の念														

（　２　）年　道徳教育の全体計画の別葉（低学年用）

	各教科等 ← 道徳の内容項目 ↓	特別活動 （学校の諸行事、児童会活動、学級活動等）	月	国語	月	算数	月	生活科	月	音楽	月	図工	月	体育	月
主として自分自身に関すること	善悪の判断 自律、自由と責任														
	正直、誠実														
	節度、節制														
	個性の伸長														
	希望と勇気 努力と強い意志														
主として人との関わりに関すること	親切、思いやり	1年生にやさしくする	5	お手紙	10	友だちの考えのいいところを見つける	通年	自分の生活を教えてくれた人に感謝の気持ちをもつ	3	楽器を正しく使って演奏する	9			チームの友だちと協力して競技や応援をする	9
	感謝														
	礼儀														
	友情、信頼														
主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	図書館の活用	10	図書館たんけん	4	100をこえる数	通年					わくわくカッターナイフ	12	水に慣れる遊び	7
	公正、公平、 社会正義														
	勤労、公共の精神														
	家族愛 家庭生活の充実														
	よりよい学校生活 集団生活の充実														
	国際理解 国際親善														
	伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度														
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ														
	自然愛護														
	感動、畏敬の念														

（　3　）年　道徳教育の全体計画の別葉（中学年用）

	各教科等 道徳の内容項目	特別活動 (学校の諸行事、児童会活動、学級活動等)	月	国語	月	社会	月	算数	月	理科	月	音楽	月	図工	月	体育	月	総合的な学習の時間	月	外国語活動	月
主として自分自身に関すること	善悪の判断 自律、自由と責任																				
	正直、誠実																				
	節度、節制																				
	個性の伸長																				
	希望と勇気 努力と強い意志																				
主として人との関わりに関すること	親切、思いやり	ふわふわ言葉を使おう	4	気持ちをこめて、「来てください」	6	事故や事件からくらしを守る	1			太陽の光	11					かけっこリレー	5	地域のお年寄りをたずねよう	11 12	How are you?	5
	感謝																				
	礼儀																				
	友情、信頼																				
	相互理解、寛容																				
主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	図書館の活用	10	図書館たんていだん	4	事件や事故から暮らしを守る	1	わり算	6									交通安全マップ作り			
	公正、公平、 社会正義																				
	勤労、公共の精神																				
	家族愛 家庭生活の充実																				
	よりよい学校生活 集団生活の充実																				
	国際理解 国際親善																				
	伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度																				
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ																				
	自然愛護																				
	感動、畏敬の念																				

（　4　）年　道徳教育の全体計画の別葉（中学年用）

	各教科等 ↓ 道徳の内容項目 ↓	特別活動 （学校の諸行事、児童会活動、学級活動等）	月	国語	月	社会	月	算数	月	理科	月	音楽	月	図工	月	体育	月	総合的な学習の時間		外国語活動	月
主として自分自身に関すること	善悪の判断 自律、自由と責任																				
	正直、誠実																				
	節度、節制																				
	個性の伸長																				
	希望と勇気 努力と強い意志																				
主として人との関わりに関すること	親切、思いやり			こんぎつね	10	水はどこから	7							お気に入りの形	2						
	感謝																				
	礼儀																				
	友情、信頼																				
	相互理解、寛容																				
主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	図書館の活用	10	図書館の達人になろう	4	ごみのしょりと利用	6 7	式と計算の順じょ	6					直線と曲線から生まれる形	4			地域のバリアフリーマップ作り		This is my day.	2
	公正、公平、 社会正義																				
	勤労、公共の精神																				
	家族愛 家庭生活の充実																				
	よりよい学校生活 集団生活の充実																				
	国際理解 国際親善																				
	伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度																				
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ																				
	自然愛護																				
	感動、畏敬の念																				

（　5　）年　道徳教育の全体計画の別葉　（高学年用）

	各教科等 ／ 道徳の内容項目 ↓	特別活動（学校の諸行事、児童会活動、学級活動等）	月	国語	月	社会	月	算数	月	理科	月	音楽	月	図工	月	家庭	月	体育	月	総合的な学習の時間	月	外国語	月
主として自分自身に関すること	節度の判断 自律、自由と責任																						
	正直、誠実																						
	節度、節制																						
	個性の伸長																						
	希望と勇気 努力と強い意志																						
	真理と探究																						
主として人との関わりに関すること	親切、思いやり	高学年としての自覚をもとう	5	みんなが使いやすいデザイン	6 7					生命のつながり	2	ピリーブ	4			できるよ家庭の仕事	9	心の確旗	8	移動教室に向けて	7 9		
	感謝																						
	礼儀																						
	友情、信頼																						
	相互理解、寛容																						
主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	移動教室	9	図書館を使いこなそう	4			変わり方	2					ビー玉大冒険	4	ゆでておいしい料理を作ろう	5	けがの防止	9年				
	公正、公平、 社会正義																						
	勤労、公共の精神																						
	家族愛 家庭生活の充実																						
	よりよい学校生活 集団生活の充実																						
	国際理解 国際親善																						
	伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度																						
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ																						
	自然愛護																						
	感動、畏敬の念																						
	よりよく生きる喜び																						

（　6　）年　道徳教育の全体計画の別葉　（高学年用）

	各教科等 ― 道徳の内容項目 ↓	特別活動（学校の諸行事、児童会活動、学級活動等）	月	国語	月	社会	月	算数	月	理科	月	音楽	月	図工	月	家庭	月	体育	月	総合的な学習の時間	月	外国語	月
主として自分自身に関すること	善悪の判断 自律、自由と責任																						
	正直、誠実																						
	節度、節制																						
	個性の伸長																						
	希望と勇気 努力と強い意志																						
	真理と探究																						
主として人との関わりに関すること	親切、思いやり			夏のさかり	1					私たちの生活と環境	4	音楽で思いを伝えよう	3			感謝の気持ちを伝えよう	2	病気の予防	2				
	感謝																						
	礼儀																						
	友情、信頼																						
	相互理解、寛容																						
主として集団や社会との関わりに関すること	規則の尊重	修学旅行	9	文の組み立て	2	わたしたちの生活と政治	4 5 6	円の面積	9	水溶液の性質	9	著作権について知ろう	1	心も動き出すからくりレンク	4	身の回りを快適にしよう	5	病気の予防	10 11 12	修学旅行を振り返ろう	9		
	公正、公平、社会正義																						
	勤労、公共の精神																						
	家族愛 家庭生活の充実																						
	よりよい学校生活 集団生活の充実																						
	国際理解 国際親善																						
	伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度																						
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	生命の尊さ																						
	自然愛護																						
	感動、畏敬の念																						
	よりよく生きる喜び																						

総合的な学習の時間　全体計画 及び年間指導計画

第１の目標	学校の教育目標
	地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
	重点目標（めざす子ども像）
	やさしい子　かしこい子　たくましい子の育成
知識及び技能	基礎的・基本的なことを「身につける」子ども
思考力，判断力，表現力等	学んだことや、自分の生活(家庭・学校)を、「ふり返ったり」「生かしたりする」子ども
学びに向かう力，人間性等	みんなとわかり合い、認め合うために「つなぐ」子ども

総合的な学習の時間の目標	
（1）知識及び技能	地域の人，もの，ことに関わる探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域の特徴やよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
（2）思考力，判断力，表現力等	地域の人，もの，ことの中から，問題場面に気付き，課題を立て，情報を集め，観点に応じて整理・分析したり，判断したりすることで対象を捉え直すとともに，考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
（3）学びに向かう力，人間性等	地域の人，もの，ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，対象と繰り返し関わり，その面白さや価値を実感したり願いや目標を更新したりする中で，学んだ内容や自分のよさに気付き，それを生かして自らすすんで地域社会に関わり，生活を高めていこうとする態度を育てる。

内　　容	
目標を実現するにふさわしい探究課題	
3年	地域の「ひと・もの・こと」の特徴や魅力と，それらにかかわる人々の思いや願い,そのような思いや願いを実現しようとする営みの意義にかかわるもの
4年	
5年	地域の「ひと・もの・こと」の仕組みや価値と，それを支える人々の考え方や物事の維持発展，または社会貢献に向けた努力と創造にかかわるもの
6年	
探究課題の解決を通して育成をめざす具体的な資質・能力 別紙「国東小：育成をめざす具体的な資質・能力」	

教科等の枠を超えた学習の基盤となる資質・能力		
言語能力		情報活用能力
協働的（対話的）な学習活動	言語により分析・まとめ・表現する学習活動	情報や情報技術を活用する学習活動

考えるための技法	
思考スキル （比較・分類等）	思考ツール （座標軸・ベン図等）

各教科等特有の資質・能力	
国語	自分の思いや考えを深めるため，対象と言葉，言葉と言葉の関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉え，その関係性を問い直して意味づけること
社会	社会的事象を，位置や空間的広がり，事象や人々の相互関係等に着目して捉え，比較・分類したり，総合したり，人々の暮らしと関係づけたりすること
算数	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，論理的・統合的・発展的に考えること
理科	自然の事物・事象を，質的・量的な関係や時間的・空間的奈関係などの科学的な視点で捉え，比較・関連づけ等科学的に探究する方法を用いて考えること
音楽	音楽に対する感性を働かせ，音や音楽を，音楽を形づくっている要素とその働きで捉え，より自己のイメージや感情，生活や文化などと関連づけること
図工	感性や想像力を働かせ，対象や事象を，形や色などの造形的な視点で捉え，自分のイメージを持ちながら意味や価値をつくりだすこと
家庭	学習対象となる生活事象を，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の継承・創造，持続可能な社会の構築等の視点で捉え，生涯にわたって自立し，他者と共に生きる生活を創造できるようよりよい生活を営むために工夫をすること
体育	<体育> 運動やスポーツを，その価値や特性に着目して，楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え，自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること <保健> 個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，疾病等のリスクの軽減や生活の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること
外国語外国語活動	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること
道徳	様々な事象を道徳的諸価値の理解を基に、自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方についての考えること
特別活動	各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実践に結びつけること
総合	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して，広範囲な事象を多様な角度から俯瞰して捉え，実社会・実生活の課題を探究し，自己の生き方を問い続けること

学習活動	指導方法
・地域の特徴や願い、児童の実態等を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域のひと・こと・ものを生かした学習活動を行う。 ・学習成果を表現する場を設定する。 ・年間１～２テーマでの取組を基本として、探究のプロセスを３サイクル実施する。	・活動の目的と見通しの明確化、共有化を重視し、児童の課題意識を連続、発展させるようにする。そのために、学習の足跡を記録・掲示する。 ・具体的な体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。

指導体制	学習評価
・全校指導体制を組織する。 ・職員研修に中に定期的に位置づけ，探求のプロセスを相互チェックできる体制を組む。 ・学習・情報コーナーを設置し、児童の主体的な学びをサポートする。	・振り返りを蓄積する。 ・資質・能力一覧表を元に評価規準を設定し、児童の観点別学習状況を把握する。 ・個人内評価を重視する。 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

2025年度 目標を実現するためにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力（国東小学校）

総合的な学習の時間の目標	知識及び技能	地域の人，もの，ことに関わる探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域の特徴やよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。	地域の人々の暮らし，伝統と文化に関わる探究的な学習の過程において，地域と社会のつながりに気づき，情報を比較・分類・関連づけ・多面的にみるなど，探究の過程に応じた技能を身につける。
	思考力，判断力，表現力等	地域の人，もの，ことの中から，問題場面に気付き，課題を立て，情報を集め，観点に応じて整理・分析したり，判断したりすることで対象を捉え直すとともに，考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。	地域の人々の暮らし，伝統と文化に関わる探究的な学習の過程において，地域と社会との関わりを考えて課題を設定し，仮説を立てて検証方法を考え，追究したり，因果関係を理解し，相手や目的に応じて，視点を定め論理的に表現したりする力を身につける。
	学びに向かう力，人間性等	地域の人，もの，ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，対象と繰り返し関わり，その面白さや価値を実感したり願いや目標を更新したりする中で，学んだ内容や自分のよさに気付き，それを生かして自らすすんで地域社会に関わり，生活を高めていこうとする態度を育てる。	地域の人々の暮らし，伝統と文化に関わる探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，異なる意見や他者の考えを受け入れながら，課題に誠実に向き合い，解決に向けて探究活動に進んで取り組み，学んだ内容や自分のよさに気付き，それを生かして自らすすんで地域の活動に参加し，生活を高めていこうとする態度を育てる。

段階			小1・小2	小3・小4	小5・小6	中1	中2	中3
探究課題				地域の「ひと・もの・こと」の特徴や魅力と，それらにかかわる人々の思いや願い，そのような思いや願いを実現しようとする営みの意義にかかわるもの	地域の「ひと・もの・こと」の仕組みや価値と，それを支える人々の考え方や物事の維持発展，または社会貢献に向けた努力と創意にかかわるもの	地域の良さや課題と直面する人々の思いや願い	地域社会を支える様々な職業や機関とそれに携わる人々の思いや願い	地域の現状や課題と，自らの生き方・進路についての思いや願い
視点		資質・能力が身についた児童・生徒の全体像	資質・能力が身についた児童・生徒の姿					
何を理解しているか，何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）	知識・技能	○地域のもの・人やそれらに対する思い・願いを理解している。 ○探究の過程に応じた技能を身につけている。	自分自身，身近な人々，地域及び自然の特徴やよさ，それらの関わり等に気付いている。 生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	※地域には何があるか，その特徴がわかる。 示された手法をもとに情報を比較したり分類したり関連付けたりするなど，探究の過程に応じた技能を身につけている。	地域で暮らす人々やその土地の良さがわかる。 相手や目的，意図に応じて手段を選択し情報を比較・分類・関連づけるなど，探究の過程に応じた技能を身につけている。	地域と社会との関わりがわかる。 相手や目的，意図に応じて手段を選択し情報を比較・分類・関連づけ，探究の過程に応じた技能を身につけている。	地域と社会との関わり，関わる人の思い・願いがわかる。 相手や目的，意図に応じて手段を選択し情報を比較・分類・関連づけ・多面的にみるなど，探究の過程に応じた技能を身につけている。	
				≪概念的な知識（視点）≫ 多様性・相互性・有限性・独自性・協働性・創造性など		概念的な知識 多様性・相互性・有限性・独自性・協働性・創造性など		
理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）	課題の設定	○物事を多面的に見たり考えたりして，課題を設定し追究している。	身近な人々，地域及び自然を自分との関わりで捉えている。	自分の関心から地域のひと・もの・ことについての課題を設定し，解決方法を考えて追究している。	地域の人の思いをふまえて課題を設定し，解決方法や手順を考え，見通しを持って追究している。	地域と社会との関わりを踏まえて，課題を設定し，解決方法や手順を考え，見通しを持って追究している。	地域と社会との関わりを踏まえて，課題を設定し，仮設を立てて，見通しを持って追究している。	地域と社会との関わりを考えて課題を設定し，仮説を立てて検証方法を考え，追究している。
	情報の収集	○多様な視眼点から情報を収集している。	主体的に対象と関わっている。	示された手段をもとに選択し，情報を収集している。	自分なりの手段を選択し，情報を収集している。	目的に応じて手段を選択し，情報を収集している。	目的に応じて手段を選択し，効果的・効率的に情報を収集している。	課題解決の方向性から，必要な情報を取捨選択している。
	整理・分析	○自分の考えを，経験や知識と結びつけて分類・整理するなどして情報を扱っている。	見付ける，比べる，たとえるなどの学習活動により分析的に考えたり，試す，見通す，工夫したりするなどの学習活動により，創造的に考えている。	※示された手法をもとに比較したり分類したり関連付けたりするなどしてとらえ，多様な情報の中にある特徴を見付けている。	問題状況における様々な事実について，相手や目的，意図に応じて手段を選択し，比較したり分類したり関連付けたりするなどして考え，多様な情報の中にある特徴を見付けている。	複雑な問題状況における様々な事実について，相手や目的，意図に応じて手段を選択し，比較したり分類したり関連付けたりするなどして事象を理解し，多様な情報を分析している。	複雑な問題状況における様々な事実や関係を，相手や目的，意図に応じて手段を選択し，比較したり分類したり関連付けたり，推論したりして理解し，多様な情報を分析している。	複雑な問題状況における様々な事実や関係を，相手や目的，意図に応じて手段を選択し，比較したり分類したり関連付けたり，推論したりして理解し，視点を定めて多様な情報を分析している。
	まとめ・表現	○目的や意図に応じて，効果的に自分の考えをまとめ，表現している。	気付いたことや考えたこと，楽しかったことなどについて，多様な方法によって，表現している。	相手や目的に応じてわかりやすくまとめ，表現している。	相手や目的，意図に応じてわかりやすくまとめ，表現している。	相手や目的，意図に応じて論理的に表現している。	相手や目的，意図に応じて資料等を用い，論理的に表現している。	相手や目的，意図に応じて，資料等を用い，効果的・論理的に表現している。
	ふり返り・知の更新	○探究の過程をふり返り，自己の学びを深めている。	気付いたことを振り返り，生活や次の課題に生かそうとしている。	学習したことをふり返り，生活や次の課題に生かそうとしている。	学習の仕方をふり返り，学習の見通しをもったり，生活に生かそうとしたりしている。	学習の仕方や進め方をふり返り，学習や生活に生かそうとしている。	課題との関連を考え，学習の仕方や進め方をふり返り，学習や生活に生かそうとしている。	振り返りの視点を設定し，学習の仕方や進め方をふり返り，学習や生活，進路の選択に生かそうとしている。
どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養） ※自～自分自身に関すること ※他～他者や社会との関りに関すること	主体性（自）	○より高い目標を立て，努力しようとしている。	意欲や自信をもって学んだり，生活を豊かにしようとしたりしている。	自分たちで見つけた課題の解決に向けて，探究活動に取り組もうとしている。	課題の解決に向けて，探究活動に進んで取り組もうとしている。	課題に誠実に向き合い，解決に向けて探究活動に進んで取り組もうとしている。		
	自己理解（自）	○自分の長所や短所を理解し，自己の生き方を考えている。	自分のよさや得意なことに気付いている。	自分のよさや自分のできることに気付き，課題解決に向けて取り組んでいる。	自分のよさを発揮して探究活動に向き合い，課題解決に向けて取り組んでいる。	自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い，責任をもって探究活動に取り組んでいる。		
	協働性（他）	○課題解決に向けて，他者と力を合わせて考え，実行しようとしている。	身近な人と協力して取り組んでいる。	課題解決に向けて，身近な人と協働して探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて，他者と協働して探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて，互いの特徴を生かして協同的に探究活動に取り組んでいる。		
	他者理解（他）	○自分と異なる意見に耳を傾け，様々な立場の人から学ぼうとしている。	自分と異なる意見や考えがあることに気付いている。	自分と異なる意見や考えがあることを知り，探究活動に取り組もうとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら，探究活動に取り組もうとしている。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら，探究活動に向き合い，互いを理解しようとしている。		
	社会参画 社会貢献（自・他）	○伝統・文化の継承，ふるさと・社会との繋がりや発展について考えている。	身近な人々，地域及び自然に自ら働きかけている。	自分と地域のつながりに気づき，地域の活動に興味・関心をもっている。	自分と地域のかかわりを考えながら，進んで地域との活動に参加しようとしている。	地域と自分・社会とのかかわりを考えながら，積極的に地域の活動に参加しようとしている。	地域と自分・社会とのかかわりを考えながら，積極的に地域の活動に参画し，自身の将来に対する夢や希望をもとうとしている	

※生活科は学習指導要領の記載に基づいて記述　　※考えるための技法（順序付ける，比較する，分類する，関連付ける，多面的に見る・多角的に見る，理由付ける，見通す，具体化する，抽象化する，構造化する）

第　3　学年　　総合的な学習　年間活動計画

令和7年度　国東小

1．主題名

「調べて、発表しよう」

総時間数７０時間

2．活動内容

・身近なことから、調べてみたいことを探す。
・本やインターネットを使ったり、地域の人に聞いたりして調べる。
・調べたり体験したりしたことを、自分たちなりの方法でまとめる。
・発表会を開いて、調べたことを知らせる。

3．活動計画

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域の文化・自然	わたしたちのまち調べ1（16） ・自分の家の近くにはどんなものがあるかな ・学校のまわりはどんな様子かな（神社・寺・お店・石碑など） ・学校のまわりの地図を作って発表しよう		わたしたちのまち調べ2（9） ・校区にはどんなお店があるかな ・校区で働いている人たちはどんなことをしているのかな ・お店のちらしを作って発表しよう			パソコンの使い方になれよう（8） ・ローマ字入力 ・インターネットの使い方			昔のくらし調べ（10） ☆昔の学校 ☆昔の遊び ☆昔のおやつ　など ・調べる ・まとめる（年表り ★（きくなが音頭について）		学習発表会をしよう（4） ・発表準備 ・発表
その他の課題			野菜を育てて収穫祭をしよう　（15） オクラ・大根・白菜・かぶ						百人一首大会をしよう（8） ・班ごとに練習 ・昔の遊びにふれる		
関連教科	（理）植物の育ち方・こん虫の育ち方 しぜんのかんさつ （社）わたしたちのまち・みんなのまち はたらく人とわたしたちのくらし （国）しごとのくふう見つけたよ					（国）ローマ字 コンピューターのローマ字入力 （社）インタビューをしよう			（国）短歌を楽しもう （社）道具とくらしのうつりかわり		

第４学年　　総合的な学習　　年間指導計画案

１．主題名
（１）命について見つめよう（自分探しの旅）
（２）国東市の自慢について調べよう。
（I love kunisaki.）

総時間数（７０時間）

２．活動内容

・赤ちゃんの誕生について調べる。
・赤ちゃんのお母さんに話を聞く。
・自分の生まれたときの様子やこれまでの人生をふりかえる。
・10歳のつどいで、学習内容を発表する。
・きまりや平和について考える。
・国東市の自慢について調べる。

・パソコンの入力をマスターする。

３．活動計画

	4月	5月	6月	7月	9月	１０月	１１月	１２月	1月	2月	3月
生命尊重	命を見つめよう（自分探しの旅）										
	男女にはどのようなちがいがあるのだろうか。自分らしさとその人らしさについて考えよう。 ・男女のちがいについて考える。 ・その人らしさとはどんなことかを考える。 ・ちがいや個性を認め合うことができる。 ・平和について考える。 １０		人はどのように誕生するのだろうか。赤ちゃんが生まれるときのことを調べよう。 ・絵本で調べる。 ・赤ちゃんのお母さんに、赤ちゃんが生まれるときの様子や気持ちなどの話を聞く。 ・平和について考える。 １０		自分の生まれたときの様子を調べよう。 ・家の人に自分が生まれる前の家族や親戚の様子を尋ねる。 ・家の人に自分が生まれたときの様子を尋ねる。 6		自分の生まれたときの様子を調べよう。 ・自分の名前の由来やこめられている願いを家の人に尋ねる。 ・そのときの写真や大切な物を探し、紹介する。 ・平和について考える。 6		家族に自分の誕生と成長への感謝を伝えるにはどうしたらよいか。10歳のつどいの内容を考え、練習に取り組もう。 ・どんな１０歳のつどいにするかを考える。 ・どんな人を招待したらいいのか考え、招待状を作る。 ・１０歳のつどいの練習をする。 ・１０歳のつどいの反省会をする。 ・文集づくりをする。 ・平和について考える。 １２		
	発見！国東市の自慢！（I love kunisaki）										
	国東市の自慢を調べる。 また、住みよいまちづくりのために、どんな工夫がされているのか調べる。　１０					国東市の自慢について調べたことを新聞にまとめよう　１２					
その他の課題									★小原地区に伝わる「七巻き様伝説」を引き継いで演奏をしよう　4		
関連教科	社会（市から県へ） 保健（育ちゆく体とわたし）										

第　５　学年

総合的な学習　年間活動計画案

令和７年度　国東小学校

１．主題名
（１）　つなげよう国東小校区のいいところプロジェクト

総時間数（　　７０　時間）

２．活動内容
・国東小校区の魅力である（ひと・もの・こと）調べ，魅力を発信するために何に注目していくするかを決める
・国東小校区の魅力である（ひと・もの・こと）について，表現方法や表現の場所をどうするか話し合う
・国東小校区の魅力である（ひと・もの・こと）について，これまでの話し合いをもとに表現する。

３．活動計画

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
伝統・文化　町づくり	国東小校区について調べよう(15h) 【課題の設定】国東小校区について調べ、その魅力を発信することをテーマに設定し，学習の計画をたてる 【情報収集】国東小校区の魅力について調べる。 【整理・分析】集めた情報を構造化し，今後の発表に向けて整理する 【まとめ・表現】国東小校区の魅力について新聞にまとめ，発表する際の資料をつくる				国東小校区の魅力ををPRするための方法について考えよう(35h) 【課題の設定】国東小の魅力ををPRするために，決めていく必要があることを確認する 【情報収集】発信内容について，ICTを活用して情報を収集する。 【整理・分析】集めた情報をもとに話し合う 【まとめ・表現】次に話し合うべきことを確認する ※小さなサイクルを複数回まわしていくことで小単元を構成する ★荒谷太鼓について引き継いでいこう。(語り・太鼓での表現)				国東小校区のの魅力をPRしよう(20h) 【課題の設定】国東小校区の魅力を発信するため　に，PRに向けた具体的な準備することを確認する 【情報収集】準備物の作成方法等を，先生方へのインタビューを通して情報収集する 【整理・分析】集めた情報をもとに，PRの準備を進める 【まとめ・表現】国東小校区の魅力をPRする		
その他の課題											
関連教科	(国)新聞作り										
					(音)鑑賞・リズムづくり (図)デザイン(PRのためのポスターづくり)						

第　6　学年

総合的な学習　年間活動計画案

令和7年度　国東小学校

1．主題名
（1）　平和について考えよう
（2）地域の魅力・世界農業遺産について考えよう。
（3）卒業式を創り上げよう
総時間数（　　７０　時間）

2．活動内容
・大分の魅力である（ひと・もの・こと）調べ，魅力を発信するために何に注目していくするかを決める
・大分の魅力である（ひと・もの・こと）について，表現方法や表現の場所をどうするか話し合う
・大分の魅力である（ひと・もの・こと）について，これまでの話し合いをもとに表現する。

3．活動計画

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
伝統・文化　町づくり	平和について考えよう(26h) 【課題の設定】戦争の傷跡を調べ、今も残る戦争の傷跡をテーマにどんな活動ができそうか考える 【情報収集】戦争の跡や平和について情報を収集する。 【整理・分析】集めた情報を構造化し，今後の発信方法を考え整理していく。 【まとめ・表現】自分たちで決めた発信方法を実現するための学習計画をたて，平和学習の下支えとなる情報をまとめ、発信する。				地域の魅力・世界農業遺産について考えよう(20h) 【課題の設定】地域の魅力・★世界農業遺産(ため池等)について調べ、地域を守り・伝えるためにできることを考える。 【情報収集】それぞれの班で、地域の魅力・歴史やしくみ、守ってきた人々の努力など自分たちの調べたいことについて情報を収集する。 【整理・分析】集めた情報をもとに，発信方法を考え整理・分析していく。 【まとめ・表現】先人たちの努力や苦労に感謝の気持ちを持ちな				卒業式を創り上げよう(24h) 【課題の設定】自分たちの卒業に向けてできることを考える。 【情報収集】プロジェクトごとに分かれて、自分たちに必要な情報を収集する。 【整理・分析】自分たちの発信方法にそって整理・分析を行う。 【まとめ・表現】自分たちを支えてくれた人々へ感謝の気持ちを伝えたり、自分たちの成長を伝えたりできるwよう、学んだことをまとめ、発信していく。		
その他の課題											
関連教科	(社)水平社宣言　日本国憲法　世界の国旗 (国)新聞作り (図)デザイン(構図)				(理)宇宙の学習 (社)郷土の伝統・文化の学習、特色ある地域のくらしの学習 (国)新聞作り				(外)将来の夢、中学校生活について、卒業を前に		

令和７年度　特別活動全体計画及び年間指導計画

国東市立国東小学校

【学校教育目標】
地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成

日本国憲法
教育関係法規
教育方針

【めざす児童像】
・やさしい子
・かしこい子
・たくましい子

学校の実態
児童の実態
家庭・地域の実態

各教科・道徳

総合的な学習

【特別活動の目標】
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ。様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み；互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次の通り資質・能力を育成することを目指す。
①多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする
②集団や事故の生活,人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
③自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活および人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

		学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
ねらい		学級や学校での生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することをめざす。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校または学年の児童で協力し、より良い学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団へ所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
育成を目指す資質・能力	知識及び技能	学級における集団活動に進んで参画することや意識的に健康で安全な生活を送ろうとすることの意義について理解するとともに、そのために必要となることを理解し身につけるようにする。	児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解したり行動の仕方を身につけたりするようにする。	同好の仲間で行う集団活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身につけるようにする。	全校または学年などの児童で協力して取り組む各学校行事の意義について理解するとともに各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身につけるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。	児童会において、学校生活の充実と向上を図るための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。	共通の興味・関心を追求する活動を楽しく豊かにするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることが	学校行事を通して学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標を設定したり課題を見いだしたりして、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができるよう
	学びに向かう力、人間性等	学級における集団活動を通して身につけたことを生かして人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	自治的な集団活動を通して身につけたことを生かして、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうとする態度を養う。	クラブ活動を通して身につけたことを生かして、協力して目標を達成しようとしたり、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしたりする態度を養う。	学校行事を通して身に付けたことを生かして、集団や社会の形成者としての自覚をもって多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養う。
活動内容		○学級生活の充実と向上に係わること ・話し合い活動 ・係活動 ・集会活動 ○日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること ・希望や目標をもって生きる態度の育成 ・基本的な生活習慣の育成 ・望ましい人間関係の育成 ・学校図書館の利用 ・健康で安全な生活態度の形成 ・学校給食と望ましい食習慣の形成 ・大分県教育委員会作成 「未来をえがくキャリア・ノート！」の活用 ・その他	○代表委員会 全校児童の代表による話し合い活動 ○委員会活動 自分たちの学校の仕事を分担し,処理していく活動 ・計画・音楽・美化・放送 ・図書・飼育・保健・体育 ・人権・栽培・給食 ○児童会集会活動 児童が自発的・自治的に計画し実践する活動 ・代表委員会の決定による集会 ・委員会主催による集会 □児童朝会 □人権・平和集会 ○縦割り班活動 １年生から６年生までの縦割り班でする活動 ・折り鶴集会 ・縦割り班掃除 ・縦割り班遊び ○地区児童会 同じ地域に住む子どもどうしのつながりを深める活動	○所属希望クラブ調査 ○所属クラブ決定 ○活動計画作成 ・目標・活動内容の話し合い ・活動計画の作成 ○クラブ名（計８） ・バドミントン ・昔の遊び ・デザイン ・茶道 ・生け花 ・軽スポーツ ・百人一首 ・パソコン	○儀式的行事 厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機づけを行う。入学式や卒業式などでは、その意義を踏まえ、国旗を掲揚し、国歌を斉唱するように指導する。 ・入学式　・卒業式　・始業式 ・終業式・修了式　・離任式 ○文化的行事 学習の成果を総合的に生かし、その向上の意欲を図る ○健康安全・体育的行事 安全で規律ある集団行動による連帯感や責任感を育て、運動に親しみ、体力の向上をめざす ・内科検診・歯科検診・避難訓練 ・運動会　・交通安全教室等 ○遠足・集団宿泊的行事 自然・文化に触れ見聞を広め、望ましい体験をつむ ・遠足　・修学旅行 ・各々地宿泊合宿　・社会見学　等 ○勤労生産・奉仕的行事 勤労・奉仕の尊さを知り喜びを味わう ・大掃除・花、野菜づくり等

第１学年　学級活動年間計画

月	（１）学級や学校の生活の充実と向上に関すること	（２）日常の生活や適応及び健康や安全に関すること
4 ③	○ともだちのなまえをおぼえよう	○安全な登下校をしよう ○学校のきまりをまもろう
5 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○休みのすごしかたをかんがえよう
6 ④	○係を決めよう ○雨の日の過ごし方を工夫しよう	○大切なからだ、プライベートゾーン ○環境について考えよう
7 ③	○１学期の生活をふりかえろう ○平和について考えよう	○夏休みの過ごし方を考えよう
8 9 ③	○係を決めよう ○じかんをまもろう	○友だちのよいところを見つけよう
10 ③	○本をたくさん読もう	○おんなの子・おとこの子 ○悪口やけんかをなくそう
11 ③	○心に残った本を紹介しよう	○えんそくにいこう
12 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○かぜをよぼうしよう
1 ③	○係を決めよう	○冬の健康な生活について考えよう ○うがいをしよう
2 ③	○６年生を送る会について話し合おう。 ○平和について考えよう	○学校をきれいにしよう
3 ③	○１年間をふりかえろう	○春休みの過ごし方を考えよう

実施計画時数（３４時間）　　標準時間数３４時間

第２学年　学級活動年間計画

月	（１）学級や学校の生活の充実と向上に関すること	（２）日常の生活や適応及び健康や安全に関すること
4 ③	○当番や係をきめよう。 ○学級のめあてをつくろう。	○学習の約束をしよう。
5 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○図書室の利用の仕方を知ろう。
6 ④	○雨の日の過ごし方を工夫しよう。 ○そうじのしかたを見直そう。	○環境について考えよう ○プールの安全な使い方と決まりを知ろう。
7 ③	○平和について考えよう	○じぶんをまもろう ○差別をなくす標語作りに取り組もう。
9 ③	○当番や係を決めよう。	○二学期のめあてを決めよう。 ○友だちのがんばりを見つけよう。
10 ③	○本をたくさん読もう。	○図書室での本の選び方を考えよう。 ○友だちのよいところを見つけよう
11 ④	○心に残った本を紹介しよう ○津波・地震について考えよう。	○避難訓練について考えよう。津波・地震のおそろしさを知り、防災の意識を身につけよう。 ○持ち物について見直そう。（じぶん色のかさ）
12 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○冬休みの過ごし方を考えよう。
1 ③	○三学期の役員と係を決めよう。	○三学期のめあてを決めよう。 ○うがい手洗いの仕方を見直そう。
2 ③	○６年生を送る会について話し合おう。 ○平和について考えよう	○掃除の仕方について考えよう。
3 ③	○３学期の反省をしよう。	○一年間のまとめをしよう。 ○教室などをきれいにしよう。

実施計画時数　３５時間　　標準時間数３５時間

第３学年　学級活動年間計画

月	（１）学級や学校の生活の充実と向上に関すること	（２）日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること
4 ③	○一学期の役員や係をきめよう	○学級のきまりを作ろう ○学習のやくそくを考えよう
5 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○そうじのしかたについて話し合おう
6 ④	○雨の日の過ごし方を工夫しよう	○歯の磨き方を見直そう ○交通ルールと自転車の乗り方について考えよう ○環境について考えよう
7 ③	○一学期の生活や係の反省をしよう ○平和について考えよう	○差別をなくす標語をつくろう
9 ③	○二学期の役員や係を決めよう	○友だちと仲良くしよう ○自分のからだを大切にしよう
10 ③	○本をたくさん読もう	○係活動を見直そう ○読書のしかたを身につけよう
11 ④	○学級や学校の生活を見直そう	○体を鍛えよう ○風邪の予防について考えよう
12 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○冬休みの過ごし方を考えよう
1 ③	○三学期の役員や係を決めよう	○三学期の楽しい過ごし方について話し合おう ○違いを認め合おう（サンタのおばさん）
2 ③	○卒業生の送り方を考えよう ○平和について考えよう	○読書カードで一年間の振り返りをしよう
3 ③	○3年生終わりの会をしよう	○三年生の反省をしよう ○春休みの過ごし方を考えよう

実施計画時数　３５時間　　標準時間数３５時間

第４学年　学級活動年間指導計画

月	（１）学級や学校の生活の充実と向上に関すること	（２）日常の生活や適応及び健康や安全に関すること
4 ③	○学級のめあてを考えよう ○朝の会や帰りの会の仕方を決めよう	○生活の約束を考えよう ○図書館のきまりをたしかめよう
5 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○環境について考えよう ○友だちと仲良くしよう
6 ④	○雨の日の過ごし方を工夫しよう	○掃除の仕方を話し合おう ○忘れ物をなくそう ○プールの安全な使い方について考えよう
7 ③	○１学期の生活や係の反省をしよう ○平和について考えよう	○差別をなくす標語作りに取り組もう
9 ③	○役員や係を決めよう	○友だちと仲良くしよう
10 ③	○本をたくさん読もう	○言葉づかいを見直そう ○係の仕事を見直そう
11 ④	○心に残った本を紹介しよう	○日常のあたりまえを見直そう ○外遊びを工夫しよう
12 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○冬休みの過ごし方を考えよう
1 ③	○最後の学期の役員と係を決めよう ○新年の決意をもとう	○私たちの成長を見つめよう
2 ③	○卒業式に向けた取り組みをしよう ○平和について考えよう ○高学年に向けて委員会活動をはじめよう	
3 ③	○感謝の気持ちを表そう ○１年間の生活を振り返ろう	○教室をきれいにしよう

実施計画時数　３５時間　　標準時間数３５時間

第５学年　学級活動年間計画

月	（１）学級や学校の生活の充実と向上に関すること	（２）日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること
4 ③	○できるよ　家庭の仕事	○高学年としての自覚を持とう ○健康診断や体位測定の正しい受け方を考えよう
5 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○環境について考えよう
6 ④	○雨の日の過ごし方を工夫しよう ○そうじのしかたを見直そう	○給食態度を見直そう ○プールの安全な使い方について考えよう
7 ③	○１学期の生活や係の反省をしよう ○平和について考えよう	○差別をなくす標語作りに取り組もう
8 ①	○役員や係を決めよう。	
9 ②	○ きまりやめあての大切さを考えよう	○友だちと仲良くしよう
10 ③	○本をたくさん読もう	○言葉遣いを見直そう ○多様な性について考えよう
11 ④	○多様な性について考えよう	○避難訓練について考えよう ○給食の後片づけについて考えよう
12 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○冬休みの過ごし方を考えよう
1 ③	○学級の役員と係を決めよう ○６年生に感謝の気持ちをあらわす取り組みについて考えよう	○冬の健康な生活について考えよう
2 ③	○伝統を引き継ごう ○平和について考えよう	○言葉づかいを見直そう
3 ③	○児童会や委員会の活動を引き継ごう	○６年生になるために

実施計画時数　３５時間　　標準時間数　３５時間

第６学年　学級活動年間指導計画

月	（１）学級や学校の生活の充実と向上に関すること	（２）日常の生活や適応及び健康や安全に関すること
4 ③	○役員や係をきめよう ○最上級生の役割を考えよう	○体の変化を知ろう
5 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○環境について考えよう
6 ④	○雨の日の過ごし方を工夫しよう ○そうじのしかたを見直そう	○給食態度を見直そう ○プールの安全な使い方について考えよう
7 ③	○１学期の生活や係の反省をしよう ○平和について考えよう	○差別をなくす標語作りに取り組もう
8 ①	○役員や係を決めよう	
9 ②	○修学旅行のテーマを決めよう	○友だちと仲良くしよう
10 ③	○本をたくさん読もう	○言葉遣いを見直そう ○友だちのよいところを見つけよう
11 ④	○犯罪から身を守ろう ○心に残った本を紹介しよう	○避難訓練について考えよう
12 ③	○人権について考えよう（部落問題学習） ○平和について考えよう	○冬休みの過ごし方を考えよう
1 ③	○最後の学期の役員と係を決めよう ○卒業式について考えよう	○冬の健康な生活について考えよう
2 ③	○卒業式に向けた取り組みをしよう ○平和について考えよう	○学校をきれいにしよう
3 ③	○感動のある卒業式にしよう	○心に残るお別れ会をしよう ○制服について考えよう

実施計画時数　３５時間　　標準時間数３５時間

領域別指導方針及び全体計画

X　令和7年度　国東小学校　人権教育の全体構想

・日本国憲法
・学校教育諸関係法規
・児童憲章
・子どもの権利条約

・人権教育に関する各種法令等
「人権擁護推進審議会答申」
「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」
「人権教育の指導方法等の在り方について(第3次とりまとめ)」
「大分県人権尊重施策基本方針」
「部落差別解消の推進に関する法律」

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

地域社会の願い
・地域の良き一員として健やかに育ってほしい

保護者の願い
・誰とでも仲良く心身共に健康に育ってほしい

児童の願い
・楽しく学校に通いたい

人権教育目標

【基本目標】
差別を見抜く豊かな感性を持ち、差別をなくしていく意欲と実践力をもった個と集団を育成する。

【重点目標】
1. 人権教育の目標を全教科の中で位置づけ、真の民主的な人間の育成に努める。
2. 人権教育について教職員の研修を深め，自己変革を図る。
3. きつい思いをしている子どもを見つめ、認め合い支え合う集団作りをめざす。
4. 学級活動や道徳の時間での実践授業を通して、人権教育の深化を図る。
5. 一人ひとりの子どもに確かな学力をつける実践を積み上げる。
6. 子どもや地域の実態に即した保健安全教育の実践を推し進める。
7. 家庭と地域差や会の連帯を密にした人権教育の推進と、教育条件の整備充実に努める。
8. 男も女もともに対等平等な関係を生きていこうとする児童の育成を図る。

指導の実態把握
・学校評価
・学校関係者評価
・児童アンケート

学校経営の重点目標

○確かな学力の向上　○豊かな心の醸成　○健康や体力づくり
○家庭・地域と連携した教育　○教職員の指導体制拡充

学級経営の目標

○仲良く助け合える学級　○違いを認め合える学級　○ともに学び合える学級

各学年の重点目標

低学年	中学年	高学年
○誰とでも仲良くする	○相手の立場に立つ	○自他の人権を尊重する

各教科等における目標

国語	○教材を通して人間としての生き方についての考えを深める。	外国語活動・外国語	○表現力やコミュニケーション能力を育成する。
社会	○人権問題を正しく理解する。	情報	○人権に配慮して情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。
算数	○論理的思考や合理的な考え方を養		
理科	○科学的な見方や考え方、自然や生命を愛する心情を育てる。	道徳	○差別や偏見に気づかせ、人間尊重の精神を育てる。
生活	○身近な人々とのかかわりに関心を持	特別活動	○学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事において、望ましい集団活動や人間関係について体験を通して学び、自他を尊重し、社会に貢献する姿勢を養う。
音楽	○合奏や合唱を通して豊かな感性を育てる。		
図画工作	○表現活動や鑑賞活動を通して豊かな感性を育てる。		
家庭	○よりよい家庭生活の在り方に気づき実践する力を育てる。	総合的な学習の時間	○教科横断的な内容の学習や体験的活動を通して、課題を解決するための実践的行動力や豊かな人間性を養う。
体育	○協調性・連帯性を育てる。		

個別的な人権課題への取り組み(9課題)

○部落差別問題　○女性の人権問題　○子どもの人権問題
○高齢者の人権問題　○障がい者の人権問題　○外国人の人権問題
○医療をめぐる人権問題　○性的少数派の人権問題(ジェンダー平等教育)
○様々な人権問題(プライバシーをめぐる人権問題、犯罪被害者やその家族の人権問題、ネット社会の人権問題、その他の人権問題)

教科外活動等

【生徒指導】
○人権尊重の視点に立った個別指導の充実

【教育相談】
○問題傾向の早期発見

【進路指導】
○キャリア教育の充実

家庭・地域・関係機関との連携

【家庭・地域との連携】
○学校における人権教育の理解と啓発
○PTA等の活動との連携
○地域の人権に関する取り組みとの連携

【校種間の連携】
○校種間連絡会議の定期的開催
○交流学習の充実

教職員研修

○人権問題を学び，人権意識・人権感覚の高揚に努める。
○人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりについての実践を交流する。
○人権尊重の視点に立った学級経営、生徒指導の在り方についての事例研究を行う。
○授業研究を通して、参加体験型学習の取り入れなど指導方法等の工夫改善を行う。

令和7年度　人権教育（人権学習・教職員研修）年間計画

月	職員研修	人権学習
4	◇本校の人権教育について ◇年間計画について ◇見つめたい子どもについて	
5	☆憲法について ◇人権学習　（部落差別等について） ◇見つめたい子どもについて ◇運動会に向けて	憲法について 人権学習（部落差別について）
6	☆「障がい」児教育研修 ◇人権学習　（部落差別について） ◇部落問題研修 ☆環境学習	環境学習
7	☆原爆・核について ◇見つめたい子どもについて	
8	◇2学期の授業実践に向けて ☆原爆・核について ※差別をなくす仏の里のつどい ◇地人研大会レポート審議	原爆・核について
9	◇見つめたい子どもについて ◇地人研大会レポート審議	
10	◇小六歴史学習 ☆ジェンダー平等教育研修 ◇見つめたい子どもについて ※人権フォーラム	人権学習
11	※地人研大会 ☆「障がい」児教育研修 ◇こども園との交流（年長児・1年生） ◇見つめたい子どもについて	人権学習
12	☆アジア・太平洋戦争について ◇2学期末参観日人権学習 ◇見つめたい子どもについて	アジア・太平洋戦争について 人権学習（参観授業）
1	◇見つめたい子どもについて	
2	◇見つめたい子どもについて ◇こども園との交流（年長児・1年生・5年生）	
3	◇見つめたい子どもについて ◇本年度のまとめ・反省	

１年人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	▼よろしくね	▼よくきいてはなそう		▼おおきなかぶ ▼人権標語		▼みんなにしらせよう		▼ともだちとはなしておはなしをかこう		▼くわしくきこう	▼ふたりでかんがえよう	
生活	▼なかよくなりたいな ▼きれいにさいてねわたしのはな ▼いもさし					▼なかよくなろうね 小さなともだち ▼あきみつけ ▼いもほり		▼交流会		▼むかしのあそび	▼交流会	
算数	～通年：筋道を立てて考えよう・いろいろな考え方があることがわかる											
図画工作	▼人権ポスター ～通年：思いを自分なりの方法で表現する・自分や友だちの工夫やよさに気づく											
音楽	▼うたでともだちのわをひろげよう　～通年：友だちと合わせて歌ったり、演奏したりする											
体育	～ 通年：順番やきまりを守って、なかよく協力して運動する											
道徳	▼がっこうだいすき	▼あかるいあいさつ ▼なかよくね	▼みんないきてる			▼いきているって ▼やさしいひと、みつけた	▼とりかえっこ ▼ぽんたとかんた	▼二わのことり		▼はしのうえのおおかみ ▼ジャングルジム	▼「すきっ」まそくかれらまめんら」	▼ちいさなふとん
特別活動 学級活動	▼「どうぞよろしくのかい」をしよう	▼人権について考えよう（部落問題学習）		▼お楽しみ会を開こう					▼人権について考えよう（部落問題学習）	▼お正月の遊び大会をしよう	▼世話になった人をおなにしよう	▼１年間をかえりふろう
特別活動 児童会活動	▼１年生を迎える会									▼縦割り班集会 班の６年生と思い出づくりをしよう		▼６年生を送る会
特別活動 学校行事		▼運動会							▼寒げい古おさめ会			
家庭・地域との連携			▼いもさし					▼いもほり	▼人権週間			

2年人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	▼ふきのとう	▼たんぽぽのちえ 人権標語	▼スイミー				▼どうぶつ園のじゅういし	▼紙コップ花火の作り方		▼ロボット	▼スーホの白い馬	
生活		▼めざせ野さい名人	▼めざせ生きものはかせ				▼えがおのひみつたんけんたい めざせ野さい名人			▼あしたへつなぐ		
算数	～通年：筋道を立てて考えよう・いろいろな考え方があることがわかる											
図画工作				▼人権ポスター	～通年：思いを自分なりの方法で表現する・自分や友だちの工夫やよさに気づく							
音楽	▼うたでなかよしになろう				～通年：友だちと合わせて歌ったり、演奏したりする							
体育	～通年：順番やきまりを守って、なかよく協力して運動する。											
道徳	▼けんかをしたけど			▼おり紙の名人		▼およげないりすさん ▼雨ふり		▼くりのみ ▼どうしてうまくいかないのかな			▼すてきなえがお ▼ぶらんこ	
特別活動 学級活動	▼学級のめあてをつくろう	▼人権について考えよう（部落問題学習）		▼差別をなくす標語をつくろう				▼地しん・つなみについて	▼人権について考えよう（部落問題学習）		▼6年生にお礼の気持ちを表そう	
特別活動 児童会活動	▼1年生を迎える会										▼縦割り班集会 班のなかまと思い出作りをしよう ▼6年生を送る会	
特別活動 学校行事		▼運動会						▼寒げいこ納め会				
家庭・地域との連携									▼人権週間			

3年人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	よく聞いて じこしょうかい	こまを楽しむ	まいごのかぎ				ちいちゃんのかげおくり	すがたをかえる大豆				モチモチの木
社会	わたしたちの町と市						はたらく人とわたしたちのくらし			地いきの安全を守る	わたしたちの市の歩み	
算数	～通年：数を用いた論理的な思考力を養う・いろいろな考え方があることがわかる											
理科		チョウをそだてよう										
音楽	～通年：実験・観察などを通して科学的な思考力を養う。いろいろな考え方があることがわかる。 ～通年：歌ったり演奏したりすることを通して表現することの喜びを味わう。											
図画工作				人権ポスター								
体育	～通年：思いを自分なりの方法で表現する・友だちの工夫やよさに気づき、いいところを伝え合う。											
道徳	～通年：安全に気をつけ、ルールをまもる・友だちと認め合いながら運動する		友だち屋				目の前は青空			学校のぶどう		
		よごれた絵		言わなきゃ						よわむし太郎		
		教えてあげる？持ってあげる？				三年元気組						
								とくジーのおまじない				
		きらきらカード										
特別活動 学級活動	3年生になって		人権について考えよう（部落問題学習）						人権について考えよう（部落問題学習）			
	学級の組織を考えよう				差別をなくす標語をつくろう				学級の組織を見直そう			
児童会活	1年生を迎える会										縦割り班集会	
学校行事												6年生を送る会
		運動会						寒げい古おさめ会				
総合的な学習の時間		野菜や花をそだてよう				わたしたちの町				昔のようす		
家庭・地域との連携				体力作り・ボランティア活動					人権週間			

４年人権教育年間指導計画

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	1月	２月	３月
国語	白いぼうし		一つの花				ごんぎつね		友情のかべ新聞		自分だけの詩集	
社会		水はどこから	ごみはどこへ					地域で受け継がれてきたの			世界とつながる国東市	
算数	～通年：数を用いた論理的な思考力を養う・いろいろな考え方があることがわかる											
理科	生き物を調べよう（春）			生き物を調べよう（夏）			生き物を調べよう（秋）			生き物を調べよう（冬）		
	～通年：実験・観察などを通して科学的な思考力を養う。いろいろな考え方があることがわかる。											
音楽	郷土の音楽											
	～通年：歌ったり演奏したりすることを通して表現することの喜びを味わう。											
図画工作		人物画		人権ポスター		感想画				デザイン画		
	～通年：思いを自分なりの方法で表現する・友だちの工夫やよさに気づき、いいところを伝え合う。											
体育		大きくなる体						心の成長				
	～通年：安全に気をつけ、ルールをまもる・友だちと認め合いながら運動する											
道徳	思いやりって	絵はがきと切手		学級会でのできごと			つまらなかった	決めつけてないかな			わたしの大切なもの	
特別活動 学級活動	学級のめあてを考えよう	人権について考えよう（部落問題学習）			差別をなくす標語をつくろう		言葉づかいを見直そう		人権について考えよう（部落問題学習）	感謝の気持ちを表そう		
児童会活動	１年生を迎える会									縦割り班集会	６年生を送る会	
クラブ活動	～通年：クラブ活動による異学年間の交流を促進する											
学校行事		運動会								寒げい古おさめ会		
総合的な学習の時間			命について見つめよう								１０歳のつどいで１０年間をふり返ろう	
家庭・地域との連携							人権週間					

5年人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	▼名前をつかって、自己しょうかい	▼話の意図を考えてききあい、「きくこと」について考えよう ▼敬語				▼たずねびと	▼意見が対立したときには		▼伝記を読んで、自分の生き方について考えよう		▼「子ども未来科」で何をする ▼大造じいさんとがん	
社会		▼自然条件と人々のくらし							▼情報産業とわたしたちのくらし			▼環境を守る私たち
算数	～通年：数を用いた論理的な思考力養う・いろいろな考え方があることがわかる											
理科											▼母親のおなかの中で子どもの成長	
家庭		▼毎日の生活をみつめよう		▼自分にできる仕事を見つけよう							▼いっしょにホットタイム	
図画工作	▼人権ポスター ～通年：思いを自分なりの方法で表現する・自分や友立ちの工夫や良さに気づく											
音楽	▼歌声をひびかせて心をつなげよう											
保健体育	通年：安全に気をつけ、ルールを守る・友だちと認め合いながら運動し体力を高める ▼心の健康 ▼心の発達											
道徳		▼命の詩		▼宇宙から見えたもの		▼このままでいいのかな	▼おばあちゃんからもらった命	▼三十八億年の	▼だれもが幸せになれる社会を	▼千羽鶴	▼水がわたる橋	
特別活動												
学級活動	▼きまりやめあての大切さを考えよう	▼人権について考えよう（部落問題学習）		▼人権標語 ▼命の大切さについて考えよう		▼友だちと仲良くしよう	▼言葉づかいを見直そう		▼人権について考えよう（部落問題学習）	▼6年生に感謝の気持ちを表す取り組みについて考えよう	▼伝統を引き継ごう	
児童会活動	▼１年生を迎える会										▼縦割り班活動 ▼６年生を送る会	
クラブ活動	～　通年：クラブ活動による異学年間の交流を促進する　～											
学校行事	▼運動会							▼寒げいこ				
総合的な学習							▼宿泊体験	▼荒谷舘退治物語を引き継ごう				
家庭・地域との連携												

6年人権教育年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	▼帰り道	▼聞いて、考えを深めよう		▼デジタル機器と私たち ▼人権作文		▼いちばん大事なもの			▼ぼくのブックウーマン		▼大切にしたい言葉 ▼いま、私はぼくは	▼海のいのち
社会	日本国憲法の3つの柱					▼江戸時代（身分制度と差別）渋染一揆	▼近代国家へのあゆみ	▼二つの戦争と日本・アジア憲法	▼戦争と人々の暮らし	▼身近な公共施設隣保館	▼世界の人々とともに生きる	
算数	～通年：数を用いた論理的な思考力を養う。											
理科	▼わたしたちをとりまく環境 ～通年：観察・実験を通して科学的な思考力を養う・いろいろな考え方があることがわかる											
家庭	▼よりよい生活をめざそう・ふれあいの輪											
図画工作	▼人権ポスター ～通年：思いを自分なりの方法で表現する・友だちの工夫やよさに気づき、いいところを伝え合おう											
音楽	▼世界の音楽に親しもう ～通年：友だちと合唱したり合奏したりして音の響きや重なり合いを味わう											
保健体育	▼病気の予防 ▼病気の予防・エイズ ～通年：安全に気をつけルールを守る・友だちと認め合いながら運動し体力を高める											
道徳	▼ぬくもり	▼子ども会のキャンプ	▼この胸の痛みを			▼世界人権宣言から学ぼう	▼コスモスの花	▼五十五年目の恩返し		▼私には夢がある	▼ぼくの名前を呼んで	▼恋ちゃんはじめての「みどり」
特別活動												
学級活動	▼最上級生として学級のめあて・児童会スローガンを考えよう		▼人権について考えよう（部落問題学習）	▼差別をなくす標語をつくろう		▼友だちとなかよくしよう	▼言葉づかいを見直そう	▼友だちのよいところを見つけよう	▼人権について考えよう（部落問題学習）	卒業式について考えよう	▼感謝の気持ちを表そう	▼感動のある卒業式にしよう
児童会活動	▼1年生を迎える会							▼縦割り班集会				▼6年生を送る会
クラブ活動	～　通年：クラブ活動による異学年間の交流を促進する　～											
学校行事			▼運動会			▼修学旅行			▼寒げい古おさめ会			
総合的な学習の時間	原爆を知る つなぐ平和を										思い出に残る卒業式にしよう	
家庭・地域との連携					出店を出そう ふるさと祭りで商工会の人と出店を出そう				▼人権週間			

Ｘ Ｉ　　生徒指導基本方針及び年間指導計画

１．　生徒指導全体計画

児童の実態

↓

めざす子ども像

↓

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

思いやりや自己存在感が育まれる生徒指導をめざして

子どもの生命を守り育てる力

国東小学校での生活指導における共通理解
学校生活のめやす

具体的には
☆子どもたちに，なぜ，めやす（きまり）があるのか考えさせながら，内容について知らせる（子ども一人ひとりが安全に元気に，楽しく学校生活を送るために・人のことを考えて）
☆各教室に掲示
☆保護者会で配布して内容について説明
→　家庭への協力を呼びかける
☆新１年生・転入生に渡す　全校で確認
☆あいさつ・交通指導

子どものやる気を作り出す力

生活していく上で，必要なマナーについての子どもの自己評価
目標のふりかえり

具体的には
☆内容について子どもに説明し，月毎に自己評価やクラスでの評価を行う
◇課題だと考えるところを児童会活動担当と連携し、目標のなかに盛り込む。
◇生活目標の設定
☆全校的な取り組み
◇児童会や委員会と連携して生活目標にとりくむ
◇異学年交流・地区ごとの活動
１年生のお迎え　　運動会種目
たてわり班掃除　　地区児童会
など

子どもの内面理解、共感的理解

生徒指導の三機能を生かした指導。

温かい人間関係をめざし、存在感や所属感を味わうことのできる学級経営の充実

積極的な児童理解に努め、教育相談体制を確立し、全教職員の一致した指導

具体的な方法
☆教師の指導法の改善
・生徒指導の三機能を生かした指導を工夫する。
「自己決定の場を与える」
「自己存在感を与える」
「共感的人間関係を育成する」
・カウンセリングマインド力をつける
・集団づくりの手法や自尊感情を高める指導法の研修を行ったりお互いの良さを学びあったりする
☆組織的な生徒指導の推進
・生徒指導プロジェクトを中心に、児童の実態についての共通理解、支援指導の共有化
職員研修など、定期的な共通理解の場の設定
☆月１回のいじめアンケート調査
☆教育相談　　個人面談

２．生徒指導年間計画

（１）目　標

児童の人格のよりよい発達をめざして、仲間意識の健全育成と、児童理解により、いじめ・不登校・問題行動の解消に努め、学校生活が一人ひとりにとって楽しく充実したものにする。

（２）指導の重点

月	指導の重点	指導計画
新学期の出発 ４～７月 （１学期）	○あいさつ 歩き方 あとしまつ に 気をつけよう ○いじめのない学校にしよう ○あたたかい言葉づかいをしよう	・児童理解の資料作成（家庭環境・交友関係） ・いじめに関するアンケート実施→対策、支援 ・見つめたい子どもの生徒指導の工夫 ・不登校支援に関する支援委員会（校長・教頭・特別支援教育コーディネーター・生徒指導担当・担任・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールロイヤー） ・地区児童会により、通学路・連絡網の決定 ・「いいづかのよい子」の共通理解と実施に向けて ・制服、衣替えなどについて ・遊び場、遊具の使い方の指導 ・生徒指導の年間計画の作成 ・児童会や人権委員会とタイアップした取り組み ・対策委員会
７～８月 （夏休み）	○あいさつをしよう ○交通のきまりを守ろう	・夏休みの生徒指導 ・地区児童会、地区活動の計画立案や見直し ・休業中の校外指導の実施 ・対策委員会
８～１２月 （２学期）	○あいさつをしよう ○あるき方に気をつけよう ○あたたかい言葉づかいをしよう	・夏休みの反省に立って、２学期の指導計画の立案 ・支援が必要な子どもについての共通理解と支援の工夫 ・いじめに関するアンケート実施→対策、支援 ・対策委員会 ・冬休みの生徒指導 ・児童会や人権委員会とタイアップした取り組み
１～３月 （３学期）	○あいさつをしよう ○あとしまつをしよう	・冬休みの反省に立って、３学期の指導計画の立案 ・いじめに関するアンケート実施→対策、支援 ・児童会や人権委員会とタイアップした取り組み ・春休みの生徒指導 ・対策委員会

（３）生徒指導のめあて

く・・・車にのらず自力登校し
に・・・にこにこあいさつ
さ・・・さしすせそうじに取り組み
き・・・きまりを守る
国東っ子を育てよう

XII　キャリア教育基本方針及び全体計画

○日本国憲法
○教育関係法規

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

社会の要請

R6年度大分県教育委員会重点方針
「教育県大分」の創造に向けて
重点方針
1．子どもの力と意欲の向上に向けた組織的取組の推進
2．デジタル技術を活用した新たな学び・教育環境の実現―教育DXの推進―
3．地域を担う人づくりと活力ある地域づくりの推進

○学習指導要領（生きる力）
・基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
・自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
・たくましく生きるための健康や体力
○学習指導要領（特活）
・集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。

めざす学校像
・魅力ある学校
・温かみのある学校
・信頼される学校

めざす児童像
・やさしい子
・かしこい子
・たくましい子

めざす教職員像
・向上心のある教職員
・協働を大切にする教職員
・児童理解に努める教職員

保護者及び教師の願い

○奉仕の心や思いやり等、豊かな心の育成
○変化し続ける社会を生き抜く「学力」や基礎基本の定着
○家庭学習や読書の習慣づけ

児童の実態

○明るく活発で，素直である
○言われたことをきちんと守ろうとする
・自分の考えを進んで言おうとしない
・先を見通しての行動が苦手な子が多い

キャリア教育の目標

○自己及び他者への積極的関心を形成・発展
○身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
○夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
○勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

職業観・勤労観を育む学習プログラム

		低学年	中学年	高学年
人間関係形成能力	自他の理解能力	・自分の好きなことや嫌いなことをはっきり言う。	・自分のよいところを見つける	・自分の長所や欠点に気づき，自分らしさを発揮する。
	コミュニケーション能力	・あいさつや返事をする。 ・「ありがとう」や「ごめんなさい」をいう。	・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。	・異年齢集団の活動に進んで参加し，役割と責任を果たそうとする。
情報活用能力	情報収集・探索能力	・身近で働く人々の様子がわかり，興味・関心をもつ	・いろいろな職業や生き方があることがわかる。	・身近な産業・職業の様子やその変化がわかる。 ・自分に必要な情報を探す。
	職業理解能力	・係や当番の活動に取り組み，それらの大切さがわかる。	・係や当番活動に積極的にかかわる。 ・働くことの楽しさがわかる。	・施設・職場見学等を通し，働くことの大切さや苦労がわかる。 ・学んだり体験したりしたことと、生活や職業との関連を考える。
将来設計能力	役割把握・認識能力	・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性がわかる。	・互いの役割や役割分担の必要性がわかる。 ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気づく。	・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さがわかる。 ・仕事における役割の関連性や変化に気づく。
	計画実行能力	・作業の準備や片付けをする。 ・決められた時間や決まりを守ろうとする。	・将来の夢や希望を持つ。 ・計画づくりの必要性に気づき，作業の手順がわかる。	・将来のことを考える大切さがわかる。 ・憧れとする職業を持ち，今、しなければならないことを考える。
意思決定能力	選択能力	・自分の好きなもの、大切なものを持つ。	・自分のやりたいこと，よいと思うことなどを考え，進んで取り組む。	・係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。
	課題解決能力	・自分のことは自分で行おうとする。	・自分の仕事に対して責任を感じ，最後までやり通そうとする ・自分の力で課題を解決しようと努力する。	・将来の夢や希望を持ち，実現をめざして努力しようとする。

各教科

○各教科の学習を通して、児童が主体的に体験や興味関心をもとに課題を見つけ、自分の方法で解決に取り組むことができるように配慮し、課題選択能力や問題解決能力を育てる。
○自己評価の機会を工夫して学習することの意味や児童自らが成長を実感できるように配慮する

道徳

○よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。
・主として自分自身に関すること
・主として人との関りに関すること
・主として集団や社会との関りに関すること
・主として生命や自然，崇高なものとの関りに関すること

特別活動

〈学級活動〉
○希望や目標をもって生きる態度の形成と学校生活における課題を自主的な話し合い活動を通して解決することができるよう工夫を図る
○児童が自ら現在及び将来の生き方を考えることができるように工夫する

〈児童会活動〉
○体験的学習を基本として、望ましい個性の伸張を図る

〈学校行事〉
○各種の行事を通して、協力や責任の所在を明確にするとともに、人間関係や集団の向上に寄与する心を育てる。

総合的な学習

○学び方やものの考え方を身に付け，問題の解決や探究活動に主体的，創造的に取り組む態度を育て，自己の生き方を考えることができるようにすること。
○自然体験やボランティア活動などの社会体験，観察・実験，見学や調査，発表や討論，ものづくりや生産活動など体験的な学習，問題解決的な学習を積極的に取り入れること。

Ⅻ　情報教育指導方針及び年間指導計画

1．情報教育全体計画

日本国憲法
教育関連法規

＜学校教育目標＞

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

児童・学校・地域の実態や特色

児童・学校・地域の願いや要請

＜情報教育の目標＞

①課題や目的に応じてインターネットやテレビ、図書などのメディアを適切に活用し、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理したり、相手に合わせて情報を効果的に発信したり交流したりできる。　【情報活用の実践力】
②いろいろなメディアの特性を理解し、情報を正しく判断して適切に扱うことができる。　【情報の科学的な理解】
③社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの大切さや関連する社会的なルールやマナーを理解した行動をとることができる。　【情報社会に参画する態度】
◉論理的思考力を育むとともに，プログラムの働きやよさ，情報社会がコンピュータをはじめとする情報技術によって支えられていることなどに気付き，身近な問題の解決に主体的に取り組む態度やコンピュータ等を活用してよりよい社会を築いていこうとする態度などを育むとともに，教科等で学ぶ知識及び技能等をより確実に身に付けることができるようにする。　【プログラミング教育】

＜育成を目指す資質・能力＞

観点	観点の説明	低学年	中学年	高学年
知識及び技能	・メディアを活用して情報を収集したり、適切に発信・交流したりする。 ・身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付く。 ◉問題の解決には必要な手順があることに気付く。	・コンピュータを使って簡単な絵をかいたり学習ゲームをしたりする。 ・体験やインタビュー、図書などから情報を集める。 ◉問題の解決には必要な手順があることが分かる。	・キーボード入力し、インターネットで情報を集める。 ・情報を収集し、記録するためにデジタルカメラやビデオカメラで撮影をする。 ・身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付く。 ◉問題解決の手順はさまざまに工夫することができることが分かる。	・目的に応じて新聞記事、ＩＣＴ機器などメディアを選択し、特性を生かしながら情報を集める。 ・複数の資料から目的に応じて特定の情報を見つける。 ◉問題解決の手順を論理的に組み立てることのよさが分かる。 ◉体験を通して，プログラムの働きやよさ，情報技術が社会を支えていることに気付く。
思考力，判断力，表現力等	・情報を整理し、相手に合わせて表現する。 ◉発達の段階に即して，「プログラミング的思考」を育成する。	・情報を並べ替えるなどの操作をして情報を整理する。 ・実物投影機などのＩＣＴ機器を活用して表現する。 ・はじめ，中，終わりの構成を考えて伝えたいことをまとめる。 ◉事柄や意図する一連の活動の順序に沿って構成や組み合わせを考える。	・集めた情報を分類したり、順番をつけたりして整理する。 ・必要な情報を選択し、大切な部分を強調したり表やグラフに表したりして表現する。 ◉意図する一連の活動を実現するため，どのような動きの組み合わせが必要かを考える。 ◉内容の中心を明確にし，まとまりをつくったり，自分の考えと理由の関係を明確にしたりしてまとめる。	・問題の解決に必要な情報を，視点を定めて分類したり多面的に検討したりする。 ・グラフや表を引用したり、実例を挙げたりして、根拠や理由を示してまとめる。 ・相手の状況に応じて、表現方法を工夫する。 ◉意図する一連の活動を実現するため，動きの組み合わせや意図した活動に近付く改善策を考える。
学びに向かう力，人間性等	・発達の段階に即して，コンピュータの働きを，よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養する。	・自分たちの身の回りの情報機器に親しみ，すすんで利用しようとする。 ◉友達と協力して活動に取り組む。	・身の回りにはさまざまな情報機器が利用されていることに気付くとともに，目的に応じて利用しようとする。 ◉課題の解決に向け，粘り強くやり抜こうとする。	・身の回りの情報機器を，問題の解決や意図，目的に応じて適切に利用しようとする。 ◉情報技術のよさや価値を社会や自らの将来に関連付けて考える。

＜関連する各教科等の力：「考えるための技法」を適宜活用・発揮しながら＞

国語科	社会科	算数科	理科	生活科	音楽科
○筋道を立てて考える力 ○情報活用に関する知識や技能 ○情報を多面的・多角的に精査し構造化する力 ○文や文章を整える力 ○情報を編集・操作する力 ○話や文章を構成する力　など	○社会的事象に関する情報を適切に集める・読み取る・まとめる技能 ○思考・判断したことを適切に表現する力 ○社会に見られる課題を把握して，社会への関わり方を選択・判断する力　など	○日常の事象を数理的に表現・処理する技能 ○日常の事象を数理的に捉え，見通しをもち筋道立てて考察する力 ○数学的に考えることや数理的な処理のよさに気付き，算数の学習を進んで生活や学習に生かそうとする態度　など	○自然事象に対する基本的な概念や性質・規則性の理解 ○事象を比較，関係付け，条件制御，多面的に考え捉える力 ○根拠に基づき判断し表現する力 ○問題解決の過程に関してその妥当性を検討する態度　など	○比較・分類・関連付けたり，視点を変えたりして対象を捉える力 ○試したり，見立てたり，予測したり，見通しを持ったりして創り出す力 ○伝えたり，振り返ったりして表現する力　など	○自分で音楽表現をしたり友達と一緒に音楽表現をしたり，自分の思いや意図を音楽で表現したりする力 ○音楽に関する知識や技能を活用して音楽表現を工夫し，どのように表すかについて思いや意図を見出す力　など
図画工作科	**家庭科**	**体育科**	**特別活動**	**外国語活動**	**総合的な学習の時間**
○表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫して創造的につくったり表したりする技能 ○造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて創造的に発想や構想する力　など	○実習や観察・実験，調査，交流活動の結果等について，考察したことを根拠や理由を明確にして分かりやすく表現する力 ○日常の生活課題について様々な解決方法を構想し，実践を評価・改善し表現する力　など	○特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全についての理解 ○基本的な動きや動作に関する技能 ○自己の課題を見付け，その解決に向けて思考し判断したことを他者に伝える力　など	○所属する多様な集団や自己の生活上の課題を見いだし，解決のために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したり，人間関係をよりよく構築したりする力　など	○コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて，情報や考えなどを表現する力 ○身近で簡単な事柄について，音声で慣れ親しんだ語彙や基本的な表現を読んだり，語順を意識しながら書いたりして表現する基礎的な力　など	○課題解決を目指して，事象を比較したり，関連付けたりして考える力 ○相手や目的，意図に応じて分かりやすくまとめ，表現する力　など

＜道徳教育及び道徳科との関連＞

・道徳的価値が大切なことなどを理解し，様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるか判断する力（道徳的判断力）
・人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情（道徳的心情）
・道徳的価値を実現しようとする意志の働き，行為への身構え（道徳的実践意欲と態度）

2．情報教育（プログラミング教育を含む）年間指導計画

月	1　年	2　年	3　年	4　年	5　年	6　年	教　職　員
1学期		【生活】タブレット、ロイロノートを体験させる。	【国語・算数】e ライブラリを使った学習をさせる。	【理科・社会】ホームページで情報を集めさせる。	【総合】図書、新聞、ホームページなどメディアを選択し、情報を収集させる。 【理科】天気の変化を調べさせる。	【総合】戦争が残したもの，平和について考える ICT・参考文献を使っての調査をする。	研修1 ・情報教育推進計画の共有 ・タブレット端末使用 ・オンライン授業について ・teams 接続について
		【生活】まちたんけんで見学・体験したり、インタビューしたりして情報を集めさせる。	●【国語】段落相互の関係などに注意して文章を構成させる。	●【社会】ごみ処理の手順をフローチャートでまとめさせる。	【社会・総合】プレゼンテーションの作り方を知らせる。調べたことを相手に合わせて表現させる。	●【家庭科】「ゆでる」「いためる」の手順をフローチャートでまとめさせる。	
		●【国語】事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、文を書かせる。	【理科・社会】タブレットを使って写真を撮影させる。	【理科・社会】タブレットを使って写真を撮影させる。	●【国語】段落相互の関係などに注意して文章を構成する。	●【算数】平均値・最頻値・中央値の理解を確実なものにさ	
2学期	●【国語】自分の考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせる。 【生活】タブレットを体験させる。	【生活・図工】ロイロノートで写真を撮り、共有させる。	●【算数】２位数×１位数の筆算を既習事項から分配法則を使って計算する手順を論理的に考えさせる。	【国語】キーボードを使い、ローマ字入力で文章を作成させる。	【社会】ホームページで資料を収集し、整理させる。	【理科】観察記録や実験データを表に整理したりグラフ化したりして、プレゼンテーションで発表させる。	研修2 ・プログラミング教育 ・ロイロノート ・e ライブラリ
	【国語】図書の本で情報を集めさせる。	●【算数】手順を細分化して筆算の仕方を考えさせる。 【国語】図書の本で情報を集めさせる。	【国語】キーボードを使い、ローマ字入力で文章を作成させる。	【理科・体育】タブレットを使って写真や動画を撮影させる。	【社会】情報通信技術について理解させる。	【国語】必要な情報を様々なメディアから見つけ，日本文化を紹介するリーフレットをつくらせる。	
	【生活・図工】ロイロノートを体験させる。				【国語】新聞記事から情報を見つけ、比較したり分類したりする。	【外国語】タブレットを使ったプレゼンテーションの作り方を知らせ、表現させる。	
3学期	【生活】ロイロノートを使って写真を撮影させる。	【学級】キーボードを使った文字入力の方法を知らせる。	【社会・総合】ホームページで情報を集めさせる。	●【音楽】リズム・パターンを組み合わせたまとまりのある音楽を作成させる。 ●【算数】プログラムをつくる活動を通して簡単なプログラミングの仕方を理解させる。	●【算数】正多角形の意味を基に正多角形をかかせる。	●【理科・総合】ロボットを制御し、電気の効率的な利用の仕方やプログラミングを理解させる。 ●【算数】変数の演算子と整除の条件判定の命令を組み合わせて倍数をつくるプログラムを作らせる	研修3 ・各種研修会の還流 ・１年間の実践還流
	【道徳】自分や他人の個人情報を大切にすることを知らせる。	【道徳】自分や他人の個人情報を大切にすることを知らせる。	【道徳】個人情報の保護や著作権の尊重などの配慮が必要なことを知らせる。	【道徳】個人情報の保護や著作権の尊重などの配慮が必要なことを知らせる。	【道徳】メディアからの情報には発信者の意図と背景があり、受け手が判断する必要があることを知らせる。	【道徳】メディアからの情報には発信者の意図と背景があり、受け手が判断する必要があることを知らせる。	

●プログラミング教育に関わる指導内容

ⅩⅣ　環境教育指導方針及び全体計画

1．環境教育全体計画

学校教育目標	地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成 ～やさしく・かしこく・たくましく～

環境教育・学習の目標	環境や環境問題に関心を持ち、自分たちの生活と環境とのかかわりについて理解するとともに、環境に対し望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身につけ、主体的に活動する児童の育成

環境にかかわる実態	児童について	・自然の中での活動を好む ・体験に乏しい ・課題解決のスキルが不十分
	地域について	・豊かな自然に囲まれている ・家庭や地域が協力的である

環境教育・学習で目指す子ども像	○自然の中で活動する子ども ○自然とともに活動する子ども ○自然のために活動する子ども

低学年の目標	自然環境や事象に対する感性、興味・関心を高めるとともに、自然のすばらしさや生命の大切さを実感することができる。
中学年の目標	身の回りの環境問題について気づき、観察や調査を通して簡単な分析と結果を表現し、身近な環境の現状、問題の原因、自然や生活への影響を理解できる。
高学年の目標	様々な環境問題について情報を集め、環境に対する理解を深め、協力して環境保全活動やより良い環境の創造活動に取り組める。

付けたい力

情意的領域	認知的領域	価値的領域	行動的領域
(環境に対する興味・関心) ア、身近な自然に触れる活動を通して、美しさ・不思議さ・大切さに気づく力 イ、地域社会における様々な環境活動の取組に気づく力	(環境に対する知識・理解・技能) ア、自然の仕組みや回復力等について理解する力 イ、自分たちの生活や経済活動が、資源に依存していることを理解する力 ウ、環境の保全・管理に向けた社会の取組を知り、理解する力 エ、身近な環境について、実験・観察等の調査活動ができる力	(環境を評価する能力) ア、自然や社会の事情を多面的、総合的に捉える力 イ、科学的・客観的データに基づいて、公正に判断する力 ウ、環境問題に対して、自分なりの考えをもつ力	(参加・行動) ア、環境問題の解決のために自分なりの行動ができる イ、計画、実行、評価を繰返し、活動を継続する力 ウ、仲間や地域と協力して、環境に関する活動に参画する力

各学年の活動名及び中心となる学習の場

学　年	活動名	学習の場
第1学年	きせつとなかよし・なかよくなろうね	生活科
第2学年	めざせ野菜作りめいじん	生活科
第3学年	しぜんのかんさつ	理科
第4学年	命を見つめよう	総合的な学習の時間
第5学年	国東小校区の魅力をPRしよう	総合的な学習の時間
第6学年	大分の魅力を発信しよう	総合的な学習の時間

関連する学習の場

各教科	国語(表現)、音楽(感性)、図工(表現)、算数(考え方、根拠)等
道　徳	自分にかかわること、社会にかかわること
特別活動	学級活動、児童会活動、学校行事

家庭・地域との関連

活動	情報発信	関連機関
地区の清掃活動 廃品回収	学級・学年・学校通信	区長会 国東市社会教育課

指導の基本方針
①豊かな感性を育むことを大切にします。
②具体的な活動や実際の体験を重視します。
③子どもたちの身近な事象に焦点を当てて学習します。

XV 食に関する指導の全体計画

≪児童の実態≫
・朝ごはんを食べる児童は９８％
・給食の残菜率は 6.7%であり、一人ひとりが残さず食べようという気持ちが強い。
・食生活実態調査より、食に関する家の仕事をしている児童が少ない。

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動する国東っ子
～やさしく・かしこく・たくましく～

≪第４次大分県食育推進計画≫
・朝食を毎日食べる児童の割合（５年生）…92.4%（R７年度）
・ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす割合：55%（令和７年度）
・食品ロス削減のために何か行動をする国民の割合を増やす：80%以上（令和７年度）

食育の視点
○食事の重要性
○心身の健康
○食品を選択する能力
○感謝の心
○社会性
○食文化

食に関する指導の目標
（知識・技能）
食事の重要性や栄養バランス、食文化についての理解を図り、食生活に関する知識・技能を身につける
（思考力・判断力・表現力）
食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき。自ら管理し、判断できる能力を養う。
（学びに向かう力・人間性）
食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。

各学年の食に関する指導の目標

１・２年	３・４年	５・６年
○食べ物に興味・関心をもち楽しく食事ができる（食事の重要性） ○正しいはしの使い方や食器の並び方が分かる（社会性） ○いろいろな食べ物や料理の名前が分かる（食品を選択する能力）	○日常の食事に興味・関心をもち楽しく食事をすることが心身の健康に大切なことが分かる（食事の重要性） ○資源の有効利用について考える（感謝の心）	○日常の食事に興味・関心をもち朝食を含め３食の食事をとることが大切だと分かる（食事の重要性） ○食品をバランスよく組み合わせて簡単な献立をたてることができる（心身の健康）

食育推進組織（食育推進委員会）
委員長：校長（副委員長：教頭）
委員：栄養教諭、食育（給食）主任、教務主任、体育主任、学級担任

地場産物の活用
物資選定委員会：年３回（県）、地場産物の積極的な活用、給食だよりや、給食指導を通して児童に伝える教科等の学習や体験活動と連携を図る

家庭・地域との連携
積極的な情報発信、食育（給食）だより、学校給食試食会、家庭に向けた給食レシピの配布
リーフレットの配布（早寝・早起き・朝ごはん、手軽なメニュー）、

食育推進の評価
活動指標：食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整
成果指標：児童の実態、保護者・地域の実態

食に関する指導の全体計画

□のところを栄養教諭が積極的に入り食に関する授業・資料提供等を行う

		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給食指導目標		給食準備・片づけ	食事のマナー	よくかんで食べよう	夏の食事を考えよう	生活リズムを調えよう	好ききらいなく食べよう	食べものの働きを知ろう	冬の食事について考えよう	感謝して食べよう	地域の食文化	食生活を振り返ろう
特別活動・教科等	特別活動	給食のマナーを知ろう（2年） 食事のマナーを学ぼう（3年）	きゅうしょくができるまでをしろう（1年）					すききらいせずなんでもたべよう（1年）				
	社会科		2、はたらく人とわたしたちのくらし 国東市でとれる食材を知ろう（3年）			これからの食料（5年）				給食の歴史（3・4年）	日本とつながりの深い国々	
	理科		植物を育てよう　葉・茎・根（3年）			生命のつながり（6年）	私たちの体と運動（3年）					
	生活科		生命のつながり（5年）	体のつくりと働き（6年） きせつとなかよし			きせつとなかよし（秋）			きせつとなかよし（冬）		
	家庭科		野菜のパワーを知ろう（2年） クッキングはじめの一歩（5年）		できるよ家庭の仕事（5年）			献立を工夫して（6年）				
	保健体育		できること増やしてクッキング（6年）	けんこうな1日の生活（3年）	病気の予防（6年）		食べて元気に（5年）			よりよい発育のために（4年）		
	総合的な学習	これからの米作り（5年）										
	他教科等	ふきのとう（2年）		おおきなかぶ（1年） 歯を大切に	夏を元気にすごそう おむすびころりん（1年）		目を大切にしよう 世界の衣食住を知ろう（6年）	すがたをかえる大豆（3年）		冬を元気にすごそう		自分の食生活をふりかえろう
給関関連	献立計画	入学祝い献立	子どもの日	かみかみメニュー 食育月間	夏野菜カレー 七夕	お月見献立	減塩・野菜たっぷり	まるごとおおいたの取組	クリスマス・冬至	全国学校給食週間	節分 リクエストメニュー	ひなまつり
	旬の食材	キャベツ・たけのこ・たまねぎ・アスパラ	たまねぎ・アスパラ・グリンピース	じゃがいも・ニラ・たまねぎ	オクラ・なす・かぼちゃ・トマト	さといも・コーン・なす・えだまめ	きのこ・さんま・さつまいも・くり・かき	さんま・白菜・ブロッコリー・ごぼう	かぶ・キャベツ・にんじん・ねぎ	かぶ・白菜・さといも・大根・みかん	ブロッコリー・みかん・白菜	ねぎ・キャベツ・ほうれん草
家庭・地域との連携	学校行事等	健康診断・内科健診		歯科検診 運動会			防災 修学旅行					卒業式

XVI　図書館教育全体指導方針及び全体計画

学校教育目標
地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成 ～やさしく・かしこく・たくましく～

図書館教育の目標
○図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して、豊かな人間形成や情操を養う。 ○図書館を利用することを通して、意欲的に学び、情報を活用する能力を育てる。

１・２年	３・４年	５・６年
・学校図書館の利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、進んで資料の活用ができるようにする。	・進んで学校図書館を利用しようとする態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようにする。	・積極的に学校図書館を利用しようとする態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。
・やさしい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。	・いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。	・適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
・調べ学習の進め方を身につけるようにする。 ・図書館資料を活用した学習を通して情報を検索・収集・処理・発信する能力を養い、自主的な学習態度を育てる。	・資料を読み深めることにより、感動をもち、自分の生活を見つめるようにする。	・学習活動を通して、学校図書館の利用や情報の適切な活用方法を身につけるようにする。 ・図書委員会において、自分たちの仕事（本の貸し出しや本の紹介など読書活動の推進）を協力し合い自主的に実践する態度を育てる。	・課題の追求・解決に資料を活用しながら、多様な方法で取り組むことで、さらに情報活用能力を伸ばす。

学級の取り組み	家庭や地域との連携など
・ブックタイム 　ブックタイム 　読み聞かせ（担任、異学年でのふれあい読書） 　学年おすすめの本の設定 ・学級文庫の設置 ・読書目標冊数 　個人や学級で本を読む冊数を決める。 ・本に親しむ時間の確保 　雨の日の過ごし方　　給食の待ち方 　活動の終わった時間の児童の過ごし方 ・図書館司書と連携して、学校図書館の運営を行ったり、図書館を活用した授業を工夫したりする。	・読み聞かせボランティア「たんぽぽ」の協力を得て、読書環境の充実を図る。 ・ブックタイム ・家庭読書をすすめる。 ・市立図書館や県立図書館と連携し、図書の充実を図る。（学級文庫の本を借りる。欲しい資料を借りる。）

ⅩⅦ　特別支援教育全体計画　　国東小学校

【学校課題】
- 特別支援学級と通常学級との仲間意識を育てる交流教育を積極的に推進する。
- 特別支援学級の児童の社会性を育成する。
- 通常学級に在籍する支援を必要とする児童への支援体制のあり方を究明する。

【学校教育目標】
地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

【市の方針と重点】
○一人ひとりの教育的ニーズに応じ、自立し、社会参加するための基盤となる力を育てる。
- 一人ひとりの教育的ニーズを正しく理解するとともに、校内支援体制を確立する。
- 児童一人ひとりの能力や特性を発揮し、主体的に活動できるよう指導内容や指導方法、評価を工夫する。
- 社会性や人間性を育むことができるよう指導の充実を図る。

【目　標】
一人ひとりの特別な教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うことにより、その可能性を最大限に伸ばし、仲よく、最後まで取り組もうとする意識を高め、自立し、社会参加していくための基礎的・基本的な力を身につけられるようにする。

【重　点】
- 特別な教育的ニーズを必要とする児童一人ひとりの視点に立って、全教職員で適切な教育的支援にあたる。
- 基礎的・基本的な内容が確実に定着できるよう、個のねらいと評価を明確にし、きめ細かな指導を推進する。
- 特別支援学級担任と、通常の学級担任とが十分に連絡を取り合い、児童が触れあう中で、仲間として認め合い、互いのすばらしい面に気づくよう、計画的・継続的に交流教育を推進する。

	重点目標	具現の場と方法
通常の学級	・学習や生活に支援が必要な児童の立場に立ち、一人ひとりのもてる能力が十分発揮できるようにする。	・校内委員会等で、児童の困難さがどこにあるか、また、改善・克服の方法について話し合う。 ・個別に必要な内容について支援を行う。
特別支援学級	・自立活動生活単元学習等を教育課程に組み込み、生活に関係の深い学習を体験的に学ばせ、児童の願いを満足させ、生活上必要な知識を身につけさせる。 ・発達段階に合った課題に取り組み、基礎的な学力をつける。 ・集団活動や交流を通して、協力する気持ちや態度を養い、活動できるようにする。 ・自分の願いや課題を持ち、楽しく追求したり、表現したりすることができるようにする。	《生活単元学習》 ・お金について学習したり、お店での買い物などを体験したりする活動を取り入れる。 ・野菜を栽培したり、生き物を育てたりする活動を取り入れる。 《自立活動》 ・他者とのコミュニケーションの取り方や気持ちの安定を図るためのスキルトレーニングを行い、人間関係の形成を図る。 ・身体感覚や認知を高めるための運動や遊びを積極的に行う。 《国語・算数》 ・読む力、書く力を高め、生活に使えるようにする。 ・具体物や遊びを通して、数や量の理解をさせ、繰り返しの練習で計算力を高める。 《学校行事等》 ・全校児童と一緒に活動することで集団としての自覚を持つことができる。 ・「学習発表会」の計画や活動等で交流学級の児童と力を合わせて学習する。
通級	・児童実態に合った課題に取り組み、状況に応じたコミュニケーションをとることができる。	・ソーシャルスキルトレーニングの教具を使い、社会で生きていくための知識やスキルを学習する。 ・不安を感じたり、嫌な思いをしたりしたときにどう伝えればいいか話型を示し、練習する。
交流教育	・通常の学級在籍児童においては、特別支援学級の児童を理解し、仲間意識を持つ。 ・特別支援学級在籍児童においては学校や学年、学級への所属意識をもち、集団行動の望ましい態度や習慣を身につける。	・交流教科での頑張りを認め、児童理解を図る。 ・特別支援学級担任と通常の学級担任との連携を図り、効果的な交流教育を推進する。 ・特別支援学級児童は、児童の実態に応じて他教科を中心とした教科の交流、学校行事、異年齢活動等の集団活動をする。

校内委員会の設置
- 構成員
  校長、教頭、教務、生徒指導担当、人権教育担当、特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、担任、支援員
- 就学支援、校内支援体制に基づく指導の充実をめざす。

校内体制

1　相談支援及び校内研修
- 特別支援教育に関わる校内研修
- 生徒指導と重ねての事例検討会
- ケース会議

2　個に応じた指導及び支援
- 生徒指導や教育相談と連携し、学級担任や保護者と相談支援にあたる。
- 知能検査等の検査、行動観察による対象児の実態把握。
- 校内委員会、職員会、学年会で指導の検討。

3　就学支援
- 校内教育支援委員会と連携し、一人ひとりの適切な教育の場を検討し、保護者に助言する。
  校内：１０月　　市：１１月

4　交流教育
- 活動を共にできるような交流を、相互のねらいを明確にし、計画的・継続的に推進する。

家庭、関係諸機関、地域社会等との連携
- 通信や連絡帳、家庭訪問、授業参観、懇談、電話等により保護者との連絡を密にする。
- 別府発達医療センターと情報交換をする。また、特別支援学校の巡回相談、スクールカウンセラーなどを活用する。
- 研修会等に保護者と共に積極的に参加する。
- 学習や行事の際に、地域に出かけたり、地域の方を招いたりして地域の方との交流を行う。

XVIII　保健指導方針及び年間指導計画

学校教育目標	地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成 ～やさしく・かしこく・たくましく～

↓

学校保健目標	自他の命を大切にし、自分の心身の状態に関心を持ち、 すすんで健康づくりに取り組む子どもの育成

↓

【年間指導計画】

	行事・季節等における指導（掲示を含む）		学年	性に関する指導 性自認　・　人間関係　・　家族・社会
1学期	保健室の利用の仕方 健康診断、身体測定、視力・聴力検査 運動会、規則正しい生活 歯と口の健康週間 食中毒の予防 熱中症予防、夏休みの過ごし方 水泳時の安全指導	むし歯予防　①歯みがき指導　②食に関する指導　③フッ化物洗口	1年	女の子と男の子（学活） たいせつな体・プライベートゾーン（学活） かぞくとおはなし（道徳） かぞくにこにこ大さくせん（生活）
			2年	じぶんをまもろう（学活） じぶんいろのかさ（学活） あしたへつなぐ自分たんけん（生活）
2学期	身体測定、視力検査 けがの予防と手当 修学旅行、宿泊学習事前指導 目の健康と姿勢について 感染症予防 性に関する指導 冬休みの過ごし方		3年	毎日の生活と健康（保健） 生きている仲間（道徳） 自分の体を大切にしよう（学活）
			4年	育ちゆく体とわたし（保健） 命を見つめよう（総合） 私たちの成長を見つめよう（学活）
3学期	身体測定、視力検査 感染症予防 全国学校給食週間 性に関する指導、心の健康 1年間の健康生活の振り返り		5年	けがの防止　心の発達（保健） 多様な性について考えよう（学活） 母親のおなかの中での子どもの成長（理科）
			6年	病気の予防（保健） 犯罪から身を守ろう（学活） 制服について考えよう（学活）

家庭・地域との連携

○ほけんだより　○保健調査　○健康診断の事後措置　○保護者会活動、学級懇談会 ○保護者への連絡　○地域の専門機関や人材の活用　○学校医等医療機関への連絡　○その他

令和７年度「性に関する指導」全体計画

児童の実態

・体の発達の個人差に不安を感じている児童がいる。
・二次性徴の発現が早い児童がいる。
・漫画、インターネット等の普及で性に関する情報を簡単に得やすい環境がある。
・自分用のスマートフォンや、オンラインゲーム等で知らない人とやりとりをしている児童もいる。

【学校教育目標】

地域を愛し、人を大事にし、
自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

【目指す児童像】

やさしい子　かしこい子　たくましい子

【性に関する指導の目標】

性に関する科学的知識を理解させるとともに、児童が生命や自己及び他者の個性を尊重するとともに、自ら考え、判断し、意思決定をする能力を身に付け、適切に行動できるようにする。

小学校における性に関する指導の具体的目標

①生命の誕生及び心身の発育における男女差や個人差に関する基礎的事項を理解し、自己の性を受容し、自分を大切にしようとする気持ちを持って行動できる。
②人の体の特徴や個人の発達段階などに違いがあることを理解し、互いに相手の人格を尊重する気持ちを持って行動できる。
③各家庭における役割について、家族で分担し、互いに助け合うことが大切であることを知り、家族や社会の一員として適切な判断や意思決定ができる。

各学年の目標

低学年	中学年	高学年
○体のつくりや働きの男女の違いに気づかせ、自分や相手を大切にしようとする心情や態度を育てる。 ○自分の成長と、成長を支えてくれている人の存在に気づかせる。 ○犯罪被害から自分を守るための基本的な行動や態度を理解させる。	○初経、精通の仕組みや体の発育・発達の仕方には個人差があることを理解させ、互いに尊重し合う態度を育てる。 ○自分や他者の良さに気づき、一人一人が大切な自分であることを知らせ、人とのかかわりを大切にする態度を育てる。 ○家庭における自分の役割を自覚して行動する態度を育てる。	○心も体と同様に発達し、心と体は密接な関係にあることを理解させる。 ○他者に関心を持ったり、親しくしたいという気持ちが生まれたりする中で、自他を大切にする態度を育てる。 ○固定的な性役割にとらわれず、他者と協力することの大切さを知るとともに、エイズ等の学習を通して、共に生きることの大切さを理解させる。

指導場面（各教科等の内容）

低学年	中学年	高学年
大切な体・プライベートゾーン（学活） かぞくとおはなし（道徳） かぞくにこにこ大さくせん（生活） じぶんをまもろう（学活） あしたへつなぐ自分たんけん（生活）	健康な生活（保健） 生きている仲間（道徳） 育ちゆく体とわたし（保健） 自分のからだを大切にしよう（学活） 命を見つめよう（総合）	心の健康（保健） けがの防止（保健） 生命誕生（理科） 多様な性について考えよう（学活） 病気の予防（保健） 制服について考えよう（学活）

家庭・地域との連携

学校だより、学級通信、保健だより等による情報提供。地域の専門機関や人材の活用。授業参観、懇談会での意見交換等。

ＸIX　学校安全教育基本方針および年間指導計画

基本方針　・事故防止のため、子どもに安全に関する知識、技能、態度を身につけさせ、いかなる場合でも安全な行動がとれるようにする。
・生命を安全に保持するための知識を養い、安全な生活を営むための技能を会得させ、態度、習慣を養う。
・安全教育体制の確立と校舎、校地の保全整備に努める。

年間指導計画

月	安全指導	安全管理	関連行事・活動
4	・交通のきまりと正しい歩行 ・登下校の安全 ・校内生活での安全	・通学路、子ども連絡所の確認 ・校舎内外の施設・設備の点検 ・交通指導	・危険箇所マップの　配布 ・登校指導（保護者）
5	・自転車の乗り方 ・清掃時の安全 ・運動時の安全	・安全点検 ・室内環境整備	・交通安全教室 ・登校指導（保護者）
6	・雨天時の室内のすごし方 ・体の状態と安全 ・プールでの安全	・安全点検 ・プールの安全確認	・プール開き ・登校時の指導（保護者）
7	・水泳のきまりと事故防止 ・夏の遊びについて	・安全点検 ・夏休みの安全対策	・登校指導（保護者） ・避難訓練（火災）
8	・家庭生活での安全 ・海、山での安全 ・自転車の事故防止		・登下校指導（保護者） ・耐震構造点検
9	・旅行時の安全 ・登下校時の安全 ・校内生活の安全	・交通指導 ・安全点検 ・体育用具の点検	・登校指導（保護者）
１０	・交通安全指導 ・正しい横断について	・安全点検 ・風水害時の安全対策	・登校指導（保護者）
１１	・交通事故と放課後の生活について ・火災防止について	・安全点検 ・防火施設の点検 ・緊急時の安全対策	・登校指導（保護者） ・避難訓練 （不審者）
１２	・寒稽古時の安全 ・寒さと交通事故防止	・安全点検 ・換気指導	・登校指導（保護者）
1	・休み時間のすごしかた ・雪の日の登下校の安全	・安全点検 ・交通指導	・登下校時の指導（保護者）
2	・学習時の安全 ・室内の安全	・安全点検 ・下校時間の徹底	・登校指導（保護者） ・避難訓練（地震・津波）
3	・安全生活の反省 ・交通安全の反省	・安全点検 ・整備計画	・登校指導（保護者）

ＸＸ　保健室運営案

学校教育目標	地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成 ～やさしく・かしこく・たくましく～

【児童の実態】

○休み時間は外遊びをする児童が多く、社会体育も盛んであり、運動に親しむ児童が多い。
○保健室来室は１日平均 10 人程度で、利用のマナーも守られている。
▲不登校の児童が５人（うち４人は家庭の方針による）いる。保健室登校をしている児童や、精神的な不安定さをもつ児童も数人おり、継続的な相談活動が必要である。
▲起立性調節障害、泌尿器の疾患、アレルギーや偏頭痛など、健康面で配慮の必要な児童が複数人おり、緊急時の体勢や日常の健康観察など、十分な配慮が必要である。
▲睡眠時間の不足や、ＰＣやゲームの過度の使用、視力低下などの実態があり、生活習慣改善のために、個別の保健指導や家庭と連携した取り組みが必要である。

【保健室運営目標】

救急体制に関すること	保健教育に関すること	相談活動に関すること
適切な応急処置ができ、緊急時にも迅速に対応できる体制を整える。	保健室が保健センター的な役割を果たせるよう、保健管理や保健教育の充実を図る。	保健室環境を整え、子どものサインを見逃さず、関係職種と連携して継続的に対応する。
〈目標達成のための具体的取り組み〉 ① 児童一人一人の健康状態を把握し、緊急時の対応について教職員や関係機関と共通理解を図る。 ② 救急用品、衛生用品を整備し、緊急時に備える。 ③ 応急処置について知識を深め、緊急時の対応方法や適切な処置の方法についての研修を行う。	〈目標達成のための具体的取り組み〉 ① 児童の健康問題をとらえ、実態や発達段階に応じて、系統的に保健教育を行う。 ② 必要に応じ、個別の保健指導を行う。 ③ 健康診断の結果をふまえ、適切に事後指導を行う。 ④ ほけんだよりや、保護者会等を通じて、保護者に健康情報を発信していく。	〈目標達成のための具体的取り組み〉 ① 心身に課題をもつ児童について、教職員や保護者と共通理解を図り、連携して支援を行う。 ② 相談しやすい環境となるよう保健室環境を整える。 ③ 必要に応じて、ＳＣやＳＳＷと連携を図る。 ④ 相談記録を残し、継続的な支援へとつなげる。

ＸＸＩ　令和７年度　事務室経営案

学校教育目標

地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成
～やさしく・かしこく・たくましく～

事務部経営方針

本校の教育目標の達成を財政的に裏付けていくために予算の効率的な執行に努めるとともに、事務部として積極的に学校経営に参画し、児童にとってよりよい教育環境を提供できるよう教育条件の整備充実を図る。

本年度重点目標

学校経営

基本方針

○ 学習指導・安全指導の支援や、環境整備に努める。
○ 学校事務の職務にかかわって企画・立案、教育情報の収集・活用、渉外に積極的に取り組む。
○ 学校支援センターで得た情報や職務内容を、学校経営に反映できるよう努力する。

総 務

重点
○ 文書の集中管理を的確に行う。
○ 学校支援センターに的確な情報を提供する。
○ 校長決裁を確実に履行する。

学 務

重点
○ 個人情報・プライバシーの保護に留意する。
○ 教科書・学籍・就学援助の適正な処理を行う。

人事・給与

重点
○ 諸手当の認定については、学校支援センターをとおして的確に行う。
○ 旅費事務については関係文書を整え正確に処理する。

財 務

重点
○ 財務事務における伝票処理については、迅速かつ遺漏のないように努める。
○ 施設設備の修繕等を随時把握し、迅速に処理する。
○ 教授活動等に必要な物品の調達をスムーズに行う。

福利厚生

重点
○ 職員の福利厚生について、正確な情報提供と迅速な事務処理に努める。

ＸＸⅡ　幼・保・小・中の連携指導方針及び全体計画

＜幼・保・小・中連携全体計画＞

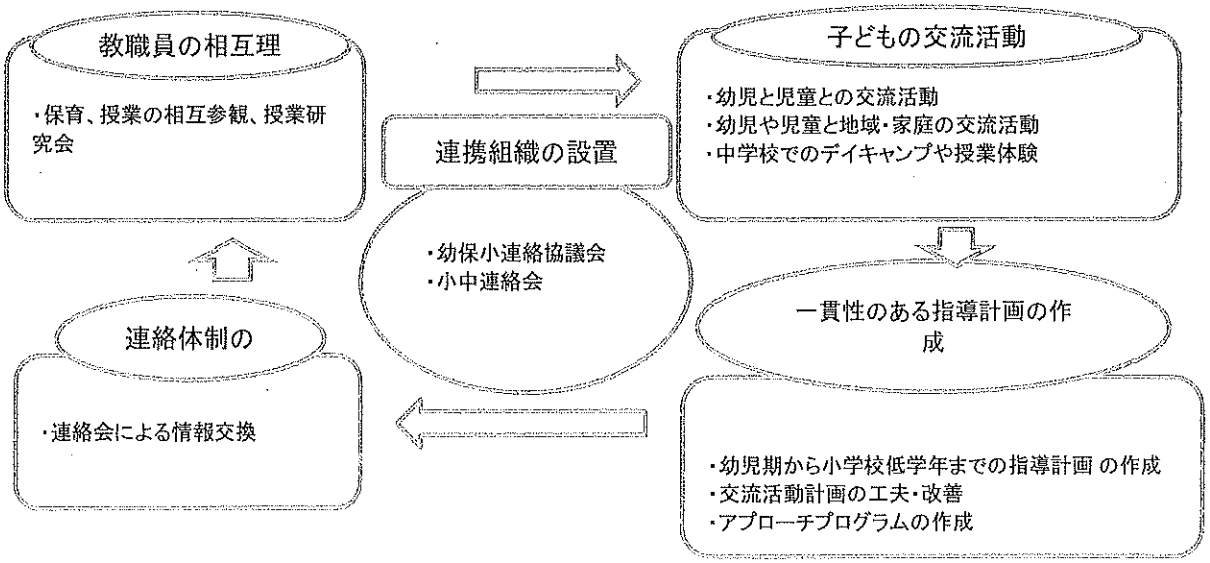
・日本国憲法 ・教育関連法規 ・小学校学習指導要領 ・幼稚園教育要領 ・保育所保育指針	学校教育目標 地域を愛し、人を大事にし、 自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成 ～やさしく・かしこく・たくましく～	・社会の要請 ・児童の実態 ・地域・家庭の願い ・学校・教師の願い

幼・保・小・中連携の目標
発達や学びの連続性を踏まえたカリキュラムに基づき、計画的な連携・交流を行い、家庭や地域と連携して、保幼の学びから小学校へ、小学校から中学校への指導を円滑にし、なめらかな接続を図る。

幼・保・小・中連携　取り組みの重点		
情報連携	行動連携	目標連携
○日常的な連絡や情報交換を行う	○計画的で組織的な連携・交流を行う	○家庭や地域とも連携した取り組みを行う
・幼、保、小連絡協議会の活性化 ・小・中連絡会の活性化 ・接続期における連携	・学校行事、教科、総合的な学習の時間、特別活動等による交流 ・公開保育、公開授業等での交流	・基本的生活習慣づくり

各学年の重点事項		
低学年	中学年	高学年
生活科を中心にお互いの育ちにつながる交流活動を行う	総合的な学習、行事等を中心に交流活動を行い、幼児に関わる積極性・思いやりの心・責任感を養う	

各領域等における重点事項			
教科	特別活動	生活科	総合的な学習の時間
生活科・総合的な学習との関連を図る	学校行事における交流活動を通して、幼児への理解を深め、上級生としての自覚を高める。 中学校への訪問を通して、中学生への期待と自覚を高める。	幼・保と目的を共有し、互恵的な関係で体験活動等を実施し、学習活動の充実を図る。	幼・保と目的を共有し、互恵的な関係で体験活動等を実施し、学習活動の充実を図る。



令和７年度　幼・保・小連携年間計画

○連携活動の目的

幼稚園や保育園、小学校の独自性を大事にしながら、幼児や児童がともに学び合える交流を行い、園と小学校の教職員の相互理解を深めていくことを通して、幼稚園や保育園から、小学校へのなめらかな接続を図る。

○年間計画

	月	交流活動等			教職員の相互理解
		活動	交流する学年	教科・領域	
1学期	4	（　1年生　・　スタートカリキュラム実施　）			
	5				市幼保小連携協議会 幼保小連絡会
	6				
	7				
	8				保育・授業の相互参観
2学期	9				
	10				幼保小連絡会（交流会に向けて）
	11	あきのおみせやさん	1年	生活科	
	12				
3学期	1				市幼保小連携協議会 幼保小連絡会
	2	新入学児童保護者連絡会 での交流	1年 5年	学級活動	幼保小連絡会（入学予定児童について）
	3				

※1年生と園児、5年生と園児がペアを作って交流をする。

※交流後、活動について気づいたことなどを聞き、あがった意見を参考に、次の活動に活かす。

交流する園・・・国東こども園、南部こども園

その他、来年度入学する予定の年長児がいる園には連絡する。

小・中連携年間計画
令和7年度　国東小学校アプローチプログラム

	学習する力		生活する力		関わる力 コミュニケーション力		
具体的な姿	①主体的に授業に参加することができる。 ②家庭での学習に継続して取り組むことができる。 ③与えられた内容だけでなく、自身で課題を見つけ学習することができる。		①挨拶をしたり、お礼を言うことができる。 ②自分の仕事や役割を責任を持ってやりとげることができる。 ③すすんできまりを守ることができる。 ④場に応じた規律ある行動をとることができる。		①人とかかわることの楽しさを知り、集団活動に積極的に取り組むことができる。 ②思いやりの心を持ち、困っている人を助けることができる。 ③友だちの話をよく聞き、自分の考えを表現することができる。 ④異年齢との交流に進んで参加することができる。		
4月	学級開き 「学習のやくそく」「聞き方チェック」の確認	① ①	学級開き ちょボラ運動の啓発 入学式 1年生を迎える会・お迎え遠足	①～④ ② ①～④ ①②④	学級開き ちょボラ運動の啓発 入学式 1年生を迎える会・お迎え遠足 いじめアンケート	①②③ ② ①～④ ①②④	
5月	教育相談 運動会に向けての準備	②③ ①③	教育相談 運動会に向けての準備 運動会	② ①～④	運動会に向けての準備 運動会 いじめアンケート	①②③ ①②③ ①	
6月	運動会 家庭学習重点週間の取り組み	②③	家庭学習重点週間の取り組み ハイパーQ-U検査・個人面談	②③ ①～④	ハイパーQ-U検査・個人面談 いじめアンケート	①②③ ①	
7月	中学校調べ（学習について） プール納め	③ ①③	中学校調べ（生活について） プール納め	③ ②③④	いじめアンケート プール納め	① ①～④	
8月							
9月	修学旅行の取り組み	①③	修学旅行の取り組み	①～④	いじめアンケート 修学旅行の取り組み	① ①～④	
10月	ハイパーQ-U検査・個人面談6年生 4校交流会（小・小連携事業） 修学旅行	①③ ① ①③	修学旅行 商い塾の取り組み・商い塾 ハイパーQ-U検査・個人面談 6年生4校交流会（小・小連携事業）	①～④ ①②④ ①～④ ①③④	修学旅行 商い塾の取り組み・商い塾 ハイパーQ-U検査・個人面談 6年生4校交流会（小・小連携事業） いじめアンケート	①～④ ①～④ ①③ ① ①	
11月	家庭学習重点週間の取り組み 小6参観授業	②③ ①	家庭学習重点週間の取り組み 小6参観授業 インターネット安全講習会	②③ ② ④	小6参観授業 いじめアンケート	①③ ①	
12月	国東市学力テスト　　卒業文集の取り組み	①②③ ①③	卒業文集の取り組み 寒稽古・寒稽古納め会 中学校体験入学・情報モラルの授業（中学校教諭）	① ② ①～④	卒業文集の取り組み いじめアンケート 中学校体験入学・情報モラルの授業（中学校教諭）	① ① ①②③	
1月	アンケート実施（中学校に向けて）	③	アンケート実施（中学校に向けて）	②	アンケート実施（中学校に向けて） いじめアンケート	① ①	
2月	個人面談（国東市学力テストをうけて）	③			いじめアンケート	①	
3月	卒業式	①②③	6年生を送る会 卒業式	①～④ ①～④	6年生を送る会 卒業式	①～④ ①～④	
指導上の留意点	授業の場での居場所づくり 主体的な学習態度の育成 共に学び合う姿勢の育成 家庭での学習習慣の確立 ・生徒が興味を持つような教材、導入の工夫 ・ユニバーサルな授業を心がける。 ・学習のしかたについての指導を重視する。 ・国東市学力テストにあわせ、中学校でのテスト勉強を意識して、家庭でのテスト勉強に取り組む。 ・取組みの過程も評価するよう心掛ける。 ・わかる、できるを実感させ、中学校での学習に対する不安を和らげる。 ・生徒指導の3機能を生かした授業の実践に心がける。 ・言語活動の場を設け、ペアや小グループでの課題解決の場面を取り入れる。 ・中学校での学習を意識して取り組む。（授業・課題）		・コミュニケーションの基本となるあいさつやお礼の徹底 ・児童会活動や係活動を責任を持って取り組むことを通して、教師からの評価や友だちからの感謝の言葉により、成就感や所属感を感じられるよう工夫する。 ・学校のきまりや規律、交通ルール等について必要性が実感できるような指導の工夫をする。 ・自分たちで生活を改善するような提案や取り組みを行う。 ・児童自身が目標や工夫する点、努力する点を自ら考え、その点にそって評価するよう心がける。 ・中学校での生活を意識して取り組む。（生活習慣・きまり・授業態度）		・児童による自主的な活動を仕組む。 ・児童の自己決定の場を設定する。 ・学校行事を通して絆を深める活動を仕組む。 ・異年齢集団（年少者・お年寄り）との関わりを通して、自己有用感を育む。 ・卒業に向けた取り組みを行う中で、学級や母校を大切に思う気持ちを醸成する。 ・中学校を意識した取り組みを行う中で、入学を楽しみにする気持ちを育む。 ・「教師が育てる」よりも「子どもが育つ」のを「教師が支える」」視点を強く持つ。 ・各行事において目的を明確にし、共有する。 ・あったかハート1・2・3を徹底する。 ・中学校での集団づくりを意識して取り組む。		アプローチプログラム

アプローチプログラム・スタートプログラムに関わる月別実施内容　　国東小学校

月	小学校における主な実施内容		実施状況	月	中学校における主な実施内容		実施状況
	行事・取組	会議等			行事・取組	会議等	
4月	学級開き			4月	学級開き		
	入学式				各種オリエンテーション		
	1年生を迎える会・お迎え遠足				歓迎遠足		
	えがおアンケート				学級組織づくり		
					家庭訪問		
5月	教育相談	生活指導主任会		5月	九重合宿	生徒指導主事会	
	えがおアンケート				体育大会		
	運動会						
		小6担任参観授業・情報交換			Q－U検査	小6担任参観授業・情報交換	
6月	家庭学習重点週間	第1回小中連携会議		6月	個人面談	第1回小中連携会議	
	Q-U検査				全員面接		
	えがおアンケート				郡市総合体育大会		
7月	えがおアンケート			7月	セルフコントロール講習会		
	プール納め						
8月		特別支援等に係る情報共有会議		8月		特別支援等に係る情報共有会議	
		Q－U検査校内共有会議				Q－U検査校内共有会議	
		校内研修会				校内研修会	
9月	えがおアンケート			9月			
	Q－U検査						
10月	修学旅行	特別支援等に係る情報共有会議		10月	世界農業遺産に係る総合学習	特別支援等に係る情報共有会議	
	えがおアンケート						
	商い塾・				郡市新人スポーツ大会		
11月	家庭学習重点週間			11月	文化祭		
	小6参観授業				小6参観授業の受け入れ		
	えがおアンケート				個人面談		
					Q-U検査		
12月	国東市学力テスト	第2回小中連携会議		12月	国東市学力テスト	第2回小中連携会議	
	2校交流会	Q－U検査校内共有会議			いじめアンケート		
	えがおアンケート						
	中学校体験授業						
1月	2校交流会			1月	個人面談		
	えがおアンケート				世界農業遺産に係る学習発表	Q－U検査校内共有会議	
					入学説明会		
2月	入学説明会	生活指導主任会		2月		生徒指導主任会	
	個人面談						
	えがおアンケート						
3月	えがおアンケート	第3回小中連携会議		3月	いじめアンケート	第3回小中連携会議	
	卒業式				中学校体験入学		
		入学に向けての小中連絡会			卒業式	小中連絡会	

令和７年度　国東小スタートカリキュラム　Ｎｏ．１
第１週

第１週のねらい
・安心してスタートできるようにする。 ・教室や靴箱の場所を知らせる。

日					11日
曜					金
行事					
始業前					
1					入学式
2					
3					
4					
5					
帰り					
下校					11：30

スタートカリキュラム

国						
算						0
生						0
図						0
体						0
音						0
学					1	1
道						0
行					2	2
集　　計						3

令和７年度　国東小スタートカリキュラム　Ｎｏ．２

４月　第２週

第２週のねらい
・安心してスタートできるようにする。
・学校生活の一日の流れや、学校にはどんな場所やどんなものがあるかを知らせる。
・学校の約束を知らせる。
・上級生との交流を楽しませる。

日	14 日	15 日	16 日	17 日	18 日
曜	月	火	水	木	金
行事			身体測定		お迎え遠足
始業	登校指導 地区児童会 健康観察	読書 健康観察 あいさつ	読書 健康観察 あいさつ	読書 健康観察 朝の会	読書 健康観察 朝の会
1	道徳 ・あいさつ ・トイレの使い方	道徳 ・朝の約束 ・朝の会 ・返事の仕方	国語 ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・線書き ・ひらがな「へ」	算数 ・かずとすうじ	お迎え遠足
2	学活 ・ロッカーの使い方 ・道具の置き方	生活 ・並び方 ・校庭たんけん	体育 ・かけっこ	音楽 ・うたでなかよし	
3	学活 ・ランドセル ・机の中の整理 ・トイレ、水道、靴箱、傘立ての使い方	国語 ・正しい姿勢 ・えんぴつの持ち方 ・名前書き	行事 ・身体測定	国語 ・いいてんき ・ひらがな「つ」	
4	生活（～11：30） ・給食着の着方、たたみ方 ・給食の準備 ・給食の食べ方（三角食べ）	生活（～11：30） ・給食の準備	生活（～11：30） ・給食の準備	国語 ・なんていおうかな （～11：30） ・給食の準備	
5	学活 ・下校の準備 ・配布物の入れ方 ・帰り方の確認	生活 ・下校の準備 ・帰りの会	生活 ・帰りの用意	生活 ・帰りの用意	
帰り	コースごとの整列 下校指導	コースごとの整列 下校指導	コースごとに整列 下校指導	コースごとに整列 下校指導	
下校	14：00	14：00	14：00	14：00	

スタートカリキュラム

国		1	1	2		4
算				1		1
生	1	3	2	1		7
図						0
体			1			1
音				1		1
学	3					3
道	1	1				2
行			1		5	6
集計						25
累計						28

令和７年度　国東小スタートカリキュラム　Ｎｏ．３
４月　第３週

第３週のねらい
・教科名を知り、遊びの要素を取り入れながら、45 分間の授業を体感させる。 ・友だちと上手にかかわる言葉かけを実践させる。 ・学校での約束を確認する。

日	21 日	22 日	23 日	24 日	25 日
曜	月	火	水	木	金
行事	聴力検査				参観日
始業前	読書 健康観察 朝の会	読書 健康観察 あいさつ	読書 健康観察 朝の会	読書 健康観察 朝の会	読書 健康観察 朝の会
1	算数 ・かずとすうじ	国語 ・あつまってはなそう ・ひらがな「し」	図工 ・自分の顔をかこう	国語 ・集まって話そう ・ひらがな「こ・に」	国語 ・歌にあわせてあいうえお ・ひらがな「て・ひ」
2	国語（図書） ・本の借り方	道徳 ・学校までのみち	図工 ・自分の顔をかこう	体育 ・並び方 ・たいそう	音楽 ・歌でなかよし
3	行事 ・聴力検査	生活 ・２年生と学校たんけん	体育 ・遊具の使い方 ・おにごっこ	算数 ・かずとすうじ	算数 ・かずとすうじ
4	国語 ・なんていおうかな ・ひらがな「く」	生活 ・２年生と学校たんけん	国語 ・こんなもの見つけたよ ・ひらがな「い・り」	国語（図書） ・本の借りかえ	生活 ・あさがおのたねをまこう
5	生活 ・あさがおのたねをまこう	算数 ・５までの数	生活 ・掃除の仕方	生活 ・掃除の仕方	国語 ・歌に合わせてあいうえお ・ひらがな「う」
帰り	帰りの会 コースごとに下校	帰りの会 コースごとに下校	帰りの会 コースごとに下校	帰りの会 コースごとに下校	帰りの会 コースごとに下校
下校	14：00	14：00	14：15	14：00	14：15

スタートカリキュラム

国	2	1	1	2	2	8
算	1	1		1	1	4
生	1	2	1	1	1	6
図			2			2
体			1	1		2
音					1	1
学						0
道		1				1
行	1					1
集　　計						25
累　　計						53

XXⅢ　基礎基本の定着を図るＫタイム年間計画

１．目的　　児童の学習理解に応じた補充・発展の学習を行う時間とする

２．時間・担当

金・・・8時15分～8時25分　国語・算数・理科の中から各学年・学級ごとに

※4月２５日（金）からスタート　１年生は運動会後にスタート

１年	落合・久保田
２年	花木・吉松・安部
３年１組	徳丸・小野
３年２組	島岡・三藤
４年	河村・出口・山田
５年	久保・橋永・手嶋
６年	岩尾・西原
なかよし	小﨑
えがお	大畑

３．年間計画

月	学　習　内　容
４月	○前学年の復習をする
５月～７月	○１学期の学習内容を中心にドリル等の問題を解く
９月～11月	○２学期の学習内容を中心にドリル等の問題を解く ○5・６年生は学力調査の分析をもとに補充学習をする
12月	○単元テスト等の分析をもとに補充学習をする
１月～３月	○学力調査の分析をもとに補充学習をする ○国東市学力調査の個人復習教材をする（１～６年） ○小学校の総復習をする（６年）

XXIV 男女共同参画教育指導方針及び年間指導計画

学校教育目標
地域を愛し、人を大事にし、自ら気づき・考え・行動する国東っ子の育成 ～やさしく・かしこく・たくましく～

男女共同参画教育目標
自立した人間を育てるという視点に立ち、それを阻む社会的不合理（習慣・労働・性に関する差別）に目を向け、性にかかわらず対等平等な関係で生きていこうとする心情や実践力の育成

重点目標		
意識・習慣の見直し	労働・家庭	性
ジェンダー平等の視点で、日常の「当たり前」の性差別を見抜き、差別状況を自ら変えていこうとする。	固定的な家事労働のあり方や家族観を変え、多様な家族観を育むとともに、生活の主体者として自立する力を伸ばす。	性に関する科学的な理解を通し生命や自己及び他者の個性を尊重して、対等な人間関係をつくるとともに生き方を自己決定していく力を育む。

年間計画

	第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
一学期	大切な体･プライベートゾーン（性） （学活）	じぶんをまもろう（性） （学活）	マリーゴールド（労働･家庭）（道徳）	みんな同じだったら （性）（道徳）	学んで変わるよわたしたち （労働・家庭） （家庭科）	生活時間をマネジメントしよう （労働・家庭） （家庭科）
二学期	おんな･おとこ（意識慣習） （学活）	じぶんいろのかさ（意識慣習）（学活）	自分の体を大切にしよう（性）（学活）	日常のあたりまえを見直そう（意識慣習） （学活）	多様な性について考えよう （性） （学活）	明治時代の暮らし（意識慣習） （社会）
三学期	かぞくにこにこ大さくせん （労働・家族） （生活科）	あしたへつなぐ　自分たんけん （労働・家庭） （生活科）	サンタのおばさん（意識慣習）（学活）	ブラッドレーのせい求書(労働・家庭） （道徳）	生活を支えるお金と物 （労働・家庭） （家庭科）	制服について考えよう （性） （学活）